

《第6期中標津町総合発展計画》

まちづくり町民アンケート 調査結果報告書



令和元年12月

中標津町 総務部 企画課

目 次

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要	1
（１）調査の目的	1
（２）調査対象及び調査方法	1
（３）配布数及び回収結果	1
（４）本調査結果報告書の留意点	1
2 回答者の属性	2
（１）一般町民（２０歳以上の町内に居住する男女）	2

II まちづくり町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について	5
（１）まちへの愛着度について	5
（２）今後の定住意向について	7
（３）住み続けたい主な理由	9
（４）住みたくない主な理由	10
2 中標津町の取り組みに対する町民の声	11
（１）中標津町全体について	11
（２）生活環境について	15
（３）環境問題への取り組みについて	33
（４）産業振興について	35
（５）保健・医療・福祉について	42
（６）教育・文化・スポーツについて	52
（７）人権・男女共同参画について	62
（８）地域間交流について	65
（９）北方領土問題について	67
3 費用負担について	68
（１）取り組みに対する費用負担の可否について	68
4 町民活動・協働について	70
（１）地域活動・ボランティア活動について	70
（２）参加したい地域活動について	72
5 中標津町役場について	73
（１）情報共有について	73
（２）役場の窓口について	75
6 将来人口目標について	77
（１）目標の達成に必要なこと	77
7 行政との関わりについて	89
（１）協働の推進に向け町民が行政に望むもの	89
8 防災対策（情報収集）について	90
（１）情報収集について	90

Ⅲ まちづくり町民アンケート自由意見

1 自由意見	92
（1）自由意見の記入状況	92

Ⅳ【別添】第7期総合計画策定に向けてのアンケート調査結果

参考資料

まちづくり町民アンケート調査票

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第6期中標津町総合発展計画に基づく取組みに対する町民皆さんの意見や考え方を把握し、今後の町政に反映させ計画的に施策を実施することを目的とします。

(2) 調査対象及び調査方法

- ◆ 調 査 対 象 : 20歳以上の町内に居住する男女
- ◆ 抽 出 法 : 無作為抽出（住民基本台帳より抽出）
- ◆ 調 査 方 法 : 郵送法（郵送による配布・回収）
- ◆ 調 査 時 期 : 令和元年6月
- ◆ 調 査 区 域 : 中標津町内全域

(3) 配布数及び回収結果

- ◆ 配 布 数 : 2,500票
- ◆ 有効回収数 : 660票
- ◆ 有効回収率 : 26.4%

(4) 本調査結果報告書の留意点

本報告書の内容について、次の点に留意して下さい。

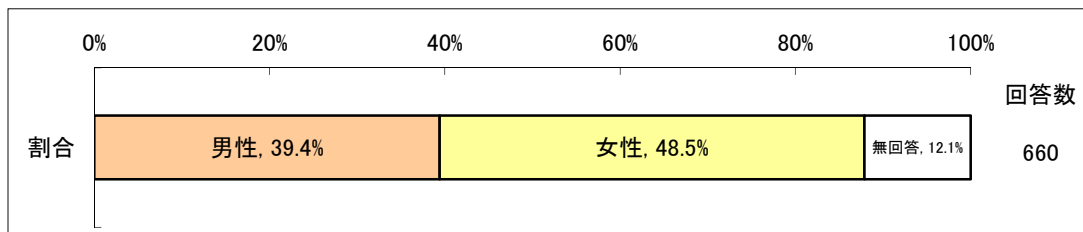
- 比率は百分率（％）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しているため、合計が100％を上下する場合があります。
- 基礎となるべき実数は、“回答数=〇〇〇”として掲載し、各比率は回答数を100％として算出しました。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問となっています。
- 文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化しています。
- 問の中には、「～に○をつけた方にうかがいます。」などさまざまな制限があり、また、属性別での職業別など回答者が少なく、有意性の低いものも含まれます。

2 回答者の属性

(1) 一般市民（20歳以上の町内に居住する男女）

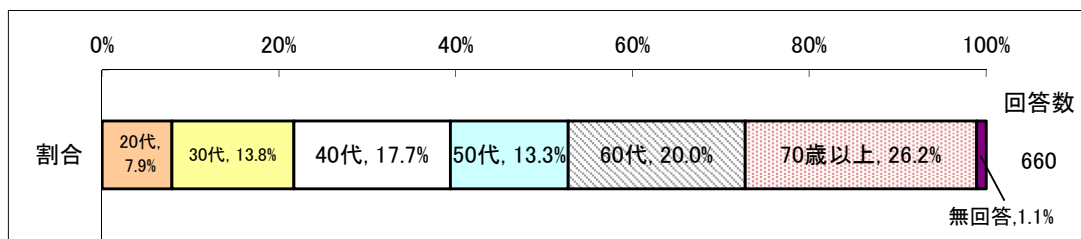
① 性別

回答者の性別構成は、「男性」が260名・39.4%、「女性」が320名・48.5%、「無回答」が80名・12.1%となっています。



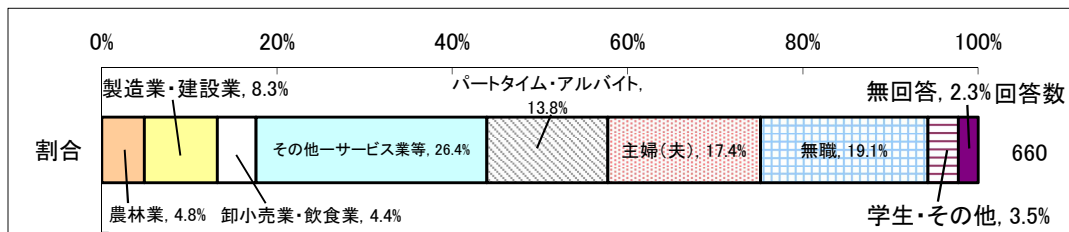
② 年齢

回答者の年齢構成は、「70歳以上」が173名・26.2%で最も多く、次いで「60代」132名・20.0%、「40代」が117名・17.7%、「30代」が91名・13.8%、「50代」が88名・13.3%、「20代」が52名・7.9%の順となっています。



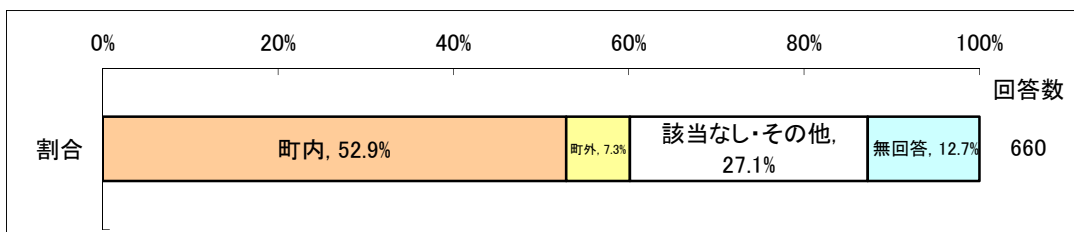
③ 職業

回答者の職業は、「その他サービス業等」が174名・26.4%で最も多く、次いで「無職」が126名・19.1%、「主婦（夫）」が115名・17.4%、「パートタイム・アルバイト」が91名・13.8%、「製造業・建設業」が55名・8.3%、「農林業」が32名・4.8%、「卸小売業・飲食業」が29名・4.4%、「学生・その他」が23名・3.5%、「無回答」が15名・2.3%の順となっています。



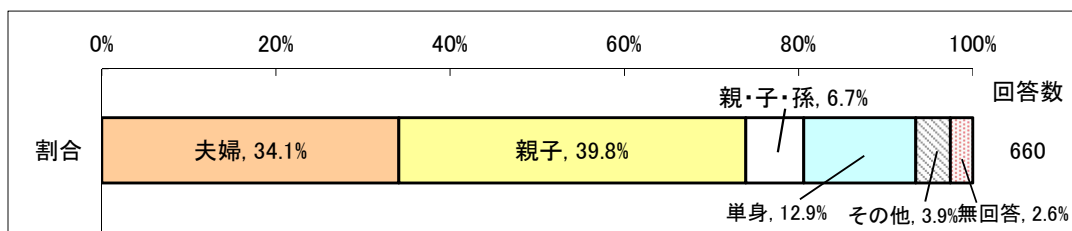
④ 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先は、「町内」が349名・52.9%で最も多く、次いで「該当なし・その他」が179名・27.1%、「無回答」が84名・12.7%、「町外」が48名・7.3%の順となっています。



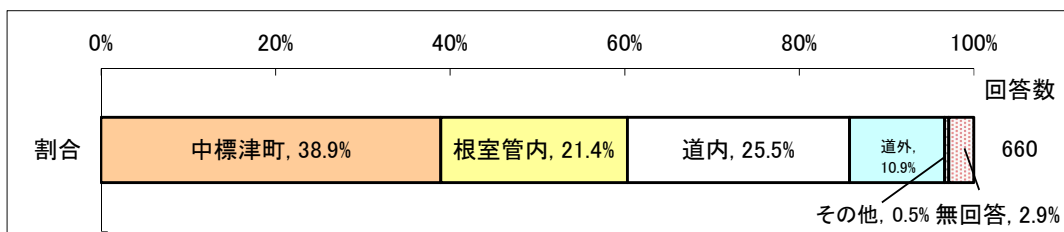
⑤ 家族構成

回答者の家族構成は、「親子（2世代）」が263名・39.8%で最も多く、次いで「夫婦」が225名・34.1%、「単身」が85名・12.9%、「親・子・孫」が44名・6.7%、「その他」が26名・3.9%の順となっています。



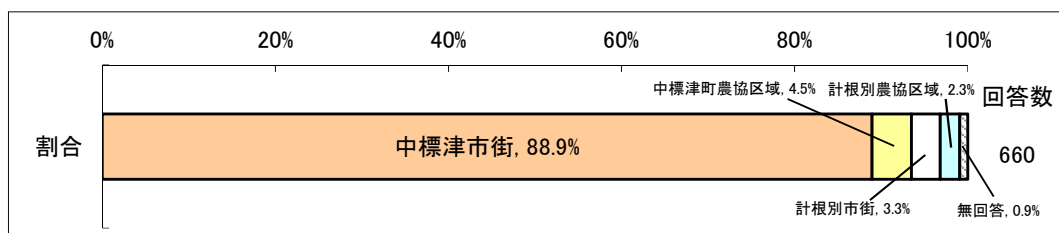
⑥ 出身地

回答者の出身地は、「中標津町」が257名・38.9%で最も多く、次いで「道内」が168名・25.5%、「根室管内」が141名・21.4%、「道外」が72名・10.9%の順となっています。



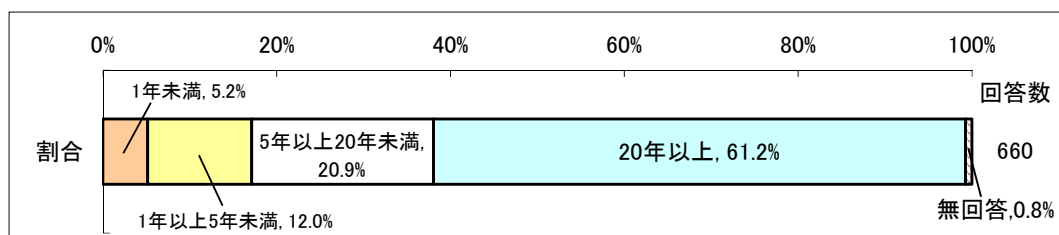
⑦ 居住地

回答者の居住地は、「中標津市街」が587名・88.9%で最も多く、次いで「中標津町農協区域」が30名・4.5%、「計根別市街」が22名・3.3%、「計根別農協区域」が15名・2.3%の順となっています。



⑧ 居住年数

回答者の居住歴は、「20年以上」が404名・61.2%で最も多く、次いで「5年以上20年未満」が138名・20.9%、「1年以上5年未満」が79名・12.0%、「1年未満」が34名・5.2%の順となっています。



Ⅱ まちづくり町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について

(1) まちへの愛着度について

問2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。

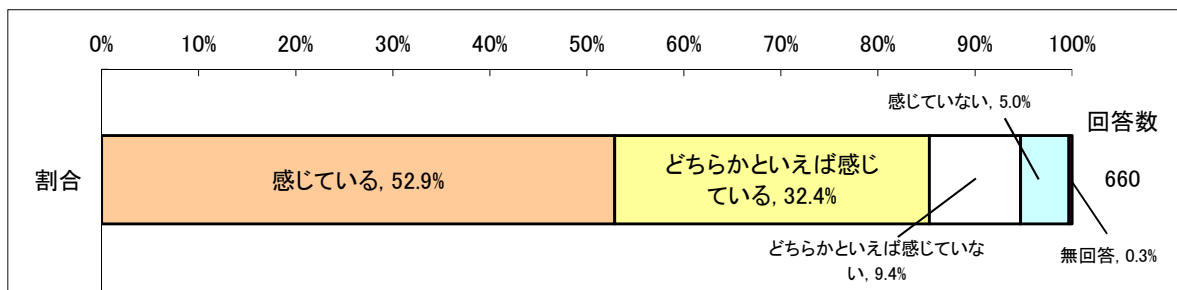
● “愛着を感じている” が85.3%。一方、“愛着を感じていない” は14.4%。

町民のまちに対する愛着度を把握するため、愛着を「感じている」、「どちらかといえば感じている」、「どちらかといえば感じていない」、「感じていない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、愛着を「感じている」と回答した人が349名・52.9%と最も多く、次いで「どちらかといえば感じている」が214名・32.4%で続き、これらをあわせた“愛着を感じている”という人が85.3%となりました。

これに対して、“愛着を感じていない”（「どちらかといえば感じていない」62名・9.4%及び「感じていない」33名・5.0%の合計）は95名・14.4%ととなっており、総じてまちへの愛着度は高いといえます。【図表1 参照】

図表1 まちへの愛着度について（全体）

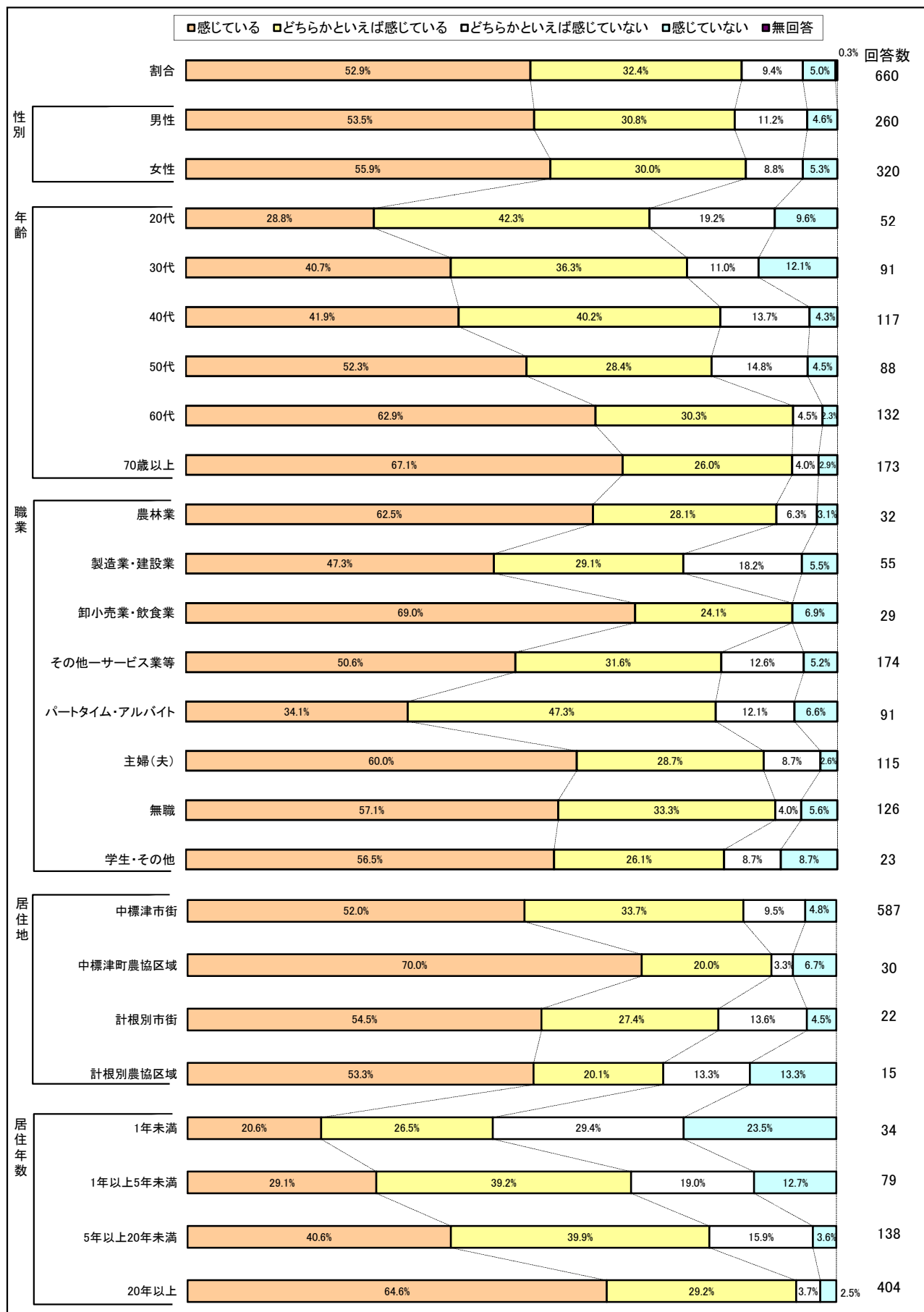


性別で“愛着を感じている”率をみると、女性は85.9%、男性は84.3%と、ほぼ同様の愛着度となっています。

年齢別では、60代が93.2% “愛着を感じている” となっていますが、一方で20代では71.1%と低くなっています。

職業別・居住地・居住年数で“愛着を感じている”率の高い層をみると、職業別では卸小売業・飲食業が93.1%、次いで農林業が90.6%となっており、居住地別では、中標津町農協区域（90.0%）、居住年数では20年以上（93.8%）などとなっています。【図表2参照】

図表2 まちへの愛着度について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



(2) 今後の定住意向について

問3① あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。

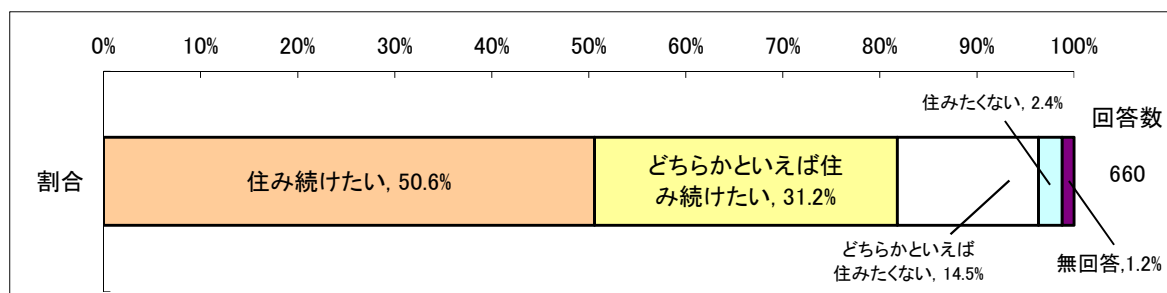


● “住み続けたい” が81.8%、一方、“住みたくない” は16.9%。

今後も町に住み続けたいかどうかをたずねたところ、「住み続けたい」と答えた人が334名・50.6%で最も多く、これに「どちらかといえば住み続けたい」（206名・31.2%）をあわせた540名・81.8%の人が“住み続けたい”という意向を示しています。

一方、「どちらかといえば住みたくない」（96名・14.5%）及び「住みたくない」（16名・2.4%）と答えた“住みたくない”という人の合計は112名・16.9%にとどまり、定住意向が強い結果となっています。【図表3参照】

図表3 今後の定住意向について（全体）



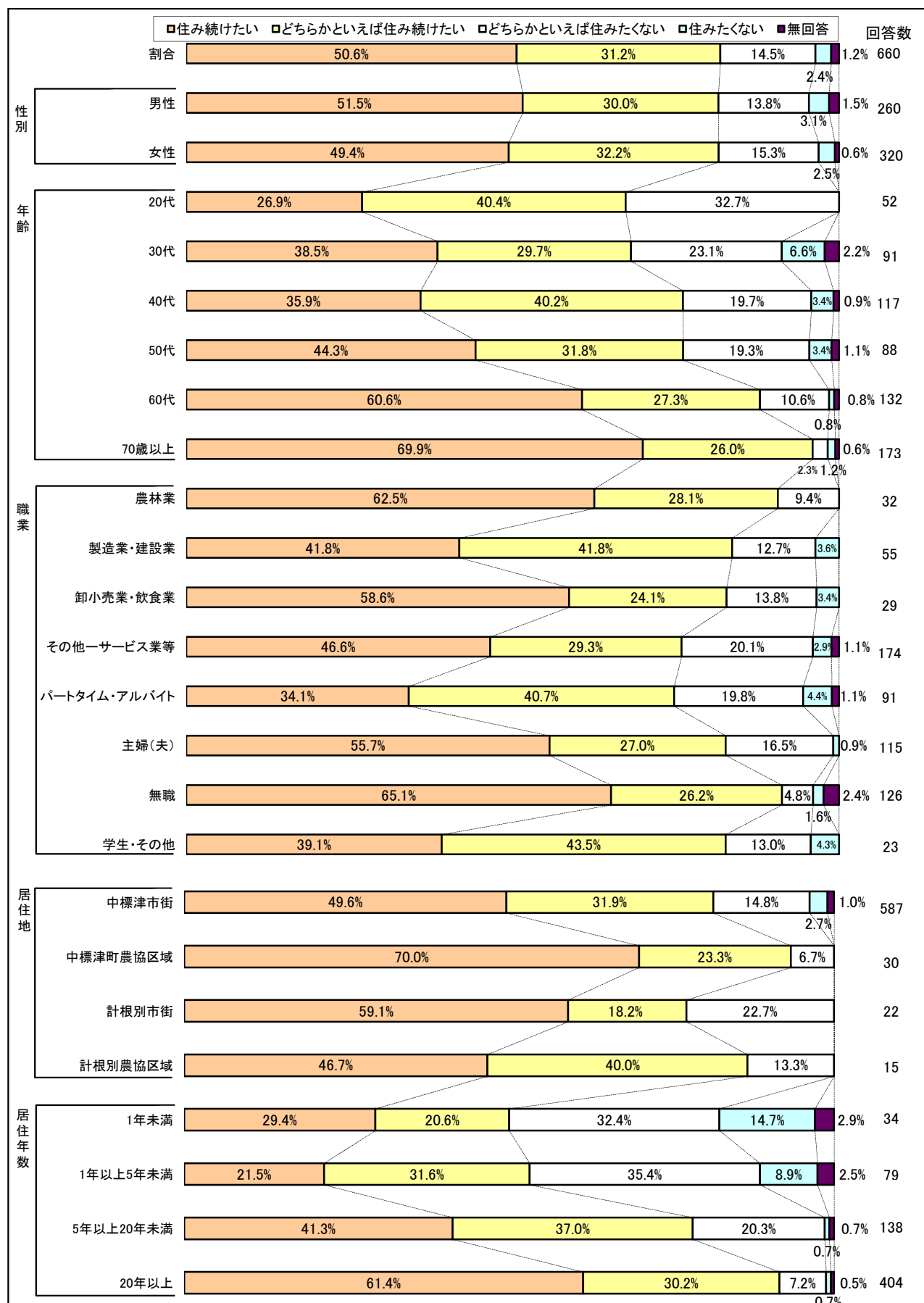
性別で“住み続けたい”率をみると、男性が81.5%、女性が81.6%とほぼ同数の結果となっています。

年齢別では、70代以上の“住み続けたい”率が、95.9%と最も高い結果となっています。

一方で20代では“住み続けたい”率が67.3%と最も低い結果となっています。

職業別・居住年数・居住地別で“住み続けたい”率の高い層をみると、職業別では無職（91.3%）、居住地では中標津町農協区域（93.3%）、居住年数では20年以上（91.6%）などとなっています。【図表4参照】

図表4 今後の定住意向について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



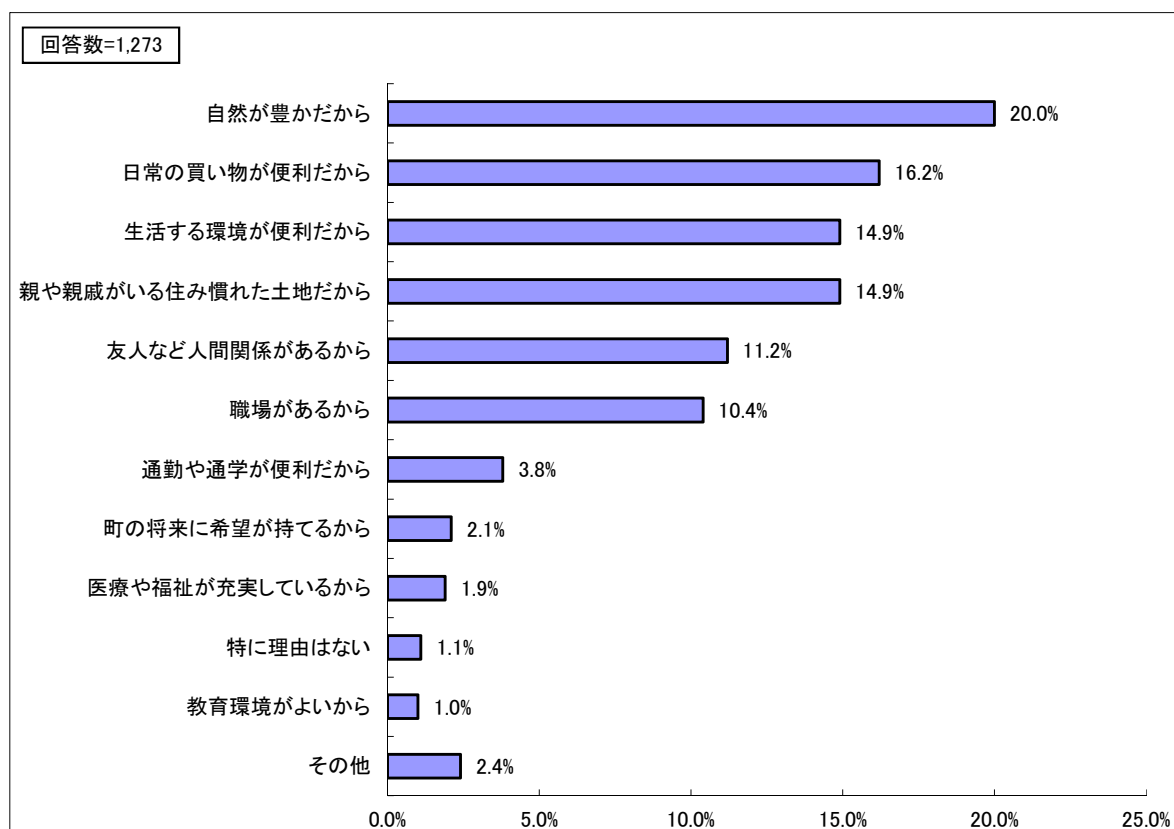
(3) 住み続けたい主な理由

問3② 住み続けたい主な理由は何ですか。(①で「1.」または「2.」に○をつけた方のみ)【複数回答】

- 「自然が豊かだから」が第1位、次いで「日常の買い物が便利だから」、同率で「生活する環境が便利だから」「親や親戚がいる住み慣れた土地だから」の順。

問3①で“住み続けたい”と回答した人(全体の81.8%・540名)に理由をたずねたところ、「自然が豊かだから」(20.0%)が第1位に挙げられ、次いで「日常の買い物が便利だから」(16.2%)が続き、以下同率で「生活する環境が便利だから」、「親や親戚がいる住み慣れた土地だから」(14.9%)などの順となっています。【図表5参照】

図表5 住み続けたい主な理由(全体/複数回答)



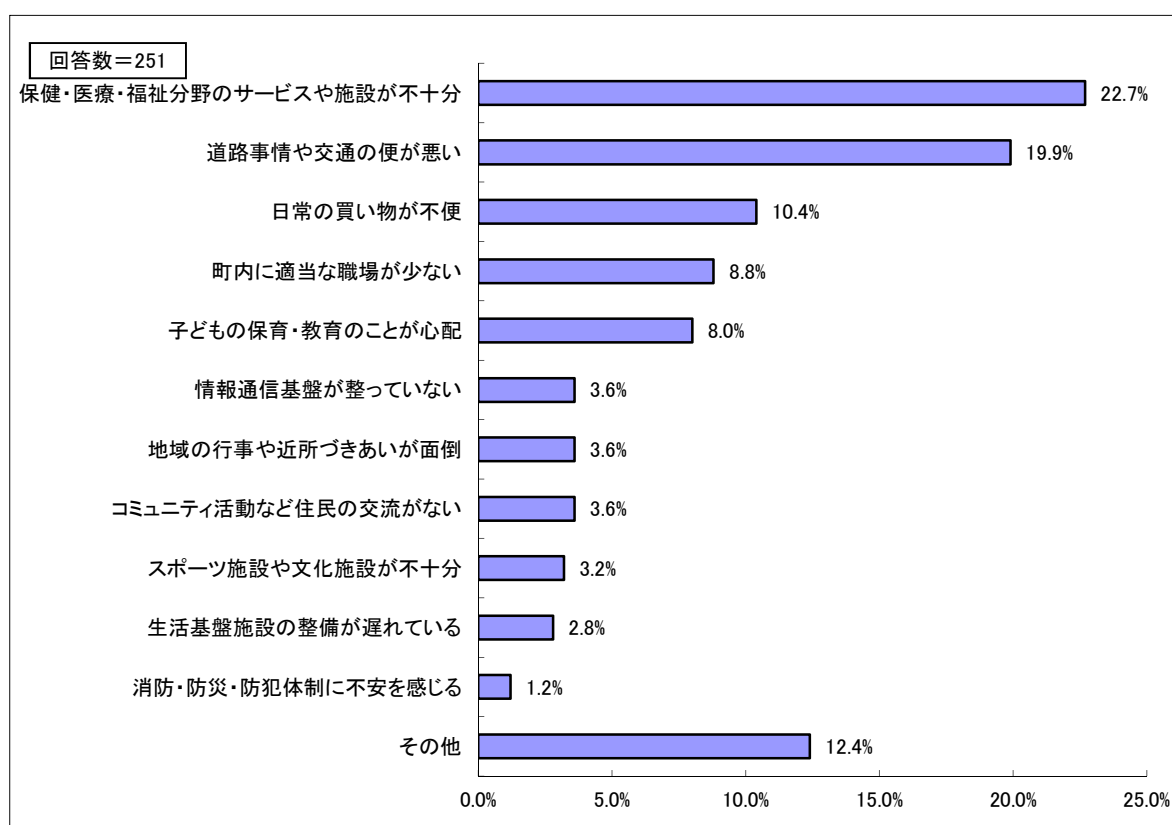
(4) 住みたくない主な理由

問3③ 住みたくない主な理由は何ですか。（①で「3.」または「4.」に○をつけた方のみ）【複数回答】

- 「保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分」が第1位。次いで「道路事情や交通の便が悪い」、「日常の買い物が不便」の順。

問3①で“住みたくない”と回答した人（全体の16.9%・112名）にその理由をたずねたところ、「保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分」（22.7%）が第1位に挙げられ、次いで「道路事情や交通の便が悪い」（19.9%）が続き、以下「日常の買い物が不便」（10.4%）、「町内に適当な職場が少ない」（8.8%）などの順となっています。【図表6参照】

図表6 住みたくない主な理由（全体／複数回答）



2 中標津町の取り組みに対する町民の声

(1) 中標津町全体について

問4 全体的にみた中標津町のまちづくりに満足していますか。

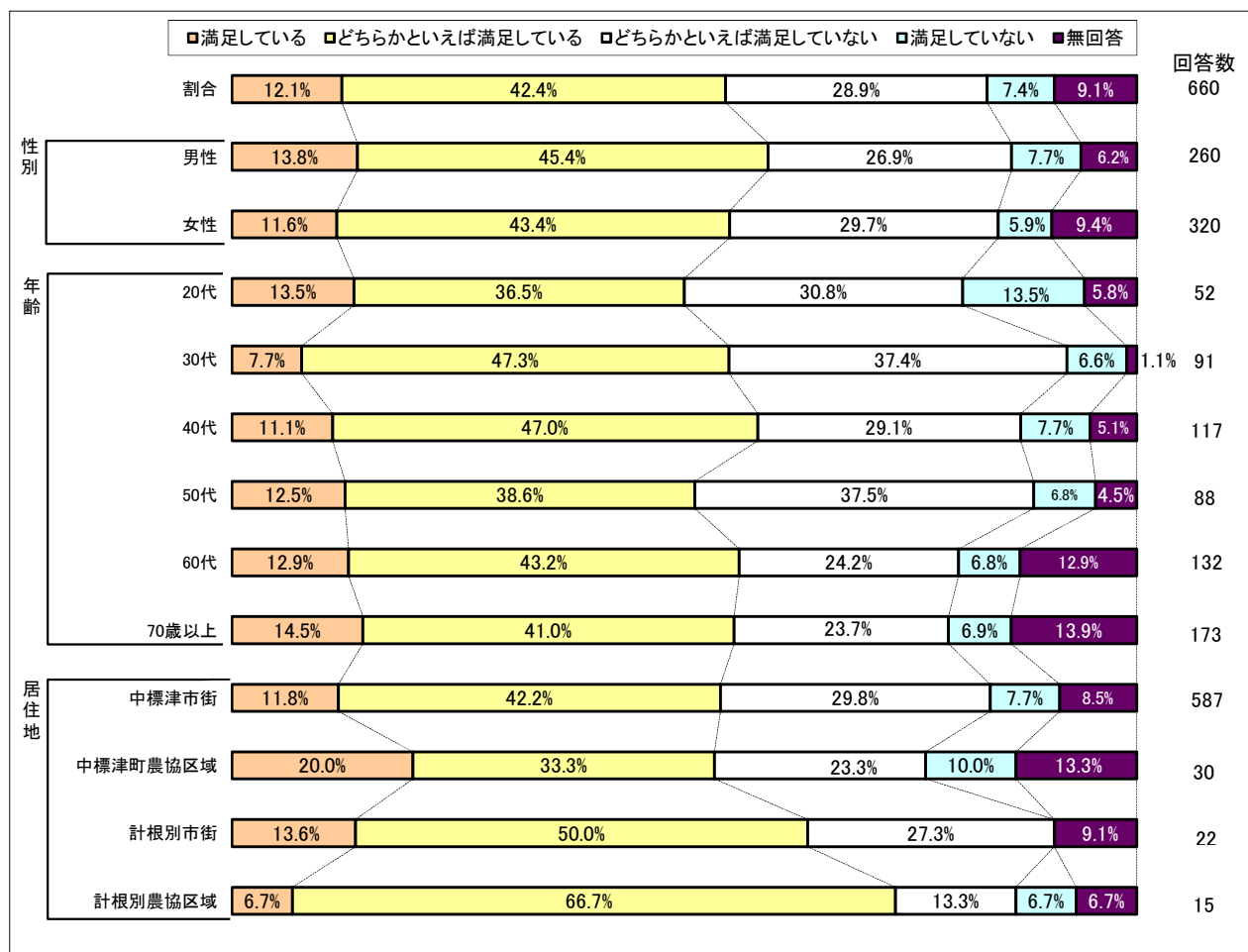
● “満足している” が54.5%、“満足していない” が36.3%。

全体的なまちづくりに対する満足度についてたずねたところ、「どちらかといえば満足している」と答えた人が42.4%、これに「満足している」（12.1%）をあわせた“満足している”という人が54.5%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（28.9%）及び「満足していない」（7.4%）の合計）は36.3%となっており、全体的に満足している町民が過半数を占めています。

年齢別の“満足している”率は、40代が58.1%と高く、次いで60代が56.1%、70歳以上が55.5%となっています。[図表7参照]

図表7 中標津町のまちづくりに満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

問5 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか。

● “関心を持っている” が57.7%、“関心を持っていない” が33.0%。

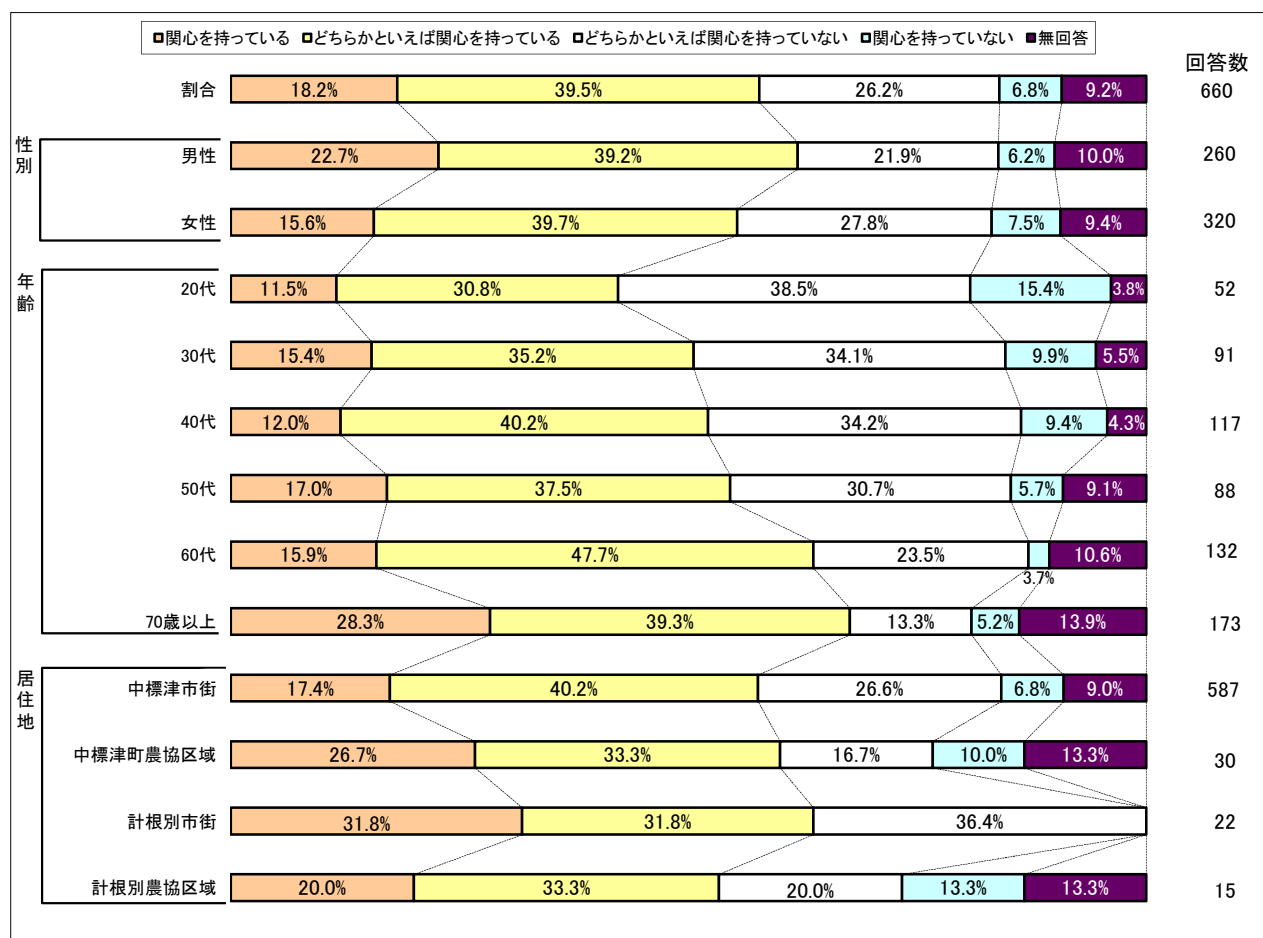
「どちらかといえば関心を持っている」と答えた人が39.5%で、これに「関心を持っている」（18.2%）をあわせた“関心を持っている”という人が57.7%となりました。

一方、“関心を持っていない”（「どちらかといえば関心を持っていない」（26.2%）及び「関心を持っていない」（6.8%）の合計）は33.0%となり、関心を持っていない人が3割以上という結果となりました。

性別でみると、男性（61.9%）が女性（55.3%）より若干関心が高いことがうかがえます。

年齢別でみると、70歳以上が67.6%と高く、次いで60代が63.6%、50代が54.5%となっています。[図表8参照]

図表8 まちの計画や取り組みへの関心について（全体、性別、年齢、居住地）



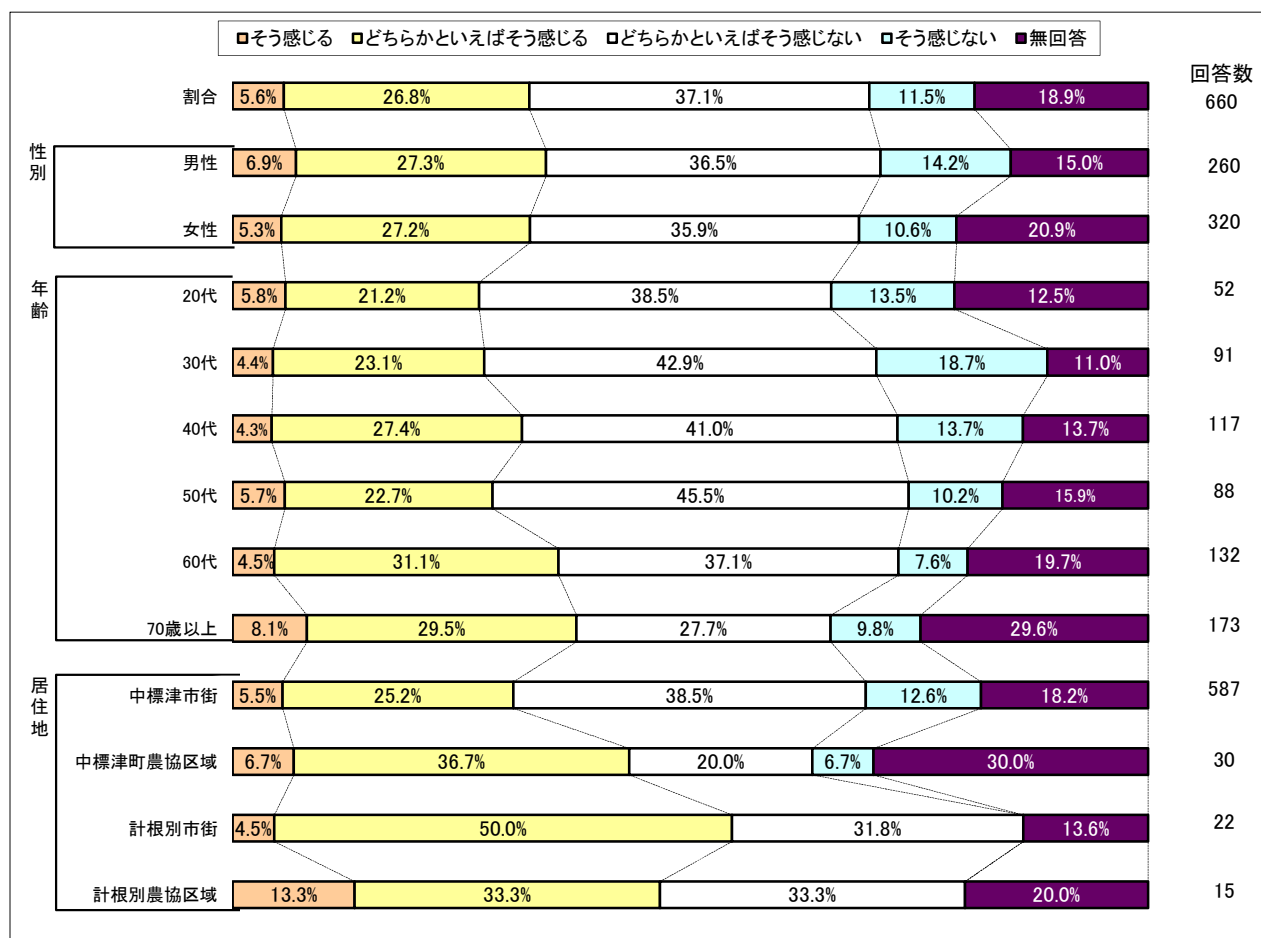
問6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。

● “そう感じる” が32.4%、“そう感じない” が48.6%。

「どちらかといえばそう感じる」（26.8%）と「そう感じる」（5.6%）をあわせた“そう感じる”が32.4%、一方“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（37.1%）と「そう感じない」（11.5%）の合計）が48.6%となり、町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じる人が、そう感じない人を下回っています。

年齢別でみると、概ね加齢とともに“そう感じる”率が高くなり、70歳以上では37.6%の人が“そう感じる”と回答しています。[図表9参照]

図表9 町民と行政が協力してまちづくりを行っているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

問7 今後のまちづくりにおいて、中標津町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。【複数回答】

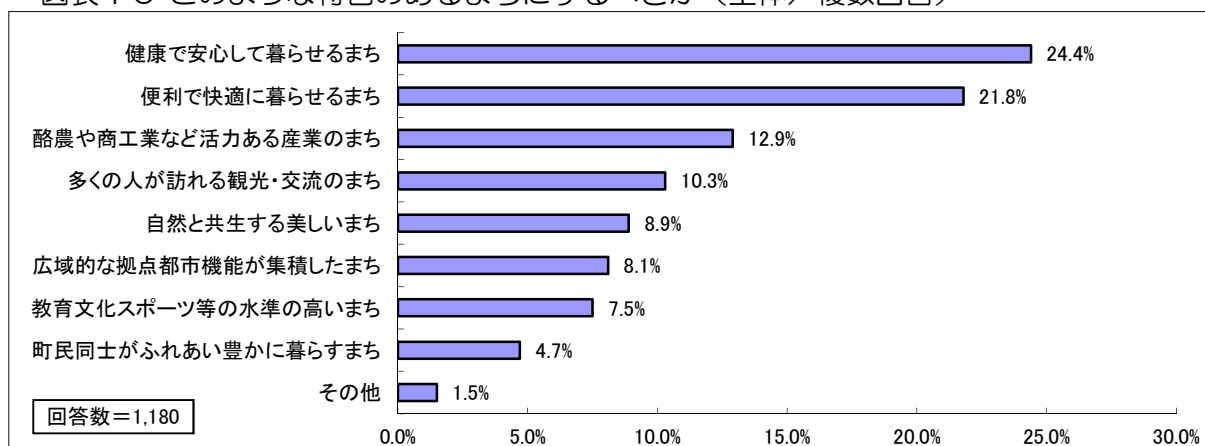
●「健康で安心して暮らせるまち」が第1位。次いで「便利で快適に暮らせるまち」、「酪農や商工業など活力ある産業のまち」、の順。

今後のまちづくりにおいて、どのような特色のあるまちにするべきかたずねたところ、「健康で安心して暮らせるまち」（24.4%）が第1位に挙げられ、次いで「便利で快適に暮らせるまち」（21.8%）、「酪農や商工業など活力ある産業のまち」（12.9%）、「多くの人を訪れる観光・交流のまち」（10.3%）、「自然と共生する美しいまち」（8.9%）の順となりました。

年齢別の第1位は、30代・60代・70歳以上で「健康で安心して暮らせるまち」となり、その他の世代では「便利で快適に暮らせるまち」となっています。

[図表10～11参照]

図表10 どのような特色のあるまちにするべきか（全体／複数回答）



図表11 どのような特色のあるまちにするべきか（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	便利で快適に暮らせるまち 22.2	健康で安心して暮らせるまち 19.2	酪農や商工業など活力のある産業のまち 13.1
	30代	健康で安心して暮らせるまち 26.8	便利で快適に暮らせるまち 20.1	酪農や商工業など活力のある産業のまち 12.8
	40代	便利で快適に暮らせるまち 21.1	健康で安心して暮らせるまち 19.1	教育文化スポーツ等の水準の高いまち 13.6
	50代	便利で快適に暮らせるまち 21.9	健康で安心して暮らせるまち 17.4	酪農や商工業など活力のある産業のまち 14.2
	60代	健康で安心して暮らせるまち 26.4	便利で快適に暮らせるまち 22.7	酪農や商工業など活力のある産業のまち 12.4
	70歳以上	健康で安心して暮らせるまち 29.8	便利で快適に暮らせるまち 21.7	酪農や商工業など活力のある産業のまち 13.6
居 住 地	中標津市街	健康で安心して暮らせるまち 24.0	便利で快適に暮らせるまち 22.2	酪農や商工業など活力のある産業のまち 11.9
	中標津町農協区域	健康で安心して暮らせるまち 31.9	酪農や商工業など活力のある産業のまち 25.5	便利で快適に暮らせるまち 17.0
	計根別市街	健康で安心して暮らせるまち 25.6	酪農や商工業など活力のある産業のまち 18.6	便利で快適に暮らせるまち 16.3
	計根別農協区域	酪農や商工業など活力のある産業のまち 26.9	健康で安心して暮らせるまち 23.1	便利で快適に暮らせるまち 19.2

(2) 生活環境について

問8 中心市街地は便利で利用しやすいと感じますか。

● “そう感じる” が62.0%、“そう感じない” が32.8%。

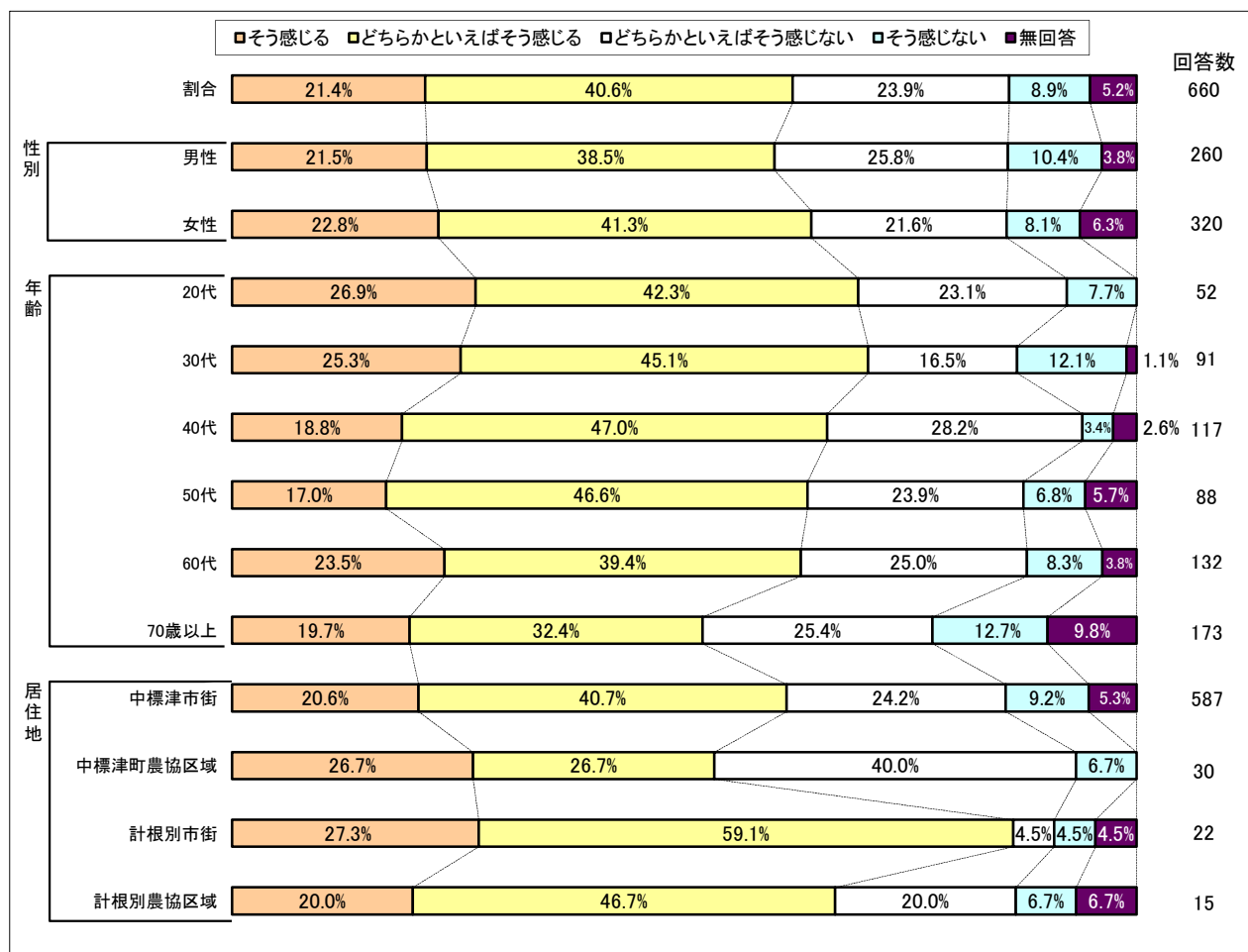
中心市街地の利便性について、たずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」40.6%）これに「そう感じる」（21.4%）を合わせた“そう感じる”人は62.0%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」23.9%、「そう感じない」8.9%の合計）は32.8%となっており、全体的には中心市街地は便利で利用しやすいと感じている町民が半数以上を占めています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が（60.0%）、女性が（64.1%）と女性が4.1ポイント上回っています。

年齢別の割合は30代が70.4%と一番高く、他の年代では約50%以上の方が中心市街地は便利で利用しやすいと感じています。[図表12参照]

図表12 中心市街地は便利で利用しやすいか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

問9 道路や河川などが適切に維持管理（側溝清掃、草刈りなど）されていると感じますか。

● “そう感じる” が54.0%、“そう感じない” が41.5%。

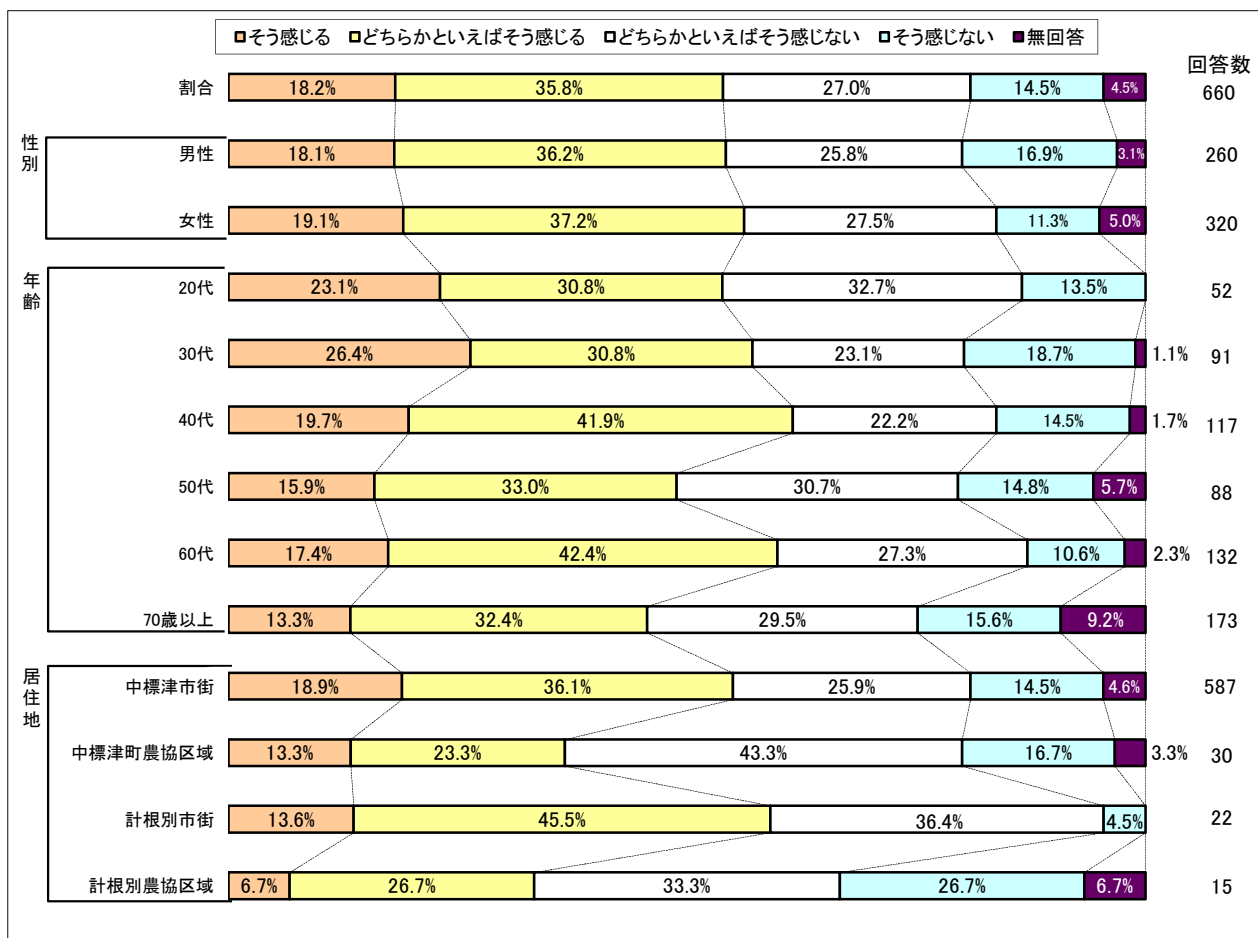
道路や河川などが適切に維持管理されているかについてたずねたところ、「どちらといえばそう感じる」（35.8%）、これに「そう感じる」（18.2%）を合わせた“そう感じる”人は54.0%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらといえばそう感じない」（27.0%）、「そう感じない」（14.5%）合計）は41.5%となっています。

性別で“そう感じる人”の割合は男性が54.3%、女性が56.3%と女性が2.0ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は40代が61.6%と高い一方70歳以上では45.7%と低くなっています。[図表13参照]

図表13 道路や河川などが適切に維持管理されていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

問10 自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足していますか。

● “満足している” が70.6%、“満足していない” が23.7%。

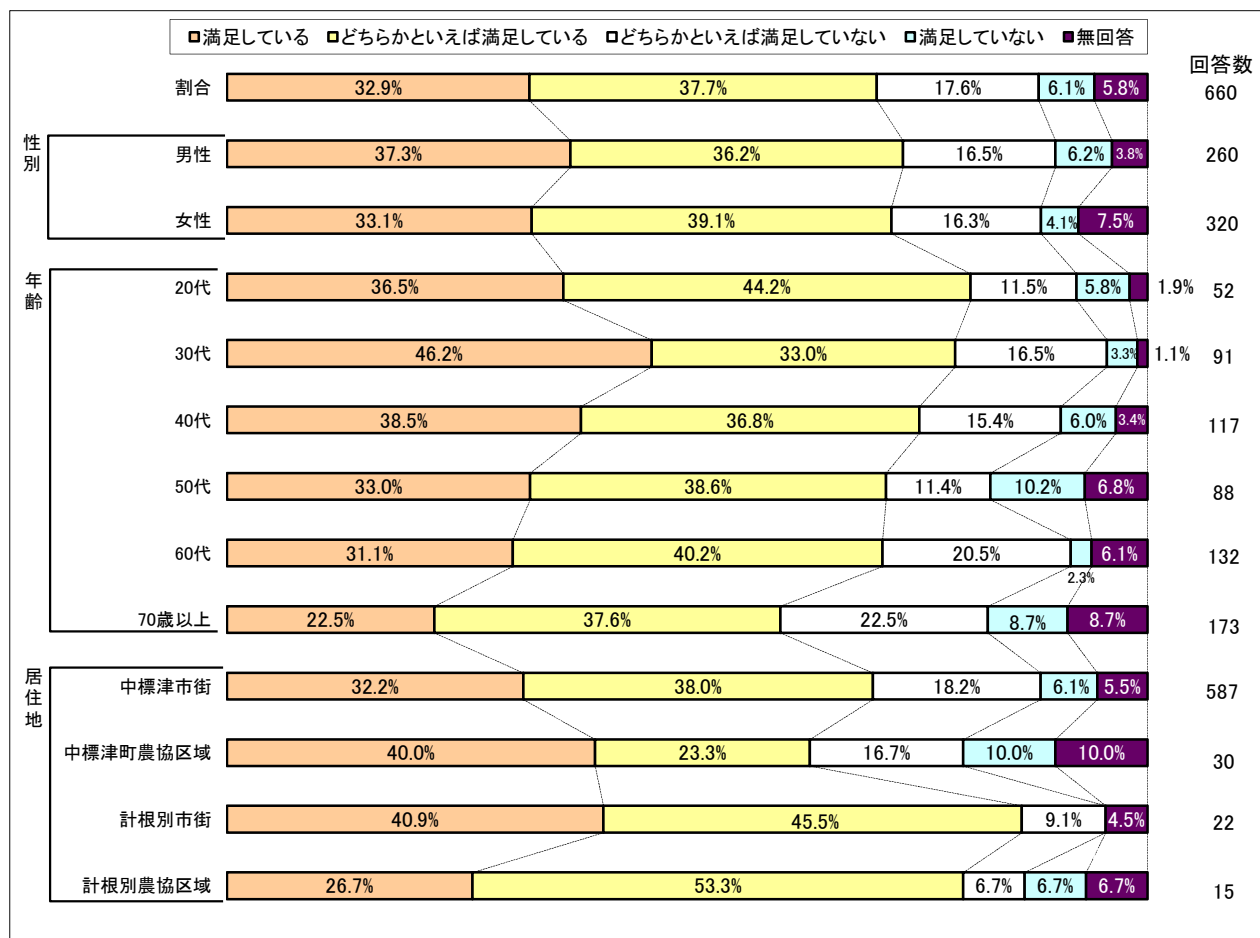
「まちの緑」に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」（37.7%）と、これに「満足している」（32.9%）をあわせた“満足している”という人が70.6%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（17.6%）「満足していない」（6.1%）の合計）は23.7%となっています。

性別で“満足している”人は男性（73.5%）、女性（72.2%）と男性が1.3ポイント上回っています。

年齢別の“満足している”人の割合は、20代（80.7%）が高く、一方70歳以上（60.1%）と低くなっています。[図表14参照]

図表14 「まちの緑」に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

問11 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができますと感じますか。

● “そう感じる” が23.2%、“そう感じない” が67.7%。

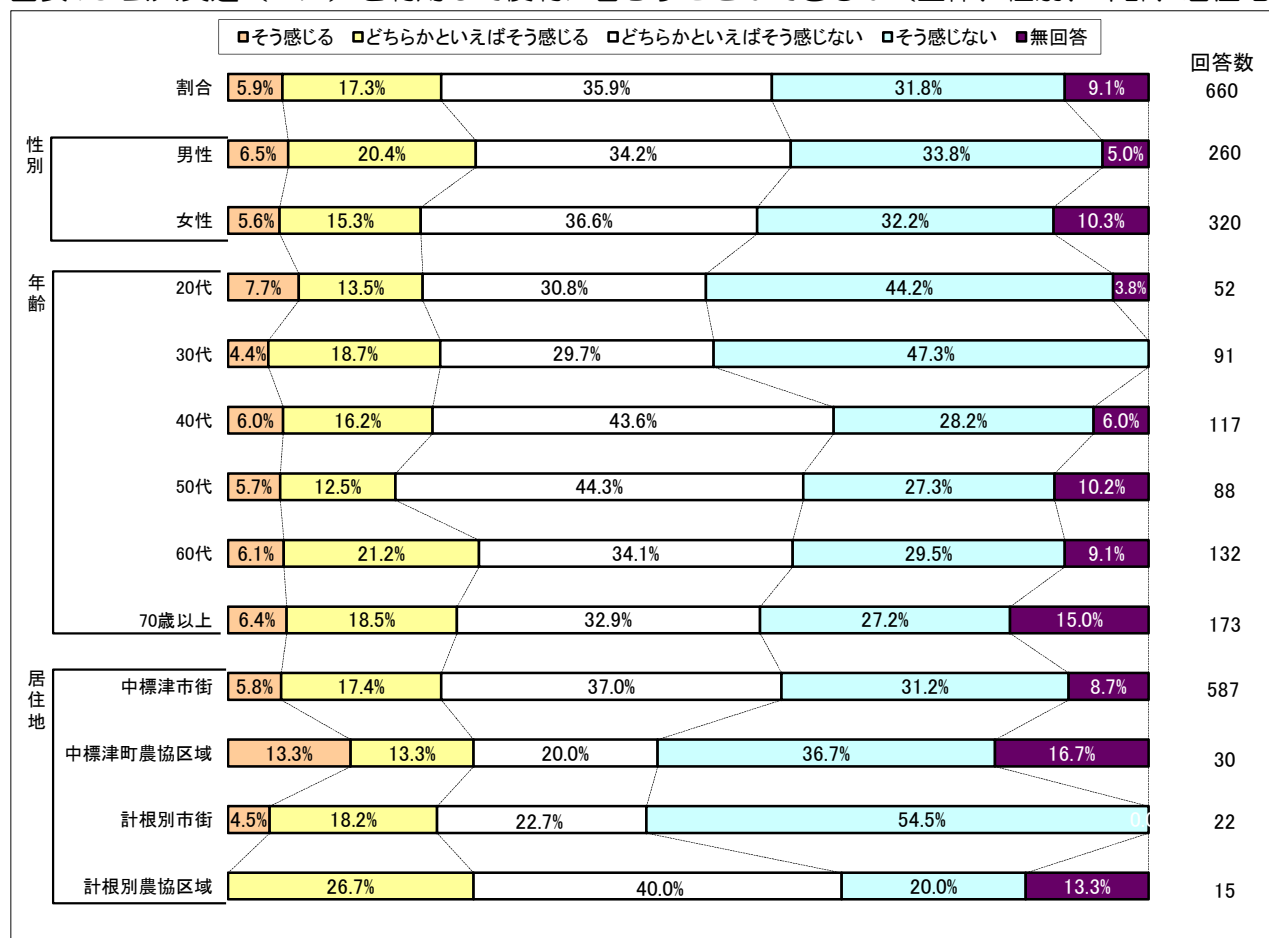
公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができるかについてたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」が17.3%、これに「そう感じる」5.9%を合わせた“そう感じる”人は23.2%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（35.9%）「そう感じない」（31.8%）の合計）は67.7%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合では男性が26.9%、女性が20.9%と男性が6.0ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は60代が27.3%となっていますが、50代では18.2%と低くなっています。[図表15参照]

図表15 公共交通（バス）を利用して便利に暮らすことができるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

問12 中標津空港利用の利便性に満足していますか。

● “満足している” が69.5%、“満足していない” が23.6%。

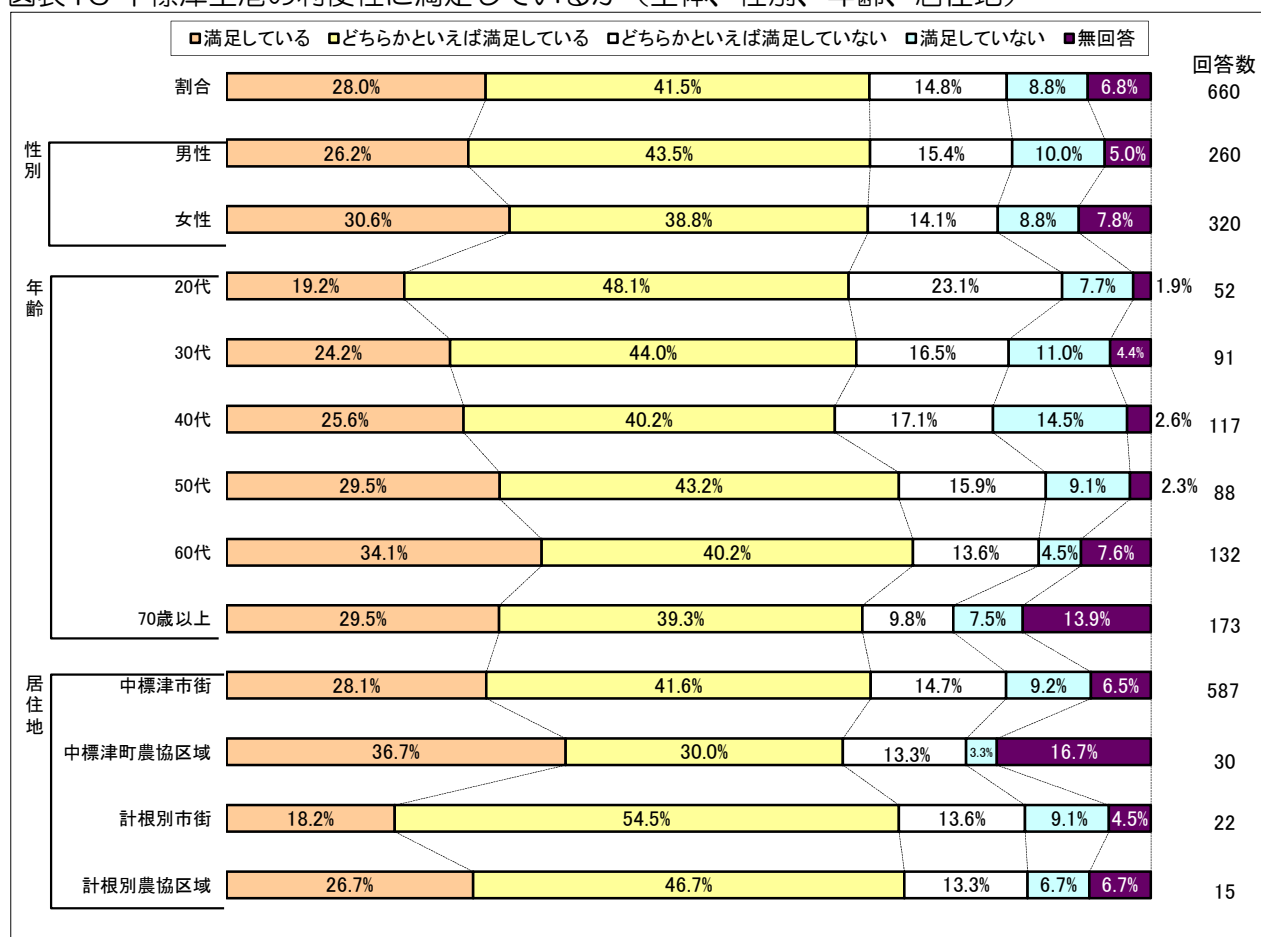
中標津空港の利便性に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」（41.5%）これに「満足している」（28.0%）をあわせた“満足している”という人が69.5%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（14.8%）「満足していない」（8.8%）の合計）は23.6%となっています。

性別で“満足している”人の割合は男性（69.7%）、女性（69.4%）となり、女性の方が0.3ポイント低くなっています。

年齢別の“満足している”人の割合は、60代が74.3%と高くなっていますが、20代は67.3%と低くなっています。[図表16参照]

図表16 中標津空港の利便性に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

問13 今後、町及びその周辺ではどのような道路、交通手段が必要と考えますか。
【複数回答】



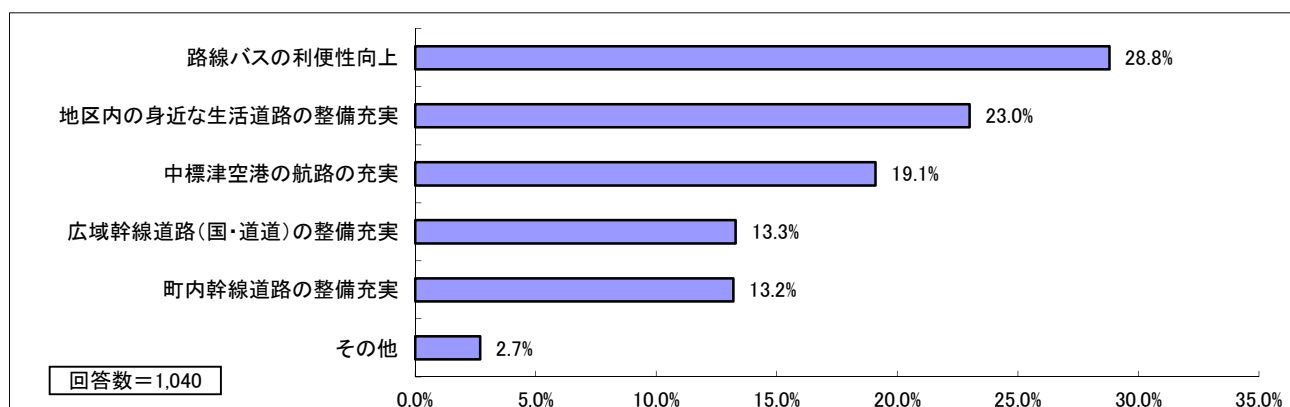
- 「路線バスの利便性向上」が第1位。次いで「地区内の身近な生活道路の整備充実」、「中標津空港の航路の充実」、「広域幹線道路（国・道道）の整備充実」の順。

町内及びその周辺で必要な道路、交通手段についてたずねたところ、「路線バスの利便性向上」（28.8%）が第1位に挙げられ、次いで「地区内の身近な生活道路の整備充実」（23.0%）、「中標津空港の航路の充実」（19.1%）、「広域幹線道路（国・道道）の整備充実」（13.3%）、「町内幹線道路の整備充実」（13.2%）などの順となっています。

年齢別で見ると20代・30代は「中標津空港の航路の充実」、他の年代では、「路線バスの利便性向上」となっています。

【図表17～18参照】

図表17 今後必要な道路交通手段について（全体／複数回答）



図表18 今後必要な道路交通手段について（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位			第2位			第3位		
		割合 (%)	項目	割合 (%)	割合 (%)	項目	割合 (%)	割合 (%)	項目	割合 (%)
年 齢	20代	29.2	中標津空港の航路の充実	25.8	路線バスの利便性向上	16.9	広域幹線道路（国・道道）の整備充実			
	30代	28.3	中標津空港の航路の充実	20.7	地区内の身近な生活道路の整備充実	20.0	路線バスの利便性向上			
	40代	25.8	路線バスの利便性向上	23.6	地区内の身近な生活道路の整備充実	19.1	中標津空港の航路の充実			
	50代	25.7	路線バスの利便性向上	22.1	中標津空港の航路の充実	22.1	中標津空港の航路の充実			
	60代	28.0	路線バスの利便性向上	21.1	地区内の身近な生活道路の整備充実	20.2	中標津空港の航路の充実			
	70歳以上	38.6	路線バスの利便性向上	29.3	地区内の身近な生活道路の整備充実	13.9	町内幹線道路の整備充実			
居 住 地	中標津市街	28.7	路線バスの利便性向上	23.6	地区内の身近な生活道路の整備充実	18.8	中標津空港の航路の充実			
	中標津町農協区域	28.9	路線バスの利便性向上	24.4	中標津空港の航路の充実	17.8	町内幹線道路の整備充実			
	計根別市街	29.7	路線バスの利便性向上	21.6	地区内の身近な生活道路の整備充実	—	同率複数のため省略			
	計根別農協区域	29.6	路線バスの利便性向上	22.2	中標津空港の航路の充実	—	同率複数のため省略			

問14 安定して水道水が利用できていると感じますか。

● “そう感じる” が92.0%、“そう感じない” が5.0%。

安定して水道水が利用できていると感じるかについてたずねたところ、「そう感じる」（71.4%）に「どちらかといえばそう感じる」（20.6%）を合わせた“そう感じる”人は92.0%となっています。

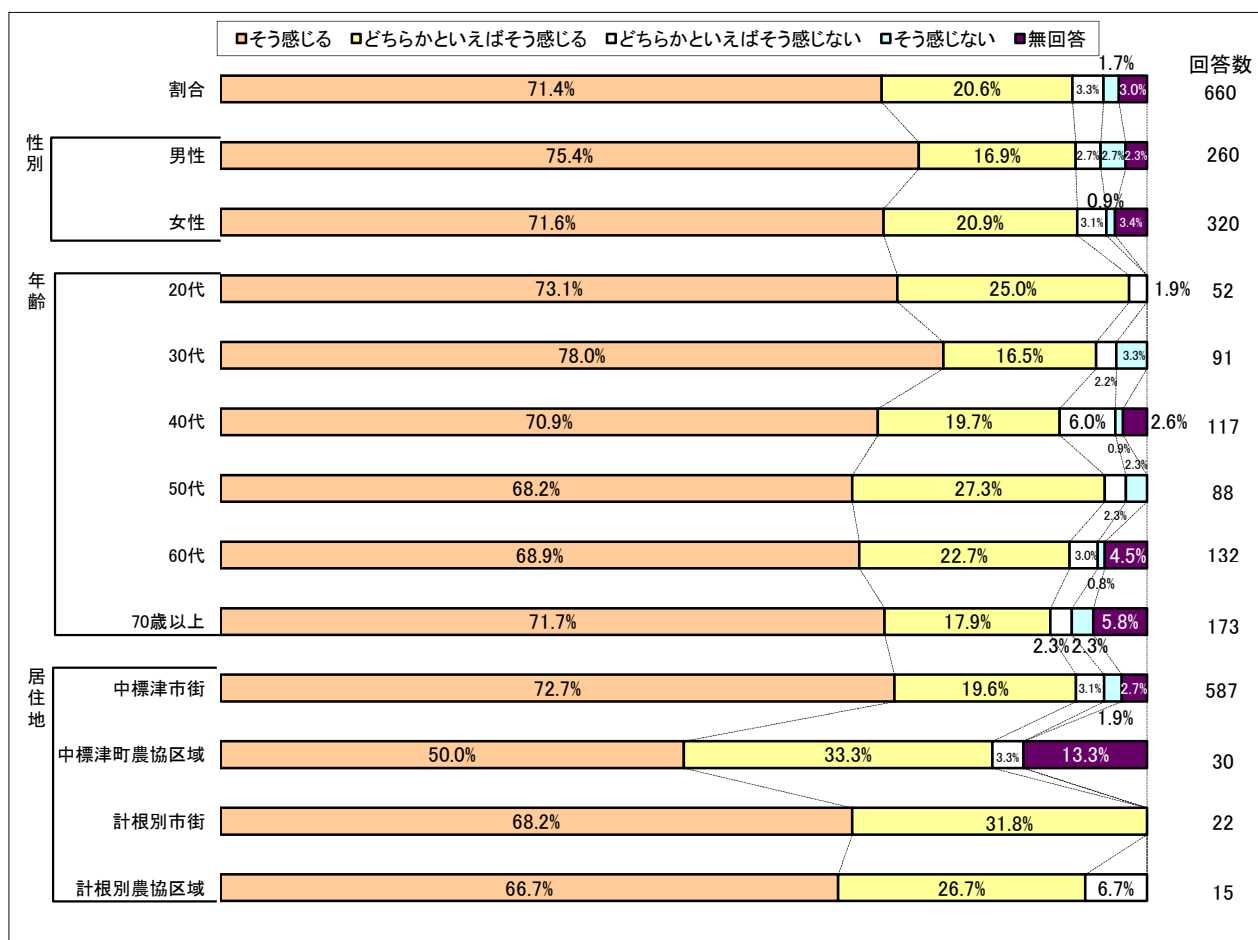
一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（3.3%）「そう感じない」（1.7%）の合計）は5.0%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が92.3%、女性が92.5%と女性が0.2ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は全ての年代が9割以上となっています。

居住地別で“そう感じる”人の割合は全ての居住地が8割以上となっています。【図表19参照】

図表19 安定して水道水が利用できているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

問15 墓地の施設に満足していますか。

● “満足している” が61.0%、“満足していない” が19.8%。

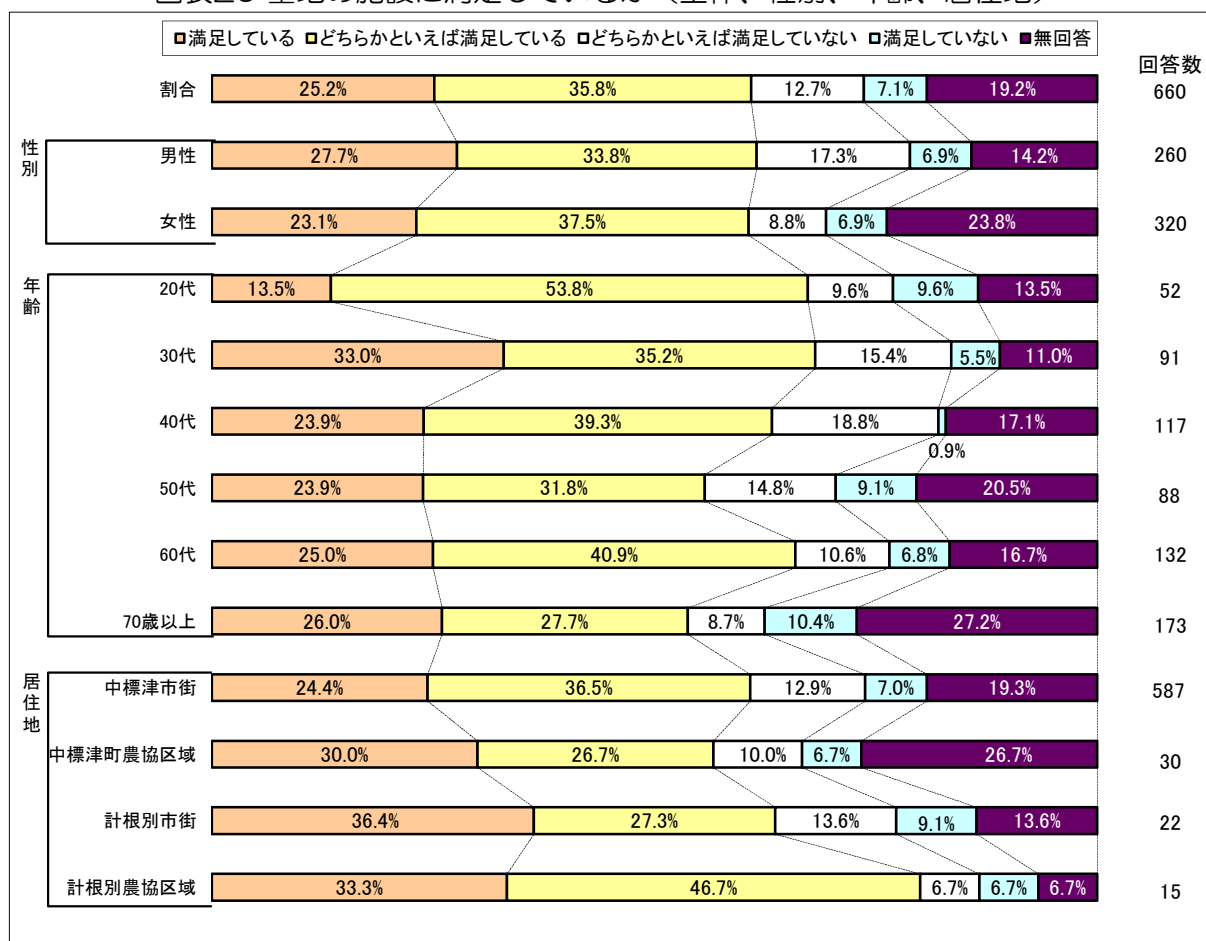
墓地の施設に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」（35.8%）、これに「満足している」（25.2%）をあわせた“満足している”という人が61.0%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（12.7%）「満足していない」（7.1%）の合計）は19.8%となっています。

性別で“満足している”人は男性（61.5%）、女性（60.6%）と男性が0.9ポイント上回っています。

年齢別の“満足している”人は、30代で68.2%となっていますが、70歳以上では53.7%と低くなっています。[図表20参照]

図表20 墓地の施設に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

問16 身近な生活環境のなかで、今後どのような施設の整備充実が必要だと思いますか。
【複数回答】

●「高齢者福祉施設」が第1位。次いで「道路の改良、舗装」の順。

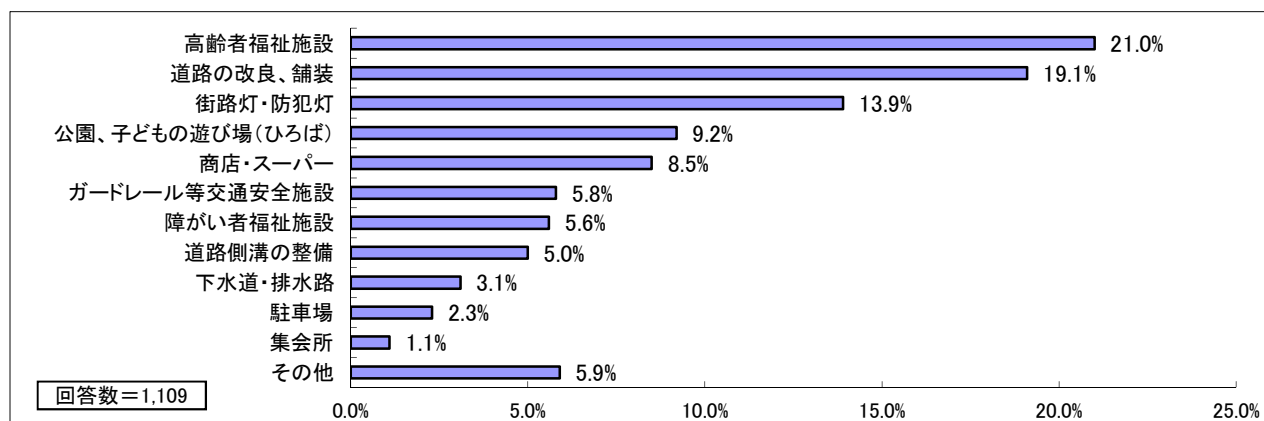
今後必要な施設整備についてたずねたところ、「高齢者福祉施設」（21.0%）が第1位に挙げられ、次いで、「道路の改良、舗装」（19.1%）、「街路灯・防犯灯」（13.9%）、「公園、子どもの遊び場（ひろば）」（9.2%）で続き、以下「商店・スーパー」（8.5%）、「ガードレール等交通安全施設」（5.8%）、「障がい者福祉施設」（5.6%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、20代が複数になっていますが、30代が「公園、子どもの遊び場（ひろば）」、40代が「街路灯・防犯灯」、50代が「道路の改良、舗装」、60代・70歳以上では「高齢者福祉施設」となっています。

また、居住地別の第1位は、全ての居住地で「高齢者福祉施設」となっています。

【図表21～22参照】

図表21 今後必要な施設整備について（全体／複数回答）



図表22 今後必要な施設整備について（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位		第2位		第3位	
		施設整備の項目	割合 (%)	施設整備の項目	割合 (%)	施設整備の項目	割合 (%)
年 齢	20代	商店・スーパー	17.6	街路灯・防犯灯 (同率1位)	17.6	同率複数のため省略	-
	30代	公園、子どもの遊び場	19.6	道路の改良、舗装	17.6	街路灯・防犯灯	12.4
	40代	街路灯・防犯灯	22.2	道路の改良、舗装	20.7	高齢者福祉施設	14.6
	50代	道路の改良、舗装	22.7	高齢者福祉施設	20.7	街路灯・防犯灯	15.3
	60代	高齢者福祉施設	27.4	道路の改良、舗装	17.8	街路灯・防犯灯	11.4
	70歳以上	高齢者福祉施設	30.7	道路の改良、舗装	19.2	同率複数のため省略	-
	計	高齢者福祉施設	40.9	道路の改良、舗装	13.6	同率複数のため省略	-
居 住 地	中標津市街	高齢者福祉施設	19.8	道路の改良、舗装	19.4	街路灯・防犯灯	14.5
	中標津町農協区域	高齢者福祉施設	33.3	道路の改良、舗装	25.0	街路灯・防犯灯	10.4
	計根別市街	高齢者福祉施設	24.4	障がい者福祉施設	14.6	同率複数のため省略	-
	計根別農協区域	高齢者福祉施設	40.9	道路の改良、舗装	13.6	同率複数のため省略	-

問17 お住まいの地域は「良好なまちなみ（住環境）である」と感じますか。

● “そう感じる” が72.6%、“そう感じない” が21.4%。

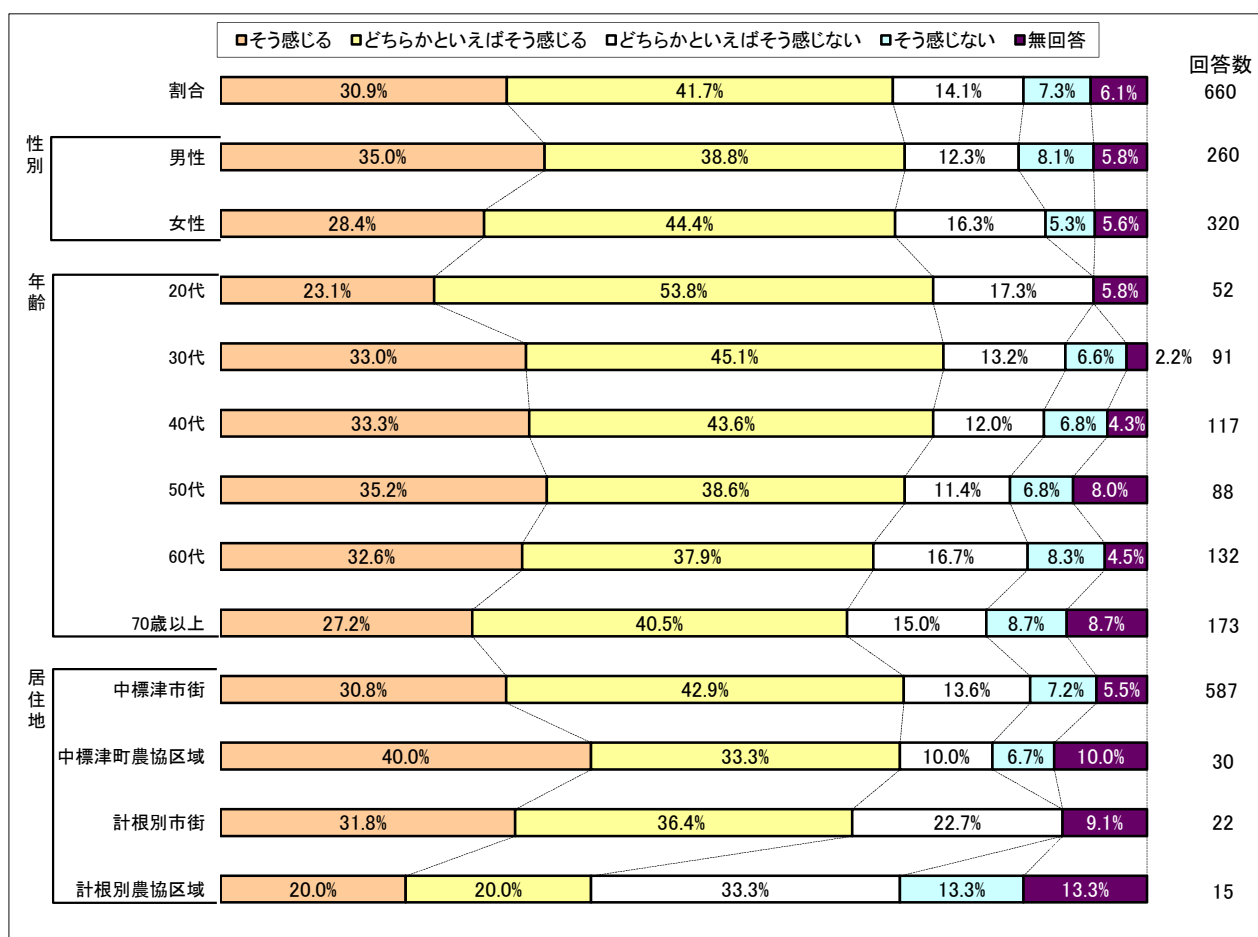
お住まいの地域は、良好なまちなみ（住環境）であると感じるかについてたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（41.7%）に「そう感じる」（30.9%）を合わせた“そう感じる”は72.6%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（14.1%）「そう感じない」（7.3%）の合計）は21.4%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が73.8%、女性が72.8%と男性が1.0ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は30代が78.1%と高くなっていますが、70歳以上では67.7%と低くなっています。[図表23参照]

図表23 住んでいる地域は良好なまちなみと感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

問18 地域の自然環境や生活環境を保全するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

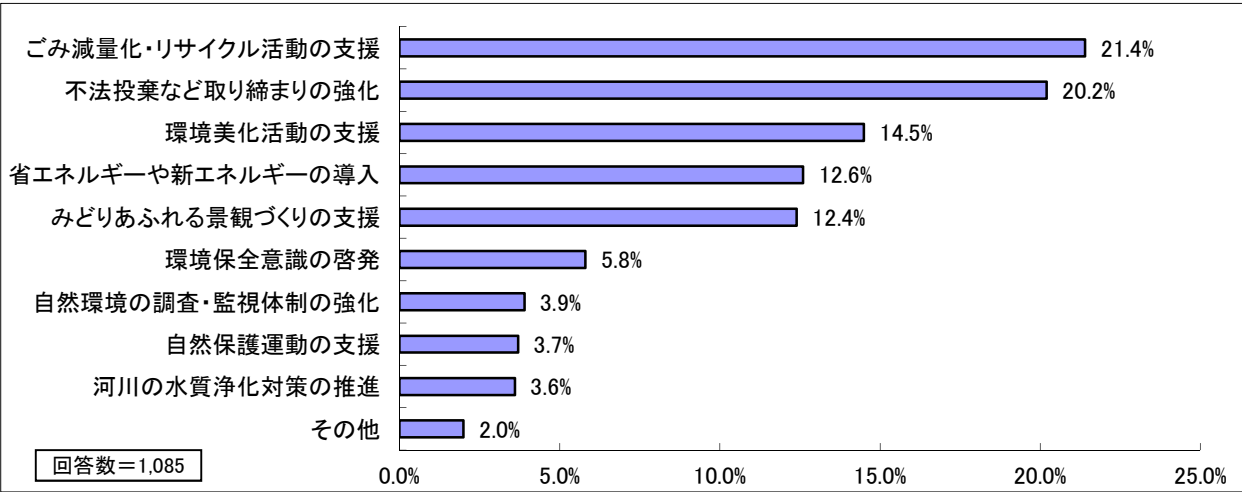
●「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」が第1位。「不法投棄など取り締まりの強化」が続く。

自然環境や生活環境を保全するために必要な取り組みについてたずねたところ、「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」（21.4％）が第1位に挙げられ、次いで「不法投棄など取り締まりの強化」（20.2％）、「環境美化活動の支援」（14.5％）、「省エネルギーや新エネルギーの導入」（12.6％）などの順となっています。

年齢別でみると20代・40代・50代は「不法投棄など取り締まりの強化」が第1位となっていますが、その他の年代では、「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」が第1位となっています。

[図表24～25参照]

図表24 自然環境や生活環境の保全について（全体／複数回答）



図表25 自然環境や生活環境の保全について（全体、年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
全	体	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 21.4	不法投棄など取り締まりの強化 20.2	環境美化活動の支援 14.5
		不法投棄など取り締まりの強化 23.9	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 22.7	環境美化活動の支援 13.6
年	20代	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 24.4	省エネルギーや新エネルギーの導入 18.8	同率複数のため省略
	30代	不法投棄など取り締まりの強化 23.0	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 19.9	省エネルギーや新エネルギーの導入 15.2
	40代	不法投棄など取り締まりの強化 22.5	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 16.2	みどりあふれる景観づくりの支援 (同率2位) 16.2
	50代	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 20.7	不法投棄など取り締まりの強化 19.8	環境美化活動の支援 15.8
	60代	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 23.6	不法投棄など取り締まりの強化 19.9	環境美化活動の支援 15.9
	70歳以上	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 21.2	不法投棄など取り締まりの強化 20.8	環境美化活動の支援 14.3
居住地	中標津市街	不法投棄など取り締まりの強化 23.4	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 21.3	同率複数のため省略
	中標津町農協区域	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 25.7	環境美化活動の支援 20.0	省エネルギーや新エネルギーの導入 (同率2位) 20.0
	計根別市街	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 26.9	環境美化活動の支援 19.2	同率複数のため省略
	計根別農協区域			-

問19 日常生活でインターネットなどを活用していますか。

● “活用している” が61.1%、“活用していない” が37.9%。

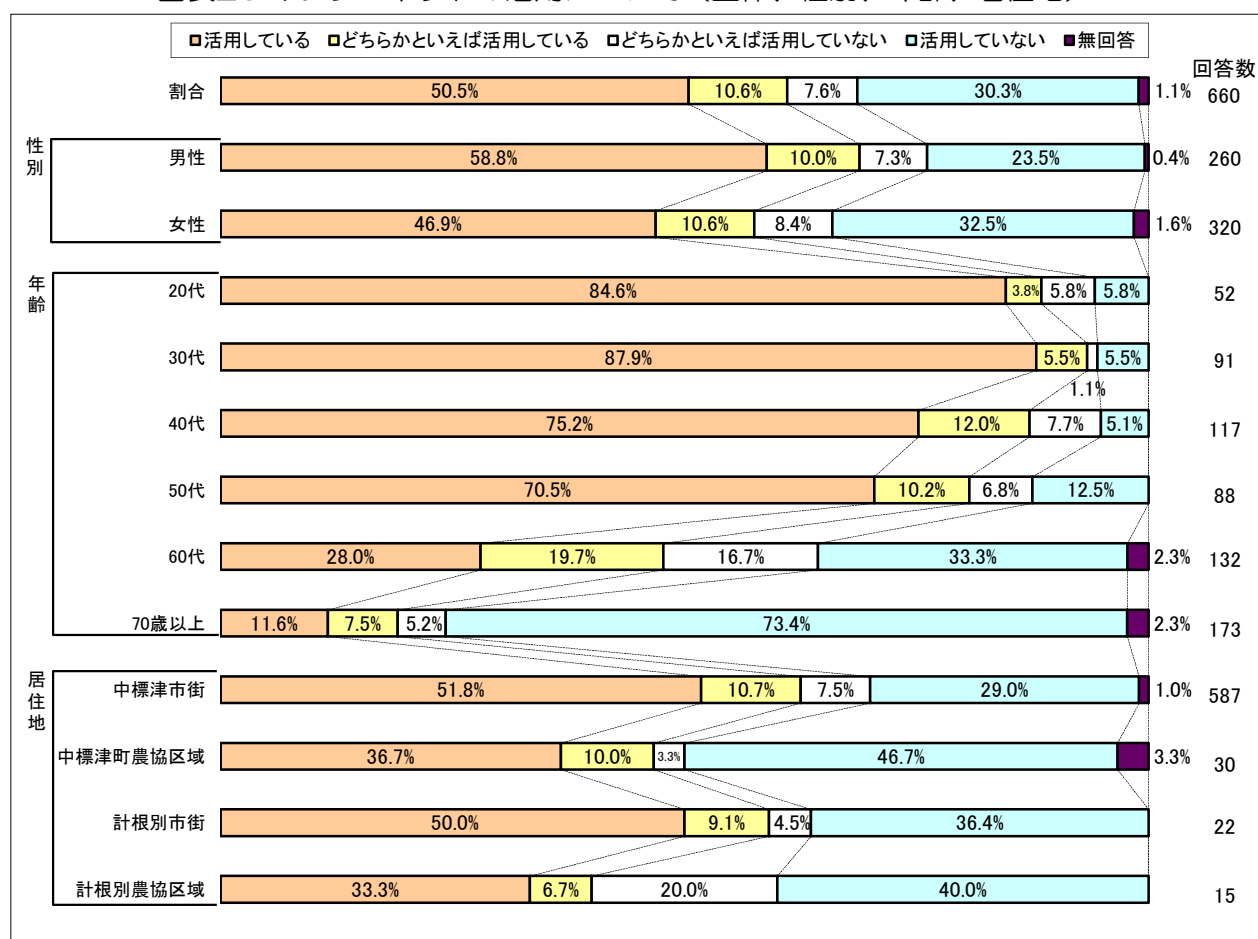
日常生活でインターネットなどを活用しているかたずねたところ、「活用している」（50.5%）に「どちらかといえば活用している」（10.6%）を合わせた61.1%の人が“活用している”と回答しています。

一方、“活用していない”（「活用していない」（30.3%）「どちらかといえば活用していない」（7.6%）の合計）人は37.9%となっています。

性別で“活用している”人は男性が68.8%、女性が57.5%と男性が11.3ポイント上回っています。

年齢別ではインターネットを活用している人は、ほとんどが8割を超えていますが、一方で60代で約4割、70歳以上では約2割以下と低くなっています。【図表26参照】

図表26 インターネットの活用について（全体、性別、年齢、居住地）



問20 インターネットを活用した社会に対応するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

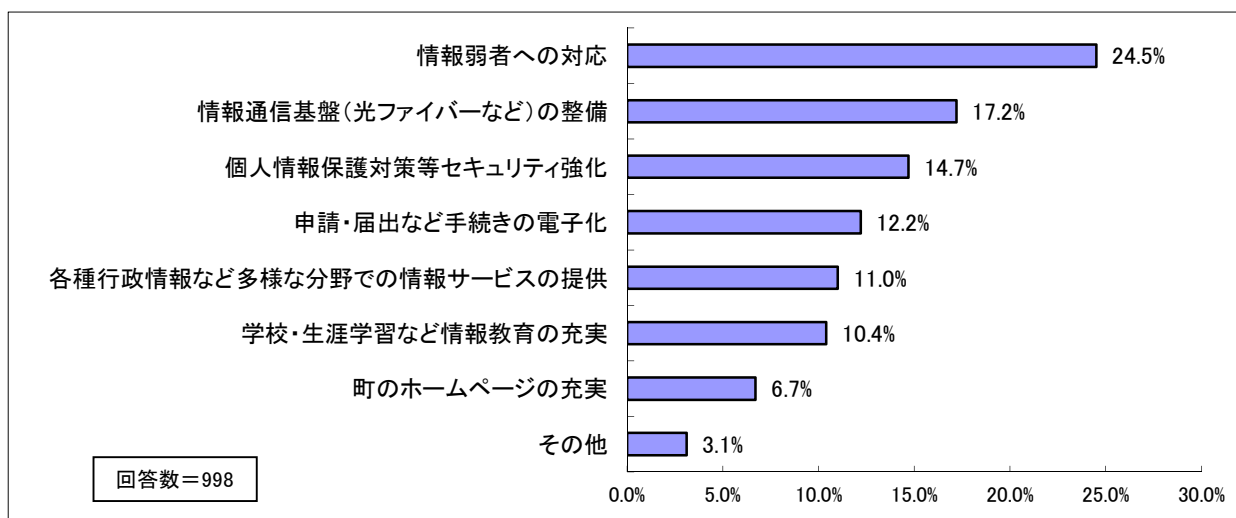


●「情報弱者への対応」が第1位。次いで「情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備」、「個人情報保護対策等セキュリティ強化」の順。

インターネットを活用した社会に対応するため、今後の必要な取り組みについてたずねたところ、「情報弱者への対応」（24.5%）が第1位に挙げられ、次いで「情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備」（17.2%）、「個人情報保護対策等セキュリティ強化」（14.7%）、「申請・届出など手続きの電子化」（12.2%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、20代・30代・40代で「情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備」となり、その他の世代では「情報弱者への対応」となっています。[図表27～28参照]

図表27 インターネット活用に対する今後の取組みについて（全体／複数回答）



図表28 インターネット活用に対する今後の取組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備 27.4	申請・届出など手続きの電子化 22.1	情報弱者への対応 13.7
	30代	情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備 22.4	学校・生涯学習など情報教育の充実 17.0	申請・届出など手続きの電子化 16.4
	40代	情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備 25.3	情報弱者への対応 16.7	個人情報保護対策等セキュリティ強化 15.2
	50代	情報弱者への対応 23.8	情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備 16.8	申請・届出など手続きの電子化 （同率2位）16.8
	60代	情報弱者への対応 32.3	個人情報保護対策等セキュリティ強化 17.7	各種行政情報など多様な分野での情報サービスの提供 12.6
	70歳以上	情報弱者への対応 38.7	各種行政情報など多様な分野での情報サービスの提供 15.2	個人情報保護対策等セキュリティ強化 14.7
居 住 地	中標津市街	情報弱者への対応 24.5	情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備 15.8	個人情報保護対策等セキュリティ強化 （同率2位）15.8
	中標津町農協区域	情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備 30.3	情報弱者への対応 27.3	同率複数のため省略 -
	計根別市街	情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備 39.4	情報弱者への対応 21.2	申請・届出など手続きの電子化 15.2
	計根別農協区域	情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備 27.3	情報弱者への対応 22.7	町のホームページの充実 18.2

問21 日頃から家庭で災害（地震や風雪災害など）への備えをしていますか。

● “している” が46.9%、“していない” が51.9%。

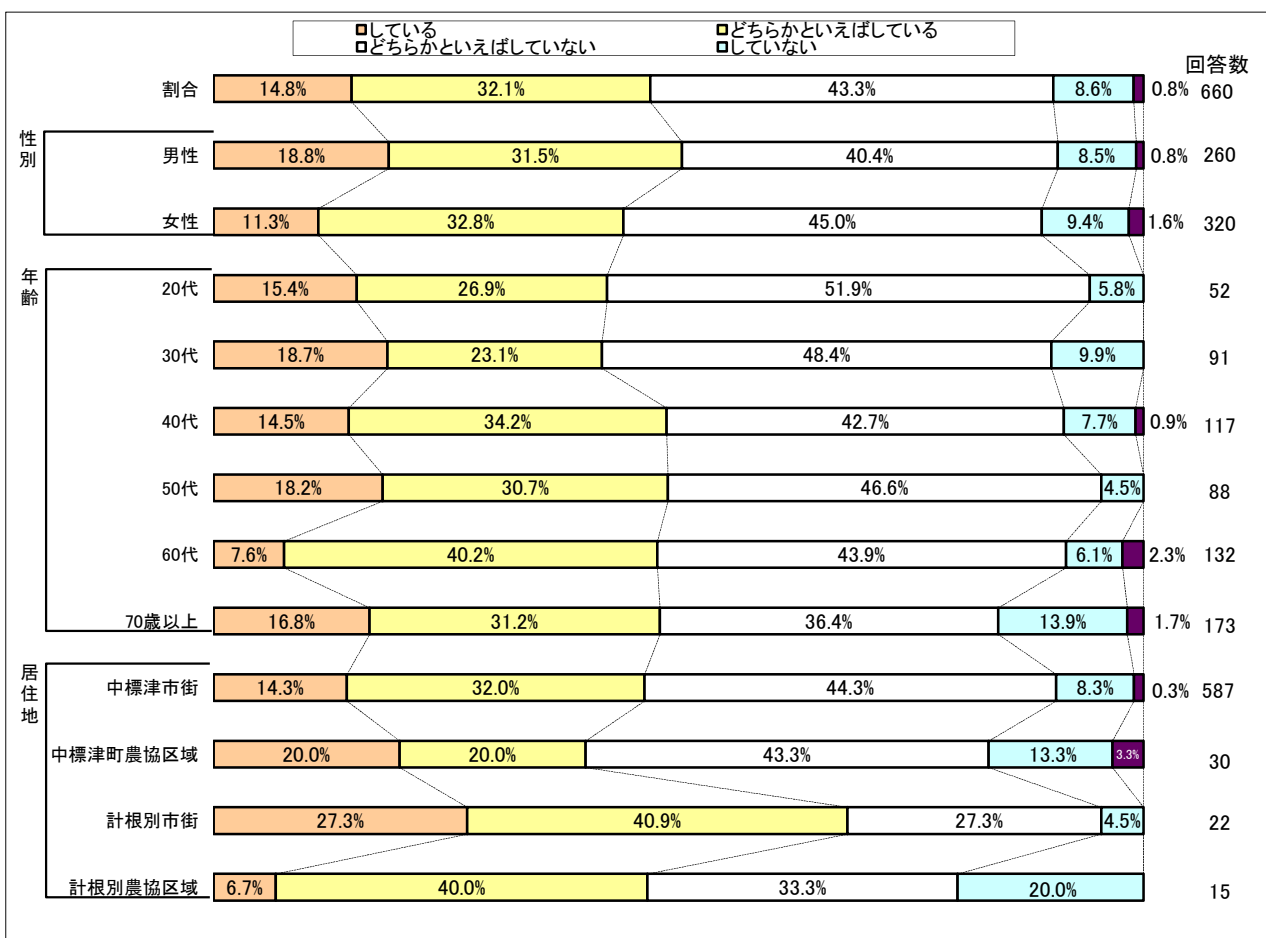
日頃から家庭で災害への備えをしているかたずねたところ、「どちらかといえばしている」（32.1%）に「している」（14.8%）を合わせた“している”人の割合は46.9%となっています。

一方、“していない”（「あまりしていない」（43.3%）「していない」（8.6%）の合計）は51.9%となっています。

性別で“している”人の割合は男性が50.3%、女性が44.1%と男性が6.2ポイント上回っています。

年齢別では全ての年代で約4割となっています。[図表29参照]

図表29 日頃から家庭で災害への備えをしているか（全体、性別、年齢、居住地）



問22 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか。

● “参加している” が21.5%、“参加していない” が76.5%。

地域や企業などの防犯活動に参加しているかたずねたところ、「たまに参加している」（12.9%）に「参加している」（8.6%）を合わせた“参加している”人は21.5%となっています。

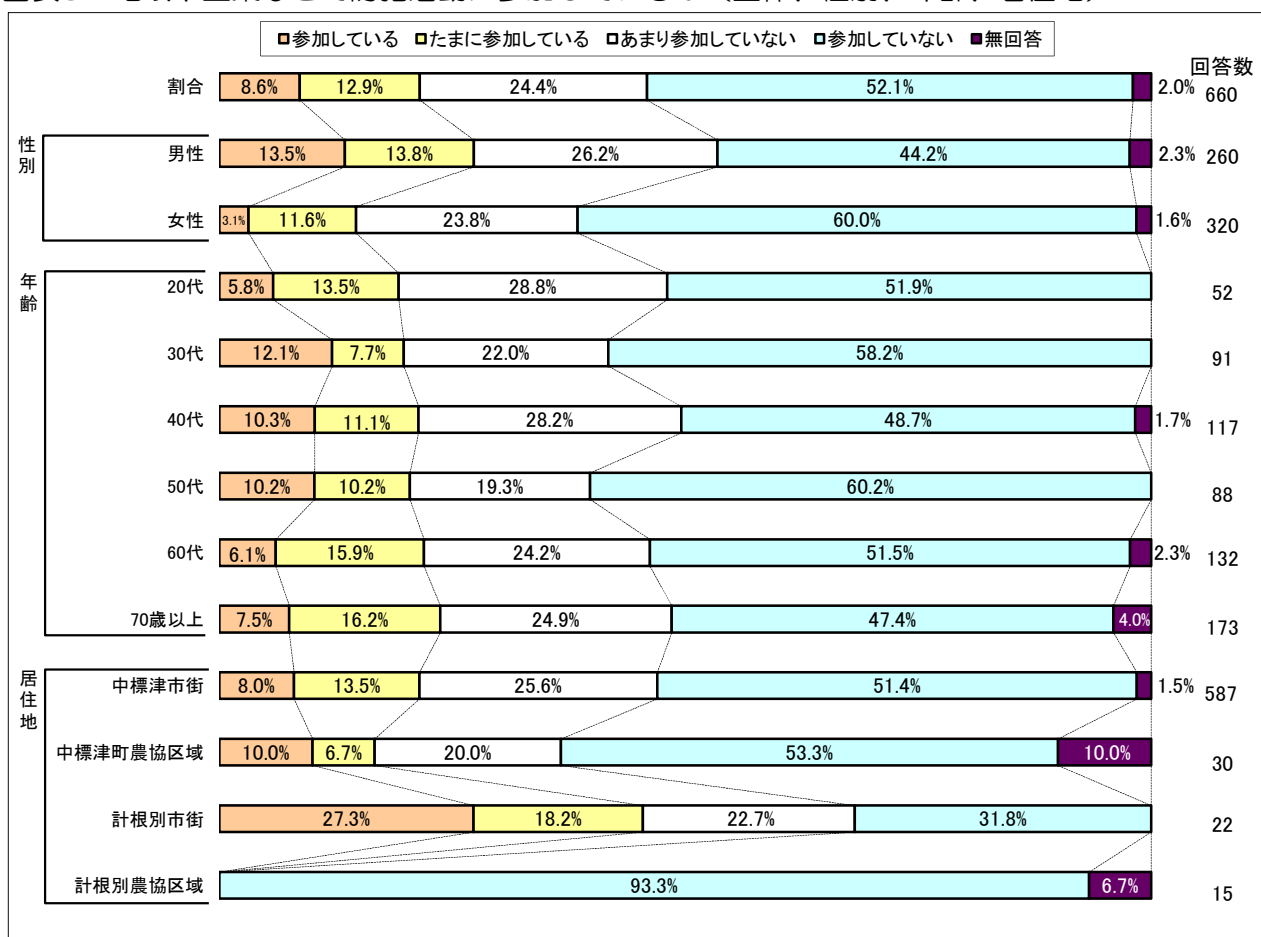
一方、“参加していない”（「参加していない」（52.1%）「あまり参加していない」（24.4%）の合計）は76.5%となっています。

性別で“参加している”人の割合は男性が27.3%、女性が14.7%と男性が12.6ポイント上回っています。

年齢別で“参加している”人の割合は、全ての年代で約2割と低くなっています。

[図表30参照]

図表30 地域や企業などで防犯活動に参加しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問23 町の消防・防災対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
【複数回答】



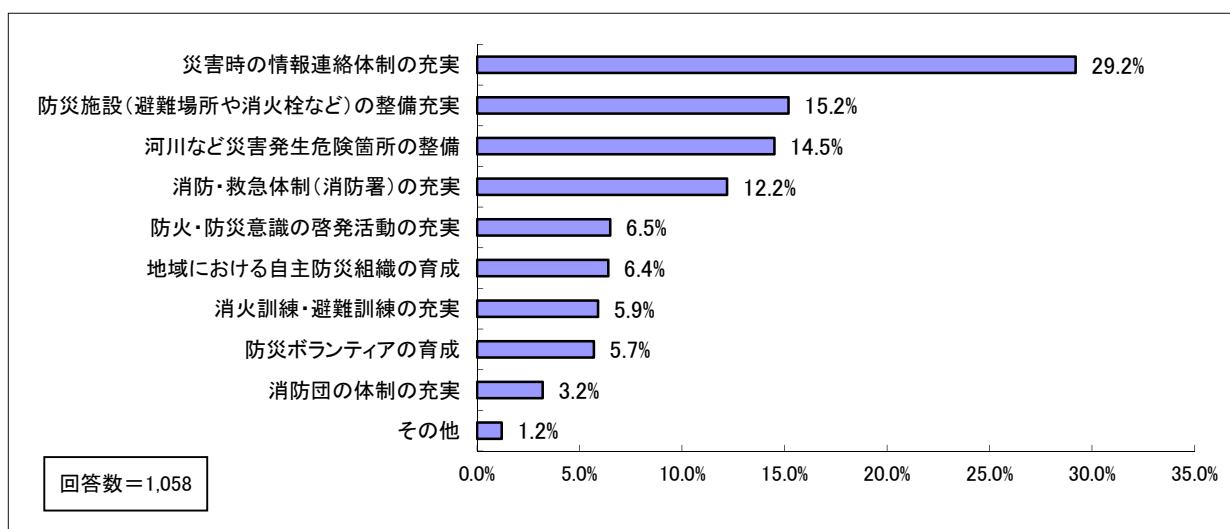
●「災害時の情報連絡体制の充実」が第1位。次いで「防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実」、「河川など災害発生危険箇所の整備」の順。

消防・防災対策について、今後の必要な取り組みをたずねたところ、「災害時の情報連絡体制の充実」（29.2%）が第1位に挙げられ、次いで「防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実」（15.2%）、「河川など災害発生危険箇所の整備」（14.5%）、「消防・救急体制（消防署）の充実」（12.2%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、全ての世代において「災害時の情報連絡体制の充実」となっています。

[図表31～32参照]

図表31 消防・防災対策の今後の取り組みについて（全体／複数回答）



図表32 消防・防災対策の今後の取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	災害時の情報連絡体制の充実 28.6	河川など災害発生危険箇所の整備 14.3	同率複数のため省略 -
	30代	災害時の情報連絡体制の充実 30.5	防災施設の整備充実 16.6	河川など災害発生危険箇所の整備 15.2
	40代	災害時の情報連絡体制の充実 29.4	防災施設の整備充実 16.1	河川など災害発生危険箇所の整備 15.6
	50代	災害時の情報連絡体制の充実 29.5	河川など災害発生危険箇所の整備 19.9	防災施設の整備充実 13.0
	60代	災害時の情報連絡体制の充実 29.7	防災施設の整備充実 16.9	河川など災害発生危険箇所の整備 14.2
	70歳以上	災害時の情報連絡体制の充実 27.8	消防・救急体制の充実 16.2	防災施設の整備充実 14.3
居 住 地	中標津市街	災害時の情報連絡体制の充実 29.6	防災施設の整備充実 15.4	河川など災害発生危険箇所の整備 15.0
	中標津町農協区域	災害時の情報連絡体制の充実 28.6	消防・救急体制の充実 21.4	防災施設の整備充実 11.9
	計根別市街	災害時の情報連絡体制の充実 22.9	防災施設の整備充実 20.0	同率複数のため省略 -
	計根別農協区域	災害時の情報連絡体制の充実 25.0	消防・救急体制の充実 20.8	同率複数のため省略 -

問24 消費生活に関する相談窓口が役場にあることを知っていますか。

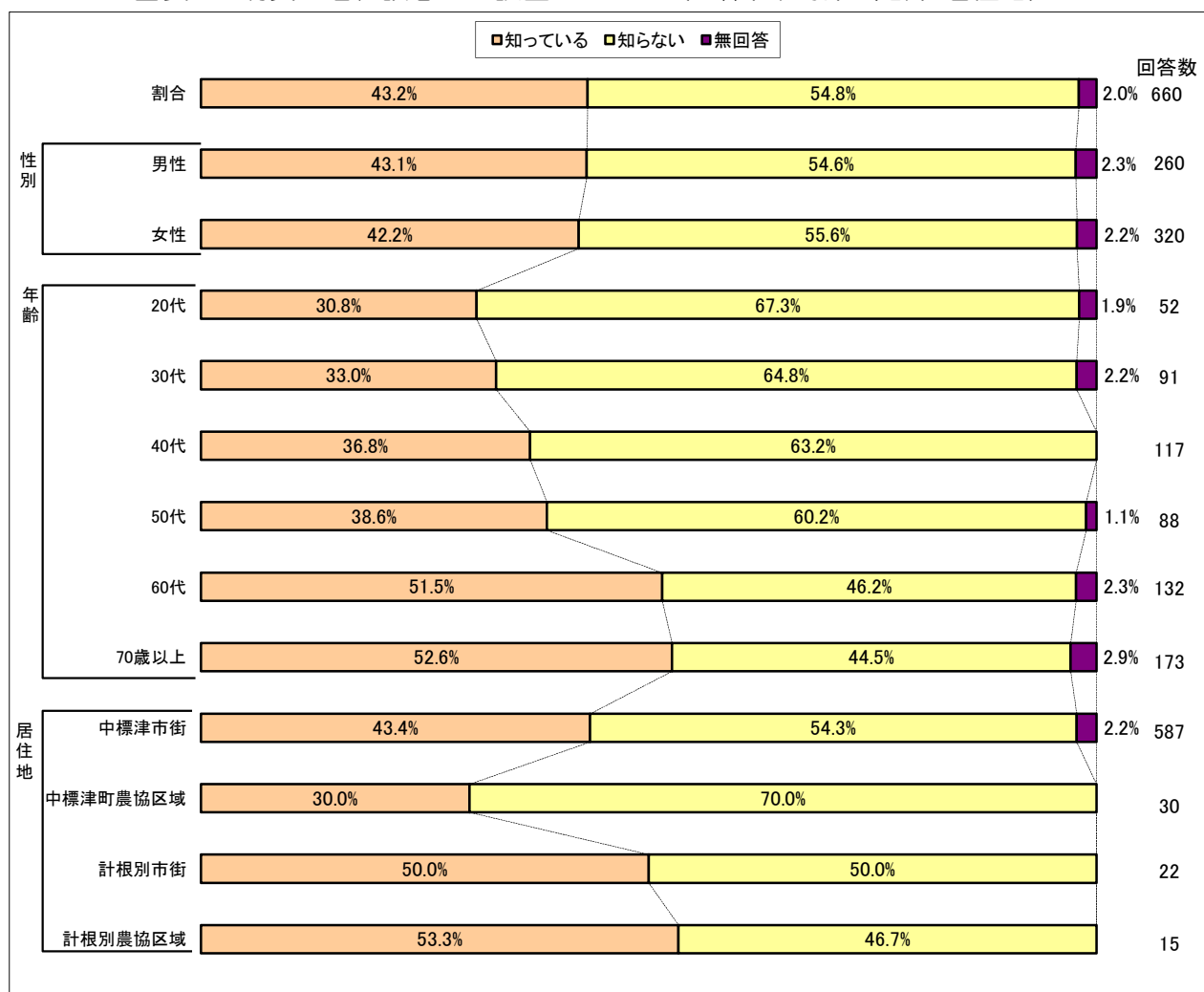
●「知っている」が43.2%。「知らない」が54.8%。

消費生活相談の窓口が役場にあることを知っているかたずねたところ、「知っている」と回答した人は43.2%となっているのに対し「知らない」と回答した人は54.8%と知らない人が上回っています。

性別で「知っている」と回答した人は男性が43.1%、女性は42.2%と男性が0.9ポイント上回っています。

年齢別では60代、70歳以上では5割を超える人が知っていますが、他の年代では約3割と低くなっています。[図表33参照]

図表33 消費生活相談窓口の設置について（全体、性別、年齢、居住地）



問25 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。

● “そう感じる” が39.9%、“そう感じない” が51.6%。

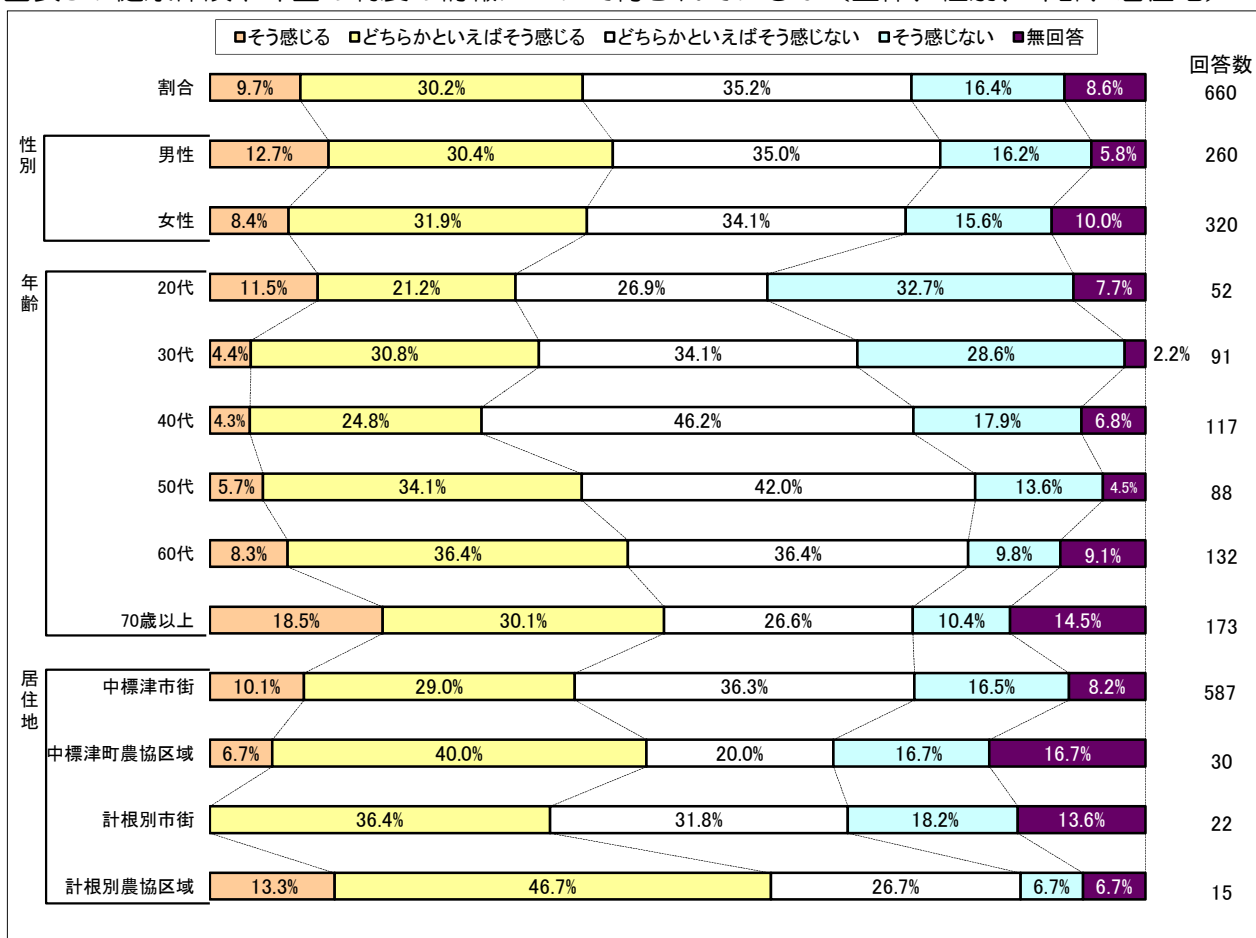
健康保険や年金の制度に関し、知りたい情報を得られているかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（30.2%）これに「そう感じる」（9.7%）をあわせた“そう感じる”という人が39.9%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（35.2%）、「そう感じない」（16.4%）の合計）は51.6%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が43.1%、女性が40.3%と男性が2.8ポイント上回っています。

年齢別で“そう感じる”人が多いのは70歳以上で48.6%となっていますが、40代では、29.1%と低くなっています。[図表34参照]

図表34 健康保険や年金の制度の情報について得られているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

(3) 環境問題への取り組みについて

問26 日頃から環境問題（温暖化、省エネルギー、ごみ減量など）について意識していますか。

● “意識している” が82.5%、“意識していない” が15.3%。

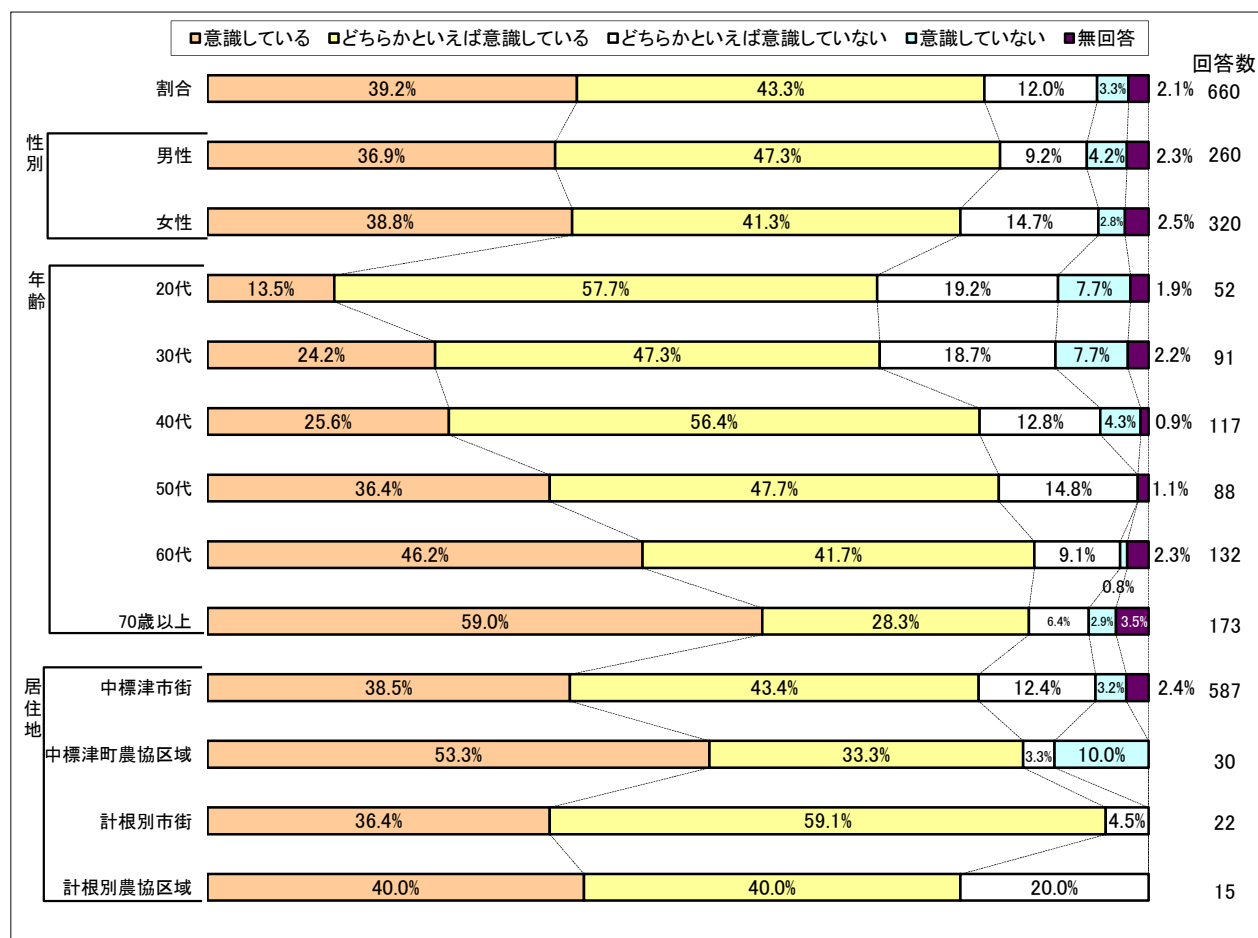
環境問題への取り組みについてたずねたところ、「どちらかといえば意識している」（43.3%）これに「意識している」（39.2%）をあわせた“意識している”という人が82.5%となっています。

一方、“意識していない”（「どちらかといえば意識していない」（12.0%）、「意識していない」（3.3%）の合計）は15.3%となっています。

性別で“意識している”人の割合をみると男性が84.2%、女性が80.1%と男性が4.1ポイント上回っています。

年齢別の“意識している”人の割合は60代が87.9%と高くなっていますが、20代は71.2%となっています。[図表35参照]

図表35 環境問題について意識しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問27 3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。

● “している” が69.2%、 “していない” が27.5%。

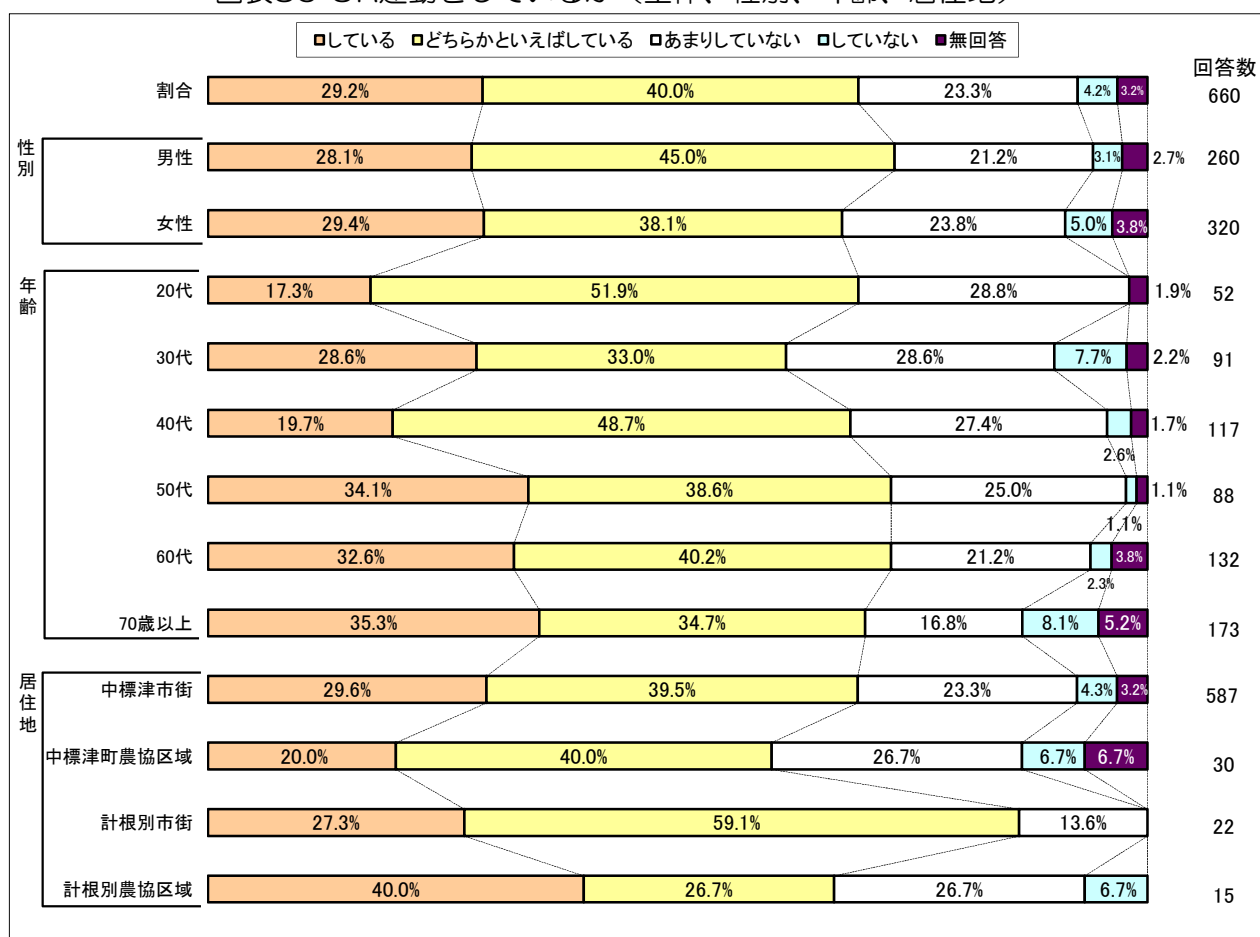
3R運動（リデュース・リユース・リサイクル）をしているかたずねたところ、「どちらかといえばしている」（40.0%）これに「している」（29.2%）をあわせた“している”という人は69.2%となっています。

一方、“していない”（「あまりしていない」（23.3%）、「していない」（4.2%）の合計）は27.5%となっています。

性別で“している”人の割合は男性が73.1%、女性が67.5%と男性が5.6ポイント上回っています。

年齢別の“している”人の割合は60代が72.8%と高くなっていますが、30代は61.6%と低くなっています。[図表36参照]

図表36 3R運動をしているか（全体、性別、年齢、居住地）



(4) 産業振興について

問28 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか。

● “そう感じる” が72.5%、“そう感じない” が22.9%。

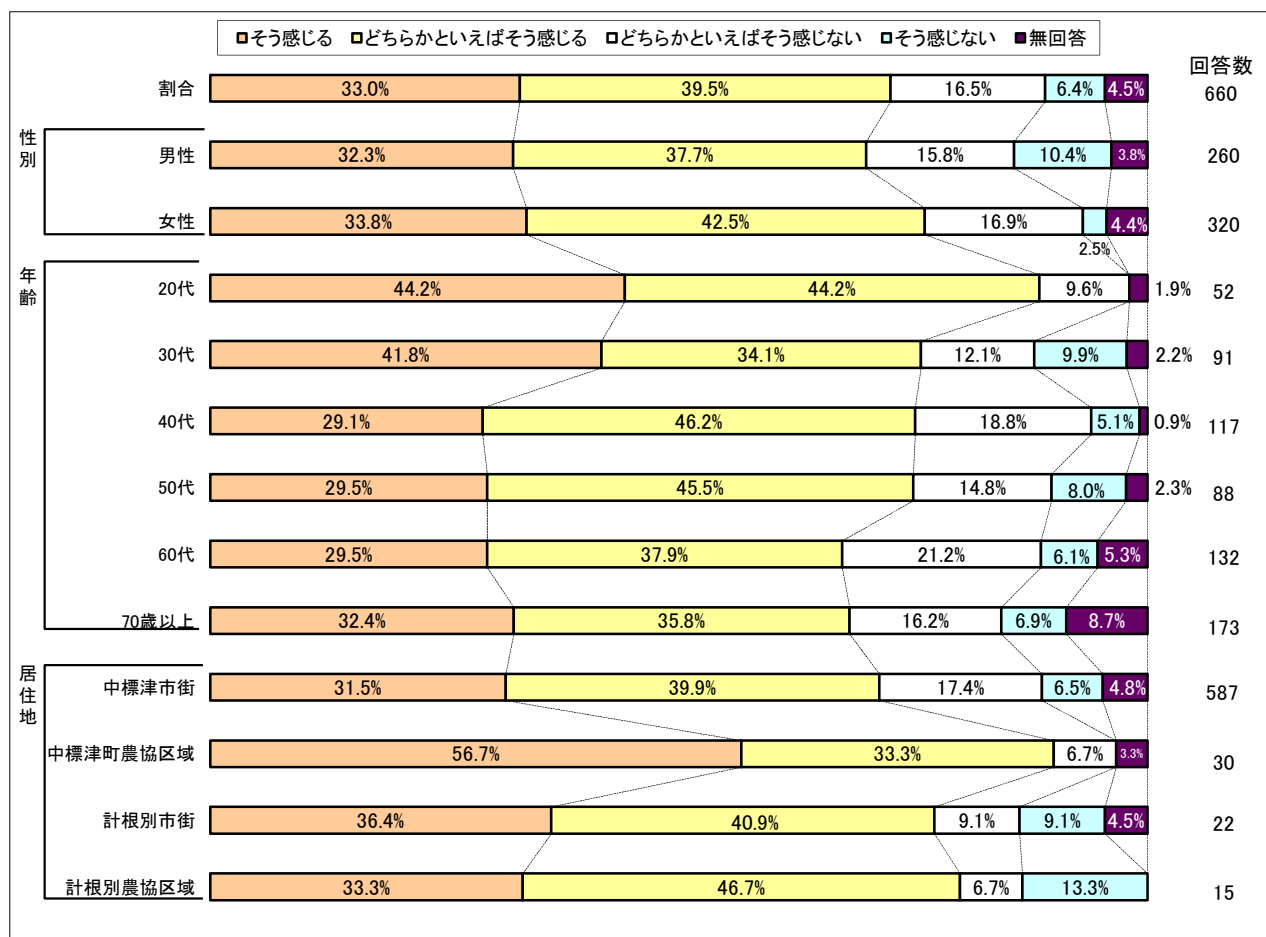
地元の農畜産物を身近に感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（39.5%）これに「そう感じる」（33.0%）をあわせた“そう感じる”人は72.5%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（16.5%）、「そう感じない」（6.4%）の合計）人は22.9%となっています。

性別で“そう感じる”人をみると男性が70.0%、女性が76.3%と女性が6.3ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合はすべての年齢層で6割を超えています、20代が一番多く88.4%となっています。[図表37参照]

図表37 地元の農畜産物を身近に感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

問29 森林づくり活動（植樹、下刈・枝打ち体験等）に参加していますか。

● “参加している” が8.2%、“参加していない” 89.7%。

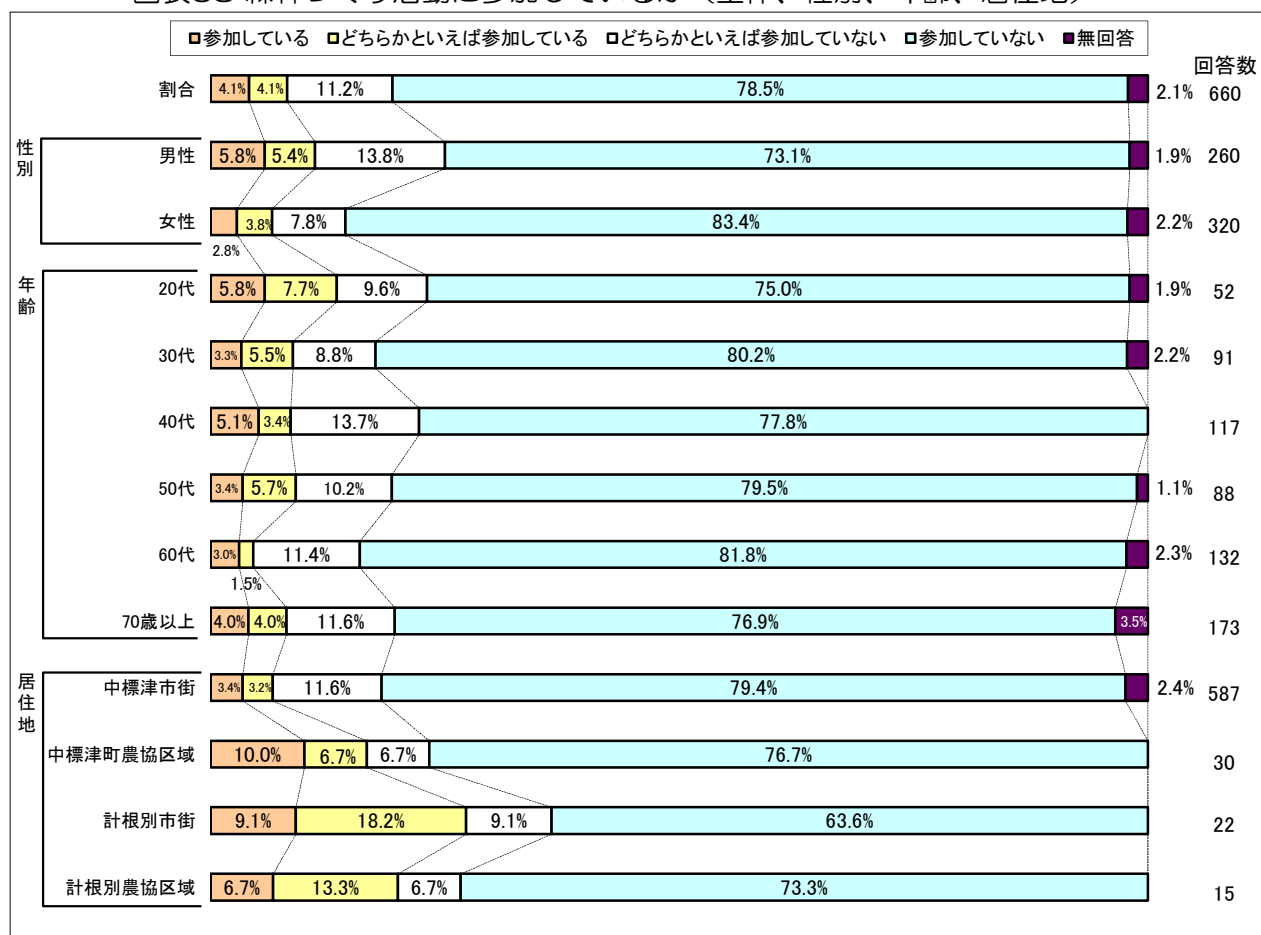
森林づくり活動に参加しているかたずねたところ、「どちらかといえば参加している」（4.1%）これに「参加している」（4.1%）をあわせた“参加している”人は8.2%となっています。

一方、“参加していない”（「参加していない」（78.5%）、「どちらかといえば参加していない」（11.2%）の合計）は89.7%となっています。

性別で“参加している”人は男性が11.2%、女性が6.6%と男性が4.6ポイント上回っています。

年齢別の“参加している”人の割合は20代が13.5%となっていますが、他の年代では1割未満となっています。[図表38参照]

図表38 森林づくり活動に参加しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問30 地元で買い物することを意識していますか。

● “意識している” が78.7%、“意識していない” が19.2%。

地元で買い物することを意識しているかたずねたところ、「意識している」（50.2%）これに「どちらかといえば意識している」（28.5%）をあわせた“意識している”という人が78.7%となっています。

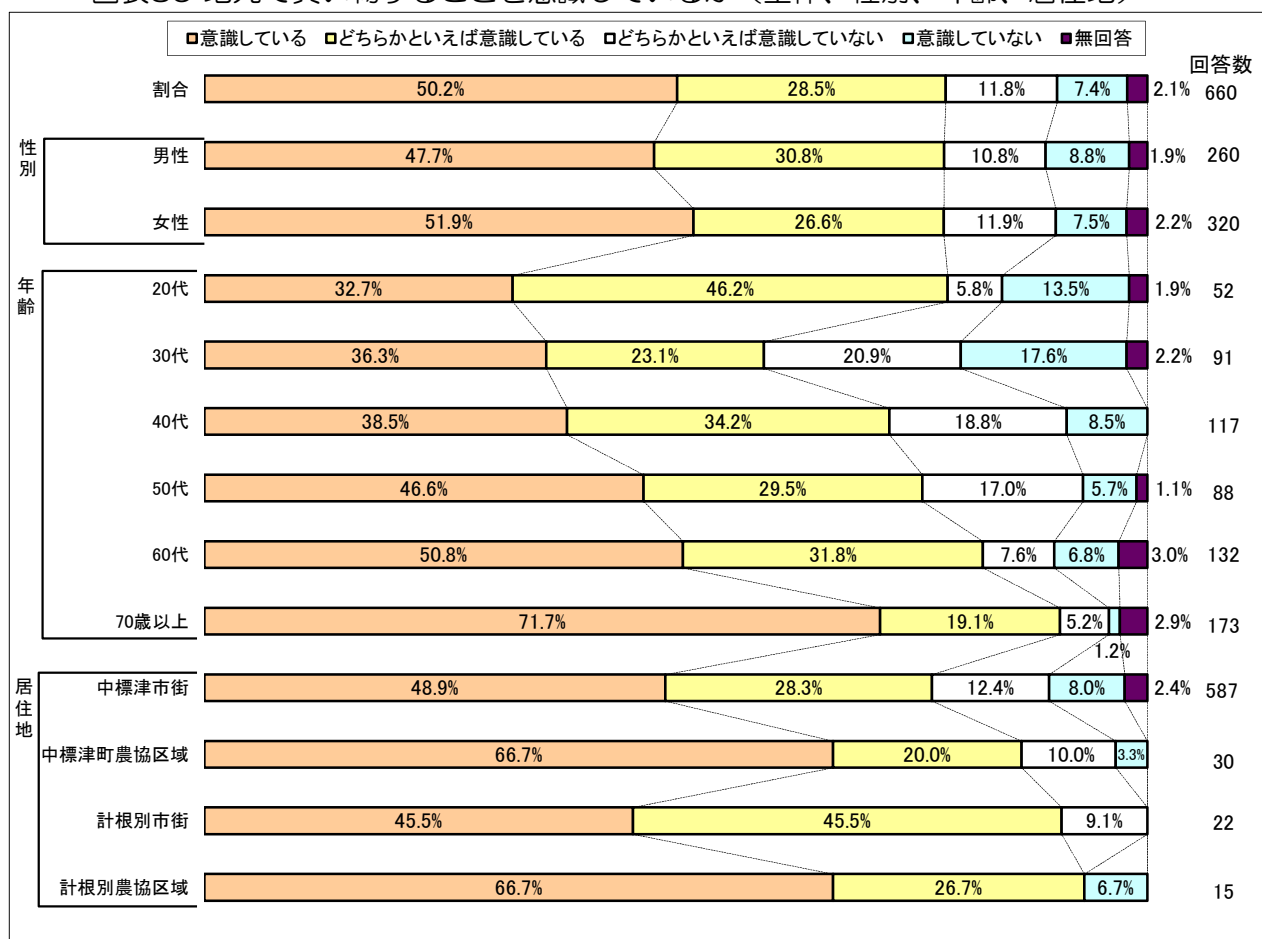
一方、“意識していない”（「どちらかといえば意識していない」（11.8%）、「意識していない」（7.4%）の合計）は19.2%となっています。

性別で“意識している”人の割合は男性が78.5%、女性が78.5%と同率となっています。

年齢別の“意識している”人の割合は70歳以上では90.8%となっていますが、30代は59.4%となっています。

居住地別の“意識している”人の割合は計根別農協区域が93.4%となっていますが、中標津市街の人は77.2%となっています。[図表39参照]

図表39 地元で買い物することを意識しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問31 町の商業振興について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
【複数回答】

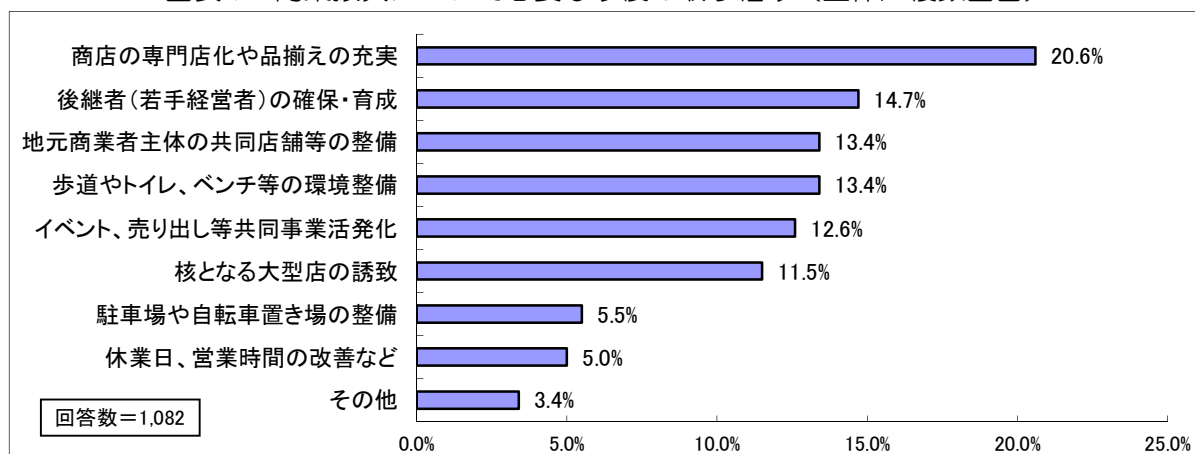
●「商店の専門店化や品揃えの充実」が第1位。次いで「後継者（若手経営者）の確保・育成」、「地元商業者主体の共同店舗等の整備」が続く。

町の商業振興について、今後の必要な取り組みをたずねたところ、「商店の専門店化や品揃えの充実」（20.6%）が第1位に挙げられ、次いで「後継者（若手経営者）の確保・育成」（14.7%）、同率で「地元商業者主体の共同店舗等の整備」、「歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備」（13.4%）、「イベント、売り出し等共同事業活発化」（12.6%）などの順となっています。

年齢別では、20代で「核となる大型店の誘致」、他の年代では「商店の専門店化や品揃えの充実」が第1位となっています。

また、居住地別の第1位は、中標津市街では「商店の専門店化や品揃えの充実」、計根別市街では「後継者（若手経営者）の確保・育成」となっています。【図表40～41参照】

図表40 商業振興について必要な今後の取り組み（全体／複数回答）



図表41 商業振興について必要な今後の取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
		割合	割合	割合
年 齢	20代	核となる大型店の誘致 22.6	商店の専門店化や品揃えの充実 18.3	歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備 15.1
	30代	商店の専門店化や品揃えの充実 18.3	核となる大型店の誘致 17.6	イベント、売り出し等共同事業活発化 14.4
	40代	商店の専門店化や品揃えの充実 20.3	後継者の確保・育成 15.7	同率複数のため省略 -
	50代	商店の専門店化や品揃えの充実 28.4	地元商業者主体の共同店舗等の整備 16.3	後継者の確保・育成 13.5
	60代	商店の専門店化や品揃えの充実 19.9	地元商業者主体の共同店舗等の整備 17.6	同率複数のため省略 -
	70歳以上	商店の専門店化や品揃えの充実 19.7	後継者の確保・育成 17.2	同率複数のため省略 -
	計	20.7	14.0	13.8
居 住 地	中標津市街	商店の専門店化や品揃えの充実 20.7	後継者の確保・育成 14.0	歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備 13.8
	中標津町農協区域	商店の専門店化や品揃えの充実 27.7	地元商業者主体の共同店舗等の整備 14.9	後継者の確保・育成 (同率2位) 14.9
	計根別市街	後継者の確保・育成 23.1	地元商業者主体の共同店舗等の整備 15.4	商店の専門店化や品揃えの充実 12.8
	計根別農協区域	後継者の確保・育成 21.7	商店の専門店化や品揃えの充実 17.4	地元商業者主体の共同店舗等の整備 (同率2位) 17.4

問32 まちの観光資源（景観、場所、食、イベントなど）に満足していますか。

● “満足している” が52.4%、“満足していない” が38.9%。

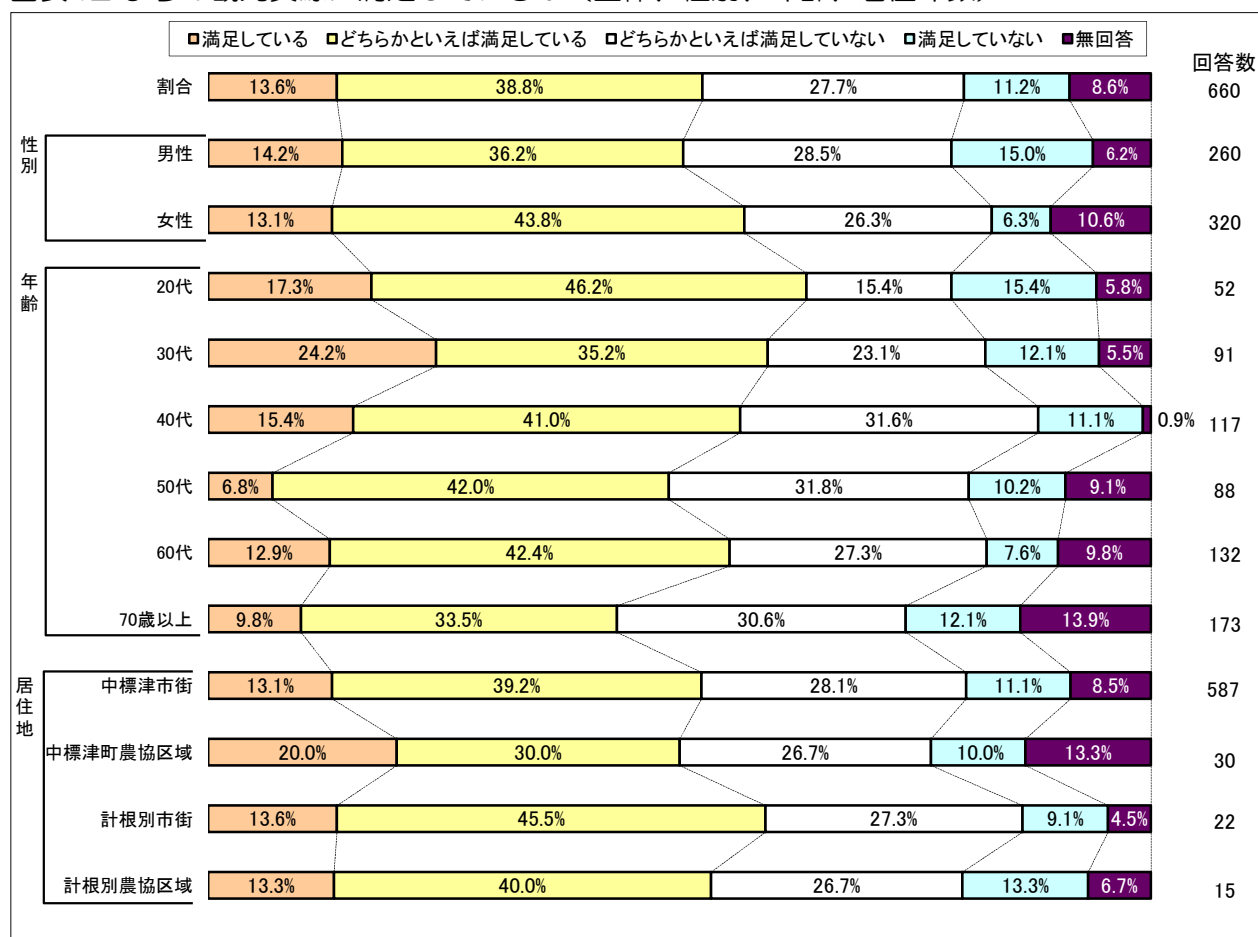
まちの観光資源に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」（38.8%）これに「満足している」（13.6%）をあわせた“満足している”人は52.4%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（27.7%）、「満足していない」（11.2%）の合計）は38.9%となっています。

性別で“満足している”人の割合は男性が50.4%、女性が56.9%と女性の方が6.5ポイント高くなっています。

年齢別の“満足している”人の割合は20代が63.5%となっていますが、70歳以上では43.3%となっています。[図表42参照]

図表42 まちの観光資源に満足しているか（全体、性別、年齢、居住年数）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

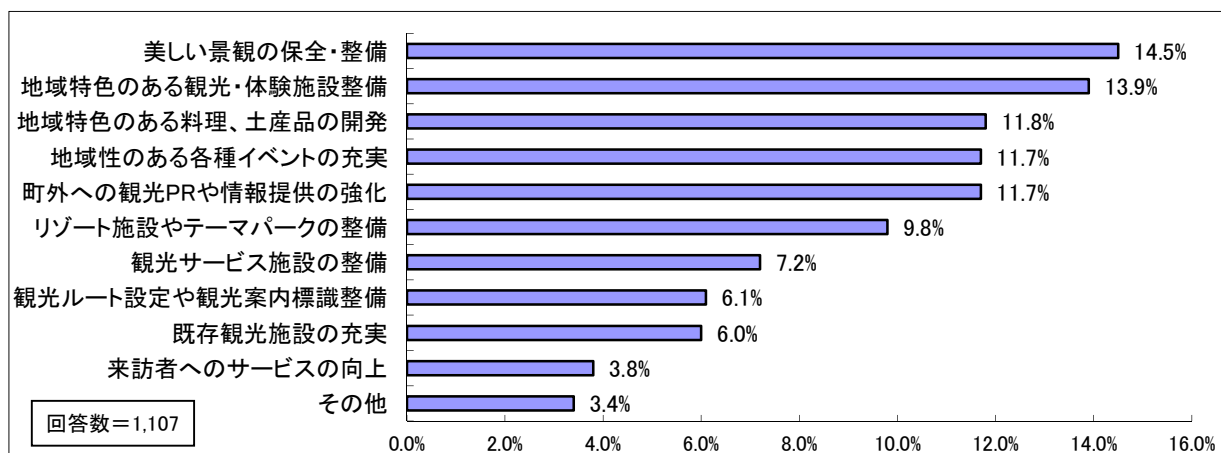
問33 町の観光を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

●「美しい景観の保全・整備」が第1位。次いで「地域特色のある観光・体験施設整備」、「地域特色のある料理、土産品の開発」の順。

町の観光振興について、今後どのようなことに力を入れるべきかたずねたところ、「美しい景観の保全・整備」（14.5%）が第1位に挙げられ、次いで「地域特色のある観光・体験施設整備」（13.9%）、「地域特色のある料理、土産品の開発」（11.8%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、20代が「リゾート施設やテーマパークの整備」、40代、50代、70歳以上が、「美しい景観の保全・整備」となっています。[図表43～44参照]

図表43 観光振興のために今後特に力を入れること（全体／複数回答）



図表44 観光振興のために今後特に力を入れること（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	リゾート施設やテーマパークの整備 23.4	美しい景観の保全・整備 14.9	地域性のある各種イベントの充実 13.8
	30代	地域特色のある観光・体験施設整備 17.2	町外への観光PRや情報提供の強化 15.9	リゾート施設やテーマパークの整備 14.0
	40代	美しい景観の保全・整備 14.1	地域特色のある観光・体験施設整備 (同率1位) 14.1	リゾート施設やテーマパークの整備 12.6
	50代	美しい景観の保全・整備 17.1	地域特色のある観光・体験施設整備 11.6	町外への観光PRや情報提供の強化 (同率2位) 11.6
	60代	地域特色のある観光・体験施設整備 15.8	美しい景観の保全・整備 15.4	地域特色のある料理、土産品の開発 13.6
	70歳以上	美しい景観の保全・整備 16.0	地域特色のある観光・体験施設整備 14.6	地域特色のある料理、土産品の開発 (同率2位) 14.6
居 住 地	中標津市街	美しい景観の保全・整備 14.3	地域特色のある観光・体験施設整備 14.2	地域特色のある料理、土産品の開発 12.0
	中標津町農協区域	地域性のある各種イベントの充実 20.9	美しい景観の保全・整備 16.3	同率複数のため省略
	計根別市街	地域特色のある観光・体験施設整備 18.9	町外への観光PRや情報提供の強化 (同率1位) 18.9	美しい景観の保全・整備 13.5
	計根別農協区域	美しい景観の保全・整備 21.7	地域性のある各種イベントの充実 17.4	同率複数のため省略

問34 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保など）に満足していますか。

● “満足している” が36.8%、“満足していない” が38.6%。

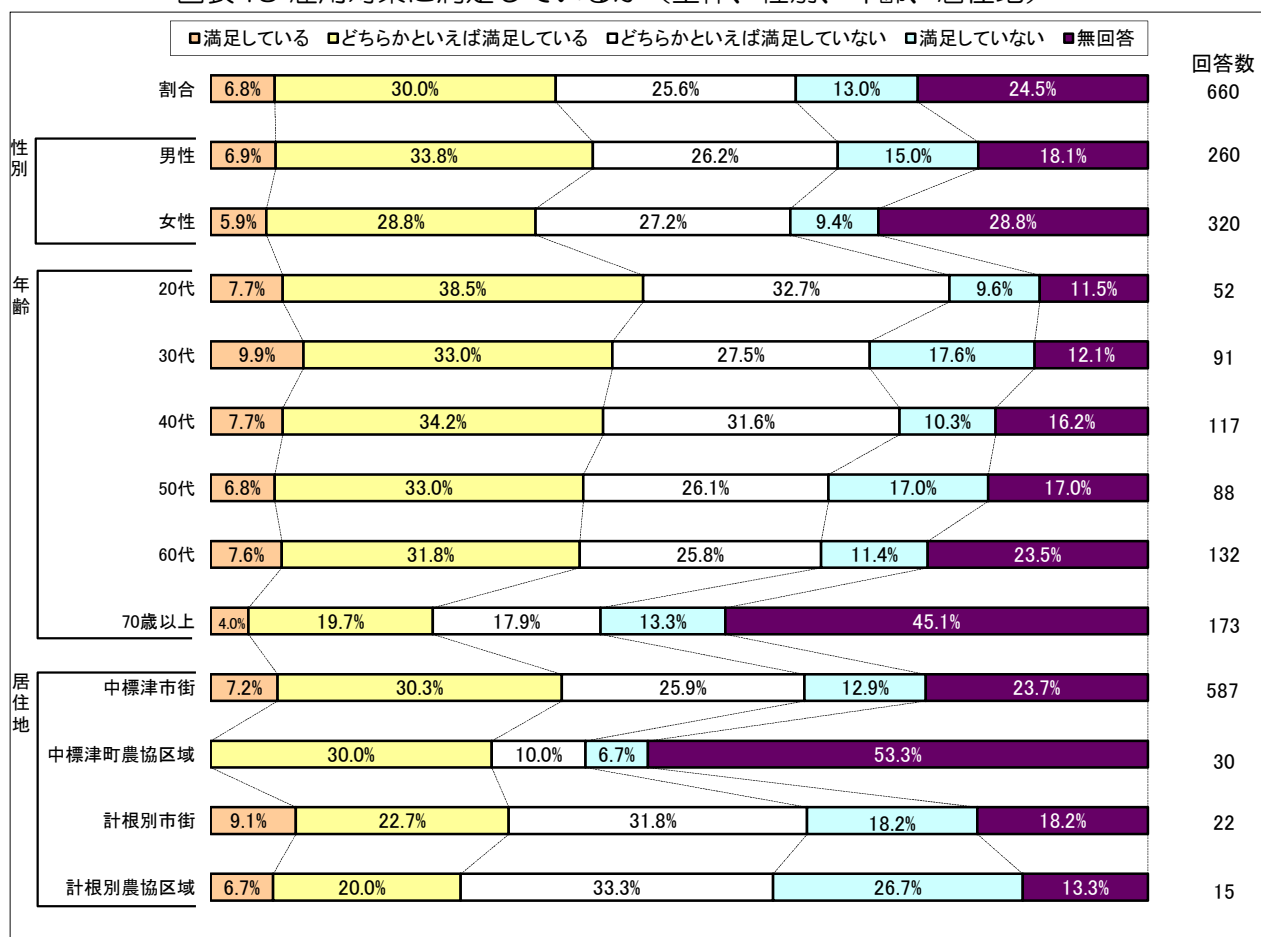
雇用対策に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」（30.0%）これに「満足している」（6.8%）をあわせた“満足している”人は36.8%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（25.6%）、「満足していない」（13.0%）の合計）は38.6%となっています。

性別で“満足している”人の割合は男性が40.7%、女性が34.7%と男性が6.0ポイント上回っています。

年齢別の“満足している”人の割合は20代が46.2%となっていますが、70歳以上では23.7%となっています。[図表45参照]

図表45 雇用対策に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

(5) 保健・医療・福祉について

問35 地域医療、救急・災害時医療体制に満足していますか。

● “満足している” が39.0%、“満足していない” が54.1%。

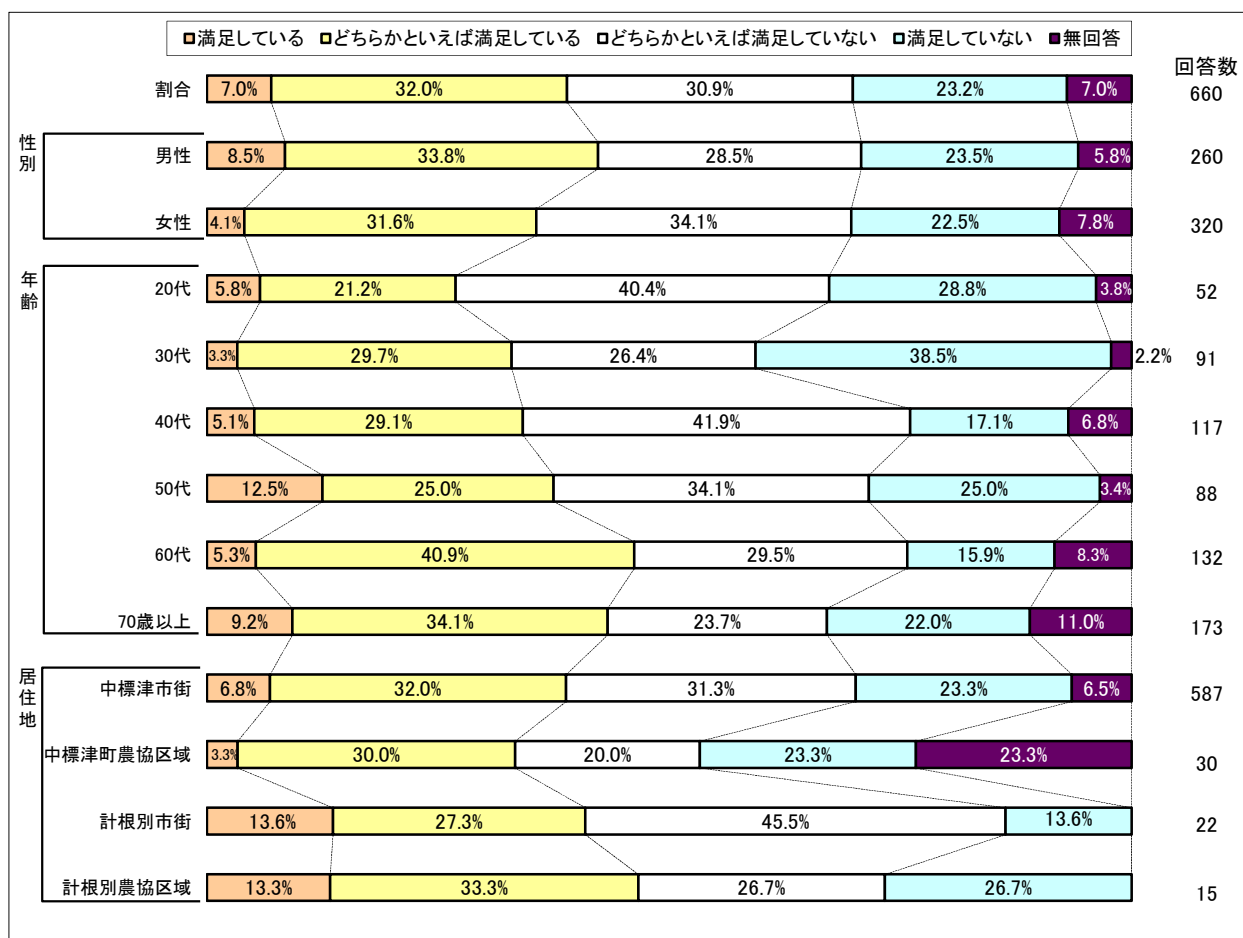
地域医療、救急・災害時医療体制に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」（32.0%）これに「満足している」（7.0%）をあわせた“満足している”人は39.0%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（30.9%）、「満足していない」（23.2%）の合計）は54.1%となっています。

性別で“満足している”人の割合は男性が42.3%、女性が35.7%と男性が6.6ポイント上回っています。

年齢別の“満足している”人の割合は60代が46.2%となっていますが、20代では27.0%となっています。[図表46参照]

図表46 地域医療、救急・災害時医療体制に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

問36 町の保健・医療対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

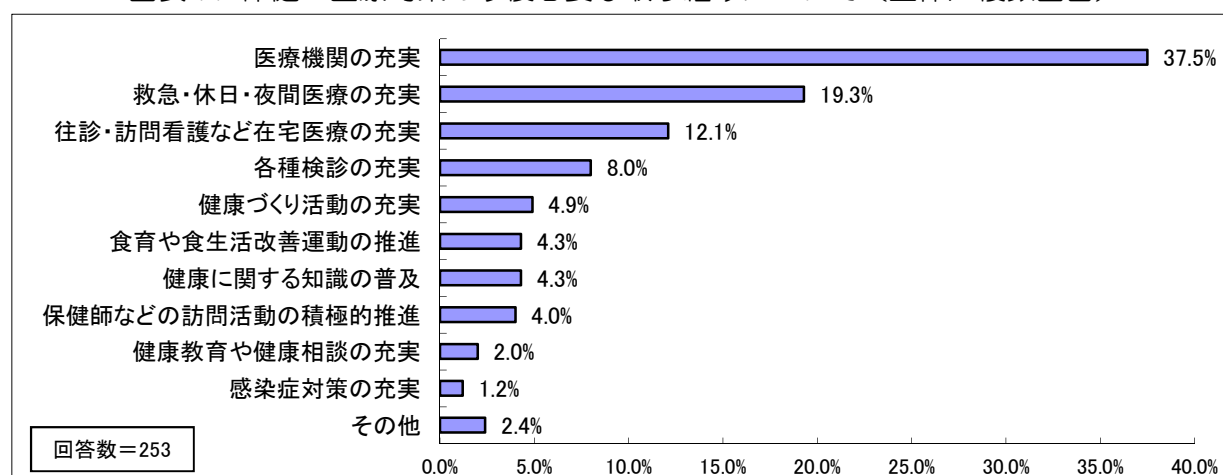
●「医療機関の充実」が第1位。次いで「救急・休日・夜間医療の充実」、「往診・訪問看護など在宅医療の充実」の順。

今後必要な保健・医療対策については、「医療機関の充実」（37.5%）が第1位に挙げられ、次いで「救急・休日・夜間医療の充実」（19.3%）、「往診・訪問看護など在宅医療の充実」（12.1%）、「各種検診の充実」（8.0%）「健康づくり活動の充実」（4.9%）などの順となっています。

年齢別では、すべての年齢層で「医療機関の充実」が第1位となっています。

また、居住地別の第1位はすべての居住地で「医療機関の充実」となっており、中標津市街（37.7%）、中標津町農協区域（34.7%）、計根別市街（31.0%）計根別農協区域（38.5%）となっています。[図表47～48参照]

図表47 保健・医療対策の今後必要な取り組みについて（全体／複数回答）



図表48 保健・医療対策の今後必要な取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年齢	20代	医療機関の充実 39.1	救急・休日・夜間医療の充実 27.2	各種検診の充実 19.6
	30代	医療機関の充実 40.0	救急・休日・夜間医療の充実 26.9	各種検診の充実 6.9
	40代	医療機関の充実 42.5	救急・休日・夜間医療の充実 28.0	往診・訪問看護など在宅医療の充実 11.5
	50代	医療機関の充実 40.8	救急・休日・夜間医療の充実 18.4	各種検診の充実 9.5
	60代	医療機関の充実 34.4	往診・訪問看護など在宅医療の充実 16.1	救急・休日・夜間医療の充実 12.9
	70歳以上	医療機関の充実 32.3	往診・訪問看護など在宅医療の充実 18.3	救急・休日・夜間医療の充実 12.0
居住地	中標津市街	医療機関の充実 37.7	救急・休日・夜間医療の充実 19.3	往診・訪問看護など在宅医療の充実 11.4
	中標津町農協区域	医療機関の充実 34.7	救急・休日・夜間医療の充実 20.4	往診・訪問看護など在宅医療の充実 16.3
	計根別市街	医療機関の充実 31.0	救急・休日・夜間医療の充実 21.4	往診・訪問看護など在宅医療の充実 (同率2位) 21.4
	計根別農協区域	医療機関の充実 38.5	往診・訪問看護など在宅医療の充実 19.2	救急・休日・夜間医療の充実 11.5

問37 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。

● “そう感じる” が64.4%、“そう感じない” が22.8%。

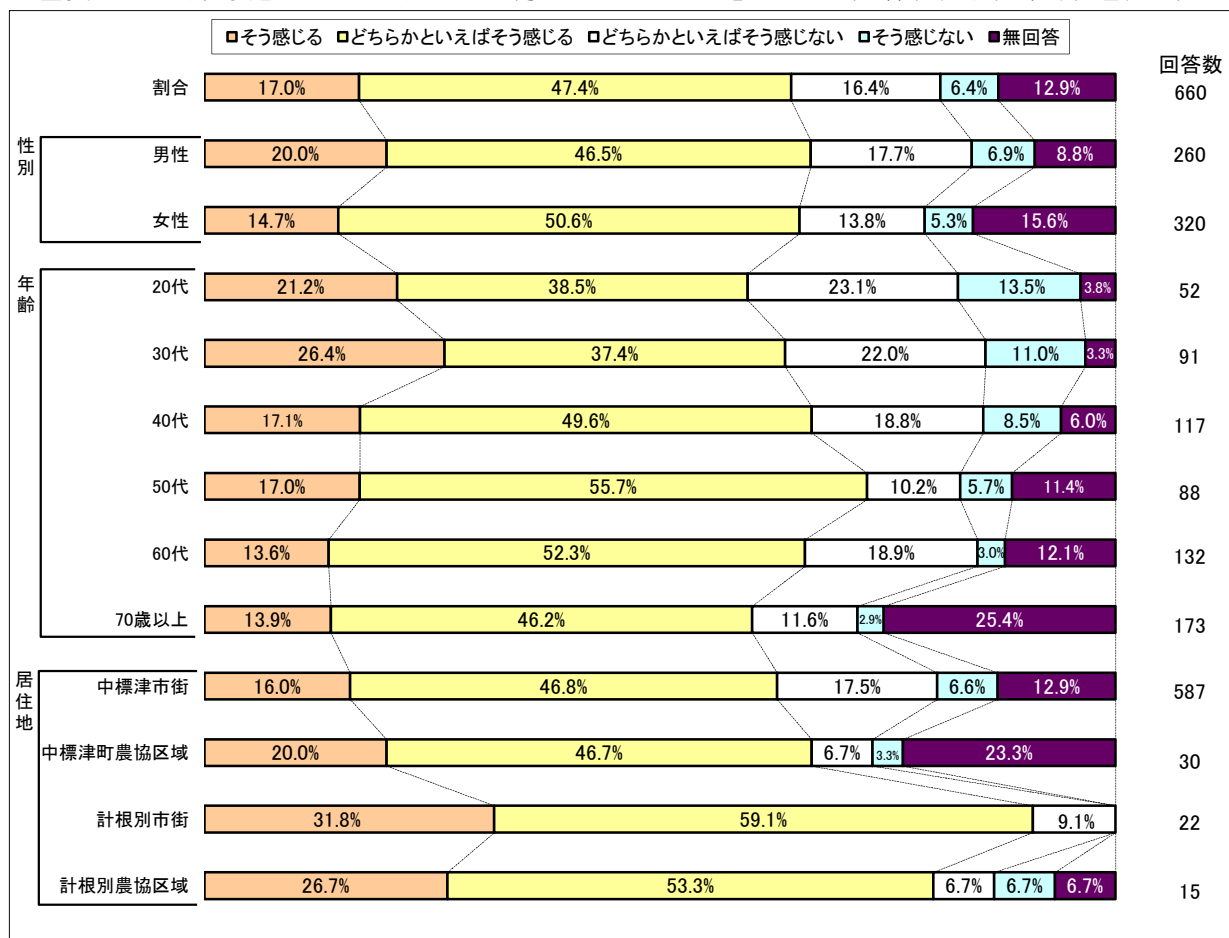
地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じるかたすねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（47.4%）これに「そう感じる」（17.0%）をあわせた“そう感じる”人は64.4%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（16.4%）、「そう感じない」（6.4%）の合計）は22.8%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が66.5%、女性が65.3%と男性が1.2ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は50代が72.7%となっていますが、70歳以上は60.1%となっています。[図表49参照]

図表49 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

問38 町の子育て環境を充実させるため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

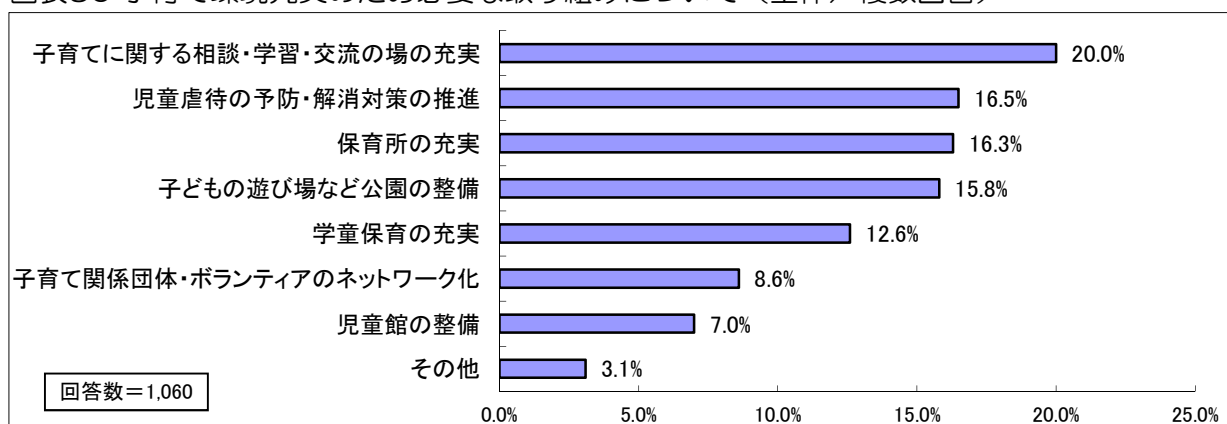


●「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」が第1位。次いで「児童虐待の予防・解消対策の推進」、「保育所の充実」の順。

今後必要な子育て環境については、「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」（20.0%）が第1位に挙げられ、次いで「児童虐待の予防・解消対策の推進」（16.5%）、「保育所の充実」（16.3%）、「子どもの遊び場など公園の整備」（15.8%）、「学童保育の充実」（12.6%）などの順となっています。

年齢別の第1位は20代・30代が「保育所の充実」、40代は「子どもの遊び場など公園の整備」、50代は「児童虐待の予防・解消対策の推進」、60代・70歳以上は「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」となっています。[図表50～51参照]

図表50 子育て環境充実のため必要な取り組みについて（全体／複数回答）



図表51 子育て環境充実のため必要な取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年齢	20代	保育所の充実 28.1	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 21.3	子どもの遊び場など公園の整備 18.0
	30代	保育所の充実 21.3	子どもの遊び場など公園の整備 20.6	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 16.3
	40代	子どもの遊び場など公園の整備 18.2	児童虐待の予防・解消対策の推進 15.5	同率複数のため省略 -
	50代	児童虐待の予防・解消対策の推進 19.7	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 17.6	学童保育の充実 15.5
	60代	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 24.1	児童虐待の予防・解消対策の推進 20.4	子どもの遊び場など公園の整備 13.9
	70歳以上	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 24.0	児童虐待の予防・解消対策の推進 18.1	保育所の充実 17.7
	中標津市街	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 18.5	保育所の充実 16.6	児童虐待の予防・解消対策の推進 16.5
居住地	中標津町農協区域	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 34.9	児童虐待の予防・解消対策の推進 18.6	保育所の充実 16.3
	計根別市街	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 36.1	子どもの遊び場など公園の整備 19.4	保育所の充実 13.9
	計根別農協区域	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 28.6	児童虐待の予防・解消対策の推進 23.8	保育所の充実 14.3

問39 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。

● “そう感じる” が44.7%、“そう感じない” が44.8%。

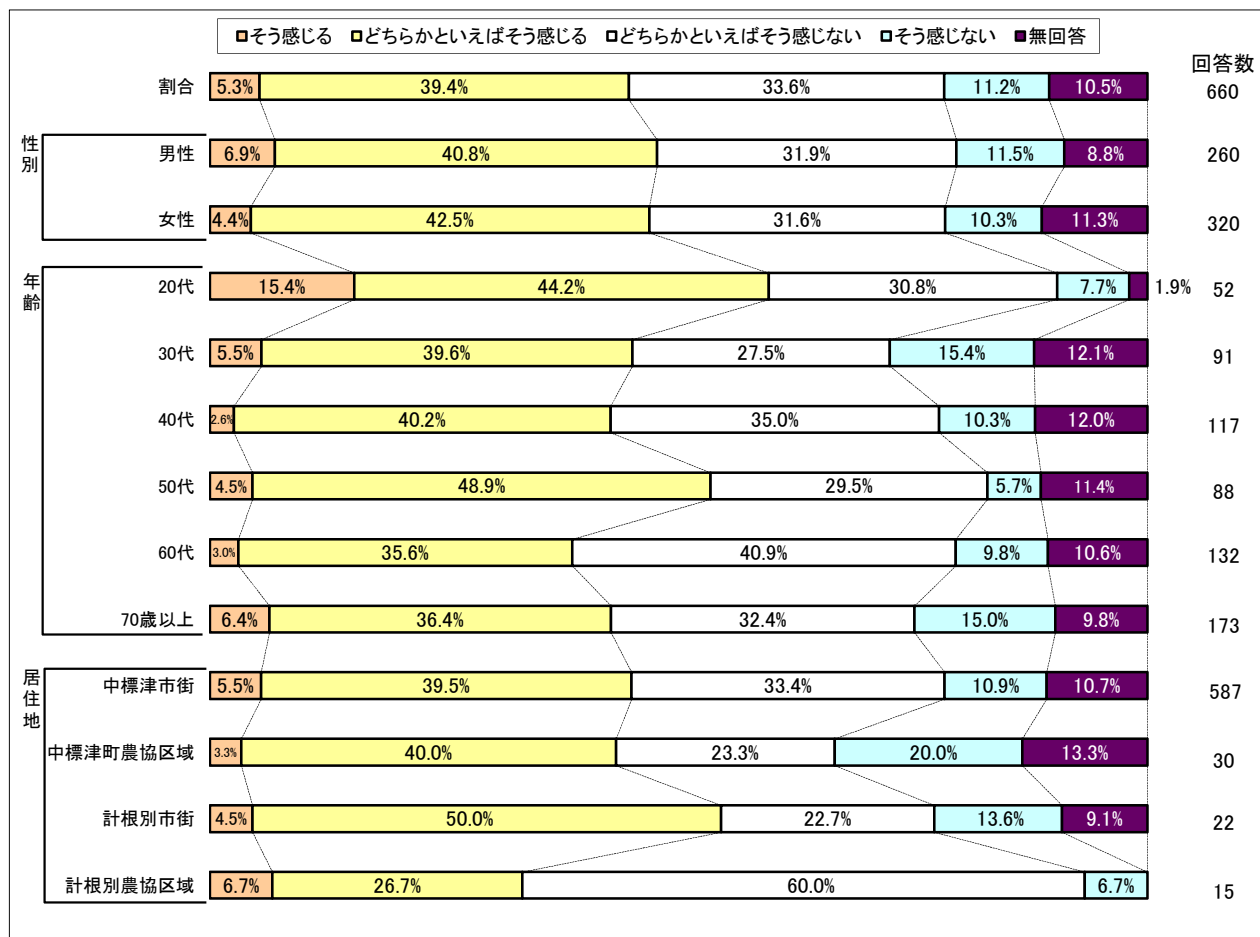
高齢者が生きがいを持ち安心して暮らしていると感じるかたすねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（39.4%）これに「そう感じる」（5.3%）をあわせた“そう感じる”人は、44.7%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（33.6%）、「そう感じない」（11.2%）の合計）は44.8%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が47.7%、女性が46.9%と男性が0.8ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は20代が59.6%と高くなっていますが、60代では38.6%と低くなっています。[図表52参照]

図表52 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

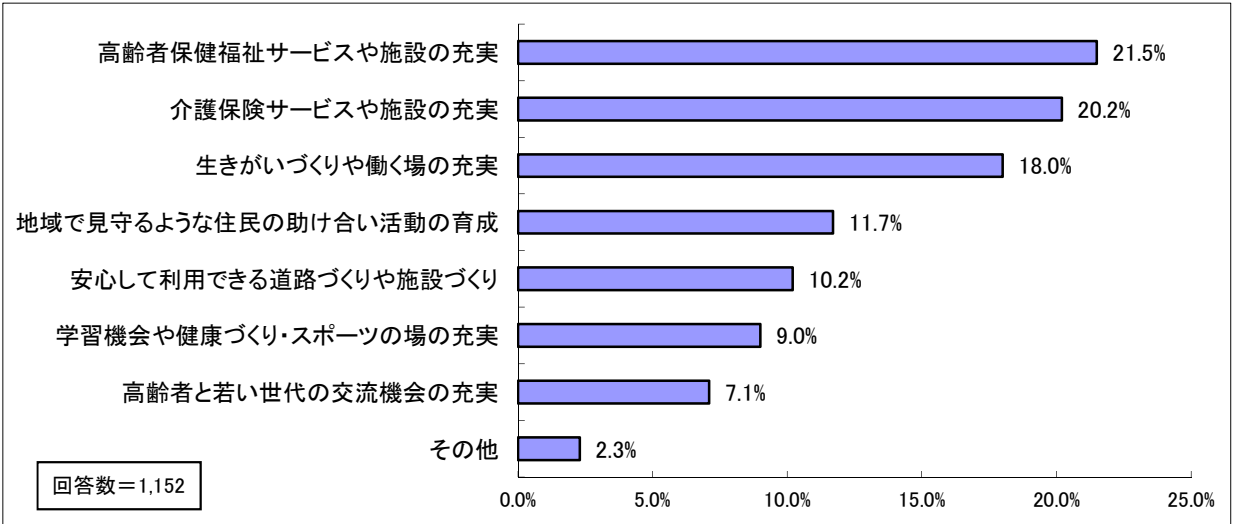
問40 町の高齢者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

●「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」が第1位、次いで「介護保険サービスや施設の充実」、「生きがいづくりや働く場の充実」の順。

今後必要な高齢者施策については、「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」（21.5%）が第1位となり、次いで、「介護保険サービスや施設の充実」（20.2%）、「生きがいづくりや働く場の充実」（18.0%）、「地域で見守るような住民の助け合い活動の育成」（11.7%）、「安心して利用できる道路づくりや施設づくり」（10.2%）などの順となっています。

年齢別の第1位は30代・40代・50代が「生きがいづくりや働く場の充実」、60代・70歳以上が「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」、20代は同率で「介護保険サービスや施設の充実」、「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」となっています。【図表53～54参照】

図表53 高齢者施策の今後必要な取り組みについて（全体／複数回答）



図表54 高齢者施策の今後必要な取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	介護保険サービスや施設の充実 19.4	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 (同率1位) 19.4	生きがいづくりや働く場の充実 18.3
	30代	生きがいづくりや働く場の充実 23.2	介護保険サービスや施設の充実 17.1	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 14.6
	40代	生きがいづくりや働く場の充実 23.4	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 21.9	介護保険サービスや施設の充実 18.9
	50代	生きがいづくりや働く場の充実 21.2	介護保険サービスや施設の充実 20.5	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 19.2
	60代	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 23.1	介護保険サービスや施設の充実 22.3	生きがいづくりや働く場の充実 18.8
	70歳以上	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 25.7	介護保険サービスや施設の充実 22.0	地域で見守るような住民の助け合い活動の育成 15.5
居 住 地	中標津市街	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 21.3	介護保険サービスや施設の充実 20.5	生きがいづくりや働く場の充実 18.3
	中標津町農協区域	介護保険サービスや施設の充実 24.0	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 22.0	同率複数のため省略 -
	計根別市街	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 23.1	生きがいづくりや働く場の充実 15.4	介護保険サービスや施設の充実 (同率2位) 15.4
	計根別農協区域	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 33.3	生きがいづくりや働く場の充実 20.8	介護保険サービスや施設の充実 16.7

問41 障がい者サービスが整っていると感じますか。

● “そう感じる” が37.6%、“そう感じない” が40.0%。

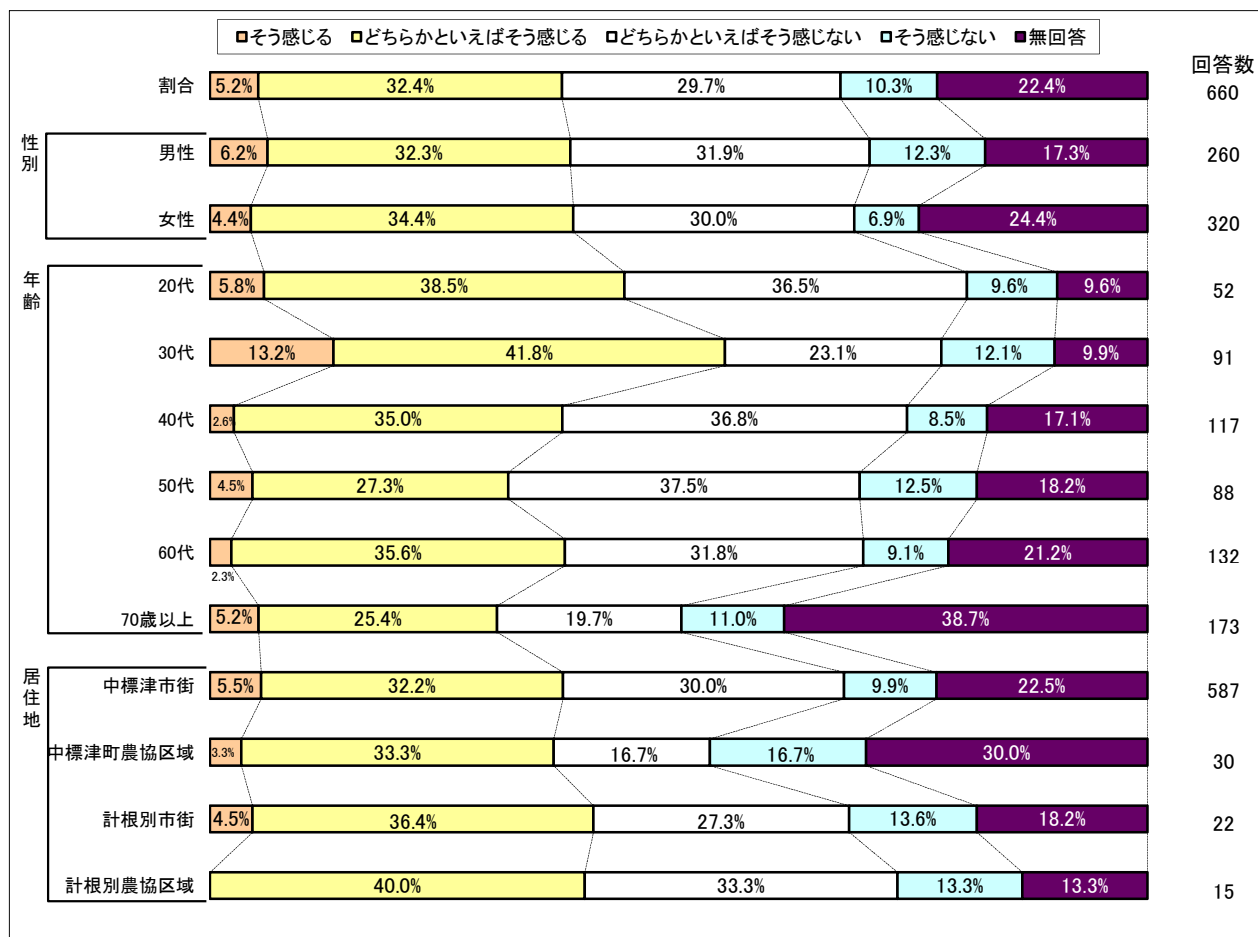
障がい者サービスが整っていると感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（32.4%）これに「そう感じる」（5.2%）をあわせた“そう感じる”人は、37.6%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（29.7%）、「そう感じない」（10.3%）の合計）は40.0%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が38.5%、女性が38.8%と女性が0.3ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は30代が55.0%となっていますが、70歳以上は30.6%と低くなっています。[図表55参照]

図表55 障がい者サービスが整っているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

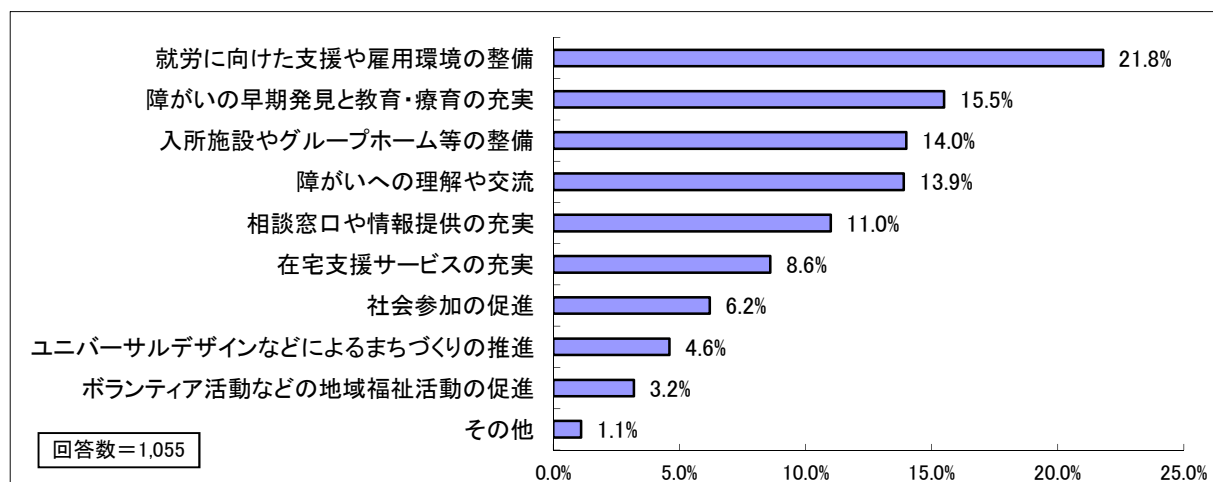
問42 町の障がい者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

●「就労に向けた支援や雇用環境の整備」が第1位。次いで「障がいの早期発見と教育・療育の充実」、「入所施設やグループホーム等の整備」の順。

今後必要な障がい者施策については、「就労に向けた支援や雇用環境の整備」（21.8%）で第1位に挙げられ、次いで「障がいの早期発見と教育・療育の充実」（15.5%）、「入所施設やグループホーム等の整備」（14.0%）、「障がいへの理解や交流」（13.9%）、「相談窓口や情報提供の充実」（11.0%）の順となっています。

年齢別の第1位は20代以外は「就労に向けた支援や雇用環境の整備」、20代は「障がいへの理解や交流」となっています。【図表56～57参照】

図表56 障がい者施策の今後必要な取り組みについて（全体／複数回答）



図表57 障がい者施策の今後必要な取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	障がいへの理解や交流 25.0	就労に向けた支援や雇用環境の整備 20.5	同率複数のため省略 -
	30代	就労に向けた支援や雇用環境の整備 25.7	障がいの早期発見と教育・療育の充実 19.7	障がいへの理解や交流 15.1
	40代	就労に向けた支援や雇用環境の整備 20.0	障がいの早期発見と教育・療育の充実 16.8	同率複数のため省略 -
	50代	就労に向けた支援や雇用環境の整備 21.8	入所施設やグループホーム等の整備 16.9	同率複数のため省略 -
	60代	就労に向けた支援や雇用環境の整備 27.2	入所施設やグループホーム等の整備 15.6	障がいの早期発見と教育・療育の充実 12.5
	70歳以上	就労に向けた支援や雇用環境の整備 16.5	相談窓口や情報提供の充実 15.7	入所施設やグループホーム等の整備 (同率2位) 15.7
	中標津市街	就労に向けた支援や雇用環境の整備 20.6	障がいの早期発見と教育・療育の充実 15.9	障がいへの理解や交流 14.3
居 住 地	中標津町農協区域	就労に向けた支援や雇用環境の整備 31.1	相談窓口や情報提供の充実 15.6	障がいの早期発見と教育・療育の充実 (同率2位) 15.6
	計根別市街	就労に向けた支援や雇用環境の整備 30.8	入所施設やグループホーム等の整備 25.6	障がいへの理解や交流 15.4
	計根別農協区域	就労に向けた支援や雇用環境の整備 32.0	障がいの早期発見と教育・療育の充実 16.0	在宅支援サービスの充実 (同率2位) 16.0

問43 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じますか。

● “そう感じる” が32.0%、“そう感じない” が49.3%。

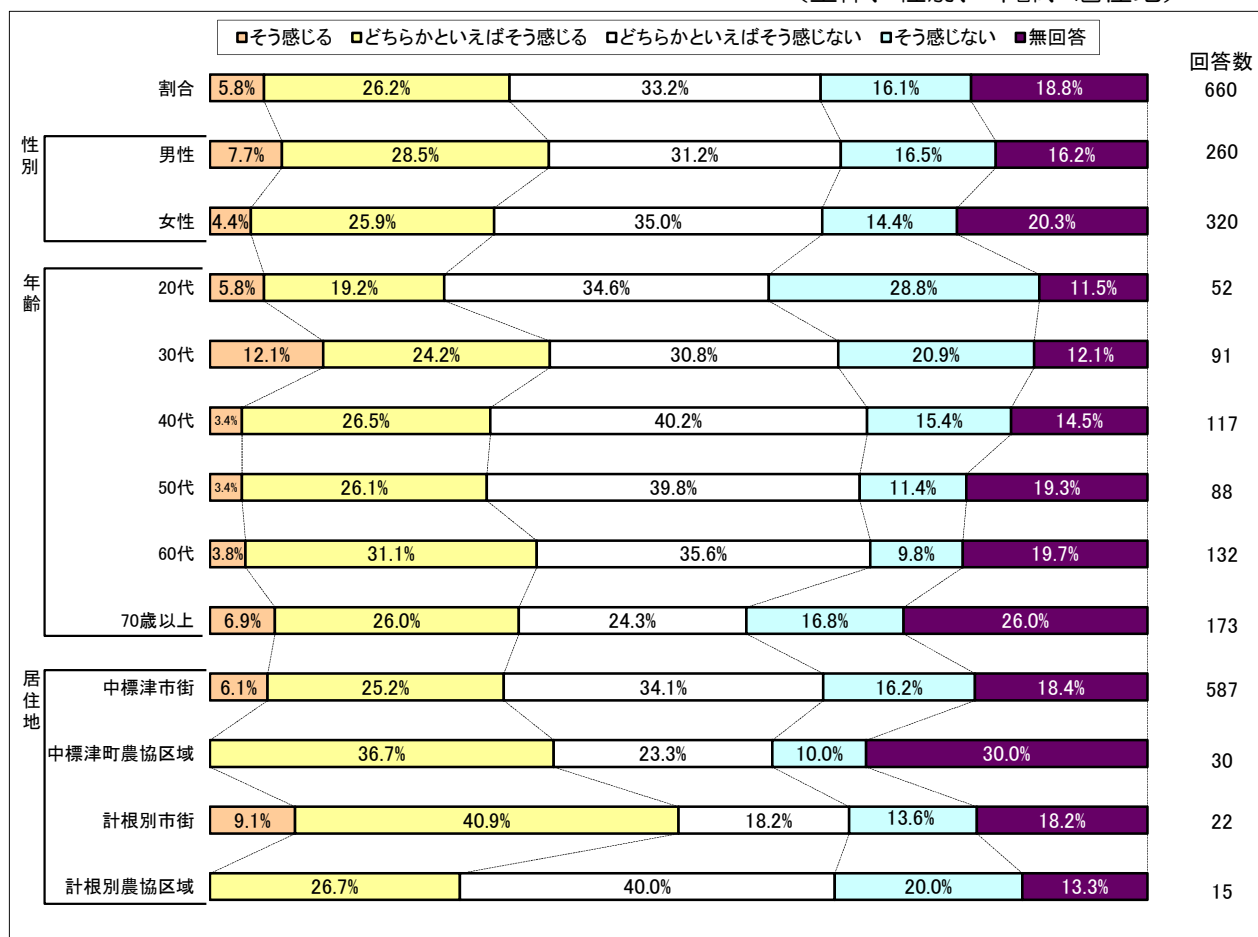
身近なところで相談でき支えてもらえる福祉の制度や活動があると感じるかたすねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（26.2%）これに「そう感じる」（5.8%）をあわせた“そう感じる”人は、32.0%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（33.2%）、「そう感じない」（16.1%）の合計）人は49.3%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が36.2%、女性が30.3%と男性が5.9ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は30代が36.3%となっていますが、20代では25.0%と低くなっています。[図表58参照]

図表58 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じるか
(全体、性別、年齢、居住地)



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

問44 健康診査やがん検診を毎年受けていますか。

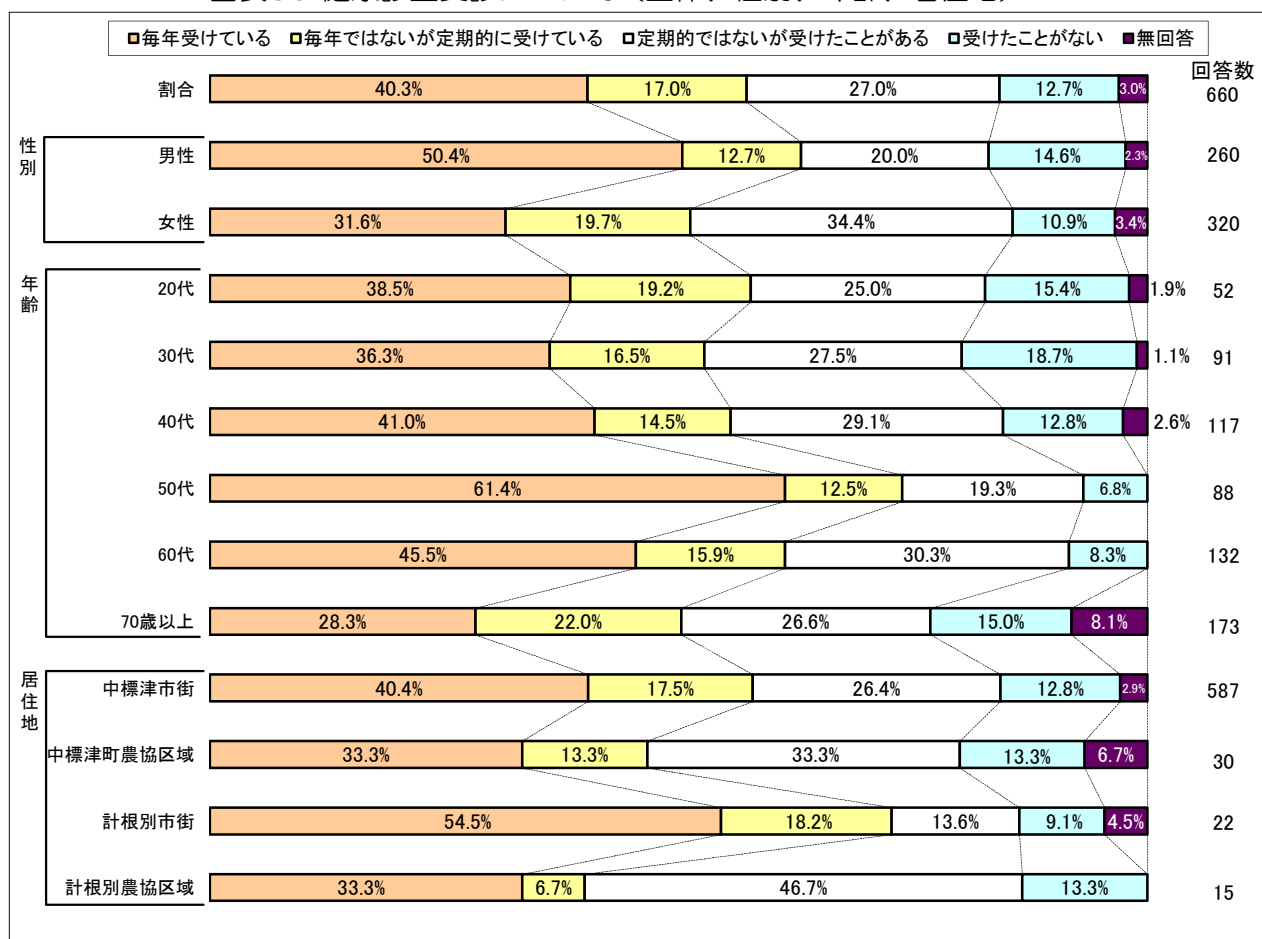
- “定期的に受けている” が57.3%、「定期的ではないが受けたことがある」が27.0%、「受けたことがない」が12.7%。

健康診査やがん検診を受けているかたずねたところ、「毎年受けている」（40.3%）と「毎年ではないが定期的に受けている」（17.0%）を合わせた57.3%の人が“定期的に受けている”と回答されていますが、一方で「受けたことがない」人は12.7%となっています。

性別の“定期的に受けている”人の割合は男性が63.1%、女性が51.3%と男性が11.8ポイント高くなっています。

年齢別の“定期的に受けている”人の割合は50代が73.9%となっていますが、70歳以上は50.3%と低くなっています。[図表59参照]

図表59 健康診査受診について（全体、性別、年齢、居住地）



(6) 教育・文化・スポーツについて

問45 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じますか。

● “そう感じる” が61.1%、“そう感じない” が19.5%。

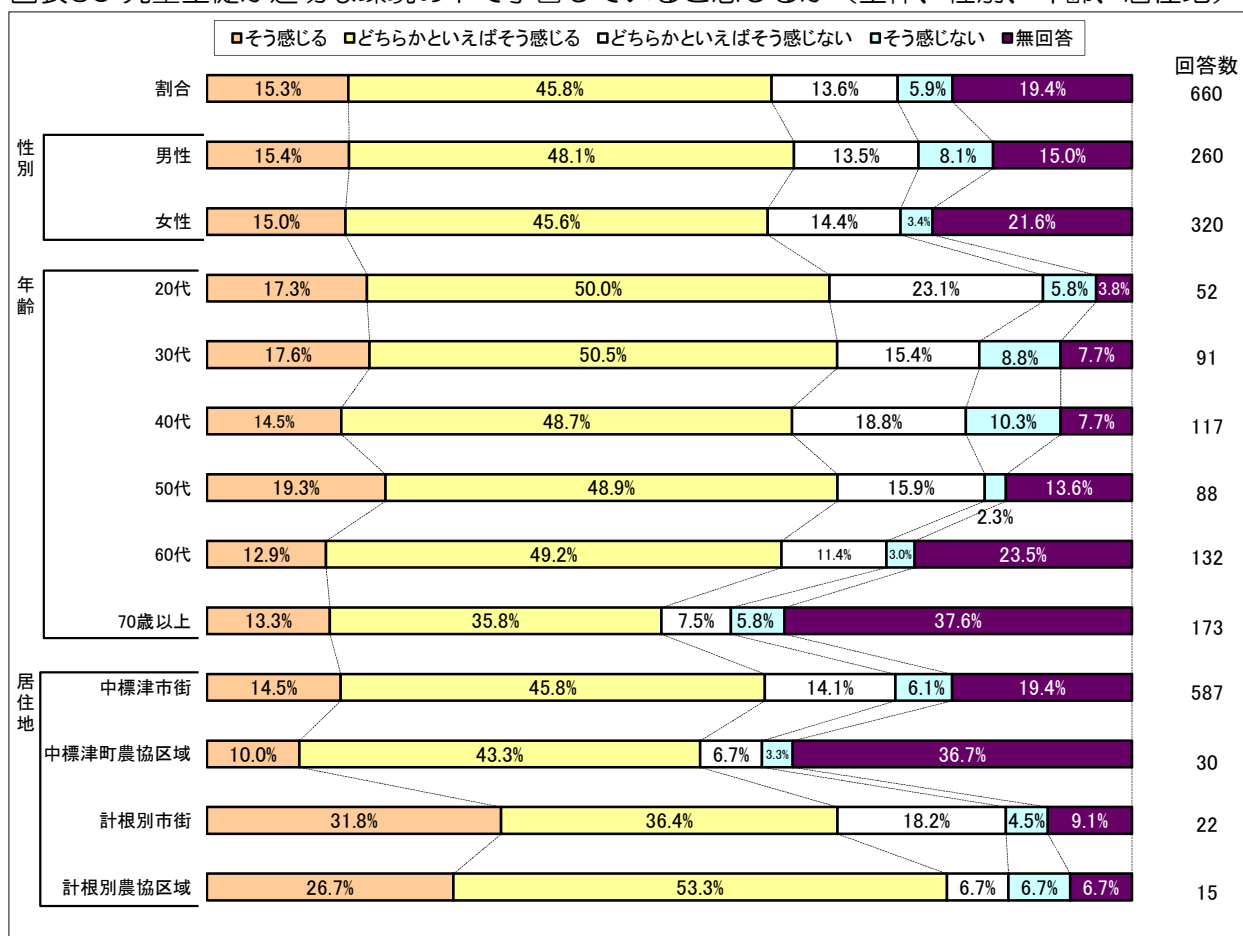
児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（45.8%）これに「そう感じる」（15.3%）をあわせた“そう感じる”人は、61.1%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（13.6%）、「そう感じない」（5.9%）の合計）は19.5%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が63.5%、女性が60.6%と男性が2.9ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は、50代では68.2%となっていますが、70歳以上では49.1%と低くなっています。[図表60参照]

図表60 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

問46 青少年を見守る活動に参加していますか。



- “参加している” が10.3%、“参加していない” が80.4%。
“参加したい” が46.0%、“参加するつもりはない” が44.7%。

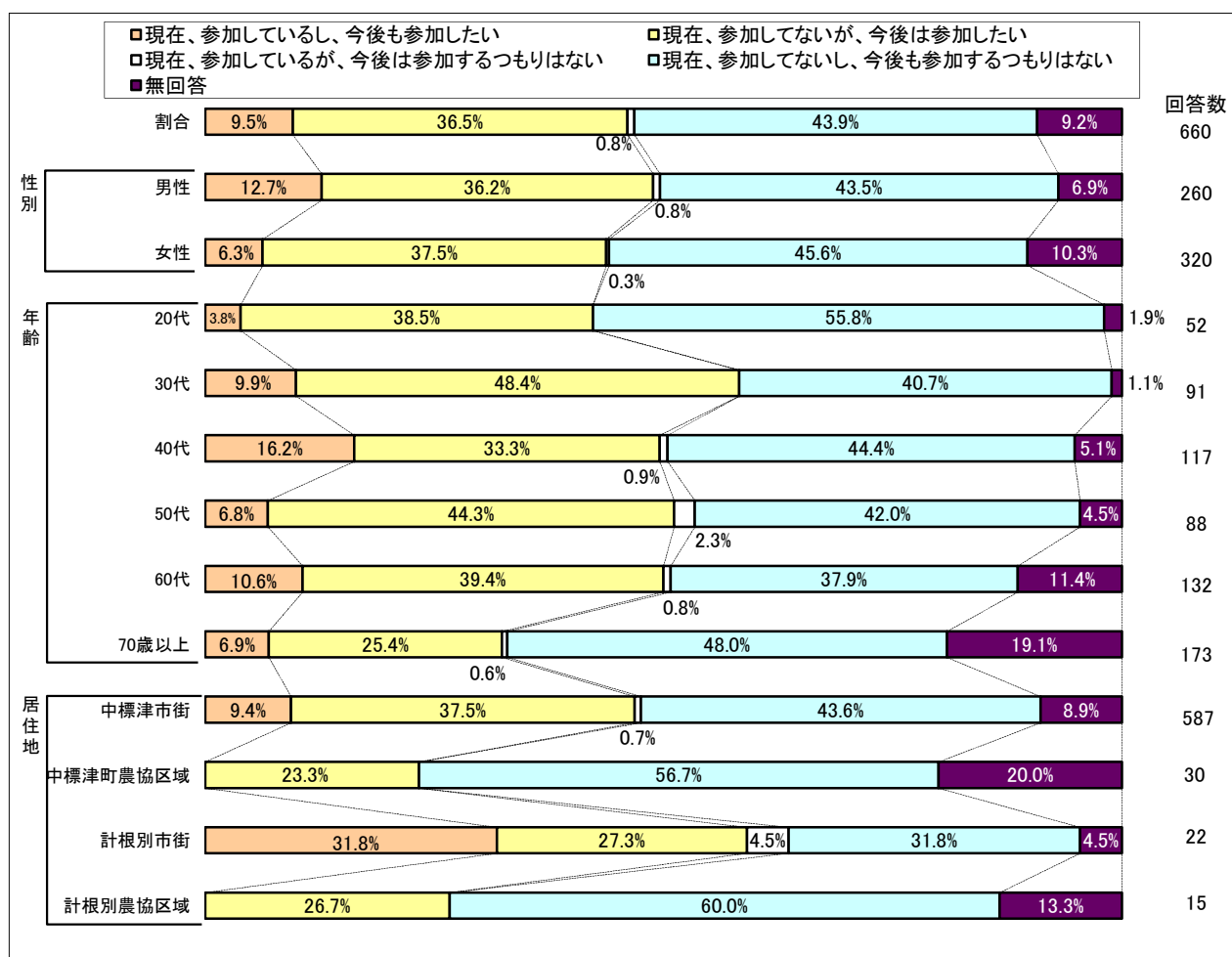
青少年を見守る活動への参加状況・意向についてたずねたところ、「現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない」（43.9%）が最も多く、次いで「現在、参加していないが、今後は参加したい」（36.5%）、「現在、参加しているし、今後は参加したい」（9.5%）、「現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない」（0.8%）の順となっています。

これを今後の参加意向でみると、今後“参加したい”人（「参加しているし、今後も参加したい」（9.5%）及び「参加していないが今後は参加したい」（36.5%）の合計）が46.0%、今後“参加するつもりはない”人（「参加していないし、今後も参加するつもりはない」（43.9%）及び「参加しているが、今後は参加するつもりはない」（0.8%）の合計）が44.7%となっており、現在“参加している”人の10.3%から今後“参加したい”人が46.0%と大きく増加する結果となっています。

性別でみると“参加したい”人の割合は男性で48.9%、女性で43.8%となっています。

年齢別の、“参加したい”人の割合は30代が58.3%となっていますが、70歳以上は32.3%と低くなっています。[図表61参照]

図表61 青少年を見守る活動について（全体、性別、年齢、居住地）



問47 子どもの豊かな人間教育のために、どのようなことが必要だと思いますか。

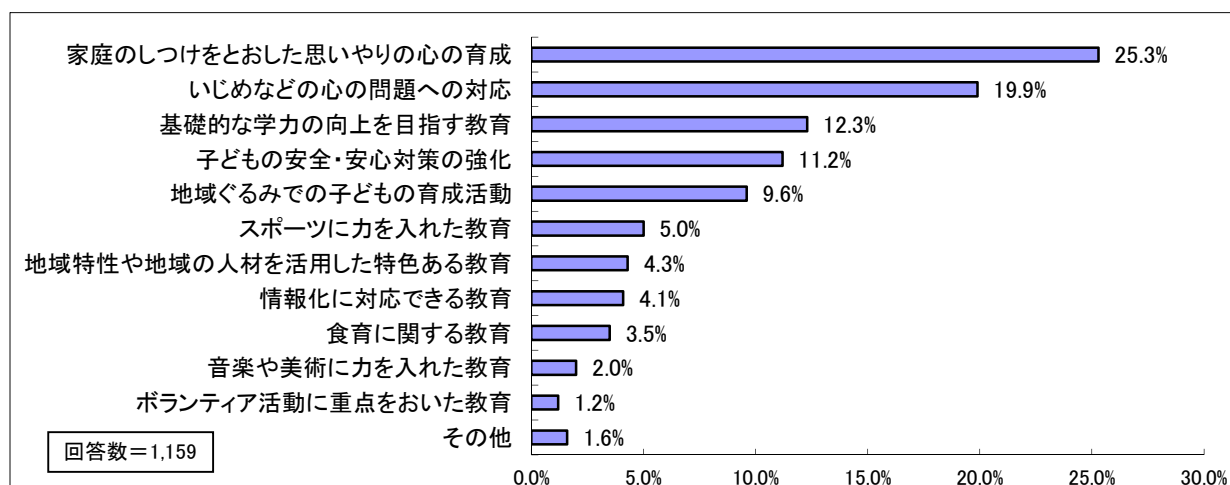


- 「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」が第1位。次いで「いじめなどの心の問題への対応」、「基礎的な学力の向上を目指す教育」、「子どもの安全・安心対策の強化」、「地域ぐるみでの子どもの育成活動」の順。

子どもの豊かな人間教育に必要なことをたずねたところ、「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」（25.3%）が第1位に挙げられ、次いで「いじめなどの心の問題への対応」（19.9%）、「基礎的な学力の向上を目指す教育」（12.3%）、「子どもの安全・安心対策の強化」（11.2%）などの順となっています。

年齢別の第1位は20代・30代・40代が「いじめなどの心の問題への対応」、他の年齢層では、「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」となっています。【図表62～63参照】

図表62 子どもの豊かな人間教育のために必要なこと（全体／複数回答）



図表63 子どもの豊かな人間教育のために必要なこと（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	いじめなどの心の問題への対応 25.5	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 18.4	スポーツに力を入れた教育 13.3
	30代	いじめなどの心の問題への対応 19.3	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 18.1	同率複数のため省略
	40代	いじめなどの心の問題への対応 23.4	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 22.9	子どもの安全・安心対策の強化 13.2
	50代	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 27.3	いじめなどの心の問題への対応 18.0	子どもの安全・安心対策の強化 13.7
	60代	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 30.5	いじめなどの心の問題への対応 16.5	基礎的な学力の向上を目指す教育 14.0
	70歳以上	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 28.5	いじめなどの心の問題への対応 19.6	地域ぐるみでの子どもの育成活動 12.2
居 住 地	中標津市街	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 25.3	いじめなどの心の問題への対応 20.3	基礎的な学力の向上を目指す教育 12.5
	中標津町農協区域	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 30.0	いじめなどの心の問題への対応 18.0	子どもの安全・安心対策の強化 14.0
	計根別市街	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 19.0	いじめなどの心の問題への対応 16.7	地域ぐるみでの子どもの育成活動 14.3
	計根別農協区域	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 29.2	同率複数のため省略	同率複数のため省略

問48 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか。

● “取り組んでいる” が21.8%、“取り組んでいない” が73.7%。

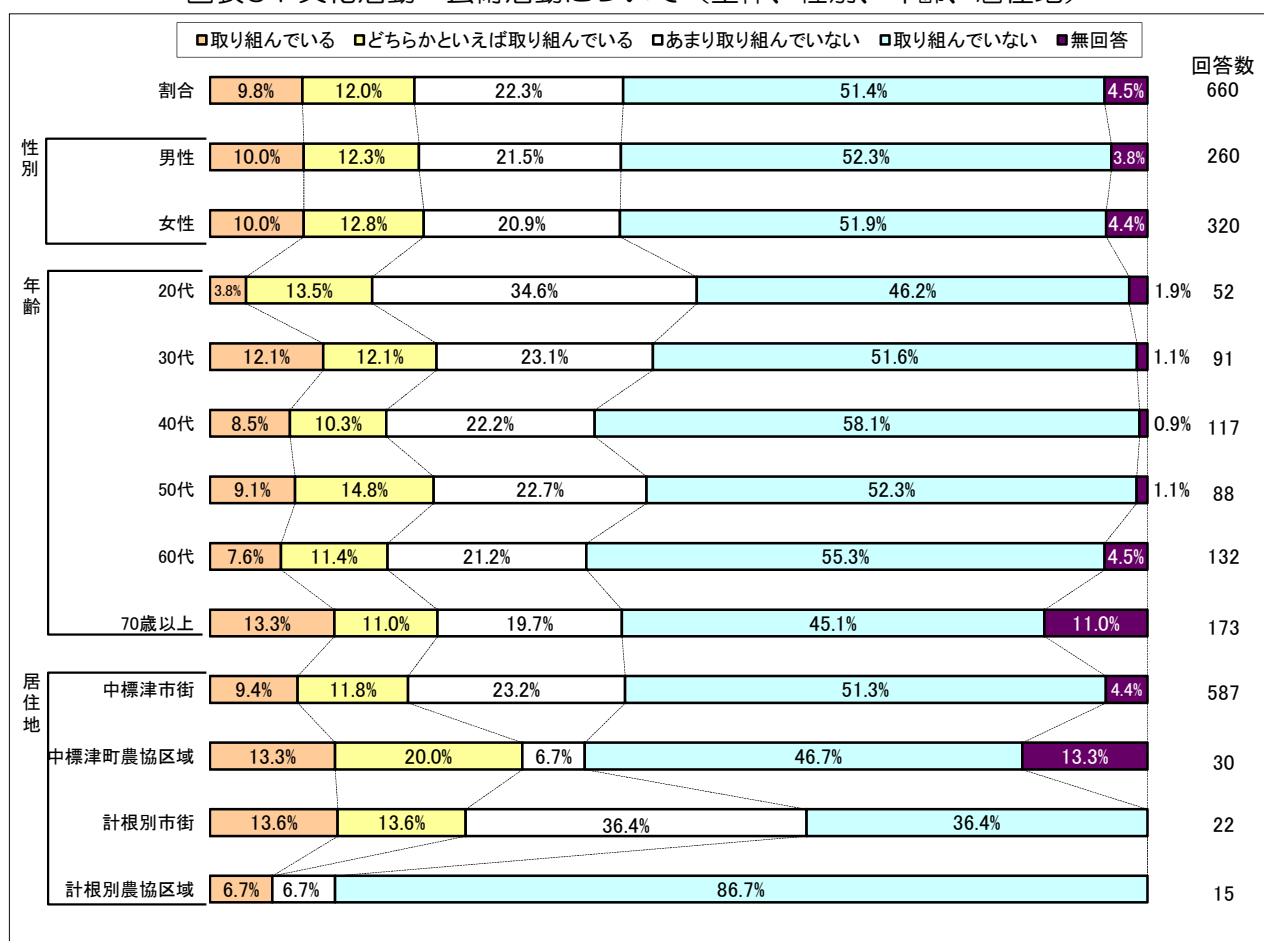
文化・芸術活動に取り組んでいるかたずねたところ、「取り組んでいる」（9.8%）これに「どちらかといえば取り組んでいる」（12.0%）をあわせた“取り組んでいる”という人が21.8%となっています。

一方、“取り組んでいない”（「あまり取り組んでいない」（22.3%）、「取り組んでいない」（51.4%）の合計）人は73.7%となっています。

性別の“取り組んでいる”人の割合は男性が22.3%、女性が22.8%と女性が0.5ポイント上回っています。

年齢別の“取り組んでいる”人の割合は70歳以上が24.3%となっていますが、20代では17.3%となっています。【図表64参照】

図表64 文化活動・芸術活動について（全体、性別、年齢、居住地）



問49 生涯学習情報誌「らいふまっぴ」から知りたい情報は得られていますか。

● “得られている” が33.7%、“得られていない” が55.5%。

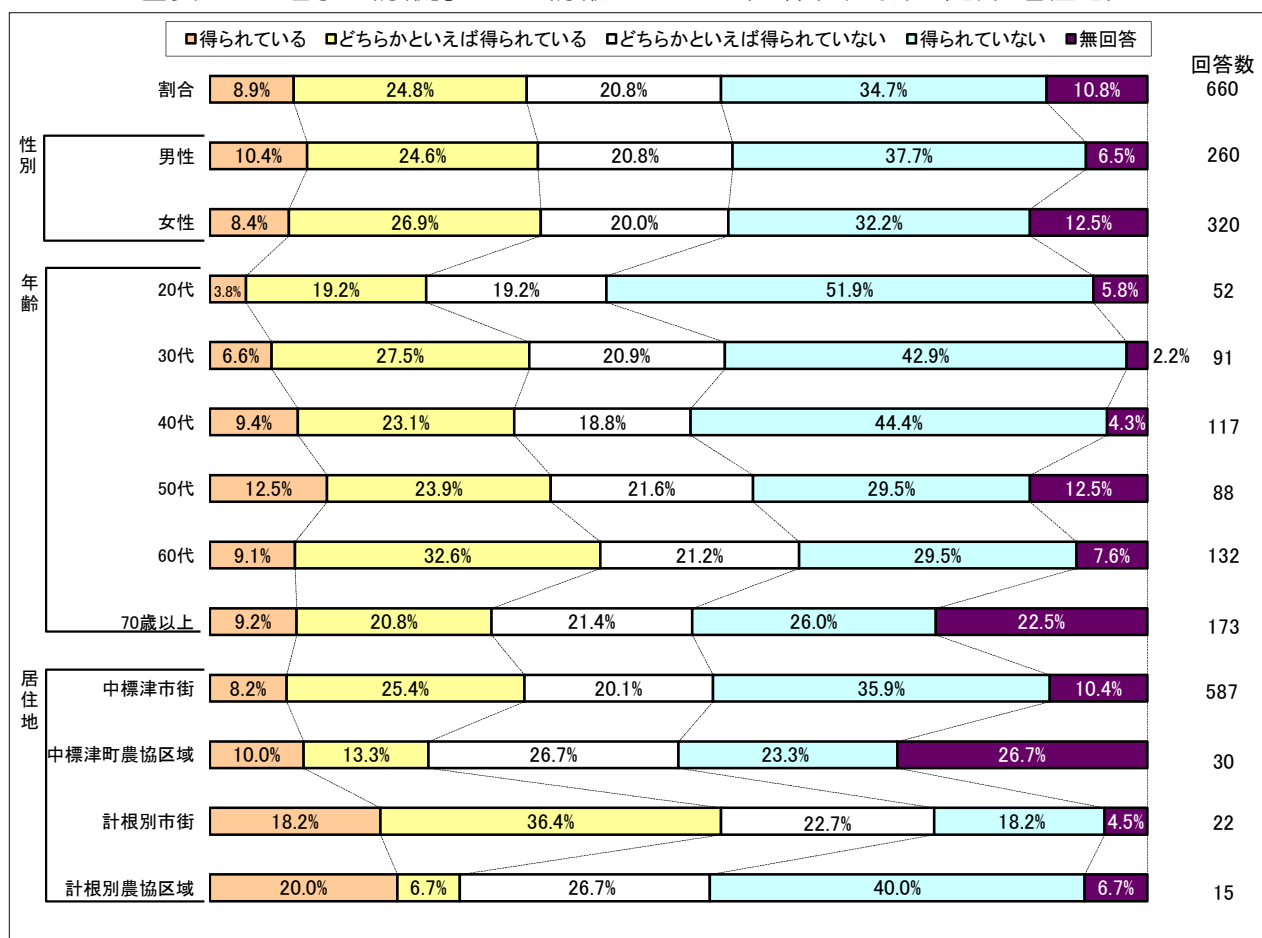
生涯学習情報誌から知りたい情報が得られているかたずねたところ、「得られている」（8.9%）これに「どちらかといえば得られている」（24.8%）をあわせた“得られている”という人が33.7%となっています。

一方、“得られていない”（「どちらかといえば得られていない」（20.8%）、「得られていない」（34.7%）の合計）人は55.5%となっています。

性別の“得られている”人の割合は男性が35.0%、女性が35.3%と女性が0.3ポイント上回っています。

年齢別の“得られている”人の割合は60代が41.7%と一番高く、20代では23.0%と低くなっています。[図表65参照]

図表65 生涯学習情報誌からの情報について（全体、性別、年齢、居住地）



問50 文化・芸術の鑑賞や発表機会が充実していると感じますか。

● “そう感じる” が58.2%、“そう感じない” が30.3%。

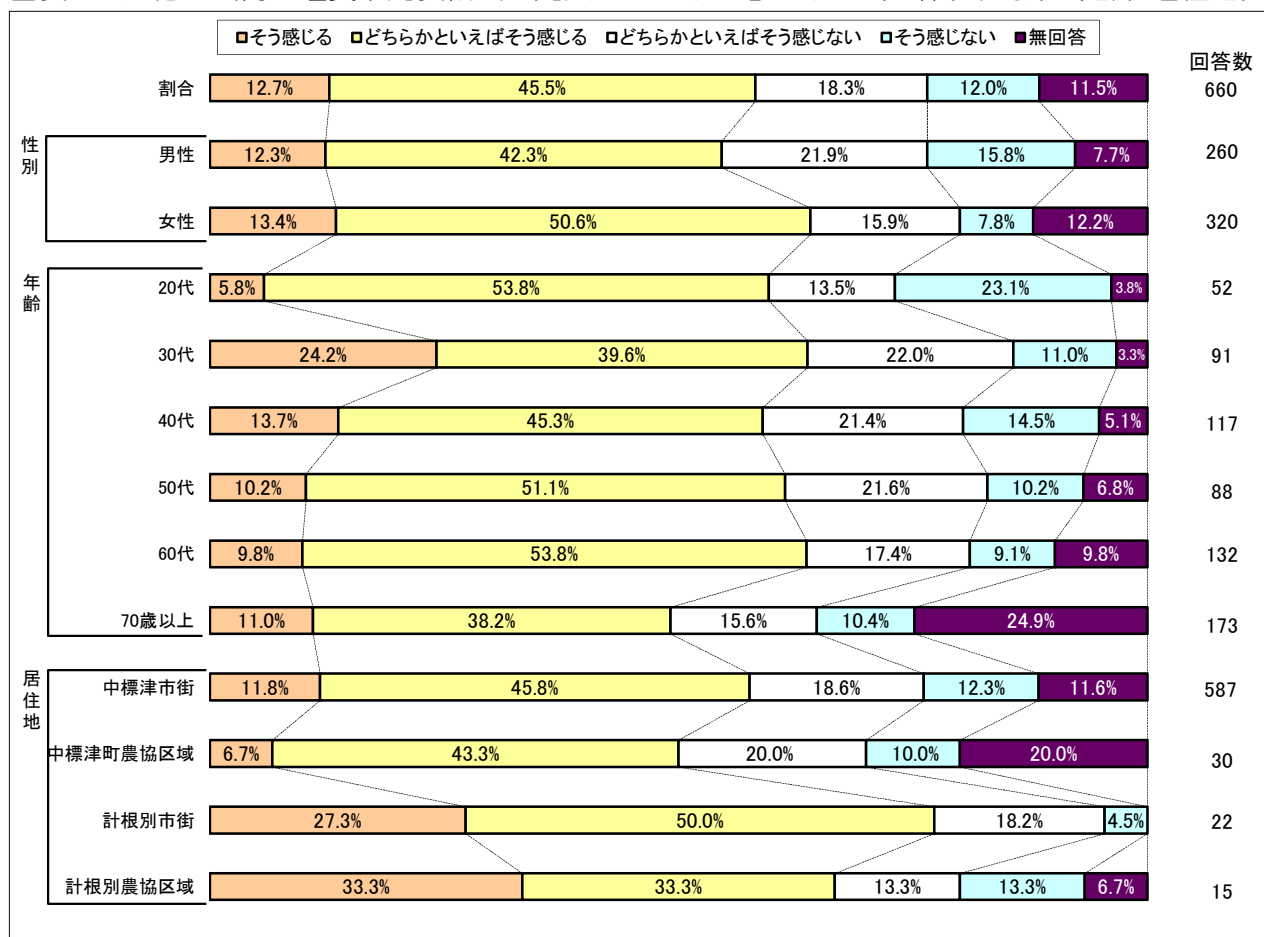
文化・芸術の鑑賞や発表機会が充実しているかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（45.5%）これに「そう感じる」（12.7%）をあわせた“そう感じる”人は、58.2%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（18.3%）、「そう感じない」（12.0%）の合計）人は30.3%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が54.6%、女性が64.0%と女性が9.4ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は30代が63.8%となっていますが、70歳以上では49.2%と低くなっています。[図表66参照]

図表66 文化・芸術の鑑賞や発表機会が充実していると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

問51 生涯学習活動・文化活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

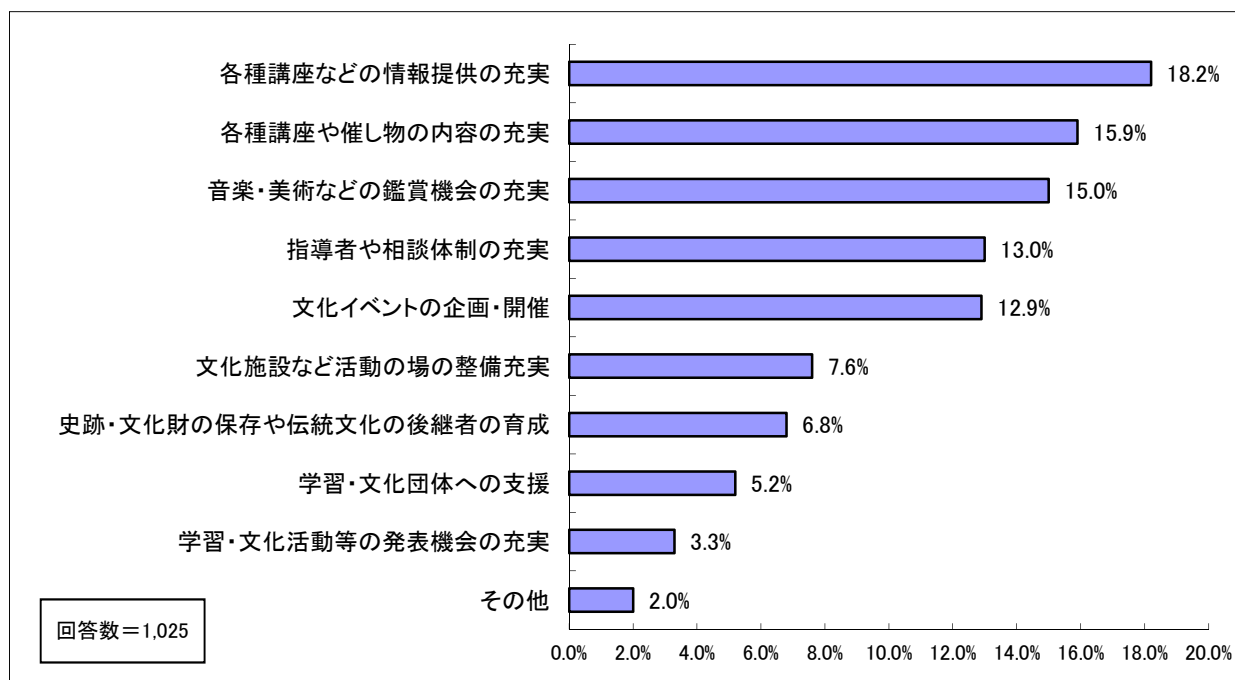


●「各種講座などの情報提供の充実」が第1位。次いで「各種講座や催し物の内容の充実」、「音楽・美術などの鑑賞機会の充実」の順。

生涯学習活動や文化活動を活発にするには、「各種講座などの情報提供の充実」（18.2%）が第1位に挙げられ、次いで「各種講座や催し物の内容の充実」（15.9%）、「音楽・美術などの鑑賞機会の充実」（15.0%）、「指導者や相談体制の充実」（13.0%）、「文化イベントの企画・開催」（12.9%）などの順となっています。

【図表67～68参照】

図表67 生涯学習・文化活動を活発にしていくために必要なこと（全体／複数回答）



図表68 生涯学習・文化活動を活発にしていくために必要なこと（年齢／複数回答）（上位3位%）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	音楽・美術などの鑑賞機会の充実 24.4	指導者や相談体制の充実 16.3	文化イベントの企画・開催 15.1
	30代	音楽・美術などの鑑賞機会の充実 20.1	各種講座などの情報提供の充実 16.2	各種講座や催し物の内容の充実 17.5
	40代	文化イベントの企画・開催 18.7	各種講座などの情報提供の充実 17.0	音楽・美術などの鑑賞機会の充実 （同率2位）17.0
	50代	各種講座などの情報提供の充実 19.3	音楽・美術などの鑑賞機会の充実 17.1	各種講座や催し物の内容の充実 16.4
	60代	各種講座などの情報提供の充実 22.9	各種講座や催し物の内容の充実 18.0	指導者や相談体制の充実 12.7
	70歳以上	各種講座などの情報提供の充実 19.3	各種講座や催し物の内容の充実 16.1	指導者や相談体制の充実 14.9

問52 運動やスポーツに取り組んでいますか。

● “取り組んでいる” が38.0%、“取り組んでいない” が58.1%。

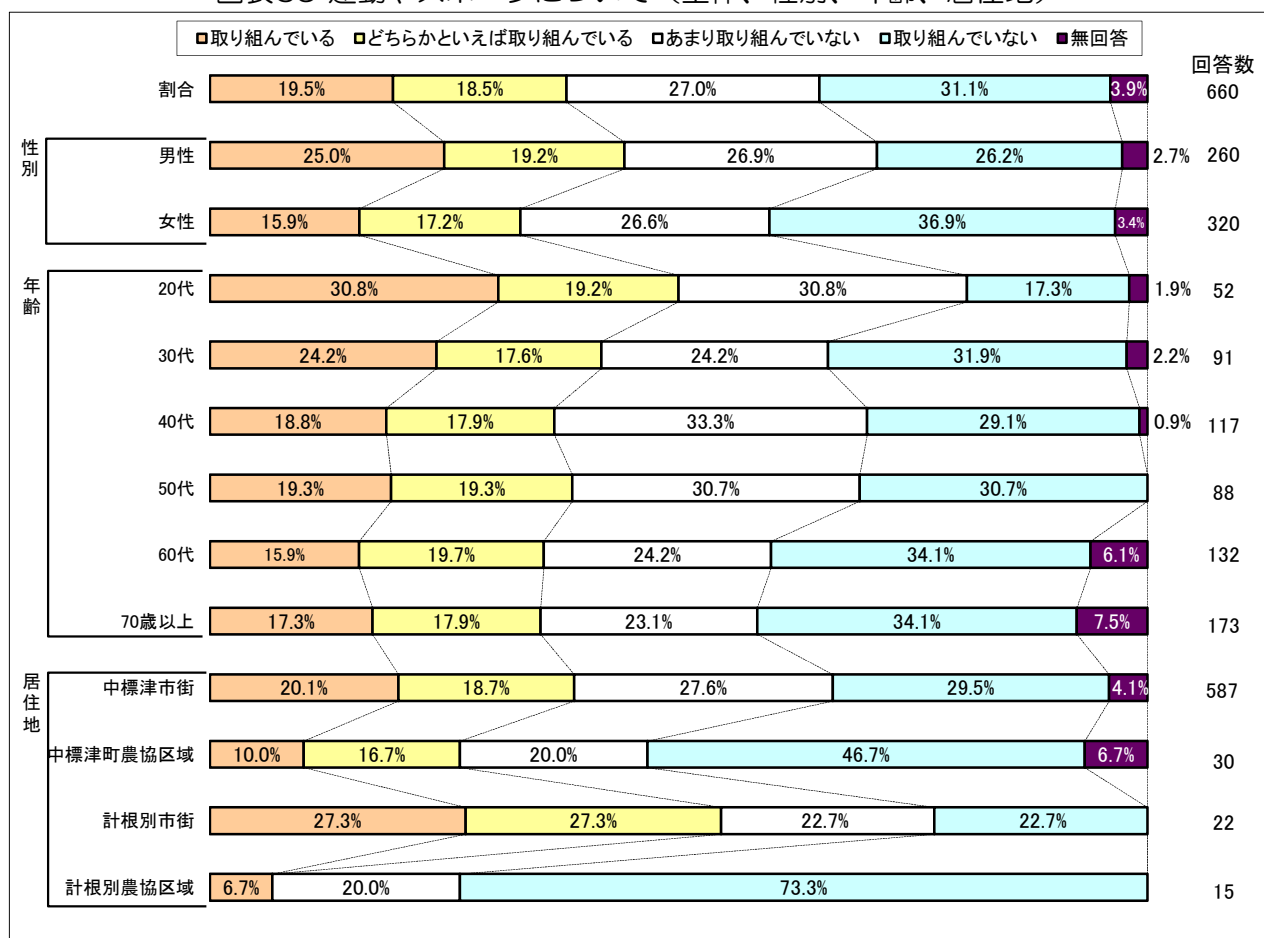
運動やスポーツに取り組んでいるかたずねたところ、「取り組んでいる」（19.5%）これに「どちらかといえば取り組んでいる」（18.5%）をあわせた“取り組んでいる”という人が38.0%となっています。

一方、“取り組んでいない”（「取り組んでいない」（31.1%）と「あまり取り組んでいない」（27.0%）の合計）人は58.1%となっています。

性別の“取り組んでいる”人の割合は男性が44.2%、女性が33.1%と男性が11.1ポイント上回っています。

年齢別の“取り組んでいる”人の割合は20代が50.0%と高くなっていますが、70歳以上では35.2%となっています。[図表69参照]

図表69 運動やスポーツについて（全体、性別、年齢、居住地）



問53 スポーツ活動をより活発にしていくためには、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

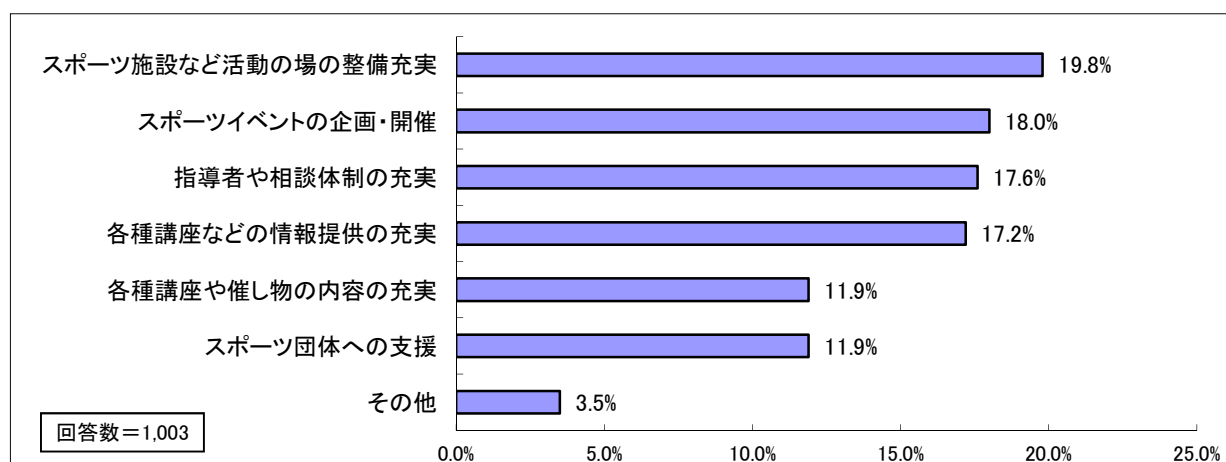


●「スポーツ施設など活動の場の整備充実」が第1位。次いで「スポーツイベントの企画・開催」、「指導者や相談体制の充実」の順。

スポーツ活動を活発にするには、「スポーツ施設など活動の場の整備充実」（19.8%）が第1位に挙げられ、次いで「スポーツイベントの企画・開催」（18.0%）、「指導者や相談体制の充実」（17.6%）、「各種講座などの情報提供の充実」（17.2%）などの順となっています。

年齢別の第1位は50代・60代では「各種講座などの情報提供の充実」、70歳以上では「指導者や相談体制の充実」、他の年齢層では「スポーツ施設など活動の場の整備充実」となっています。[図表70～71参照]

図表70 スポーツ活動を活発にしていくために必要な取り組み（全体／複数回答）



図表71 スポーツ活動を活発にしていくために必要な取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 30.0	スポーツイベントの企画・開催 26.7	スポーツ団体への支援 13.3
	30代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 22.7	スポーツイベントの企画・開催 19.3	同率複数のため省略 -
	40代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 24.3	スポーツイベントの企画・開催 17.7	同率複数のため省略 -
	50代	各種講座などの情報提供の充実 23.9	指導者や相談体制の充実 21.6	スポーツ施設など活動の場の整備充実 15.7
	60代	各種講座などの情報提供の充実 20.8	スポーツイベントの企画・開催 18.8	指導者や相談体制の充実 15.1
	70歳以上	指導者や相談体制の充実 21.5	スポーツ施設など活動の場の整備充実 17.9	スポーツイベントの企画・開催 16.3
居 住 地	中標津市街	スポーツ施設など活動の場の整備充実 19.8	各種講座などの情報提供の充実 18.0	スポーツイベントの企画・開催 17.7
	中標津町農協区域	スポーツイベントの企画・開催 28.9	指導者や相談体制の充実 21.1	スポーツ施設など活動の場の整備充実 13.2
	計根別市街	指導者や相談体制の充実 30.3	スポーツ施設など活動の場の整備充実 (同率1位) 30.3	スポーツ団体への支援 12.1
	計根別農協区域	スポーツイベントの企画・開催 29.4	各種講座などの情報提供の充実 23.5	同率複数のため省略 -

(7) 人権・男女共同参画について

問54 男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じますか。

● “そう感じる” が52.3%、“そう感じない” が33.6%。

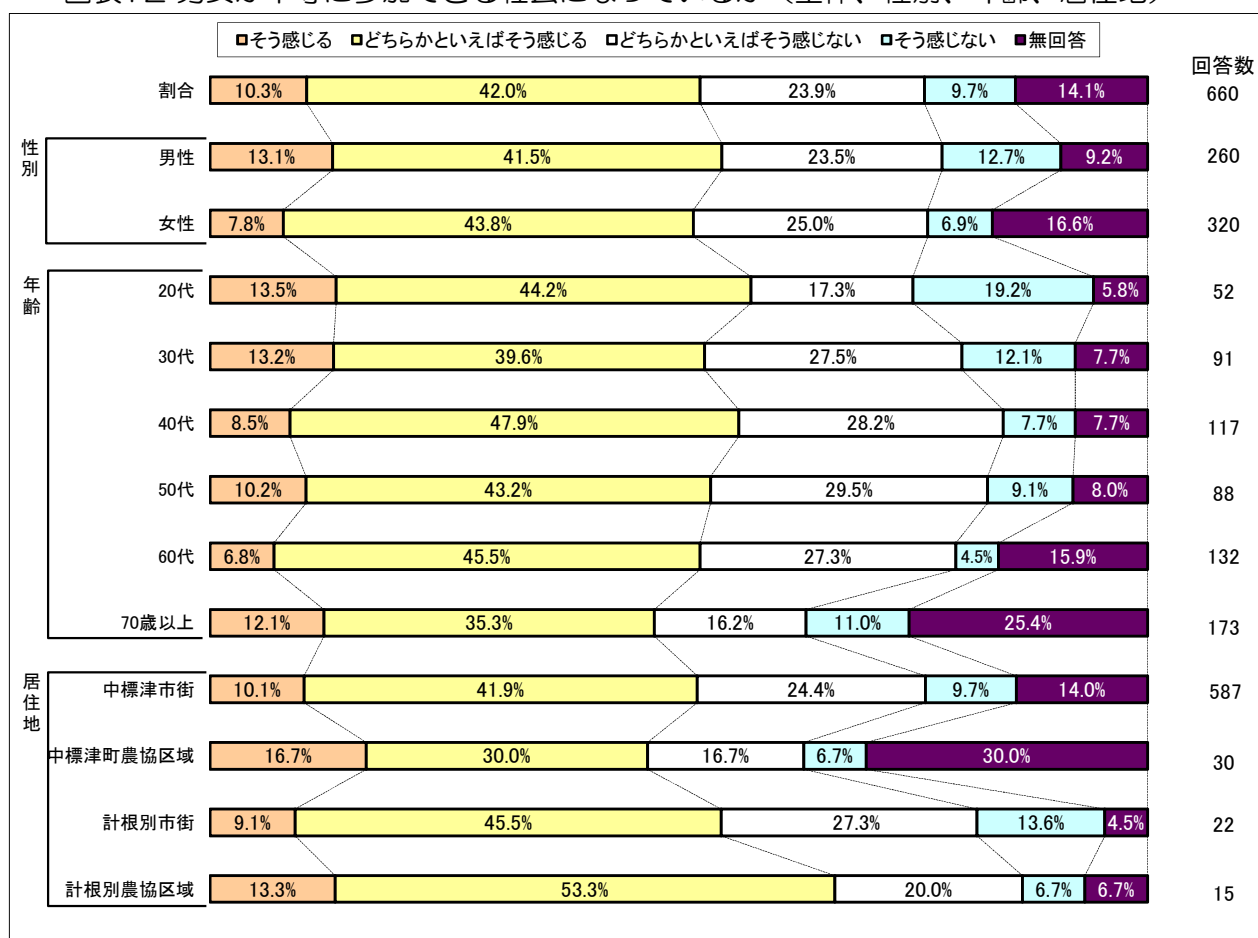
男女が平等に参加できる社会になっていると感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（42.0%）これに「そう感じる」（10.3%）をあわせた“そう感じる”人は、52.3%となっています。

一方、“そう感じない”人（「どちらかといえばそう感じない」（23.9%）、「そう感じない」（9.7%）の合計）は33.6%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が54.6%、女性が51.6%と男性が3.0ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は20代では57.7%となっていますが、70歳以上では47.4%となっています。【図表72参照】

図表72 男女が平等に参加できる社会になっているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

問55 男女が平等に参加できる社会を形成するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

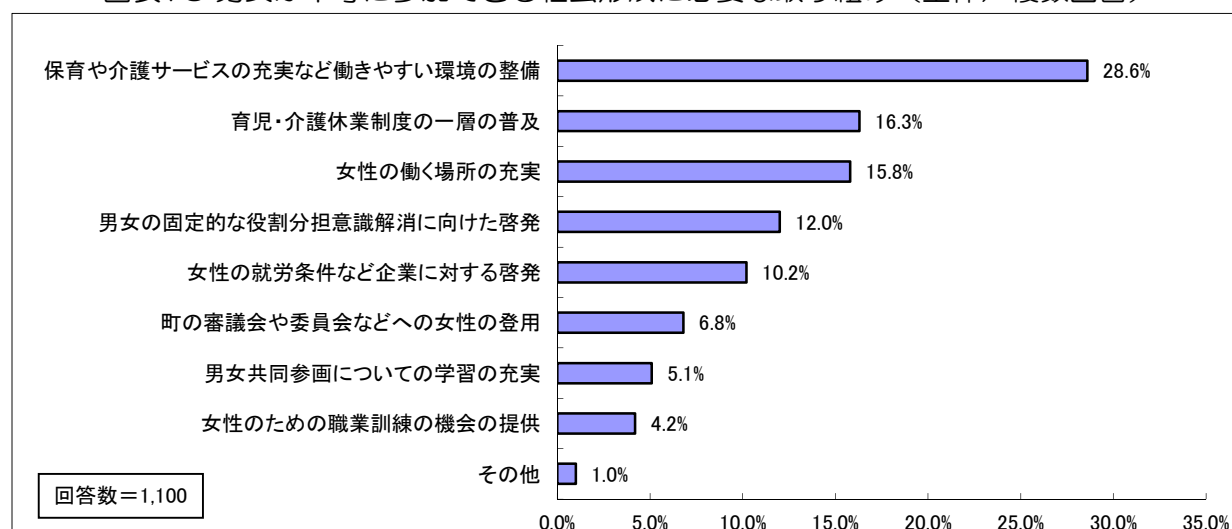


- 「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」が第1位。次いで「育児・介護休業制度の一層の普及」、「女性の働く場所の充実」の順。

男女が平等に参加できる社会の形成に必要なことをたずねたところ、「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」（28.6%）が第1位に挙げられ、次いで「育児・介護休業制度の一層の普及」（16.3%）、「女性の働く場所の充実」（15.8%）、「男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発」（12.0%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、全ての年代で「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」となっています。[図表73～74参照]

図表73 男女が平等に参加できる社会形成に必要な取り組み（全体／複数回答）



図表74 男女が平等に参加できる社会形成に必要な取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 26.9	育児・介護休業制度の一層の普及 25.8	女性の働く場所の充実 19.4
	30代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 31.3	育児・介護休業制度の一層の普及 22.3	男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発 12.0
	40代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 28.2	女性の働く場所の充実 16.9	育児・介護休業制度の一層の普及 14.9
	50代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 27.9	女性の働く場所の充実 19.0	育児・介護休業制度の一層の普及 12.2
	60代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 29.2	育児・介護休業制度の一層の普及 14.2	女性の働く場所の充実 13.7
	70歳以上	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 27.8	女性の働く場所の充実 16.7	育児・介護休業制度の一層の普及 14.1
居 住 地	中標津市街	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 28.6	女性の働く場所の充実 16.3	育児・介護休業制度の一層の普及 15.9
	中標津町農協区域	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 37.2	育児・介護休業制度の一層の普及 18.6	男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発 14.0
	計根別市街	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 21.6	育児・介護休業制度の一層の普及 (同率1位) 21.6	女性の働く場所の充実 13.5
	計根別農協区域	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 29.2	育児・介護休業制度の一層の普及 20.8	男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発 16.7

問56 女性が抱える様々な悩みに対応する相談窓口があることを知っていますか。

●「知っている」が14.1%。「知らない」が82.4%。

女性が抱える様々な悩みに対応する相談窓口があることを知っているかたずねたところ、「知っている」と回答した人は14.1%となっているのに対し「知らない」と回答した人は82.4%と知らない人が上回っています。

性別で「知っている」と回答した人は男性が13.5%、女性は14.7%と女性が1.2ポイント上回っています。

年齢別では全ての年齢層で2割未満となっています。[図表75参照]

図表75 女性の相談窓口の設置について（全体、性別、年齢、居住地）



(8) 地域間交流について

問57 国際交流や他地域との交流に参加したいと思っていますか。

● “そう思う” が37.6%、“そう思わない” が56.2%。

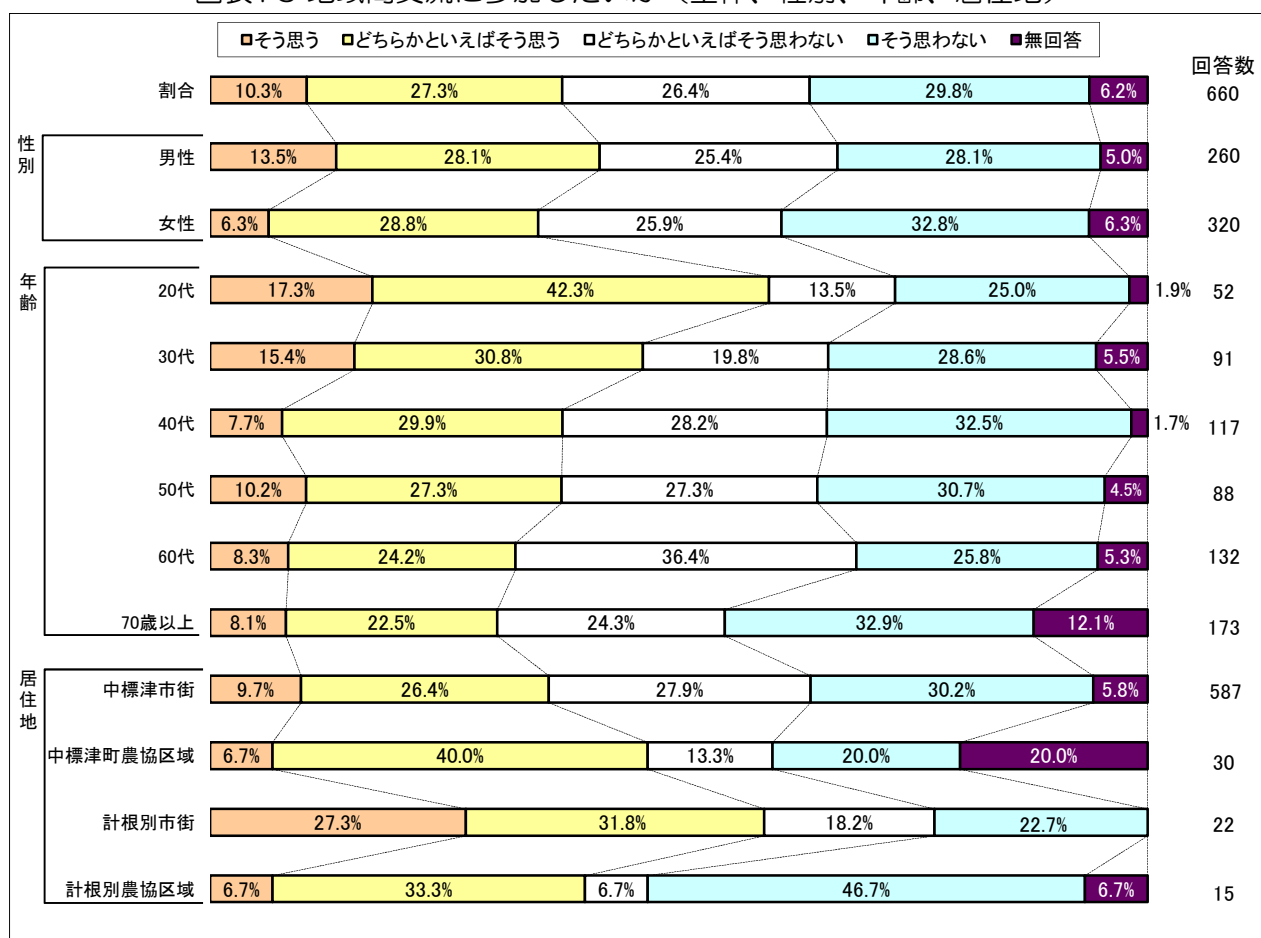
国際交流や他地域との交流に参加したいかたずねたところ、「どちらかといえばそう思う」(27.3%)これに「そう思う」(10.3%)をあわせた“そう思う”という人が37.6%となっています。

一方、“そう思わない”（「どちらかといえばそう思わない」(26.4%)、「そう思わない」(29.8%)の合計）は56.2%となっています。

性別の“そう思う”人の割合は男性が41.6%、女性が35.1%となり男性が6.5ポイント上回っています。

年齢別の“そう思う”人の割合は20代が59.6%となっていますが、70歳以上では30.6%となっています。[図表76参照]

図表76 地域間交流に参加したいか（全体、性別、年齢、居住地）



問58 国内外との交流活動について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

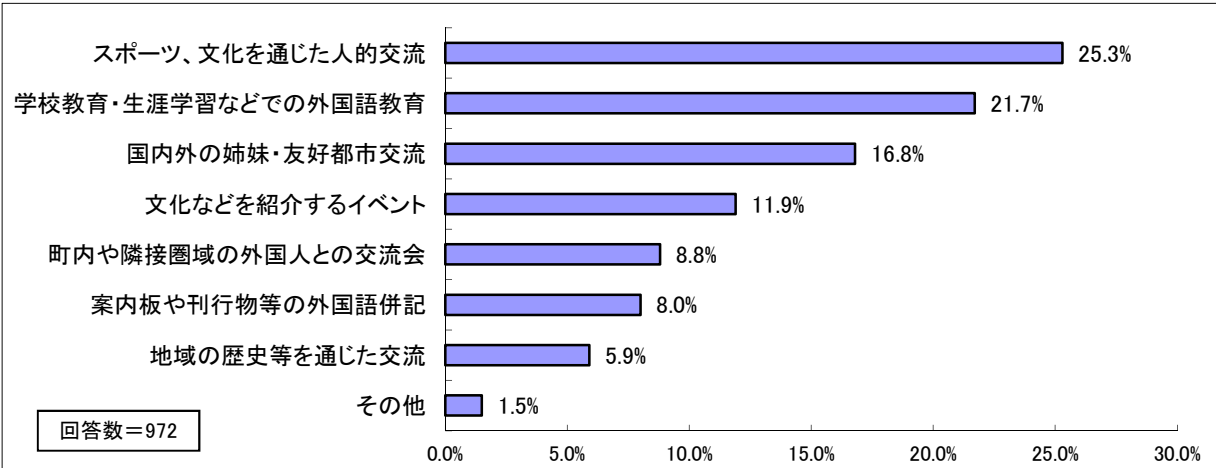


●「スポーツ、文化を通じた人的交流」が第1位。次いで「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」、「国内外の姉妹・友好都市交流」の順。

国内外との交流活動について今後の取り組みは何が必要かたずねたところ、「スポーツ、文化を通じた人的交流」（25.3%）が第1位に挙げられ、次いで「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」（21.7%）、「国内外の姉妹・友好都市交流」（16.8%）、「文化などを紹介するイベント」（11.9%）などの順となっています。

年齢別の第1位は20代では「国内外の姉妹・友好都市交流」、30代は「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」、その他の年代では「スポーツ、文化を通じた人的交流」となっています。[図表77～78参照]

図表77 国内外との交流活動に必要な取り組み（全体／複数回答）



図表78 国内外との交流活動に必要な取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	国内外の姉妹・友好都市交流 25.3	スポーツ、文化を通じた人的交流 23.1	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 17.6
	30代	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 23.8	国内外の姉妹・友好都市交流 20.4	スポーツ、文化を通じた人的交流 (同率2位) 20.4
	40代	スポーツ、文化を通じた人的交流 26.9	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 25.3	国内外の姉妹・友好都市交流 14.5
	50代	スポーツ、文化を通じた人的交流 28.1	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 18.8	国内外の姉妹・友好都市交流 16.4
	60代	スポーツ、文化を通じた人的交流 28.3	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 19.4	国内外の姉妹・友好都市交流 15.2
	70歳以上	スポーツ、文化を通じた人的交流 24.0	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 22.6	国内外の姉妹・友好都市交流 14.5
居 住 地	中標津市街	スポーツ、文化を通じた人的交流 25.8	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 21.8	国内外の姉妹・友好都市交流 16.3
	中標津町農協区域	町内や隣接圏域の外国人との交流会 27.3	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 24.2	国内外の姉妹・友好都市交流 21.2
	計根別市街	国内外の姉妹・友好都市交流 26.5	スポーツ、文化を通じた人的交流 23.5	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 20.6
	計根別農協区域	スポーツ、文化を通じた人的交流 31.8	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 13.6	案内板や刊行物等の外国語併記 (同率2位) 13.6

(9) 北方領土問題について

問59 北方領土問題を身近な問題と感じますか。

● “そう感じる” が62.1%、“そう感じない” が32.6%。

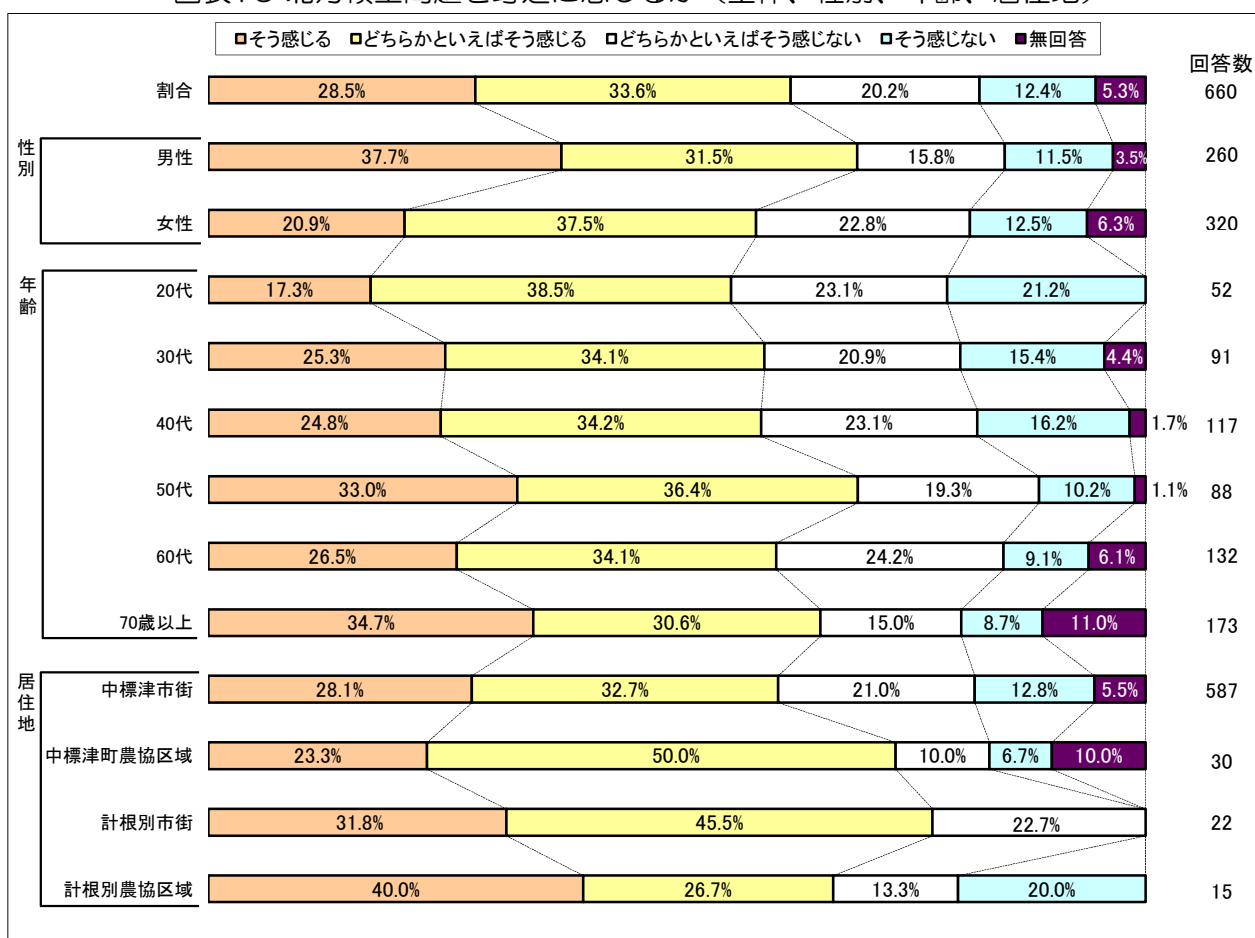
北方領土問題を身近な問題と感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（33.6%）これに「そう感じる」（28.5%）をあわせた“そう感じる”人は、62.1%となっています。

一方、“そう感じない”人（「どちらかといえばそう感じない」（20.2%）、「そう感じない」（12.4%）の合計）は32.6%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が69.2%、女性が58.4%と男性が10.8ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は、50代が69.4%と一番高くなっていますが、20代では55.8%と低くなっています。[図表79参照]

図表79 北方領土問題を身近に感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

3 費用負担について

(1) 取り組みに対する費用負担の可否について

問60 これまでの設問4から設問59において、今後必要と思われる取り組みなどについて、おたずねしてきましたが、選択された取り組みなどの実施・実現のためには、市民の費用負担が必要となる場合がありますが、どのように考えますか。

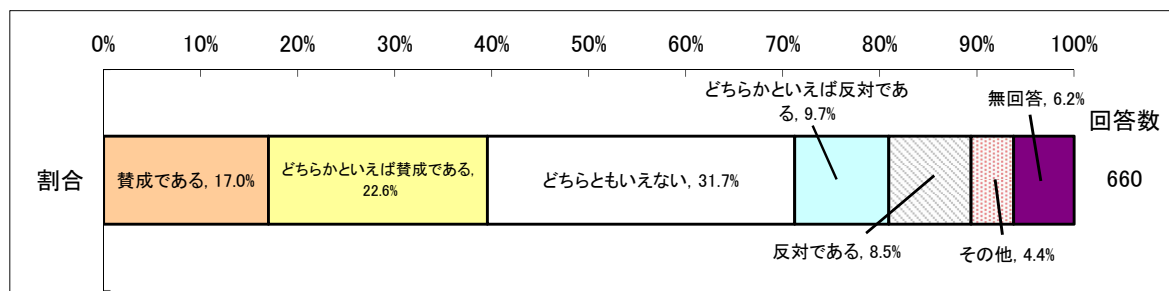
● “賛成である” が39.6%、“反対である” が18.2%、「どちらともいえない」が31.7%、「その他」が4.4%。

取り組みに対する費用負担の可否についてたずねたところ、「賛成である」（17.0%）これに「どちらかといえば賛成である」（22.6%）をあわせた“賛成である”という人が39.6%となっています。

一方、“反対である”（「どちらかといえば反対である」（9.7%）及び「反対である」（8.5%）の合計）は18.2%となっています。

なお、「どちらともいえない」の回答は31.7%ありました。[図表80参照]

図表80 取り組みに対する費用負担の可否（全体）



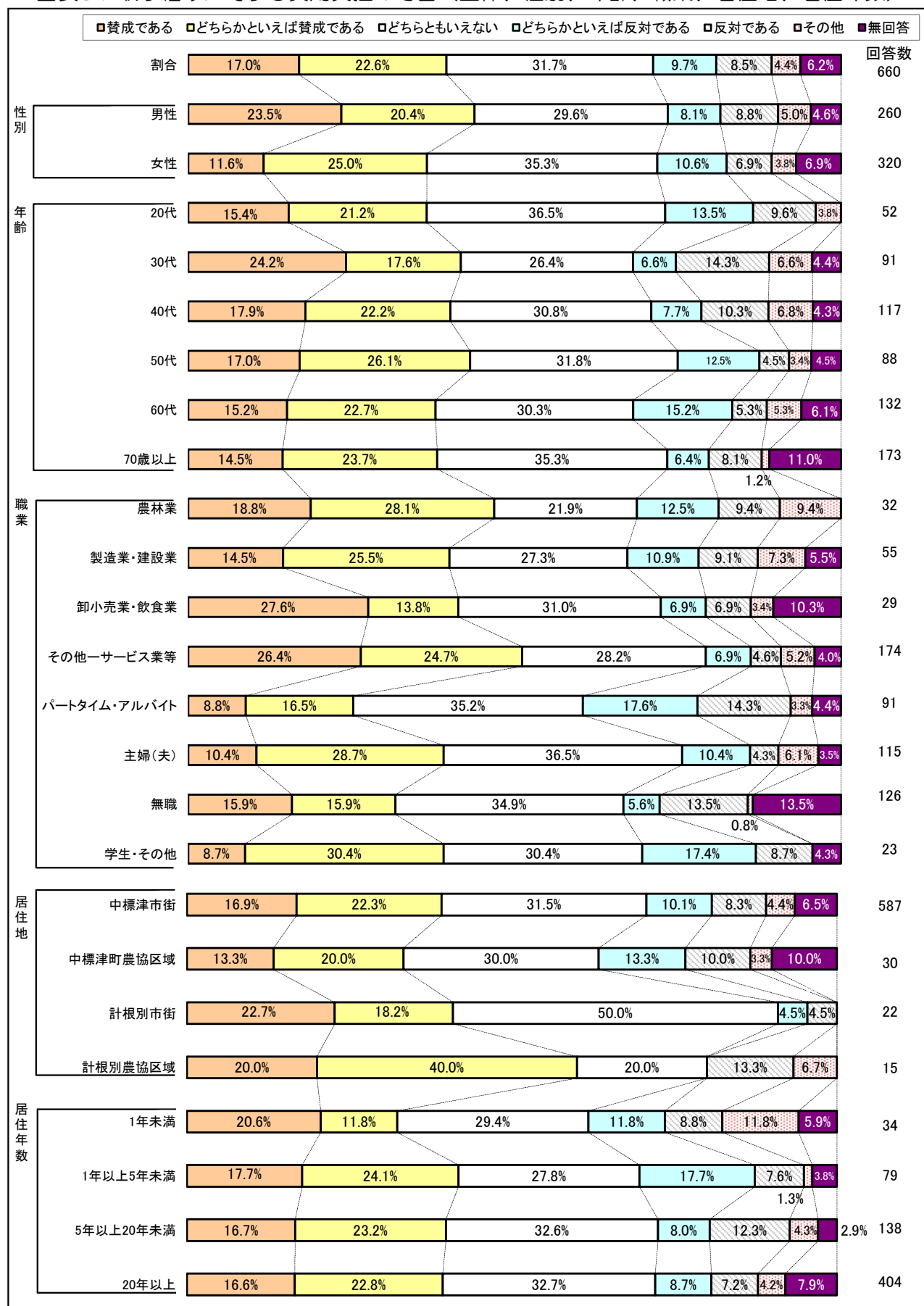
性別で“賛成である”人の割合は、男性（43.9%）と女性（36.6%）と男性が7.3ポイント上回っています。

年齢別にみると50代の“賛成である”人の割合は43.1%となりましたが、20代では36.6%となっています。

職業別で“賛成である”人の割合の高い層をみると、その他・サービス業（51.1%）となっていますが、パートタイム・アルバイトにおいては、25.3%と低くなっています。

[図表81参照]

図表81 取り組みに対する費用負担の可否（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



4 町民活動・協働について

(1) 地域活動・ボランティア活動について

問61① あなたの地域活動・ボランティア活動への、現在の参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。



- “参加している” が28.9%、“参加していない” が62.4%。
“参加したい” が49.0%、“参加したくない” が42.3%。

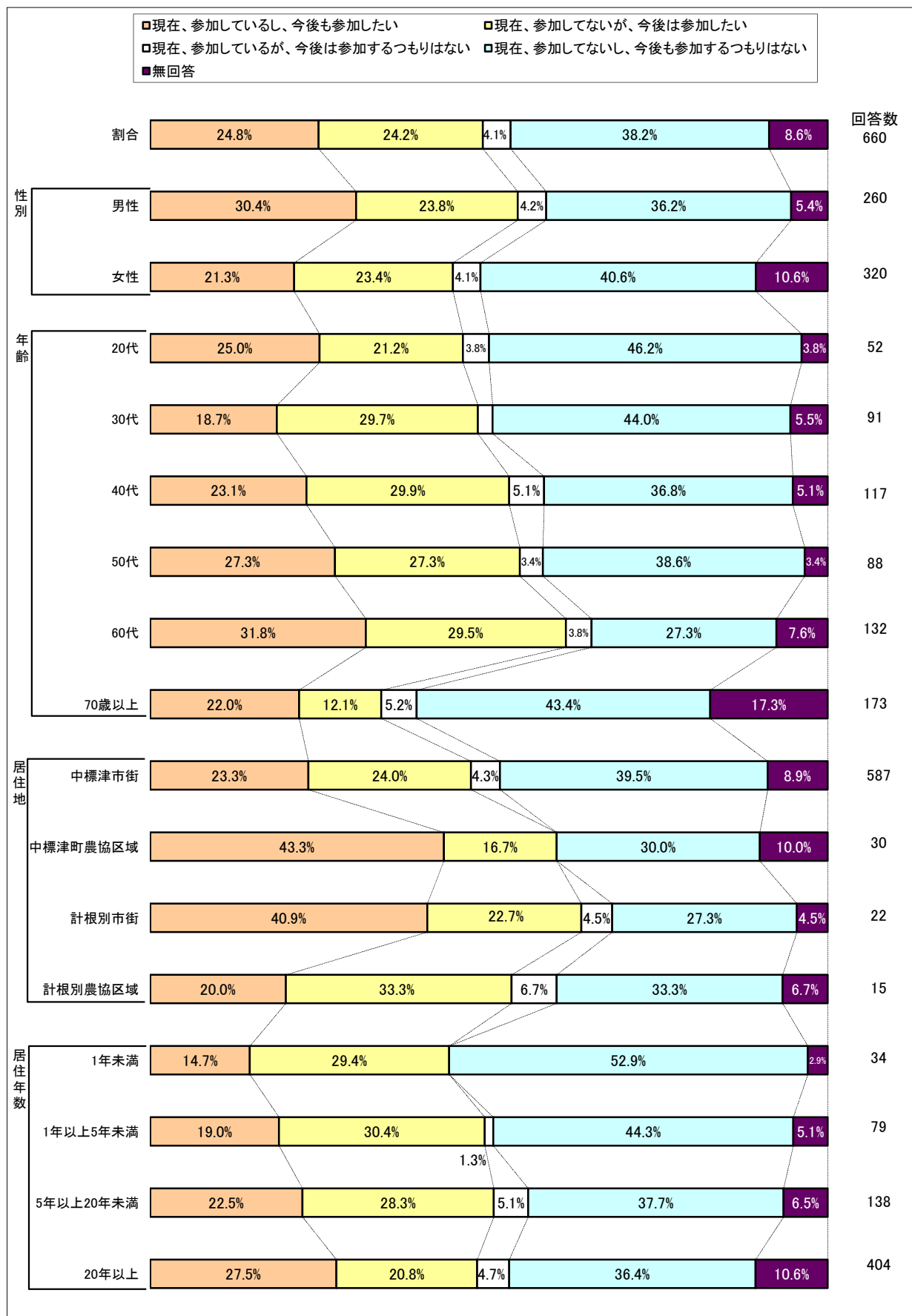
地域活動・ボランティア活動への参加状況・意向についてたずねたところ、「参加していないし、今後も参加するつもりはない」（38.2%）が最も多く、次いで「現在、参加しているし、今後も参加したい」（24.8%）、「現在、参加していないが、今後は参加したい」（24.2%）、「参加しているが、今後は参加するつもりはない」（4.1%）の順となっています。

これを今後の参加意向でみると、今後“参加したい”人（「参加しているし、今後も参加したい」（24.8%）及び「参加していないが、今後は参加したい」（24.2%）の合計）が49.0%、今後“参加したくない”人（「参加していないし、今後も参加するつもりはない」（38.2%）及び「参加しているが、今後は参加するつもりはない」（4.1%）の合計）が42.3%となっており、現在“参加している”人の28.9%から今後“参加したい”人が49.0%に増加する結果となっています。

性別で“参加したい”人の割合は男性で54.2%、女性で44.7%と男性が9.5ポイント上回っています。

年齢別でみると、“参加したい”人の割合は60代が61.3%と高いですが、70歳以上では34.1%と低くなっています。[図表82参照]

図表82 地域活動・ボランティア活動について（全体、性別、年齢、居住地、居住年数）



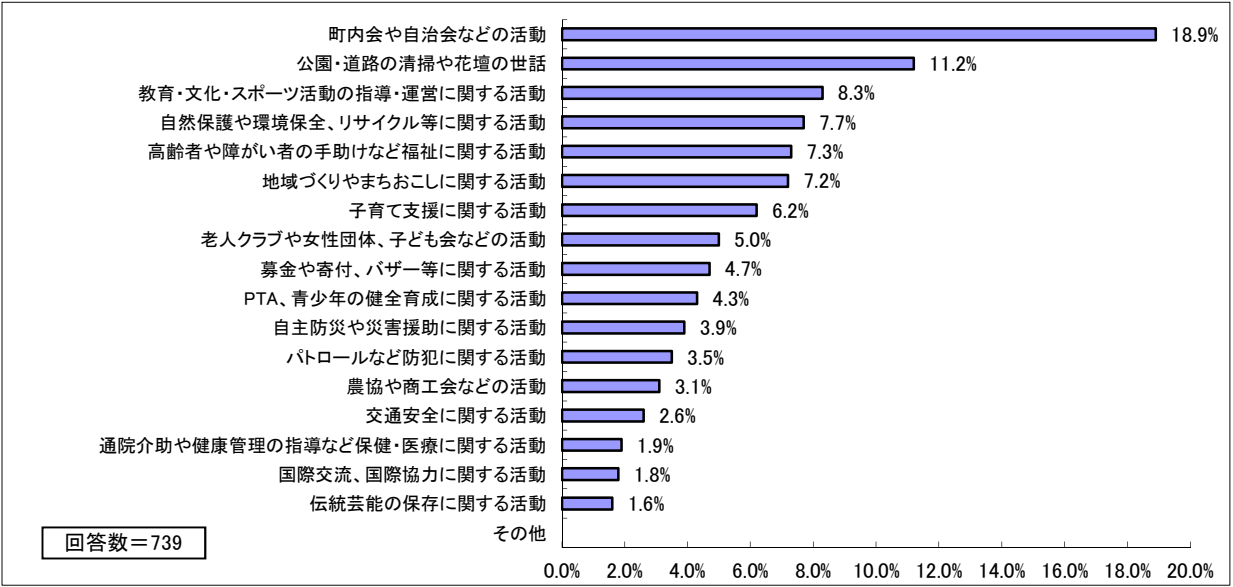
(2) 参加したい地域活動について

問61② あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。
（問61①で“参加したい”と回答した人のみ）【複数回答】

●「町内会や自治会などの活動」が第1位。次いで「公園・道路の清掃や花壇の世話」の順。

問61①で今後“参加したい”（49.0%）と回答した人に、参加したい活動をたずねたところ、「町内会や自治会などの活動」（18.9%）が第1位に挙げられ、次いで「公園・道路の清掃や花壇の世話」（11.2%）、「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動」（8.3%）、「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」（7.7%）などの順となっています。[図表83～84参照]

図表83 参加したい地域活動等について（全体／複数回答）



図表84 参加したい地域活動等について（性別、年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	町内会や自治会などの活動 21.0	公園・道路の清掃や花壇の世話 11.1	地域づくりやまちおこしに関する活動 10.8
	女性	町内会や自治会などの活動 16.7	公園・道路の清掃や花壇の世話 11.7	同率複数のため省略 -
年齢	20代	教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動 22.4	公園・道路の清掃や花壇の世話 14.3	町内会や自治会などの活動 12.2
	30代	子育て支援に関する活動 14.5	町内会や自治会などの活動 12.7	教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動 11.8
	40代	町内会や自治会などの活動 17.7	公園・道路の清掃や花壇の世話 12.1	PTA、青少年の健全育成に関する活動 9.7
	50代	町内会や自治会などの活動 19.1	公園・道路の清掃や花壇の世話 10.9	同率複数のため省略 -
	60代	町内会や自治会などの活動 21.7	公園・道路の清掃や花壇の世話 13.0	自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動 11.4
	70歳以上	町内会や自治会などの活動 23.6	公園・道路の清掃や花壇の世話 13.5	老人クラブや女性団体、子ども会などの活動 11.5
居住地	中標津市街	町内会や自治会などの活動 18.9	公園・道路の清掃や花壇の世話 11.3	教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動 8.4
	中標津町農協区域	町内会や自治会などの活動 20.0	公園・道路の清掃や花壇の世話 (同率1位) 20.0	同率複数のため省略 -
	計根別市街	町内会や自治会などの活動 15.8	高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動 13.2	同率複数のため省略 -
	計根別農協区域	町内会や自治会などの活動 31.3	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -

5 中標津町役場について

(1) 情報共有について

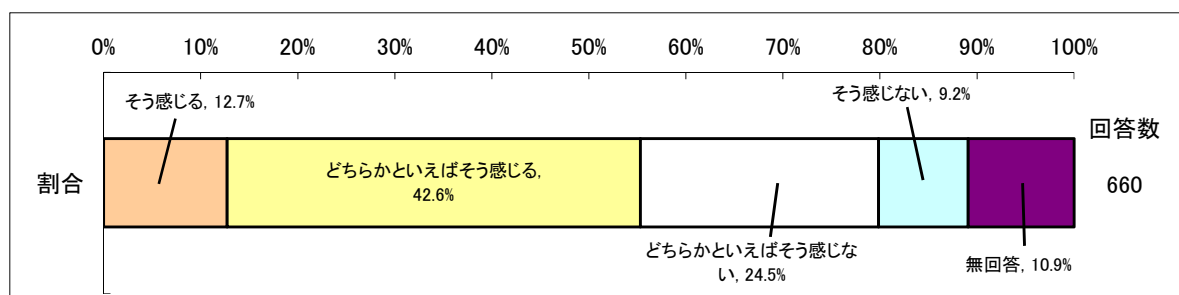
問62 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

● “そう感じる” が55.3%、“そう感じない” が33.7%。

町の情報について知りたい情報が得られているかたずねたところ、「そう感じる」（12.7%）これに「どちらかといえばそう感じる」（42.6%）をあわせた“そう感じる”人は55.3%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（24.5%）及び「そう感じない」（9.2%）の合計）人は33.7%となっています。【図表85参照】

図表85 知りたい情報が得られているか（全体）

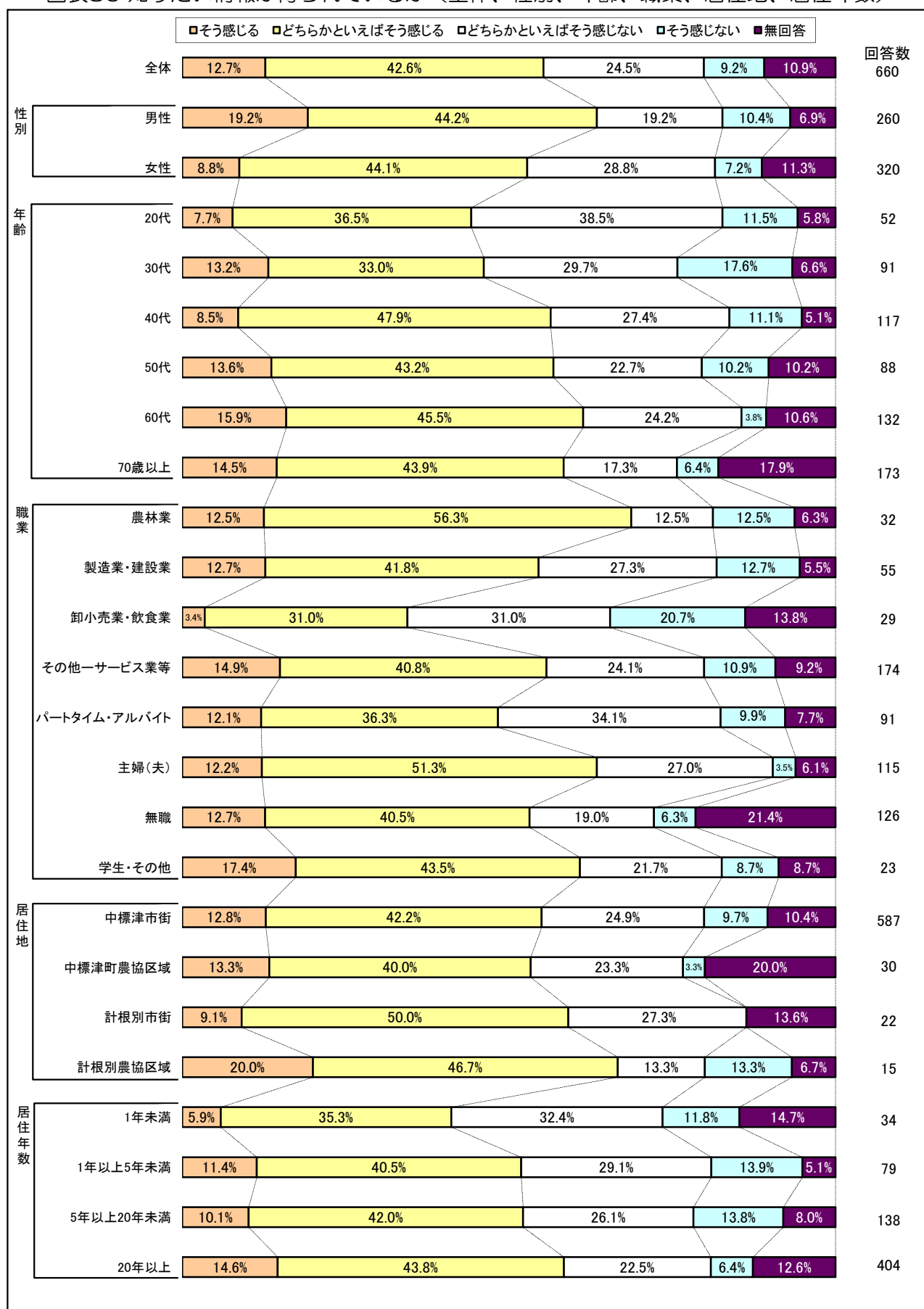


性別で“そう感じる”人をみると、男性（63.4%）が女性（52.9%）を10.5ポイント上回っています。

年齢別で、“そう感じる”人は60代の年齢層が61.4%と一番高く、20代では44.2%と低くなっています。

職業別・居住地・居住年数で“そう感じる”人の高い層をみると、職業別では農林業（68.8%）、居住地では計根別農協区域（66.7%）、居住年数では、20年以上（58.4%）などとなっています。【図表86参照】

図表86 知りたい情報が得られているか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

(2) 役場の窓口について

問63 役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じますか。

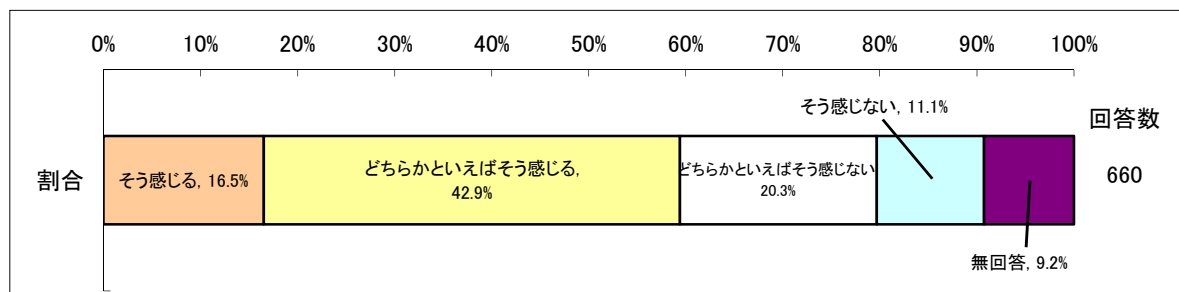


● “そう感じる” が59.4%、“そう感じない” が31.4%。

役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じるかたずねたところ、「そう感じる」(16.5%)これに「どちらかといえばそう感じる」(42.9%)をあわせた“そう感じる”人は59.4%となっています。

一方、“そう感じない”(「どちらかといえばそう感じない」(20.3%)及び「そう感じない」(11.1%)の合計)は31.4%となっています。[図表87参照]

図表87 役場窓口を利用しやすいと感じるか(全体)

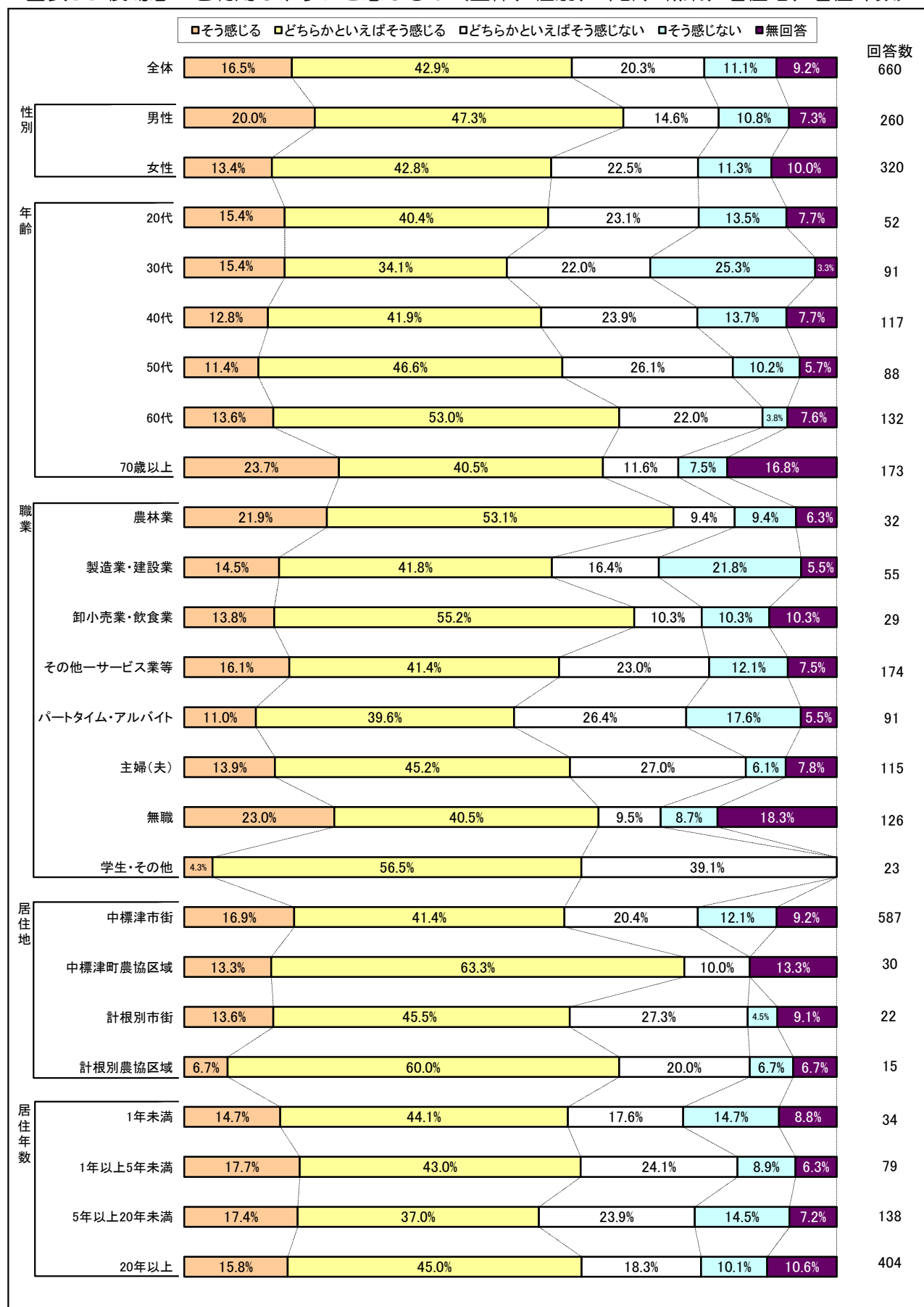


性別で“そう感じる”人をみると、男性(67.3%)が女性(56.2%)を11.1ポイント上回っています。

年齢別で、“そう感じる”人は60代が66.6%と一番高く、30代では49.5%と低くなっています。

職業別・居住地・居住年数で“そう感じる”人の高い層をみると、職業別では農林業(75.0%)、居住地では中標津町農協区域(76.6%)、居住年数では20年以上(60.8%)などとなっています。[図表88参照]

図表88 役場窓口を利用しやすいと感じるか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



○この設問に対する具体的な回答は（別冊）設問別記述意見一覧に記載のとおり。

6 将来人口目標について

(1) 目標の達成に必要なこと

問64 第6期中標津町総合発展計画【計画期間：平成23年度～令和2年度（2011年度～2020年度）】では、令和2年度の将来人口を25,000人（令和元年5月末現在23,373人）と設定していますが、目標達成には今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

●回答者660人、記入率58.9%、意見389件（記述式での回答）

目標達成に必要な取り組みについて、意見等を記入した人は389人で、回答者（660人）に対する記入率は58.9%でした。

これらの集約した意見を「まちづくり・行財政分野」「健康・福祉・医療分野」「経済・産業分野」「生活基盤分野」「生活環境分野」「教育・文化分野」という6つの分野で区分し、まとめると次のとおりとなります。[図表89参照]

図表89 将来人口目標の達成に必要な取り組み一覧

分野	性別	年齢	意見集約
まちづくり・ 行財政分野	男性	20歳代	正直よく分からないので、町の行政に従うまでです。
			市町村の合併。
		30歳代	他の自治体に比べて強みを持ちつづけること。「これ」があるから中標津に行ってみたい、住みたい、と思わせる。 町民の負担が大きすぎる。税金が高すぎて何の為に働いてるかわからない。
		40歳代	住民目線の街づくりだと思います。住む、実住するのは理由があります。住民の声を多く聞くことだと思います一時に若者の町離れは深刻→若者の定着を一番の目標に。町の考えている住みやすい街づくりは一間大井、その通りだと思う。但し施設の充実が全てではなく、(土地確保、税制など)民間企業を誘致に特化するなどした方が、良い流れをつくれれば自然と人や医療も(民間レベルで)充実すると思います。 行政サービスの充実。 年少人口(10ー19才)の減少に特に配慮して生産人口との調整を進めて欲しいです。
		50歳代	町政に参画できる。
		60歳代	定住者の増加、国及び道職員の定住化を要望する。町の仕事をするなら、支店、出張所等出先を設けるなど行政が行うことがまだあるはず。 近隣町からの人口流入がないとは言えないのでとりあえず24,000人の維持が大事だと思います。 70才以上町民税無料・国民年金保険半額。 “幽霊じんこう”の調査・実態の把握。※近隣の町に住所があって、実質本町に居住している方。
		70歳以上	もはや2万5千人は、不可能と認識し、現状から未来を考えるべき。老朽化が進んでであろう全ての公共施設の維持管理、更新計画の予算すら危ういのではと考える。 全国の地方町村の現状では人口は減少している。現状の確保で最大の努力と思う行政の取組が出来る所は無いと思う。 すでに人口減の方にシフトしている今、これは中標津だけではなく、四町の協力が必要だと思います。特に、若い人が少なくなっている今、どうしたら若者が住んでくれるか研究する必要があると思います。一次産業も大事ですが、若い人が働くことに意識が向く職業が必要ではないか。 明るい社会を作る事。 町が強く人口増加に取り組んでください。
		20歳代	例えば中標津町民になった時の特典(標津町の子どもの医療費等、土地代無償化?のような話を聞いたことがあるので)があれば人口増加につながるのではと思います。お金がかかることですが、そういった利得があるのであれば、月数千円とか支払う義務があっても私は良いです。強制的に町内会に入るとか、町内会費の義務化とか。(参否あると思いますが。)頑張って取り組んでいくにもお金がないとなかなか人口増加にはつながっていかないのではそれくらいやらないと厳しいのでは…と思いました。老若男女、全ての町民が納得するのは不可能なので、理解ある人が少しずつ増えていけるように良いイメージがもてるような説明を役場の方々にしていただきたいです。
		30歳代	ひとえに人口を増やすと言っても、どの世代の人口を増やしたいのかで、取り組む内容が違うと思う。他の町や他県から人を呼ぶなら、この町でしか出来ない生活環境を整えるべきだと思う。社会的な環境としては職種がかなり限られてしまうので、高卒の子達は就職しない限りは嫌でも町から出て行く事になる。町自体が人を追い出すように出来ているので、この町にいても資格が取れたり、それを活かせる環境があれば良いと思う。インターネットを使ってフリーランスでも生活が出来るような町であれば、自然を好む人には住みやすい町になるかも知れない。子どもを増やしたいなら、子育てや社会復帰、子育てをしたからこそ活かせるイベントや活動の場などを充実させる。父親も子育てに積極的にになれるような職場環境をつくる。社会的に男女平等を謳っても、子育てが絡むと女性の負担がまだまだ当たり前で、これだと女性は子どもを生む事をためらってしまう。この町の自然を守りながら、社会面は豊かになるのは難しいと思うが、まずは日本で一番住民が幸せな町をつくりたい。
		40歳代	中標津が住みやすい町と誰もが感じる。又、旅行に来た時に、住みたいと感ずること。 中標津に住みたいと思ってもらえる街作りをする。
		50歳代	進学の為地元を離れた人のUターンに相談できる窓口があると良い。医療関係の進学者に、返金不要の奨学金の充実、地元に戻ってきて働いてくれる人への支度金など。
		50歳代	働き口もないと来ないし、暮らしたい街作りになってないと都会へ出ていく。家族が暮らせる街作りをするのかどこに重点をおくのか不明だと難しいかも。
		50歳代	若い世代のとり込みしかないとします。全く、町内に無い職種の仕事の誘致、1次産業の労働条件、労働環境を働きやすい工夫が大事だと思います。空港があり、ゆめの森公園があり、近隣に風光明媚なところが多い、この立地を役立ててほしいです。空き家の利用、整理、移住の条件を、もっと、わくわくするような提案が出来れば良いと思いますが、勤めている役場の職員の地元愛をもう少し具体的に示して頂きたいと思います。役場内のどんよりした空気感は、ちょっといただけないと思います。
		50歳代	総人口が減少している時代にこの目標は、無理な話ではありませんか。どちらかと言えば、満足度を上げることが大事では。
	50歳代	魅力のある町にして下さい。	
	50歳代	これから人口は増えないと思います。できるだけ今の人口を維持していくしかないかと。...	
	女性	60歳代	無理して増やす必要はあるのでしょうか？ 標津町のように土地の無償化で人を呼ぶか、もちろん条件付か、大型企業の誘致等、皆んな色々と考えておりますが、今、ニセコ等の土地の値上がり等又人口も増えているのもあり、良いところを参考にしながら大きくなってほしいです、今のままで不安なのは私だけでしょうか？ 物ではなく、「人づくり」しかないとします。 新しい発想の展開。
		70歳以上	目標の25,000人の達成はむずかしいと考える。無理な取り組みはせず、現状維持としては。(企業、大学等の誘導で増加は可能と思うが、)

図表89 将来人口目標の達成に必要な取り組み一覧

分野	性別	年齢	意見集約
まちづくり・ 行財政分野	女性	70歳以上	近隣の人から中標津は住みやすいと聞いています。人口減等色々ありますが高齢者ばかり集まる街ではなく、若者が集まる町にしてほしいです。でも、地方の方からも、中標津は皆さん、評価高いですよ！！自信をもって進んで下さい！！
			現在の中標津町は暗く、弱っているように思う。税金を納めているわりには、町民に還元される事が少なく、不満が多い町になってしまったと思う。
			住み良い町中標津町には私は遠方から望む山並武佐岳等が私の自慢、家の中から眺められる事が満足でしたが廻りの建物でさえぎられ、少し不満ですが長く住んでいると仕方のない事です。将来の中標津は、住人が安心して働ける職場、仕事が第一だと思います。支援学校も設置して人口も増えましたが、現在は人口減のように思います。今後は林業に関する学校を目指しているとか。何らかの人口減を止めようと努力している事と思います。どうぞ25000人達成なる事、生がいのある中標津町でありますように願う74才で、もう少しで50年間この町で住む事に感謝しております。これからもよろしくお願い致します
			人口が少なく一方に中標津だけが多くなるのは難しいと思いますが、産業とか夏の間だけ道東に移住する人とかが札幌の孫は「中標津は田舎じゃない、なんでもあり都会なみ」と言うのでそこに利があると思います。
			若者が町に残るための計画が必要では。
	無回答	70歳以上	どうしたらいいのでしょうか、私はもう71才ですから将来人口目標について考えられません。一日一日のことで精いっぱいです。でも人生100年時代に突入しましたから、どうなのでしょうね
			子どもや孫の生活に町の力がどれだけ生かされるかですよ、私はあと何年かわかりませんが、子ども孫たちに繋げれば幸いです。
			人口は絶対多くならないので、コンパクトにすること。
		無回答	所得税が高い。あまりお金をかけることが出来ない。
			北方4島、経済交流、知床遺産のウルップ島までの延長。
健康・福祉・医療 分野	男性	20歳代	安心して子どもと生活できる街だと思うので、そのアピール。
			若い世代が魅力を感じるような取り組み(医療・保育・福祉等)。
			医療の発達、医療施設の確保。専門医の充実。
		30歳代	子育て世帯への助成を充実させる取り組み。
			子どもを育てる環境の整備。
			子ども手当等支援の強化。
			子育て世代やシングルマザーに援助(金銭的にも精神面も)。
			子育て世帯が標津・別海に引越す事例を何度か聞きました。もっと子育てしやすい環境にしてみてもは。大きな体育館を建てる前に。
			出生率向上の為、子育て二世帯や世代への支援(金銭的、物的)。
		40歳代	子育て世代への支援、保育の充実、子どもの産みやすい、育てやすい、環境作り。
			現状維持が良いのでは？若い人達を引きつける町づくり(子育て支援や企業の誘致)に力を入れてください。
			医療の充実。
			子育て支援の充実。
			他町村と同じく、せめて中学校の医療費無料にして、安心して子どもの出産出来るように。
			子ども達が安心して生活できる町である事だと思います。
			子どもの学費、医療負担をゼロにする等の魅力ある税制度にする。
			子ども手当の充実・子どもを産みやすい、育てやすい環境の整備
			子どもを産み、育てやすい環境に：0または1才児からの一時預り低所得への援助(住居、教育費等)
			医療福祉子育ての支援。
		50歳代	老人ホームが未だに順番待ち。
			教育内容の充実と子育てしやすい環境整備、親の教育と支援(親として、成長しようとする人を助ける)
			町立中標津病院の充実。
			医療、子育て支援。
			健康寿命への対応高齢者・院宅者の在宅生活への支援。
			病院等の施設充実。
			福祉と教育の充実・子育て支援。
			子どもを中心とした考え。母子家庭の支援。
			医療費、子育て。一般的な水準にすること。
			働く場所の充実・子育てのしやすい環境・安心でかけられる医療体制・家賃等の値下げ(他の町より、高い)。
		60歳代	子育てをしやすい町づくり。
			維持していくため町に、医療や子育て環境の充実。

図表89 将来人口目標の達成に必要な取り組み一覧

分野	性別	年齢	意見集約
健康・福祉・医療分野	男性	60歳代	女性が安心して働くことができ、子育てができる事。
			高校生、地方の大学生に奨学金無償配当幅(人数)を増やす。子ども2人以上の家庭に、18才まで医療費を無料にする。
		70歳以上	医療の充実。
			子育てのための政策を充実し若い人達が中標津で家庭を持とうと集まって来るような町にしたい。保育園医療費等の無料化等子どもを育てやすい環境作り。
			子育てのしやすい環境作り。
			若者が住みやすい町にする。(働く場所があって子どもを育てやすい町にする。)
	女性	20歳代	義務教育が終わる頃までの医療費(特に予防接種)などは、もっと安くすべき。別海で受けれるなら別海で受けたいぐらい。医療費と言うか、検査結果郵送代も高すぎ。町民ぐらいいは安くして欲しい。
			横ばいだとは思いますが、シングルマザーが多い。シングルマザーが子どもを育てやすい環境にしてほしい。そうでないと、中絶率が高くなると思います。高齢者にばかりお金かけないで、子どもにもお金をかけてほしい。
			子育て支援。
			健康維持・子育て支援の充実。
			人口増加には子育て世代が住みたいと思わなきゃ増加は期待できないと思います。国内で立て続けに起きた子どもが犠牲になるような事故、事件はないことを祈り、また自分自身も改めて気をつけなければと考えさせられる機会となりました。ガードレールや、通学路の安全対策のほか、10月から開始予定の保育量無償化後の変化への柔軟な対応を期待したいです。きっと働きたいと思うお母さんたちが増えた時により多くのお母さんたちが働くことができ、職場や、上司に恵まれる環境になれるような行政になってほしいです。
			子育て支援を増やす。
			病院の充実。
		30歳代	子育て支援、居住したくなるような街づくり。食べ物は美味しい物がいっぱいなので、他の魅力の向上。医療に関する不安は消えないので、医療の充実。
			出生率をあげる為に子どもを産んで育て、母親が働きやすい環境や子どもが体調を崩した時にサポートして頂けるととてもありがたいです。
			医療の充実(病院・医者の質の向上)。
			子育て支援の充実。
			若い人が住みやすくなりえないといけないと思うので、子育てしやすい環境、医療の充実が必要だと思う。
			若い女性をターゲットに積極的な就職口確保、就職あっせん事業が急務。具体的には、若い女性の就職場所として期待される公務員の雇用を増やすことなども検討してほしい。短期的な人口増加よりも、長期的に、魅力的な町とすることの方が重要です。具体的には、①子育て支援の充実②移住支援③子ども手当の増加④子どもの預託事業、環境整備にも力を入れてほしい。
			特に女性の子育てしやすい環境整備、医師の確保など町立病院の医療体制の充実。
			移住者⇒高齢者への優遇も良いが子育てへのサポートが必要、町民⇒”子育て世代”が子どもを産み育てたいと思える町づくり若い世代、子どもーサポート必要が増えなければ町の人口が増えても活性化はしない・起業する若い人への支援・子どもの子育て支援、小児医療の充実ー皮膚科や耳鼻科も切っても切れない子どもにとって大切な科。0～2才児の保育料支援(町独自のものとして)オムツ代支給、子ども医療費支援、子どもの施設の充実。
			保育園等の施設を充実させ、女性が長期産休に入りやすい給付金体制を作してほしい。また産休に入った際、職場に安定して戻れるようにしてほしい。
			R2までに、というのは難しいけれど、子育て世代に、この町で子を産み、育てたいと思わせるような制度があればと思う。夫婦間での子の人数の話し合いに、+1人になるような、産まれて～義務教育が終わるまでに、ほぼ無料、なんてところがあったら、転職も考えて、移住しちゃうかも。
			結婚しない、子を産まない、と選択する人をなるべく減らす取り組み、意識付け。
		40歳代	子どもを育てやすい町にする。
			子作り支援、子育て支援。
			子どもを産みたい、子育てしたい町づくりが必要だと思います。周辺の町では保育料がすでに無料だったり、お弁当支給だったり、中学？高校？まで医療費が無料だったりしていると聞きます。若い世代が増えないと人口も増えないと思います。
			保育の充実。
			子どもを育てやすい環境。
			子育て支援の充実、教育費を考えるともう1人と考える余裕は無い。
			長期に渡った子育て世代への支援。
			生まれる子どもの数より亡くなる老人の方があきらかに多いので、若い夫婦の囲い込みや、安心して子どもが産める様な環境整備が必要だと感じる。
			福祉サービス、子育てに関するサービスが充実してきたらいいと思います、介護や子育てをしながらもう少し働けるような環境づくり。
			若い方に移住してもらうしかないのでは？子どもが生まれた時に祝い金や、病院代が小学生まで無料とか、お金がかからなくて住めそうな町にしないと誰も行ない。
	50歳代		医療の確保。
			女性が安心して働いて子育てに協力できる会社。
			子育て世代にやさしい町づくりをしていく。

図表89 将来人口目標の達成に必要な取り組み一覧

分野	性別	年齢	意見集約
健康・福祉・医療分野	女性	50歳代	産めや増やせやとばかりに、「人口増加目標」？の意味がわからない。産んだからといって、簡単に育てられるわけでもなく、地域社会のみで取り組むのはむずかしいのでは？国での取り組みが必要。一時的に、医療費補助など拡大しても、解決にはならないのでは。
			子育てにとにかく手厚い中標津北海道NO1と言われるぐらいに予算もしっかりとり、取り組むべきだと思います。町長に期待します！！
			子育てしやすいまちづくり。子育て世代がこの町で子どもを育てていきたいと思うような子育て支援の環境整備。医療の充実で安心して住みつけられる町にしてい。医師の確保。観光としてもっと町の魅力をアピールしつづける。その中で定住、移住してくれる方もいるのでは。
		60歳代	若い人達が町を離れていくケースが目立ちますが、若い人達が町に愛着を持ち、この町に住み続けたいと思えるような魅力ある町づくりが必要だと思います。介護のため小樽市に行く機会が多いのですが、病院付きの介護施設が次々に建っています。私達も安心してこの町で年をとっていけるよう、医療施設のある老人介護施設がもっと充実していくといいなと思います。
			福祉の充実。
			老後を安心して考えられるように、療養施設の充実。都会はもう施設が足りなくて困っている。移住を考える人にとってこの身内がいらない場所での老後の生活の安心感は大変魅力的。子どもたちの教育、大学の誘致、語学学校、看護学校の誘致、などで教育水準を上げる、何かユニークなところを狙うことができれば、と思う。
			若い人が子どもを産みやすく育てやすい環境を整え、PRしていく。
			もっと福祉で、(グループホーム、特老)頑張してほしい。
			出産や不妊治療への助成の充実。
			中標津は生活するのにあまり不便を感じないが(車のない人には不便なところ)ここで子どもを産み育てたいという積極的な思いとなると…標津町のように何もかも無料にするのも、町が大きいので今のままでは無理そう。ふるさと納税で実現しているところもあります。もちろんお金だけの問題ではありませんが…若い人たちの働く場があること。
			ありきたりではあるが子育て環境、子どもを産んで育てたくなる町が、その以前の問題課題山積みですね。子どもたちがみんな同じ視点で目的目標が学校、親が育てる気持ちが良いです。産み育てる～赤ちゃんから、若い母親、保育する側しっかりつながる子何かががあると良い…か。具体的ではなくすみませんが良い少数意見も倒聴する機会もあるといいですね。このような機会をいただき、改めて関心がなかったことに反省し、今後の町の発展を期待し住みよい町づくりお祈りします。
			女性が安心して出産、子育て出来る事が一番、特に働きたいと思ってもなかなか仕事に復帰出来なかったり、全体に女性の人に対して風当たりが強く感じる子育てができ、仕事まで出来る環境がすぐ必要だと感じてます。それだけでなく子ども含む人口は増えないと思う。まだ未定だが、この中標津町に來たいという知人家族がいて、将来住み何かの事業を興そうと計画。今その様な事に向けて助けまでは行かないが、情報を提供中しています。上手く行き実行出来たらと個人でも中標津の魅力を伝えられたらと思います。残念ながらインターネット等を利用(有りませんが)無しですが。
		70歳以上	医療機関の充実。
			第1に医療の充実です。若者の定着にむけての取り組みです。働きが不安な町づくりに思う。
			子育て支援、女性が安心して働ける場の確保、医療(病院)の充実等更に上を目指していくことが必要かと。
			子どもを生み育てる病院など保育施設の充実。
			町立中標津病院には出張医ではなく常勤の医者が揃う事と福祉施設、入居者が苦勞しないで入れる所が多いと住む人も増えるでしょう。若い人が勤める場所が有る事。
			人口が多ければ良いという考え方は疑問。何よりも女性(夫婦)が子どもを産み育てる環境(人的、自然)、社会が平和であることが必要。
			育児のための保育所等の充実。
			新生児の誕生への補助と児童育成への補助・高令者が健康を維持出来る本人の意識とまわりの援助。(温泉の活用も健康に活かせる)。地域に生産制の事業があり、雇用で人材を集める。
	無回答	30歳代	子どもを育てやすい環境を作してほしい。仕事をしながらでも親に子どもを預けられる人ばかりでなく、急な病気など対応する事が大変なので子どもを産む事を考えてます。実際、私も2人目を産む事をまよっている。近くに預ける親がいないので。中標津町に住んでラッキーという特点があると良い。標津だと鮭がもらえたり別海だと高齢者のバスチケット、入浴券、牛乳など、中標津には何もない。
		40歳代	子育て世帯への金銭面での補助が必要。子どもを産みやすく育てやすい環境でなければ、少子高齢化が進み人口の増加はない。
			子育てのしやすい町、高齢者のすみやすい町にしないと人口は増えないと思う。
		50歳代	増やすことだけが良いこととは思わない。充実している町であれば人は集まるものと感じる。全体的にとっても良い町だと感じるので、町民が安心して暮らせるための医療従事者の質を上げてほしい。医療の面だけが低くとても残念に感じる。命にたずさわるものの意識がとても低く、個人情報に関してもダダもれを感じる。公共機関から徹底して個人情報に関しては整備してほしい。ハード面ではなくソフト面の意識があまりにも低いことだけが残念。
			安心して子どもを生むために医療関係の充実と町からの支援。
			病院の充実。
		60歳代	赤ちゃんが生まれたらお祝いをあげる、赤ちゃんが生まれたらお祝いの鐘をならす。
			子どもを生み育てやすい環境(医療福祉、母親への支援)。
			子育て支援や医療、福祉の充実。
		70歳以上	介護施設の充実。
		無回答	町民として住みたくなるような町づくり。特に高齢になってから心配のない環境。第一は、町立病院の改善・充実が求められる。

図表89 将来人口目標の達成に必要な取り組み一覧

分野	性別	年齢	意見集約
健康・福祉・医療分野	無回答	無回答	保育園の料金や予防接種の料金考え直した方がいい。とても払えるような金額ではない。交通も考えた方がいい。家が遠ければ遠いほど病院に通うのが厳しくなるため。冬、家が遠いからという理由で最後にされるのは困る。保育園など預けないと仕事が出来ないため、夜なきなど大変なとき手助けして頂けるような人がいない。
経済・産業分野	男性	20歳代	経済的な発展。
			若者が働きやすいような職場の充実、IT企業の誘致
			自然各所みたいなのを作るといいと思う。
			中標津空港の便を増やす。多方面から、中標津町に来てもらい、中標津町に住みたいと思わせるように、サービスの向上、施設の整備に取り組む。みんなの町なので、みんなでお金を少しずつ出し合って、よい良い町する。
			企業誘致や政治とうまく付き合うことが必要とされる。
			少子高齢化で増やすのは厳しいと思う。亡くなる人が多いのに産れる人が少ないから。キープできたらすごく頑張っていると思う。外国人で人口を増やす。これが一番可能性高いと思う。その分治安も悪くなるので、取締り強化しないと日本人がいなくなる。
			雇用場所の増加。
			移住したいと思えるような制度、環境の整備、進学、就職のサポート。
		30歳代	達成しなくて良いというか、来年までに2万5千人は無理なので、コンパクトシティ化をすすめるべき。あとは出産1人につき100万円をもしくは商品券を贈呈しないと無理だと思う。こんな無理な計画ではなく、人口減少社会に対応した政策をするべきである。
			雇用発展の充実、サービス。
			若者の遊ぶところ。
			雇用を生み出すに尽きます。財政出動の一点です。自治体がお金を使う→住民の収入になる→住民の支出が増える→自治体の収入も増える。好循環で仕事も増えれば住民も増えます。近隣の町が減るかもしれませんが。それか、てっとり早く増やすなら大学か専門学校だと思います。若年層は増えます。
			産業の発展。仕事面での充実。
			地元の観光などを町外にPRしていく。
			就労先、賃金、借家の賃金料が高すぎる、夜の街並みが暗い、娯楽施設の充実。
			商業の発展、専門学校等の誘致、人手の確保(現状企業や商店が多いと感じる)。
			商業施設と雇用と教育の環境を充実させ、医療面についても改善していくべき。
			移住したいと思える情報を発信するイオン系のスーパーの誘致、くさい匂いの公害問題の解決。
			中標津町は、商業施設も充実しているので、住みやすい環境(生活)をPRして、町外から移住してくる人を土地や雇用に特権があると良い。例えば町外出身(出生地)の人が中標津に就職してその後家を建てる時は土地を無料(低価格)とか、町外の人の雇用の充実をはかるなど。又、すでに町民の人にもメリットがあるように子ども出産での町としてのお祝(商品券など)など、何か特をすることがあれば「人」は喜ぶので何もないよりは、良いのでは？すぐ、近隣町村と比べられる事が多いと思います。
			空港を活用・起点として企業誘致をして、求人を増やす。
			地球規模も、国内的にも人口減少の中、当町の人口減少は止むを得ないが、他自治体の人口増を企てている事例を研究し、当町の相応しい事を着眼し、すすめるべきです。まずは日本人学校が第1出発です。その後の攻々を模索すべきです。都会離脱者、農業就農希望者など受け入れる大農家施策から転換して、小規模で営農参画できる受入体制も考えられたい。
			若者が、町に戻ってくる仕組みづくり。例)大学、専門学校の誘致。大卒程度の学生を採用するような企業。研究施設の誘致。子育て、教育、医療の充実による移住促進など、いずれにしても、一度減少に転じた人口を増加させるのは至難のワザのようにも思える。
			雇用、進学等で地元を離れた若年層がどれだけ戻ってきて定着するか。生活するのに不便はない、いい町だと思っています。
			住みやすい街の(ふん尿等の臭いの改善)外部からの誘致(町外・道外・国外)。
			進学の為に転出して若者をリターンさせる(したくなる)取り組み。
			大学等の教育施設の増設、多種多様な就職率の向上、情報社会に取り残されない情報環境の整備、青少年向けの娯楽施設の確保(映画館等)。
			町内で合コンして下さい！自分は農協と役場で企画した「酪農青年と関東、関西の女性と交流する」という企画で出会いがありました。自分の周りには独身の友人も多く、出会いに困っている気がします。町外や本州から人を呼ぶPRも良いと思います。
			毎年、学生など、進学などで、地方を離れるので、その後、戻ってきてから、仕事場がある環境、家賃は、札幌並みなので、新人地方から来られる方は、大変だと思います。
		40歳代	大学、短大、専門学校の誘致。
			本州から見て魅力のある職場の照会・機械化等で昔とは違った酪農作業等・道東のアピール(北海道と言うと函館や小樽、札幌、富良野、旭川、等、道南へ道央のイメージが強、道東を知らない人が本州に多い)。
			家族で利用できる娯楽施設の充実してあれば、人口が増加すると思うし、観光名所と呼べる場所もなければ、道の駅がないのが唯一の欠点だと思われる。
			酪農産業の発展。
			魅力のある商業施設、他の町から中標津町に来る交通の便、働き口と職種の充実。
			雇用の創出→企業誘致。
			町PR。

図表89 将来人口目標の達成に必要な取り組み一覧

分野	性別	年齢	意見集約
経済・産業分野	男性	40歳代	働く場所拡充。
			働かない場所と学習できる場を作る。
			大型工場などの働く場所の確保。
			大学、専門学校等をつくらないと、若い人がどんどん流出する。
			若者が町に残り、働く場所が多くある事が必要だと思います。
			移住促進制度を充実させる。
			“中標津町”そのものの積極的なアピール。
			子育てに対する補助が手厚い町は、移住の対象として選ばれる事は多いみたいですよ。年齢が若い世代への売り込みが重要だと思います。
			高校から先の学校誘致しかない。
			地域の活性。
			若い人材の働き場所確保、高等学校以上の教育場所、交通機関の充実、住みやすい町アピール。
			コンパクトな市街地作り。高齢者を含めた、市街地への居住推進・上部学校(地域キャンパス等)誘致。特に基幹産業を。卒後の定着含め。
			働く場所が必要と考えられるので、産業育成への取り組みが必要だと考えます。
			町外企業の誘致。
			産業の発展、特に観光産業。
			中標津町の新たなイベントを企画、立案、実施姉妹都市との交流イベントを積極的に行う。インバウンド対策をさらに積極的に地域の企業同志の連携(役場が仲介)酪農を基幹産業としているので、これを基盤とした地域全体で考える活性化事業検討会の立ち上げ、酪農以外で特に力を入れるべき主要産業の確立。
			若い世代が出て行かず、かえって集ってくる町づくり、若い世代が生きがいを見つけられる町。
			危機感を煽る。→自然に人口は増える。田舎で、いろいろ整える→人口は減る。街行く人に声をかけられるようなゆとりがあれば、ハコをつくったり、商業を活発にしなくても人は住みつく。住むことは、その土地の”気”をいただくこと(エネルギーのこと)気が良ければ、人は寄り集まって暮らしていくと考えます。
		50歳代	観光の目玉がほしい。娯楽施設(ボーリング場、映画館など)がないため、釧路まで行かなければならず、度々不便を感じるので、足りないものを補えると良い。
			移住受入。
			若者が定住し、安定して働くことのできる環境作り。
			商業施設の充実で大型店の誘致など。
			働く場所の充実。
			高齢化社会での人口増は非、生産性人口の増加に継ぎます。人口増よりも近隣町村との合併や相互扶助の体制づくりが重要と考えます。経済や医療が追い付きません。
			移住促進、企業誘致、大学、専門学校の設立(誘致)、移住者への起業支援、就農支援、新しい産業の開発。
			雇用の拡大。
			高校卒業後の各種専門学校私大、公大等の若者が残れる町。
			若い年代の人の就労、結婚、子育ての意識を高める事。町内にいても、施設や場所がいくらあっても無料で使えたとしても生活設計を考えず過ごしていたら人口も増えていかないと思う。自立した人間を育てる事。外国人が増えるのであれば、その人々に対する支援の充実。
			商業以外の企業誘致。
			企業誘致、町民全体へのアイデアの募集。
			子育て世代の定住に向けた取り組み→雇用の創出。住居環境の整備(場所、助成)、本州からの積極的な移住促進、道外や管外からの高校生の受入。
			働ける職場の誘致等。
			大企業(工場)の誘致。
			雇用と働きに応じた処遇(地元で働く良い環境が必要)。
			人口を増やすだけが目的なのでしょうか。人口が増えたとしても充分な税収がなければ何もできないと思います。短期間で人口を増やし、増収が見込めるのが企業誘致、長期的に考えるなら障害者雇用施設の建設又は関連企業との連携による施設の立ち上げ。地元の産業である酪農業を中心とするなら法人経営の酪農施設を立ち上げ障がい者を雇用し地元の牛乳、バター、チーズ等の製品販売を行い利益を得る。遠くは菓子作り等にも手がける・幼老複合施設への移行。高齢者の介護施設と保育園が一体となる施設を小規模でも良いから運営しきやがて道筋が付いたら複数建設又は移行させていく。多くのメリットがあり、やがては道東中心都市としての役割ができあがると思います。
			IT・スポーツ・文化・健康等で都会にない「売り」を。
			夏の涼しい中標津に住んでもらう(別宅として)何ヶ月でもいいので。外国人の受け入れ→子どもが中標津を離れている住民に寄宿舎として借してあげる、下宿みたいにお金をとって住まわせる。Uターンが出来る環境を整備して中標津に戻って来てもらう(PC環境充実、中標津町に住んでも仕事ができるように)。

図表89 将来人口目標の達成に必要な取り組み一覧

分野	性別	年齢	意見集約
経済・産業分野	男性	50歳代	北方領土の問題が一番と考えます。2島返還でも十分です。とにかく、近く、行き来できることが大切です。中標津には海がなくても、空港があり管内の中核都市！！人物金の流れの拠点になるはず。それらに携わる人は、住みよい町なので、仕事上でも、住むことにつながり結果、人口へと…。帯広などの、北海道内陸部とは、違い、中標津の東は、北方領土です。近隣東は、標津、羅臼からしか人は、来ません。
		60歳代	大学、短大及びその他の教育学校の誘致。空港の規模拡大。 若い人の給料が低く、学費が高いと聞くとなかなか子どもを生む気にはなれないようだ。私の娘も一人息子も一人の子供もしか育てていない。すごくさみしいものです。 中標津で生まれ育っても大学に行くには、都会に行かなければならず、就職するには、自営以外では、採用人数に限りがあり、希望する職場が少ないのが現状です。又、町外者に移入してもらうためには、将来的にも安定した就職先が必要となります。当町には空港があり、都会とは短時間で異動が可能なので、この利便を生かせる産業を誘致したり、できないでしょうか。 企業誘致、農業関連の産業の拡大、大学誘致、レジャー施設など。 酪農関係(大規模)に期待できるのではないのでしょうか。後は考えが及ばない。現状は厳しいのでは…。 地域産業の向上。 学校誘致等は良いと思いますが、若い世代の流出を食い止めなければ人口減はとまらない。もっと交通の便を良くしなければ。都会との距離を縮める。 定住の促進、一管内での連携、生活環境の改善(矢白別の大砲の音、牧場のスラリー臭の解消)、自然の保善(ソーラーパネルが乱立、一定の歯止めが必要か?)、雇用の促進、安定、等々…。国又は道機関の誘致。 人口増加のためには、若い世代が共働きできる環境をつくることが第1条件です。 若い人材を確保のための対策や各企業の働きやすい環境づくりと支援を考える。 都会から、移住の体験できる所を増やしていけばと思いますが？ 従業員の給与を上げることが一番。子どもが多く産まれる経済環境を作り出す。 地方企業の参入の協力。 大学進学等で出て行った子ども達がもどってこられる職場(仕事)があるよう、街の中のシャッターが閉じたお店やこわれそうな建物のあり方。災害に強い町病院の充実。老令者の住宅事情。 進学の為などで町を離れた人材を中標津で雇用できる環境を整えることが望ましいと思います。特に高等教育を受けるため町外の高校などに進学した学生の雇用に力を入れるべきだと思います。優秀な若者が町に戻ってくることは町にとっても良いことなのではと考えます。将来の中標津を担う若い世代の流出をくい止めることが人口減少を止めることにつながると思います。そして空港がある利点をいかして移住推進、LCCの誘致、大学、実業団の夏季合宿など新しい体育館を利用した促進活動、他の自治体の様にロビー活動など積極的に行うことも大切に思います。 産業を育成(一次、二次、三次問わず)し、雇用の場を創る。 雇用の確保です。東京便を2便とし、宿泊施設を作る。冬も自然体験できるようにする。 働き口の数や、条件、続けられる様にする。
			若い人の働き場所の増強(資格がなくても働ける職場の増強)、町独自の魅力作り(又来たいと思える町作り)、4町との協力体制(中標津だけでは無理)。 道内・道外その他を含め長期滞在者が多い方らしいが。飛行機の利便性も含め。今以上に集客できる環境と施設とPRがその原点か。酪農大国として、農校の実績の再確認も含め新規就農者への感謝の意と、労働力不足の充実のための事業も進んでいる中で、定住される人々への要件の緩和など集中して住環境と整備は急務と考えております。治安も含め外国人が住みやすい環境も作って上げたい。町所有の職員住宅の取壊しも含め、特殊住宅の設置と専用の窓口も必要と考えます。 魅力ある町づくりと働き場の多い町づくりが必要。 大企業の誘致。 人口が増加している町村の取組みの調査研究が必要。特色のある特価した取組みが必要人口減少の要因の分析対策。Uターン希望人材の情報提供と支援体制の充実。 街の活性化、大手企業の誘致、街に近い空港があるのだからそれを利点にして活性化を。 ここ数年ほとんど人口の増減(動静)のない中で、高い目標を掲げるのには反対しないけれども、お役所仕事で終わってほしくないと思っている。先年中標津空港と釧路空港が関西への直行便を競った折、あっけなく敗退したのは記憶にも新しい。担当者には猛省を促したい。人口増には交通網の充実が第一と考える。途中下車や単なる経由地ではない利便性の高い地であることが肝要と考える。 町の活性化が必要。新しいお店、(大きめ)があったり、札幌への交通手段等が安い設定になったり、若い人達が都会で勉強したものを生かせる町であれば、人口は増えると思う。 地域に根ざした産業を定着させ、就労人口をしっかりと確保できる政策を立てること。賃金問題でもよその地域のまねをするのではなく独自の賃金体系を定着させ、終身雇用制度をしっかりとつくり、住民の他へ移動をしっかりと防止する策をつくること。中標津町で魅力ある産業をきっちり策定し、これは全国の良い取り組み、先進的な取り組みをしている所に行って学習し最初は模倣でも良いから、そのあとで中標津独特な魅力ある産業、仕事をしっかりと根づかせること、それしか人口減をくい止める方法はない。 町が特色ある、他の町にない工場、施設、学校、企業誘致、など。 人工が増加する事はないと思いますが、少ない人口でコンパクトでもいいから中標津に住んで良かったと思う町作りをして頂きたいと思います。 企業誘致。空港の便数増と運賃の値下げ。少子高齢化への対応。 働く人が必要な大きな産業が出来たらいいと思います。 企業で(働く場を確保)、会社職業の多様化。
		70歳以上	

図表89 将来人口目標の達成に必要な取り組み一覧

分野	性別	年齢	意見集約
経済・産業分野	男性	70歳以上	観光のPR、中標津町特産物(加工品など)のPR歴史、文化、など中標津町の良さをPR又体験学習の充実。例えば、町の発展経緯(街、鉄道、酪農、スポーツなど)鉱物資源の開発。
			中標津町は土地や建物は高価と聞くと、最近空地及び空家が見受けられるが、これらと関係する方と協議のうえ情報を流す取組が大事と思う。
			自然減少の状態であり、増々人口減となる可能性大一度に多くの人が集まる可能性を考え、現在取り組んでいます。学校誘致が良き例でありまして、プロジェクトを設置して専門的知識保持者を活用して、真剣に取り組んではどうでしょうか。
			企業の誘致等。
			外国人就労者の受け入れ、各企業(個人店含む)等に一人以上の雇用をお願いする。期間を決めて給料の補助金、公住など斡旋。離農跡地(住宅、畑)の利用、助成金、農業従事者、後継者の募集海外に発信・町所有地に住宅建設補助金、すぐにも住める土地、古住宅の無料安価提供(空家対策、リフォーム代補助)、町立病院西病棟をホテル代りに使用、介護施設での利用、大学誘致の寮、等。
			地域に根指した産業の育成、制度の制約を改める必要が多くあると感じる。
	女性	20歳代	若い人向けの魅力がないので、若い人向けに対策。
			若い子の就職率を上げたいなら(働く人も増やしたいなら、若い子向けの施設や店、もう少し融通の効く働き方をさせてくれる場所を造る。
			町外、道外の方々に中標津町を認知してもらう。
			休暇をとりやすい環境づくり、ブラックな会社を減らし、給与に見合った労働条件のところを増やす。
			結局、町に魅力を感じないから若い人が出て行く。魅力的な職業がもっと増えれば良いと思う。
			教育の質を上げる(高校の偏差値を上げる、大学の誘致etc。)。雇用の拡大(若者のUターン就職を増やす)
			UターンやUターンしたくなるような魅力ある制度があればいいと思います。あとは、離れる(人口減少)のは、若者だと思うので、若者に向けてのイベントづくり(食や、最近流行しているフェス?なんかも誘致できたら、いいのでは?と思います)、教育では大学を誘致できると、学園都市に近づくのでは?と思われます。今でもお店はありますが、対象が高齢化してくると、ますます、店の種類が偏ったり減ったりすると思うので、若者を増やすような大きな取り組みが必要だと思います。
			雇用の強化、住宅の確保。
			大学の誘致。
			アパートやマンションの増加と、賃料の減少。物価の値下げ。アミューズメントパークの建設。
			バイクのイベントを毎年開催してほしいー移住者増加。
			各農協、新規就農者受入れを頑張っていますが、町としてもやれることがあればいいと思う。また基幹産業である農業に携わる仕事はたくさんあり、どこも人手は少ないので、「中標津町にはこんな仕事があり、こんなに住みやすい町」だということが、本州の人に伝われば移住したい人がいるのではないかと。
			商工業に対する支援の充実拡大。住居手当の充実(願望ですが…)中標津の賃賃は高いです。労基について企業に対して何かしら対策を考えた方が良いと思います。
		30歳代	大型ショッピングセンターなどの施設。
			高校を卒業した子達が進学の為札幌に行く場合がとて多いので、中標津に大学や専門学校があれば違うと思います。
			商業施設の充実、娯楽施設の充実。
			雇用の充実(特に若年層の)。
			現在、中標津の出生率は200人前後と聞いています。少子化対策と言いつつも未満児保育枠は限られており、子育て世帯は、本町では補助制度なども踏まえ、生活しやすいとは言えない状況だと思います。又、保育園だけでなく幼稚園でも未満児枠を広げてもらえると助かります。又、出生率が上がるだけでは人口増は難しいため転入し、移住してくれる人が増えてくれる必要があると思いますが、就職先の確保、情報提供など支援が必要だと思います。本町でも不足している看護師や保育士を育成できる専門学校の誘致やテレワーク事業の検討はいかがかと思っています。
			地域のPR。
			農業、商工業の振興により若い人の就業口を増やす、羅臼などを含めた広域観光のルート化と体験型(フットパス、乗馬など)観光の充実、外国人の就業促進と定住化を見据えた取組。
			移住者への就職支援、住居支援など。空き家、空き店ぼの再利用の推進。空港近く、札幌、東京と人は行き来しやすい、LCCが就航するか便数が増えれば良い。
			町外から来られる方へのアピールする物が必要。住む場所も確保しないと。住みづらい町だと流出してしまう。雇用を増やすような努力も必要。
			酪農業が出来る環境があるのに、新規就農より離れてしまう人が圧倒的に多い。道外へ積極的に目を向けて、就農のための研修環境をととのえて、永住してもらえるように働きかけるべき。
			若い人達が町外へ行かず、町で働こうと思えるような環境をつくったり、楽しめるような遊び場等の取り組みが必要だと思います。初任給の低さで生活するのが一杯一杯だったりして、自分の生活が苦しい人が楽しめるようなイベント等、あったらいいなと思います。
	40歳代		街の治安とそのPR活動、街の魅力、人口が増えている街のとり組みを模範。
			商業施設(大型)、学校の学力向上(高校)、都会から、越してきた人も、子どもが大きくなって進学時期になると、出て行く。
			若い世代が、長く住んでもらうためには、楽しく子育てできるイベントや施設が必要であるが、その前に、雇用がしっかりしていないと難しい。そのためには、酪農業を活発にさせる必要がある。酪農業を、元気にするため、町としての取り組みを強く望む。
			若者にとって魅力ある雇用環境の充実。

図表89 将来人口目標の達成に必要な取り組み一覧

分野	性別	年齢	意見集約
経済・産業分野	女性	40歳代	医療福祉の充実、学校(短大・大学・専門学校)へ進んだ子どもたちが、戻って来れるような働く場所の提供。
			大型ショッピングセンターなどの商業施設、若者達が遊べる施設が必要だと思う。一働く場所も増えるし、何より活気が出る。現状だと何も無いので若者は別の街へ行くと思います。
			移住促進、そのためには雇用創出が必要。子育てに不安なく、産めるような体制。
			雇用対策。
			若い人の雇用、高卒者。サポート。都会から誘致、自然の多い町で生活しやすいアピール宿泊施設の充実、イベントLCC空港利用者増す。
			若い世代の雇用拡大。
			地場産業の発展と雇用創出・町のPR・行政サービスで民間にまかせられるところは民間へ委託し、行政のスリム化を図り雇用の創出につなげる。町の魅力に磨きかける。
			未婚の人たちの出会う機会が少ないので、そういう人たちの出会いの場を増やしてあげると、少しでも人口増加につながっていくのではと思います。
			住みやすい町づくり。居住環境の整備。特に家賃が高額なアパートが増加しているため、若い世代が一人暮らしできるようにできれば良い。Uターンして就職できるような労働環境、企業も必要。
		50歳代	雇用体制の充実。
			若い方々が都心部へ行ってしまう。Uターンも少ないし、若い方々の仕事先がないからだと思います。介護施設の働く人が少ない重労働のわりに、賃金、待遇が悪い。
			長い目で見て企業や学校の誘致また、空港利用として札幌、羽田以外の空港発着の便を増やすことにより中標津の利便性を知ってもらい、移住定住促進につながれば良いかと思います。
			都会の会社に移転してもらいましょう。今まで外国などにあった工場を誘致しましょう。移住対策、促進。涼しさを体験してもらおう。人口が増えなくても、維持できればいいと思います。
			町の活性化と待機児童をなくし、女性が働くことで町の活性にもつながり中標津町魅力を内外にアピールをする事で人口にもつながるのでは。
		60歳代	若者に地元に残ってもらえるような、雇用対策が必要と考えます。
			集団お見合いの設定、空き家を利用した移住体験、移住希望PR発信。
			商工業に関する施設(工場、拠点)誘致・教育、文化活動関連の事業の受け入れ・農協や商工会と連携したまちづくりの検討・金融機関や自動車産業関係者等、経済の活性化のノウハウを持っていると思われる人材からの見解を得る機会をつくる。
			産業振興政策の強化向上、交流事業を進展させる施設の整備。
			中標津町の良さ、自然、酪農の仕事をする人、後継ぎ、大学、専門学校を出た人が、帰ってくる。就職先の充実。若い人が、住みたいと思う町作り。
			移住者の促進。
			働く場(安心安定して)を多くする。
			若い人達が地元に戻って働けるようになる環境整備が必要だと思う。
			高校卒業とともに、町外(札幌とか、道外とか)に行く若者が多いと思う。何かの、専門学校でもあれば良いのにね。
			60代のおばさんですので、何故人口が増えないのか分かりませんが、若い頃に戻って考えてみますと、やはりお金がないと将来、大学まで行かせてやれるかどうか不安に思います。ましてや、インターネットの時代で昔より通信費が高く、養沢で、甘やかされて育った世代の子が(特に男性)結婚して妻子を養う覚悟が出来ないのではないのでしょうか。働く場所として農家はどうか。臭いの問題を解消して、都会的に普通のサラリーマンのように願う(この町に3年以上住んでいますがこの臭いさえなければと思います)。企業を誘致する。起業する人を応援する仕組み作りを具体的に教える。大学、専門学校を誘致して若い人が町から出ていかにようにする。移住者が交流する場所作り。
			町外からの移住者への待遇の充実。
			学業で、町外に出た若者が、帰って来なくなる町づくり！！
			若い人達は大学がないので出て行って帰ってこない就職場所もない、大きな企業がない、子どもを産んでも生活が大変、時給が安い、職場復帰が出来ない、病院への不信心、不安要素が多い誰でも考える事だし、当たり前の事しか思いつかず。成功している(発展)している街に研修に行ってみてはいかがですか。
			農業、酪農の後継者不足、働く場所が少ない。
			少子高齢化の中利便性の良い空港があり、魅力あるアピール。
			若い人々が町内から他の地域に出てしまうので、町内に働く場所が必要だと思います。
			農家などの経営の安定、多くの人が仕事見つけて働けるようにする。若者を大切にし中標津を愛して他の地域への異動を止める、子どもをたくさん出産していただくことができるように1家の主人の手助けがいること。冬季の雪道がすごいので冬道をもう少し良くして下さい。
			収入向上、アニメの舞台にしてもらおう。
			結婚する人が多くなる事。単身者が多い。町外の人が、住みやすい町になってほしい。魅力のある町。
		70歳以上	若い人が働ける職場の充実。
			道内外の人的交流が必要だと感じます。
			企業誘致、魅力ある町造り、空港の整備。
			企業誘致。
			雇用がたくさんあること→観光関連など。中標津は観光資源が少なく、なかなか難しいと思うので、これは無理か？！とにかく若い人が定住出来る町でなければ人口は増えない。残念ながら私の頭ではよい案が浮かばない。

図表89 将来人口目標の達成に必要な取り組み一覧

分野	性別	年齢	意見集約
経済・産業分野	女性	70歳以上	町全体をもっと魅力的な町として発進すること。移住者がふえていく様な町づくり。魅力ある食等の開発。特色ある飲食店。郷土料理店等。
			働きやすい職場、産業の充実、観光増。
			空家をリフォームして、おためしで何ヶ月か住んでもらい、移住を促す。一緒にお仕事のアドバイスを。森林をいかして若い方に住んでもらえないか。山菜等の漬物工場をやってみては。なんでも屋さんを若い方にやってもらう。例として老人夫婦のお掃除、ごみ捨て、買い物、お庭の草取り、30才以上の男女に、あらゆる方法で、結論に結びつくような企画をもっていく。
			若者（高卒大卒）が地元で就職出来る環境づくり。
			中標津に専門学校、大学（地域に合った）が出来れば、他の市町村から人が集る。町民が出て行かない。（外国人学校がでそうですが）魅力ある職場を、作る（来てもらう）。
			若い人が働く場がふえ、学校を卒業したあと、中標津から出ていかなくてよい環境をつくる。そして、若い人が家庭をもって子どもを産み育てる。安心して生活できる環境であればいいと思う。
			大人も、若い人もこの町からよその町に働きにいかない様に町に働く場所をつくる事。
			学業で町を離れると帰って来ても職業が見つからない。働く職場を力を入れて宣伝するとか。子どもが欲しいが共働きのため2人目の子どもは断念とか聞くと、そんな人のための支援とか。生活苦から家族で町外に引越しかする人のための相談 こんな細いことで人口が急に増えるとは思われませんが。
	無回答	30歳代	安全で、安心して生活できる町だと、人口も増えると思います。自然や、食品のいい所をもっともっとアピールしてもらいたいです。
			企業誘致、町をあげて雇用の町外、道外、国外から確保する試み等。
			地域の子供達が進学後、戻ってきて中標津に住みたいと自分の町に愛着、誇りを持ってもらえるような活動、教育。企業誘致などによる働きの場を増やす（選択肢）。
		40歳代	雇用の充実、公共料金の値上げ（特典）、他県からの移住者への住居の提供・支援および保養、学校の充実、（大学）、（高校）、子どもがいる家庭への支援、町の観光地化、ホテル、リゾート、温泉、プール、リゾートプール スーパー銭湯など。
			移住促進。
		50歳代	大型商業施設を受け入れなければ不可能。
			移住する人の促進（道外含め）、働く場を増やす。
		60歳代	外国人材の活用・若者に永く住んでももらえるような給料がそれなりに高くもらえる企業の育成や誘致（IT、サブカル関係等）。
			企業誘致。
			仕事場がふやす。充実がする 住宅が、高すぎるので、安くできないか。
			中標津町の住みやすい所などアピールして、全国に知られたらもっと人々がくるのでは。
			移住者を増やす。
			やはり働く場が少ないので仕事をもとめて、他県に行く人が多いかと。若い人が働けるようなショッピングセンターなど多くなるといいですね。
生活基盤分野	男性	70歳以上	若い人が集る町ー魅力のある町、活気のある町、今、子育て支援に力を注いでいます、その子達が中標津に帰って来たいと思える町にそのまま残っていたいと思える町づくり、今ある既存の建物を利用して起業をしてもらう、農業高校のような1年間だけとか、2年間だけとかの専門学校を造る、新しい建物を造るばかりではなく今有物を利用する、その為には助成金をしっかり確保して出す、町独自の将来安心して暮せる年金づくり。
			目標はいらない、必要ない。産業が発達、盛んになれば・観光が充実して人が集って来れば・生活しやすい町になれば、人は集って来ると思う。
			若い人達に残ってもらうには、仕事でも魅力がなければなりません。
			住みやすい町づくりが基本と思われる。中核都市中標津として発展を続けていくためには、地域福祉の充実が必要。高齢者の方が住み慣れた町で安心して暮らし続けることが出来るよう、又、地域の中核病院として地域医療の確保が重要と思う。更に地域の集来力を全国に発信することも大切な取り組みと思われる各種イベントの開催によって、多くの方々が集まり人的交流の場として、今後関係団体と連携を計り本町の魅力を知ってもらえると共に交流人口の拡大を計っていけるとと思われる。
			若い人の働く場がなければ人口は延びない。
			仕事の場所の充実。
		無回答	人誘致と企業誘致。特色ある景観景成。土地の準備。空港の開空他海外便へのアクセス。
		20歳代	住める場所が少ない。マンションや一軒家が少なく。人口割合の高齢化。人口増加より若者の住みやすい環境。高齢者施設の確保。各住民の生活環境の情報収集、支援。隣接する市、都市への効率的移動確保。通信環境の向上。公共wi-fi等の増加。
		40歳代	アパートやマンションの充実。
			標津町のような土地の無料化。
		50歳代	路線バスの小型化（マイクロ）及び便数の増大。
			住宅の充実。
			文化施設の充実、生活道路の整備。
		60歳代	交通機関の整備。
			空き家対策と宅地（市街地）対策が必要である。
			明るい町作り来町しやすい道路、交通便等。

図表89 将来人口目標の達成に必要な取り組み一覧

分野	性別	年齢	意見集約
生活基盤分野	男性	70歳以上	後継者を増やすこと。高齢者が多くなって車の免許を返す人が多くなるので、高齢者も家に籠る人が多くなるので、なんとか交通の便を考えてもらいたい買物や、会合に出られるよう願います。
	女性	20歳代	お店は充実しているので、マンション等の住む場所の確保が必要と感じる。
			住みやすく、ずっと居住しやすい環境が大切だと思う。
		30歳代	もっと空き家バンク、補助の充実を考えて行かなければ住みたいと思ってくれる人がいないと思う。その他にマンションやアパートも足りてないと聞きました。人に聞いていないでしっかり考え取り組んでほしいです。
			交通手段の充実、町外との交通手段の充実。
			高齢者との交流(世代間でのあつれきを予防するためにも)。バスは小さくマイクロバスのような小型のバス便数を増やすバス停だけでなく、手をあげると停まってくれるシステムも高齢者には良いのでは。
		40歳代	安い賃貸物件の充実、商業施設の増加。
			公共料金が高い。町外から来た人達によく言われる。飲食店の閉店時間が早くて利用できない。タクシーが24時間営業じゃないのはびっくり等色々きく。
			今の時代、独身者が多いのにもかかわらず給料も対した変わらず、マンションの家賃が高すぎ、公住は、家族だけが入れて、独身者が入れないのもおかしく思う。もっと独身者向けの公住なりの家を、たくさん作ってくれば、いずれと、人は集まって来ると思う。食フェスもたくさんやる事によって人は集まって来ると思う。
		50歳代	交通の利便性。
			生活しやすい町にすると、人口は増加すると思います。
			中標津の良い所を発信すべき。住居などの格安な所。
			充実したプライベートを過ごしたいと思っはいるものの、興味のある趣味の講座等が少なすぎる。釧路くらいになると、沢山あってうらやましく感じます。
		60歳代	街の中に公住とか出来ているけど病院とかに通うのに高台の町並に行くのは大変だと思う。バスを小型化して便数を走らせてほしい。町の中心がさびしい。
			あき家の再利用も必要では？
			住みやすい環境作り。
		70歳以上	犯罪のない住みやすい町。
			若い人が安心して暮らせる環境が必要。
生活環境分野	男性	70歳以上	町内に住みたくても借家が高すぎて、あきらめる人も多くさんいるようです。もっと公営住宅を増すと町外の人も住みやすい、町づくりをお願いしたいです。
			生活しやすい町→交通、医療、etc…。
	女性	30歳代	根室管内の1市4町の中で中標津は住みやすいのかなーと思いますが、高令者が生き生きと元気でいる為には、公共施設の利用料について再考を願いたい。老人クラブ、サロンが町外へ移動する為の手段がなく、いつも苦労している。せめて各町内会が年間一度無料でバスを利用出来るようにしていただきたい。たとえば日中利用していない通学バスを動かしてくれるとか、考えてほしい。パーク場の利用も今の利用料金は高すぎる。病院が赤字続きで町の予算が増えているようだが、老人が元気でいられるようパーク代を今の半額にするなどパーク人口を増し、スポーツを通して交流しあえるようにする事で元気な高齢者増を考えてほしい。他町は70才以上のパーク利用料が無料の所もある。老人クラブもサロンも孤独老人を作らない、寝たきり老人を作らない、等を考え運営している。老人クラブ、サロンもボランティア、役員が皆高齢化している。福祉協議会(社協)の協力は非常にありがたい。役場としても考えてほしい。
			景観(ケイカン)、交通を便利にする。
			若い人の住みやすい町づくり。
教育・文化分野	男性	40歳代	高等教育の充実。
		50歳代	教育充実支援。
			田舎だからこそできる心豊かな教育施設(計根別学園はすばらしいと思う)。
		60歳代	義務教育9年間の給食費無料にする。
			教育(費)の充実、教材費や給食費の無償化など、子ども達が安心して学べる環境をつくり、人を集めること。
	女性	30歳代	高等教育機関の設置。
		40歳代	小・中・高までの支援。
	無回答	50歳代	教育の充実。

7 行政との関わりについて

(1) 協働の推進に向け町民が行政に望むもの

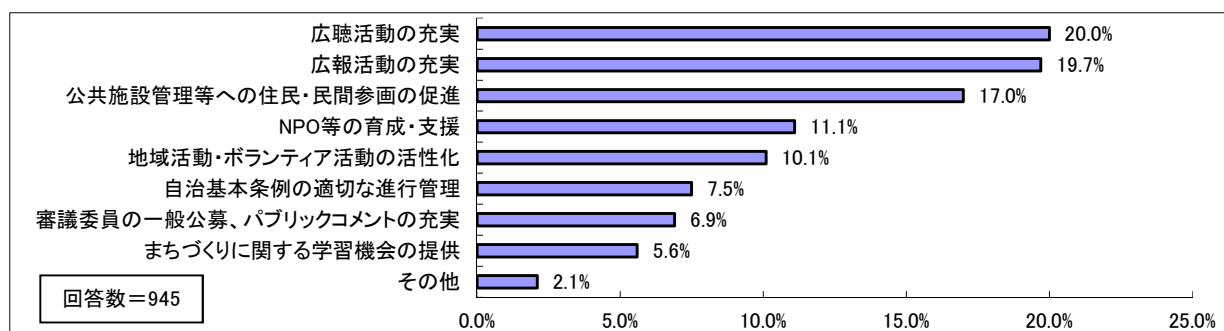
問65 これからのまちづくりは、より多くの住民の皆さんが町政に参画して、課題解決や地域づくりを行う「町民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「町民参画・協働のまちづくり」を進めるためには、行政に何が必要だと思いますか。

●「広聴活動の充実」が第1位。次いで「広報活動の充実」、「公共施設管理等への住民・民間参画の促進」の順。

協働の推進について今後の取り組みは何か必要かたずねたところ、「広聴活動の充実」（20.0%）が第1位に挙げられ、次いで「広報活動の充実」（19.7%）、「公共施設管理等への住民・民間参画の促進」（17.0%）、「NPO等の育成・支援」（11.1%）、「地域活動・ボランティア活動の活性化」（10.1%）、などの順となっています。

年齢別では、40代・60代は「広報活動の充実」、他の年齢層では「広聴活動の充実」が第1位となっています。[図表90～91参照]

図表90 協働の推進に必要な取り組み（全体／複数回答）



図表91 協働の推進に必要な取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	広聴活動の充実 24.7	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 18.8	同率複数のため省略 -
	30代	広聴活動の充実 26.8	広報活動の充実 20.3	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 16.3
	40代	広報活動の充実 26.7	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 17.0	広聴活動の充実 15.9
	50代	広聴活動の充実 22.6	広報活動の充実 20.2	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 16.9
	60代	広報活動の充実 18.9	広聴活動の充実 17.8	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 15.1
	70歳以上	広聴活動の充実 18.7	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 18.3	広報活動の充実 17.0
	中標津市街	広報活動の充実 19.8	広聴活動の充実 19.2	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 17.4
居 住 地	中標津町農協区域	広聴活動の充実 29.4	広報活動の充実 23.5	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 17.6
	計根別市街	広聴活動の充実 27.3	広報活動の充実 15.2	NPO等の育成・支援 (同率2位) 15.2
	計根別農協区域	広聴活動の充実 28.6	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -

8 防災対策（情報収集）について

（１） 情報収集について

問66 あなたは、防災のための情報をどこから得ていますか？

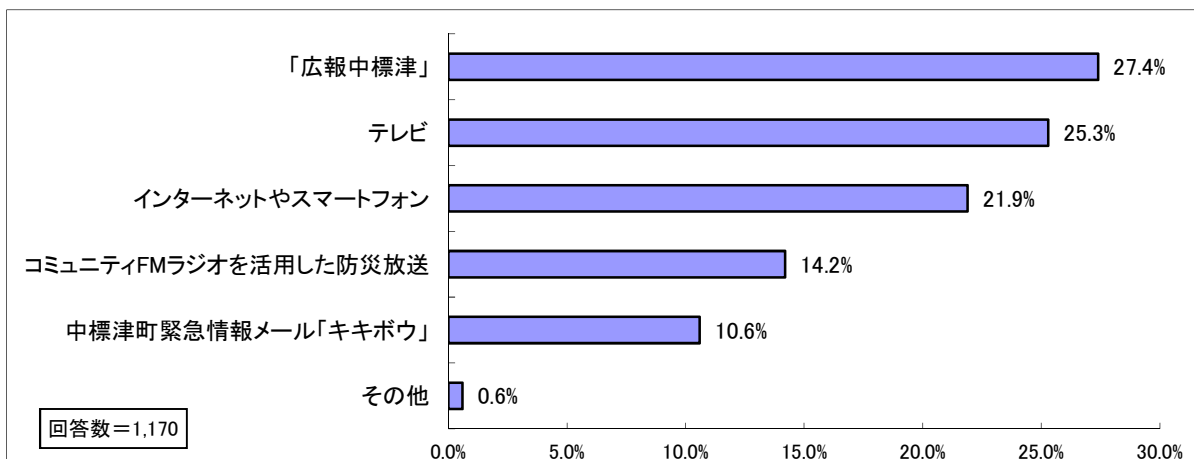
- 「広報中標津」が第1位。次いで「テレビ」、「インターネットやスマートフォン」の順。

防災のための情報をどこから得ているかたずねたところ、「広報中標津」（27.4%）が第1位に挙げられ、次いで「テレビ」（25.3%）、「インターネットやスマートフォン」（21.9%）、「コミュニティFMラジオを活用した防災放送」（14.2%）などの順となっています。

年齢別の第1位は60代・70歳以上では「広報中標津」、他の年齢層では「インターネットやスマートフォン」となっています。

[図表92～93参照]

図表92 防災のための情報をどこから得ているか（全体／複数回答）



図表93 防災のための情報をどこから得ているか（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位			第2位			第3位		
		情報源	割合 (%)	情報源	割合 (%)	情報源	割合 (%)	情報源	割合 (%)	情報源
年 齢	20代	インターネットやスマートフォン	40.2	テレビ	21.6	コミュニティFMラジオを活用した防災放送	15.5			
	30代	インターネットやスマートフォン	31.3	テレビ	22.9	広報中標津	22.3			
	40代	インターネットやスマートフォン	32.5	広報中標津	25.1	テレビ	18.2			
	50代	インターネットやスマートフォン	27.2	広報中標津	24.9	テレビ	21.3			
	60代	広報中標津	31.7	テレビ	27.8	コミュニティFMラジオを活用した防災放送	16.3			
	70歳以上	広報中標津	36.1	テレビ	34.2	コミュニティFMラジオを活用した防災放送	14.1			
居 住 地	中標津市街	広報中標津	27.6	テレビ	24.2	インターネットやスマートフォン	22.1			
	中標津町農協区域	テレビ	44.7	広報中標津	27.7	インターネットやスマートフォン	14.9			
	計根別市街	インターネットやスマートフォン	25.0	テレビ	(同率1位) 25.0	同率複数のため省略	-			
	計根別農協区域	広報中標津	36.8	テレビ	(同率1位) 36.8	インターネットやスマートフォン	26.3			

問67 あなたは、コミュニティFMラジオを活用した防災放送を聞いたことがありますか？

●「聴いている」が43.9%。「聴いたことがない」が50.1%。

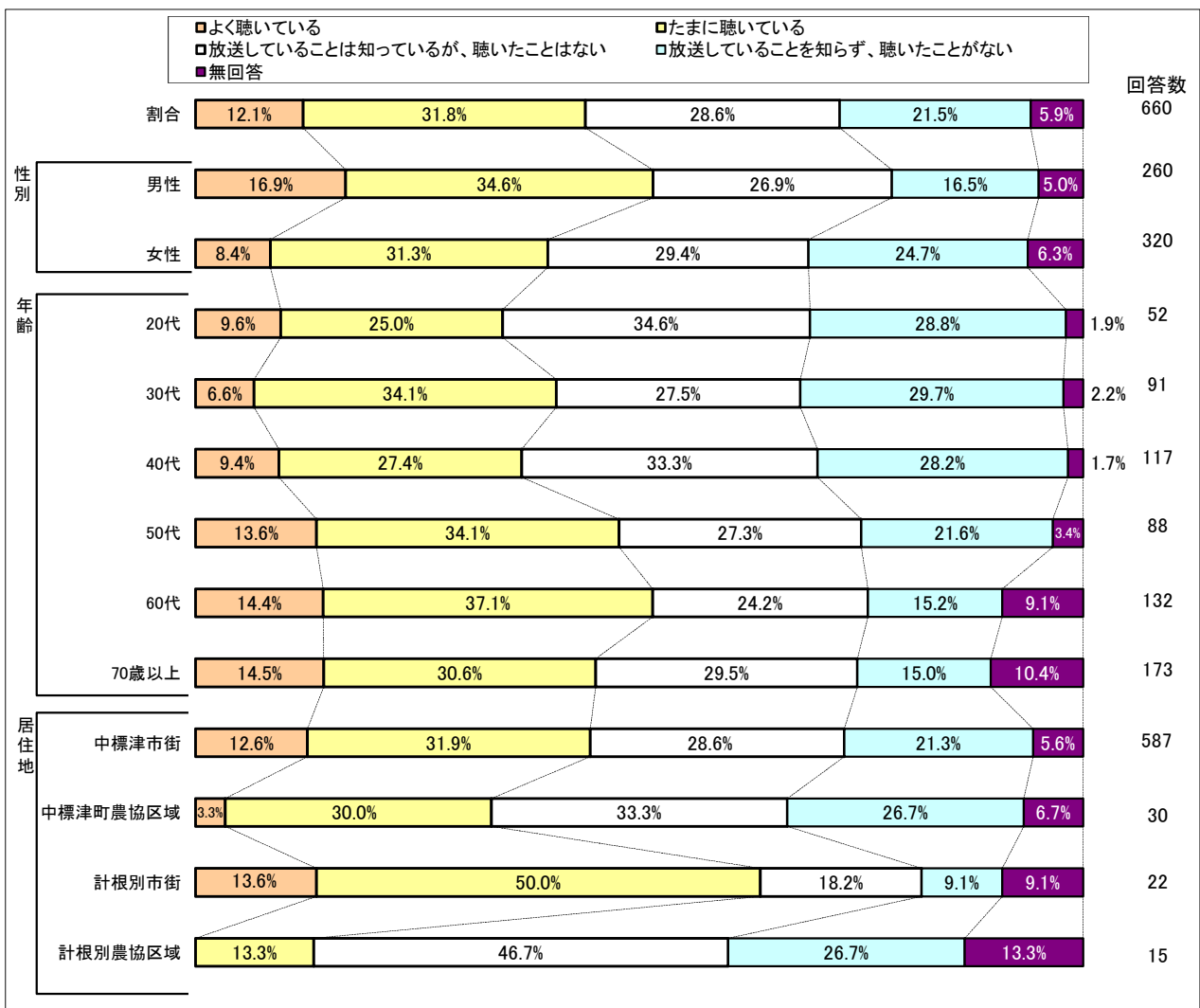
コミュニティFMラジオを活用した防災放送を聞いたことがあるかたずねたところ、「たまに聴いている」（31.8%）これに「よく聴いている」（12.1%）をあわせた“聴いている”人は、43.9%となっています。

一方、“聴いたことがない”人（「放送していることは知っているが、聴いたことはない」（28.6%）、「放送していることを知らず、聴いたことがない」（21.5%）の合計）は50.1%となっています。

性別の“聴いている”人の割合は男性が51.5%、女性が39.7%と男性が11.8ポイント上回っています。

年齢別の“聴いている”人の割合は、60代が51.5%と一番高くなっていますが、20代では34.6%と低くなっています。[図表94参照]

図表94 コミュニティFMラジオを活用した防災放送について（全体、性別、年齢、居住地）



Ⅲ まちづくり町民アンケート自由意見

1 自由意見

(1) 自由意見の記入状況

自由意見欄に意見等を記入した人は、271人で、回答者（660人）に対する記入率は、41.0%でありました。これらの自由記述された意見は271件となっています。

集約した意見を「まちづくり・行財政分野」「健康・福祉・医療分野」「経済・産業分野」「生活基盤分野」「生活環境分野」「教育・文化分野」という6つの分野で区分し、まとめると次のとおりとなります。[図表95参照]

図表95 自由意見一覧

分野	性別	年齢	意見集約
まちづくり・ 行財政分野	男性	30歳代	アンケートに頼らず生の声を聞く場を設けたらどうですか？
			設問が多い、善意のみに頼りアンケートの回収、回答率が悪そうな印象、最後の項目以外は「どちらともいえない」が無く、答えづらい。更に、全てに理由を答えさせるのは、作り手のエゴ、謝礼を出すべきだと思う。無作意も良いが、意見を言いたい人もインターネット等でもっと簡単に言える様な案内や、広報に料金別納のハガキを付ける等した方が良いと思う。
			「住みやすさナンバーワンのまち中標津」もいいが、もっと特化したもっと特徴的なアピールで中標津を表現できる表現を当てて、それに向けた、施策を、独自の行政を為して下さい。
			今ある財源の有効活用(不必要部分のカット)。
			町道民税が高いわりには支援が無さすぎる、無駄な事に経費をかけないでほしい。
		40歳代	問64が全てです。住みやすい街づくりされていると思う反面今後の維持、拡大にはより工夫が必要だと思います・若者の定着・商業施設の維持、拡大、→同辺町、村の取込、機能を集約には不可欠→雇用にもつながります(人口増)。便利さ(身近な)が全て。町をより良くしていくと思います(町と民間企業のタッグ)。
			人口の割、職員が多い。
			今回は、アンケートに参加させていただきありがとうございました。自分もアンケートがこなければ、町づくりの事など、考えませんでした。これからは、よりよい町になる様、自分も、町の事を少しでも考えていこうと思いました。
			質問が多すぎる！これでは民意の反映は望めません！もっと字が読めない人や理解力のない人のためを考えて質問を考えるべき。前年踏襲が続いていると思われます。回収率が低くなるのは当然です！もっと若い世帯から意見を求めないと危ういです。
			中標津町は近隣の他市町と比較してふるさと納税のアピールがとても少ない(実際の納税額も含めて)ように感じる。根室市ほどとは言わないが、もっと納税額が増えるようなアピールは必要と思う。
			行政サービスを行う側として、いろいろなタイプが存在する町民に対して萎縮することなく業務してもらいたい。まだまだ民度のレベルは低いと思う。そんな“23000人余のクレイマー”を抱えている町(行政)だからこそ、協働もさることながら、「我々はこう施策したいんだ！」という企画力、統率力を発揮してもらいたい。行政側の提案力を評価し、キチンと見守っている町民は少なからず存在します(全てではないのが残念ですが…)。人口増は見込めません。年齢構造はますますイビツになります。質の向上を求め、コンパクトな町づくりを。心から期待しております。
			本アンケート調査の方法は、かなり記入が大変なので、もう少し簡単な方法で記入できる様式に見直しをするか、ネットで解答できる方法を検討してほしい。面倒臭がりな人であれば、調査票を提出しないと思うので…。
			いつもご苦労様です。点での意見が(質問が)多い感じです。もっと大きな目で(“場”)で対処していただけるといいなあ。
		50歳代	人口の伸び悩みは、住みやすくてこれと言った魅力や全国区となるような観光拠点が無いからなのかも知れない。札幌や東京など都市に出ていく若者が多いのも、そのようなことが原因ではないかと常々考えている。
			若者を育てる視点での町政を推進していただきたいと思います。小さい内から、地域に関わる、役に立つことを体験させること、地域に愛着をもった子たちが、町のあり方に意見をもってかわること、実際に行動できること、将来、この地で働き自立ができること、この一連のことが成立して、中標津町の将来を語ることができると思います。身近なことから、かかわりをもって人が育つところであって欲しいと思います。
			将来、リーダーシップをとっていく「町職員」のスキルアップを望みます。個人的に業務で接待する町の職員はレベルが低くて協議になりません。町民等との板バサミで厳しいのもわかりますが、骨太な職員を育成して欲しいです。
			税金の使い道が正しいと思いたい。無理ならばふるさと納税で使い道を考えた方が良さそうだと中標津には納税しなくなるだろう。
			北方領土に住んでいる人々との交流を深めていくしかない。
			常に敏感にマイナーチェンジをくり返し良い方向に向っていただければと思います。
			妻の死去に伴い、中標津に最近引っ越して来たため、アンケートに満足に答えられず、申し訳ありません。
			役場庁舎の職員の電話の音が小さくて聞きづらい。きちっと説明しているが、声が小さく何回も聞きかえしている。その辺指導して下さい。

図表95 自由意見一覧

まちづくり・ 行財政分野	男性	60歳代	町職員の皆様お仕事おつかれ様です。これからも中標津町の将来のため先導役をお願いします。町民が住んで良かった、又は、住み続けたいと思う町であります事を願っています。公平、平等である事が実感できる行政を引き続きお願い致します。私もお役に立てる場合は率先して参加させていただきます。
			このアンケートはあまりに量が多すぎます。常識の範囲で答えられる質問はいらないのでは。ピンポイントで、町民がどう思っているのか、知りたい質問を、町民が答えたいくなるような工夫もしながら、アンケートを作られたら、よいと思います。
			根室管内の中核都市としての役割をもっとアピールして、振興局の移設等、人口増加の一石を考えるべきでは
			中標津町は、一見豊かでうおっているように見えるけど、そうでもない様子。なぜなのかその原因をつきとめたらいいアイデアがでるかも。
			心のこもった思いやりに満ちた行政を望みます。町長の笑顔が第一です。
			町長の「住みやすさNo. 1」とは何を基準で考えているのか解らないが、中標津町は「住みやすいまち」と思う。病院の経営改善を最優先で行って下さい。
		70歳以上	全国的に議員、首長の無競争が増えている。原因はどこも共通だと思うので早急に解決策を講じておくべき。選挙の投票率の低下、とりわけ若年層の対策に力点を。
			今回のアンケート調査の課題、問題点の改善を図るために行政と町民が一体的に行動を起す必要がある事から各産業別あるいは、教育、防災等の組織プロ代表者による議会構成にすることが目標到達の早道と考えます。議員個人の意見ではなく組織代表の意見として議会に反映される事は重い事であり行政は組織の支援を進めれる事は望ましいと考える。
			人口目標25000人、すでに減少を始めている今、現状を維持して努力が必要となると思います。このアンケートを受けとって、同じような、あるいはもっと詳細なアンケートを町議にも出してほしい。日本全体が外国の人に助けてもらわなければ、全ての面で機能しなくなっている今、学校教育においても、外国語の教育は益々重要になるでしょう。外国の講師を積極的に入れて国際化に対処するべきだと思います。消費型的大型店の出店はもう充分です。もっと、生産性のある企業を呼び込む努力が必要ではないでしょうか。交流人口、飲食店への始影響があったゴルフ場を失ったのは、誠に残念です。
			アンケートの結果を楽しみにしています。がんばってください。
			1町民からの意見を述べさせて下さい、これから何年か分かりませんが、根室沖で8～8.8クラスの大地震があると予想されているところがあります。明日かも何年先かもしれませんが、その対策が十分取られているとは思いません。昨年の停電のとき非常食を配布したそうですが、ほとんどの人が知らないとの事でした。特に郡部はまったく知らせがなかった、との事でした。広報車が巡回したそうですが、何を話しているのかわからなかったとの事でした。大地震が起こると道路の被害も予想されます。広報車も走れない事が予想されます。郡部はともかく町内会に、または市街地全体に聞こえる防災無線を設置すべきだと思います。町はFMはなとかスマホで情報を聴いてくれとの事ですが、スマホのできない方、又はFMはなの電波の悪い所もあります。予算の問題もありますが、町民の生命を守る事が一番大事な事だと思います。防災無線は色々な事に活用できると思います。町の行事の中止とか再開するとか、お知らせなど色々な活用が出来るとおもいます。ご検討下されば幸いに存じます。
			素晴らしい町で災害も少なくて日々安穩に生活できる町です。
			安泰志向の職員ではなく不可能を可能にするくらいのハングリー精神を持ち合せた発想豊かな人材の登用を望む。
			今回のアンケートについて質問数が多すぎる「そう感じる理由」「そう感じない理由」はいらないと思う時間がかかり過ぎて飽る。三週間以上かかったもう二度と質問数の多いアンケートは、送ってこないで下さい。問70(1～6)は飽きたのでall3に〇を。
	女性	20歳代	集計、おつかれ様です。
			まだ居住して半年もたっておりませんので、答えられない質問もありました。申し訳ありません。
		30歳代	ファイターズチケットプレゼント企画ありましたが、バスツアーなど企画すれば、普段行けない人も行きやすいかもしれない。
			全体的にいい町だと思います。本当に！恵まれて環境に住むことができて感謝している色々な項目に意見を求められて、すでにもうこの町に満足している自分に気付きました。アンケートありがとうございました。
			今後も町民の声を聞き、すくい上げてくれるような町の行政に期待しています。
			まちづくりアンケートを簡潔化してほしい。
			お疲れ様でした。いつもありがとうございます。これからも日々お仕事頑張ってください。
		40歳代	地震が多いと感じます。防災対策などに力をそそいで頂きたい。減災に向けて。
			町役場の「敷地内完全禁煙」を実施していただきたい。所用で役場へ行き、正面玄関に行く階段を使用している際に、煙草の臭いがして大変不快でした。(こういう点での市町村がしていない等の「横並び意識」は持たないでいただきたい。)
		50歳代	転勤族ですが、中標津がとても落ち着いて(今までの中で)日々生活させて頂いています！これからも、もっと良い街を目指すべく、このようなアンケートに参加出来た事がありがたく思います。あと1～2年で去る事になりますが、又住んでみたい街であります。1人でも多くの方が中標津っていいね！って思える様になる事を願っています。
			勝手ながら、このようにアンケートを実施して、集計して、終わりになりがちになってしまうので、集計してから次のステップを明確に目標設定して、進めて頂きたいと思います。教育に関しても、いろいろな方々から意見を聞いた、ではなく聞いてからどうしたか、という事が大事だと思います。町内会の活動も、本当にがんばって奉仕している方々は沢山おります。自分の町を、どう愛するのか、巣立っていく子ども達に、どう郷土愛を根づかせるのか。町民の一部の商工会の方々、農協の方々、団体の所属する方々ではなく、本当に一般町民の意識をどう変えていくのか、夏のお祭りも、もっと、たのしませる側にどう立つかが、問題だと思います。
			人と人が仲良く、おしゃべりが出来る町になって欲しいと思います。
			中標津の見どころ、アピールポイントを正しく言える様にしたい。

図表95 自由意見一覧

まちづくり・ 行財政分野	女性	50歳代	小さな街でも活気があり、高齢の方も子ども達も安心して住める街であってほしいです。もう少し町民の声が行政に届きやすく、いろいろな問題が直接伝えられるようになったら良いな…と思います。 まずは、子どもの貧困問題だと思います。この町の貧困家庭どれくらいあるのか、私はお店で買い物をしていると時どき親子を見かけます。衣類、物、食を提供が出来る団体施設があれば商店街と家庭との思いやり出来ればと思います。これからも開けて行く町なのに街路灯が暗くてとても残念です。大通りをもっときれいに並べた明るい街路灯にしてほしいです。町税を何に重視し、何を優先しこの町の将来に向けて1つ1つ内容をクリアしてほしいです。 私たちにアンケートをとっても実現性がありません。行政がリードして目指す町作りをしてほしいです。お金をかけない事も大事ですが、お金をかけなければならない場面も多々あり、しっかり判断して、決定してほしいです。特に子育て、若者に目を向けた町づくりに。
		60歳代	道新で目にした言葉「中標津はやさしくない町」転入された方が1人でもそう思われたのであれば、それは大変 これからは自然災害に備えることが何より重要なことと考えます。あらゆるシミュレーションを。 まちづくりは人づくりが大切だと思います。意欲ある大人が個性を生かして活力ある子どもたちを育ててこそ明るい元気なまちになると思います。商業のまちではありませんが人づくりのまちになってほしいと考えます。 今現在は、元気に仕事をしていますが、これから先、何かあったらどうなるのか、とても不安な気持ちです。 女性職員の教育。 大きな災害が起きた時の近隣の町との助け合いの連携や情報を共有し、具体的に頻繁に話し合っていたきたいと思います。 町単独で将来により良い行政でも良いと思いますが、根室管内相乗効果のある様な町づくりであって欲しい！ 今回のアンケートの回答しましたが、この結果報告の回答されたもの(結果調査報告書)が存在している事さえ知りませんでした。町役場と支所で初めて見て知りました。なかなか町民にとって内容も知らず、しているのかなと町民も色々知れて出来るだけの事でもいいと思うような参加型でも地域での意見交換は難しいところにある事は事実で役委員会の時や地域の人達が集まった時に出る意見を集約して会長さん等が代表して皆んなの意見(要望)を町が受け入れてもらいたいと思います多分今までも要望はあったと思いますが…環境(景観)に思う事！個人で施設(牛舎等々)あつての産業等をやって来たのですがその後の後始末が大変です補助金が出たとしてもなかなか出来ずにそのままになっていたりつまり手出しが大きいところがあります奇麗にはしたいが…実際片付けてさっぱりした元の風景にしたいと考えてます補助金以上の金額がかかってしまうのです文書が分かりづらいかもしれません宜しくお願い致します。
		70歳以上	行政の活性化。元気のある役場の実現。 急に望むのも大変無理だと思いますが、今以上を少しでも全てがよくなるように努力してほしい。みんなが楽しく暮らせる中標津町に心をこめて祈ります。作成した方にありがとうございます。 解からないこと、かかわりのない事にはお答えしませんでした。 只今入院中、一気に済ませました。大変疲れました。勝手な事ですが、今回の調査で色々な事に取り組んでいる様子が分かりました(極一部なのでしょうが)どうぞこれからも机の上の仕事だけでなくお役所仕事と言われないように、行動に移して下さい※事件も未然に防ぐ事が出切ることと思います。うんと小さくしたら、1家の生活の様なものですものネどうぞ、これからも、力を最大限に発揮して町民の為、中標津町の為に働いて下さい。人口25000人の人口増に向かって応援しています。誤字、乱筆にて失礼します。2500人の中の1人に入った事感謝します。失礼な事を書き並べましたが、お許し下さい。 老人が多くなってこれから色々大変でしょうが戻つぽみになる事なく小さい町でも元気な町であってほしいと願っています。おつかれ様です。 今はまだ、人の話を聞いて、納得出来るうちに町の議会を公聴したいと思います、可能なのでしょうか？ 外出することがほとんどなので意見もありません。これからもこの町で子どもと孫たちと楽しく暮せればとそれだけです。 アンケート全問回答出来ず、申し訳ありません。問が多くて読み切れないのと、私には理解出来無い文もありました。子ども、老人に優しく思いやりのある中標津町で有ってほしいと思います。この町が好きなので。
	無回答	30歳代	明るくてとても良い町と感じています。もっと外から中へと様々に取り入れる活動を重視したら、先進的に人々が伸びて、外へ発進していったら活発な町になって行くのではないかと思います。
		40歳代	人が集まる中標津を希望。
		50歳代	町民に優しい街であってほしい
		60歳代	行政と町民と協力し、まちづくり推進をお願いします。 役場職員の皆様と議員の皆様の職業意識と自己啓発を望みます。 災害時の役場、消防、体育館はあれで良いのか、標津川が大水(水害)の時どうするのか？運動を行う施設はあれで良いのか？(バラバラの場所にあるのでは)開陽台の温泉の活用は、標津川の河川敷の活用、木を切りサイクリングロードを作る(舗装にする)子どものサッカー場、野球場小さな(例)(ソフトボール場)。

図表95 自由意見一覧

まちづくり・ 行財政分野	無回答	70歳以上	町としては努力しているんだろうとは思いますが。その努力が町民に見えない事もあります。一人一人の町民もいろいろ自分勝手な要望をし、解決あるいは良い答えが返って来ないと不満を言う人もいるとは思いますが、他町の福祉のありかた等をもう少し観察し、良いと思われる物を取り入れる等、頭をよわらかくし、新しい事にも取り組んでいただきたい。私は今、老人クラブ、サロンの役員をしているが町に福祉バスを入れ、活動する範囲を広げ、少しでもこの町に住んで良い事ばかりだよと云えるようにしてほしいが、まだまだ町の頑張りが町民にわからない事が多い。町にはボランティアの数だけはこの町にも負けないだけある、皆努力と頑張っている、どうかすると孤独になりがちな所もある、すべて知っていたらこうとは思ってませんが、頑張りもわかってほしいと云う思いもあります。資金増に苦勞し、本来の活動が出来ない事もあり日々どうしたら良いか悩んでる事も実情である。どうしたら町と町民が交わって町発展、充実が出来るか共に考えて行けたらと思います。
			高齢の方が増えるのは確実ですので、その人達の希望のある思いやりの町であれば、その空気が中標津の魅力になり若い人達の見本として伝わります。
			先日よくわかることしの中標津づくりが発信されました。降雨時の排水整備が遅れているか所が多くあるが、具体的に何年施工か明記されていない、計画について電話で聞いたら回答が不明！もう少し町民にわかる計画図を載せてほしい。不在地主(空家)がある、もう少し町も責任をもって見て廻るか、検討願いたい。防火上や衛生上非常に問題が多いので。新人職員の指導を特に願いたい(文書的な説明だと一般町民は大変です)。
			恐縮ですが、各種取り組みに参加してませんので、将来像についてわからない項目が沢山有ります。今後は参加して勉強したいと考えております。
			人口が減少するので、中心に集中すること。
健康・福祉・ 医療分野	男性	30歳代	医療がスムーズに受けられるように人員の確保が重要。中標津は人口も確保できており、税収もあると思われるので、せめて中学卒業までは医療費を無料にし安心して子育てが出来るまちにしてほしい。 人口を増やしたいなら、子育て世代を誘致できるような、中標津に住むと受けられる助成を増やすと良いと思う
		40歳代	高齢化社会に向けてたくさん問題点などあると思います。特に医療はしっかりして欲しい。ドクターヘリの利用数は今後とも増えると思いますが、釧路まで搬送しなくても町内で対応できる様な医療体制をめざして欲しい。良い町なので親をつれてきて一緒に住みたいが高齢の親を中標津に住まわせるのは不安です。町立病院に若くて新しい先生が着任していますので、期待しています。 子育てする人達への全面支援。
		50歳代	中標津町立病院の財政赤字及び医師の確保が今後、非常に心配だ。
		60歳代	街から離れているせいか、町政に対しこれは良くなったかなんて感じられない※今は心から安心してお世話になれる病院づくりに力を注いでほしい。老後の生活、健康に一番心配している所です。(昔、保健会活動があり、郡部ごとに会館に保健婦さんが年に何回か来たり各戸をまわってくれたり研修旅行があったり、もっと健康に対しての意識が高かったように思える。町も町民も！)。 地元医者を確保するため、医学部志望の学生の奨学金を与えるなど優遇しPR活動をして事前の対策を取る。
		70歳以上	病院の経営、毎年10億円程(正確性不明)一般会計から保充している為、一般会計で行う事業が減少されていないか、この問題は各市町村共通の課題であるが私の頭、能力ではどうにもならない、3ヶ月に一度の通院でお世話になっているが、医者3分診療に不満を持ちつつ、医療費の安さには驚く。 働きながら子育てをするのに保育料が高すぎ。高齢者がもっと早く、介護が軽い状態の時点でも入れる施設が欲しい。診療対策も考えて欲しいです…とりたいのですが… 少子高齢化が進む中、若者の晩婚が進み、さらに地方がさびれていっている気がする。子供達が希望を持って生きられる、中標津が故郷だよと、胸をはって言える街にしていってほしい。 高齢者の車免許に対する扱い等について。医療関係の充実
			自分の身体が年々(月々)弱くなって行くのが残念でなりません。月々の収入が5万円で生活していて病院の薬が10月2割(保健)とても心配です。なんとか成らないものなのでしょうか？ 先日、消費者生活センターに(困った時は)、相談下さいのチラシが配付されました。字が大きくて项目的にわかり易く書かれていてとても理解しやすい内容でした。私の知人、友人、隣り近所の方々に「断ったはずの商品が届いて困ったので消費ホットライン188に電話をして助言をいただき被害に遭わずに済んで本当に良かった。」と感謝の話を聞くことができ嬉しく心温まる気持ちになったものです。広報中標津もきちんと届きますが字が小さく読むのに一苦労します。途中で嫌になる事もあります。このようにきちんと届けてくれるのにあまり好意な言葉が聞かれないのは残念なことです。また民生委員の町内会での活動や個宅訪問等を通じて地域の困った事、高齢者の相談等色々働きがいのある事はありますが、誰が民生委員なの変わらない状態では全く果されていない。本当に残念なことです。
			ボランティア(高齢者)の育成と活動の充実。高齢者の助成(通院弱者へのサービス)。
			医療従事者としてこの町で働いています。今、病院では、高齢者が行き場のない状況があります。お金もなく、生保、家族の援助もなく施設にもいけない。そのため、病院に入院しっぱなしという患者が多いです。そのため、本当に治療が必要な人のベッドが確保できないような状況を町はどう考えているのでしょうか？また施設に入っても、すぐ入院してきます。きっと施設でも人手不足により、運営が出来てないように感じます。町づくりをどうか、とか言う前にやるべき事があると思います。
			町立病院は午前診療のみの科も多いと思います。仕事帰りや仕事を早帰りして病院に行ける様に午後診療の体制を整えていただくか、町立病院以外の病院(特に眼科、耳鼻科、皮膚科)の誘致に力を入れていただきたいです。 医療の充実。
		20歳代	
	女性	30歳代	小さな子どもがいますが、子どもの医療費を小学校、中学校になるまでもう少し助成するか無償にしてほしいです。1人ならまだしも、2人、3人となると結構な出費になり、家計を圧迫していると思います。

図表95 自由意見一覧

健康・福祉・医療分野	女性	30歳代	老人ホームを増やした方が良い。個人でやっている所はいくつかあるが、入るには敷居が高いと感じることが多く、現状でも待機している家庭がある。家族の介護も必要だが、高齢化に伴い、そういった環境が整わなければ、外に出て活動できる世代が家にこもる事になる。町にお金がまわらないし、色々な活動が抑制されてしまう。
			医療の充実。
			乳幼児の予防接種(BCG)や定期検診が集団のため、個別でも対応できるようにしてほしい。
			みらいるに、保育士(きちんと子育て相談にのってくれる)を配置してください。そして、気軽に相談できる環境を作ってください。みらいる職員に相談してもあまり解決したことはないです。また、幼児の部屋の安全管理(消毒など)もされているのか気になります。他の地域の子育て支援センターの取り組みを、もう少し参考にされることをお願い致します。
		40歳代	児童館を利用する時に(特にみらいる)赤ちゃん～高校生の交流や一緒に使える施設となっているけど、実際には、一緒に利用できない。小学生と赤ちゃんのいる家族が遊びに行くと、小学生は赤ちゃんの所へ行けないので一緒にいっても別々に過ごす事になり、楽しめないという話を聞きました。ゆめもりのもう少し小さい規模の施設があると良いのかもしれないです。みらいるの前の子育て支援センターは先生達がいつも近くにいてくれて小さな悩みを相談しやすく、転勤族や周りに相談できる人がいないお母さん達はとても助けられて感謝していました。今は、先生達も近くにいない相談もなかなか出来ないという声をよくききます。改善されれば今よりもっと子育てしやすい町になると思います！宜しくお願いします！！
			共働き世代のため、より一層充実した保育環境が整うと良い。フルタイムで仕事することを考えると、もっと多くの選択肢や預りサービスがあると助かります。
		50歳代	医療機関の充実を切にお願いします。町立病院の体制が変わってしまったような気がします。人間ドッグもスムーズに受診できるようにしてもらいたいです。申込み(5月に)をしても未だに受診日が決まらないのは、去年までとやり方が変わってしまったからでしょうか？役場内にある血圧計、古過ぎませんか？場所も目立たないので住民は使用しているのでしょうか？
			町立病院を受診した時に思ったのですか、 「コンビニ受診はやめましょう」 というようなポスターが貼ってあったけど、何が、どういう状態がコンビニ受診なのか、患者さん向けに説明とかしたいいいのではと思いました。医者の方の疲弊とか言ってますが、患者さんへの教育も必要なのではないかと思いました。
		60歳代	わんぱく児童館が閉館のままで先の見通しも見えず子ども達が迷惑を被っています。早急に今後の見通しを示していただきたいです。子育て支援や保育園などが充実していて、又産婦人科や小児科もあって子育てするにはとても良い環境にあると思います。もっとこの町の良さをPRして若い人達がこの町に住みたいと思えるような取り組みが必要です。夫婦二人の生活の今後が不安です。将来は釧路や札幌の施設に入所しようかとも考えています。でも住み慣れたこの町で生涯を終えたい。老後への希望の持てる町作りをお願いします。
			医療体制の充実、固定医の確保。
		70歳以上	医療施設の再検討。町立病院の運営主体の再検討。高齢化時代の高齢者福祉の充実。
			30年近く町外の病院に通い、交通費も相当なものです。町内に立派な病院があっても科がないと一度も行くことがなく残念でなりません。これから一日も早く、こんな思いで町に住み続けなくてもよいように思います。若い世代で家族のある方々にこのような不安材料は特に悩みだと思えます。まして子育てに入っていく人達の助けになる取り組みをしていただきたいと思います。
			これからは変化(いまま)一担下がった医療関係の信用は立て直しが大変だと思います。充実をお願い致します。同じ看護学校を卒業しても勤め先の病院で大きく変わる。
			高齢者に対しての、交通、足の確保、一人世帯の支援、説明、ボランティア、情報、サービス等への説明、住民の交流等、楽しく、健康で、生活出来る、町であってほしい。
			第一に医療(病院)関係の充実、病院は出張医が多く安心できない。子育て支援、女性の働きやすい環境。
			質問の意図がわかりづらく(年寄りには難しい言葉が多い)質問も多くじっくり考えられなかった。町立病院の機能を見直し年寄りももっと入院できるようにして欲しいすぐ民間病院に移されるのはどうしてか？もっといろんな入院も紹介してほしいプラットの利用をもっと町民にも知らせて欲しい、職員も役所の人という感じで明るくない、運動したい、また利用したいという気がしない。
			町の高齢化率が高くなって来ましたが、医療機関の充実が望まれます。
			やっと中標津でも白内障の手術も出来るようになりましたが、今迄紹介状をいただき、日赤へバスに乗り、1日ばかりで診察へ行ってきました。バス代(5,100)。私は、4年日赤へ通いましたが、中標津から沢山の人が通っていました。10時に着いて診察してもらうまでただ昼食も取らず待ちつづけて5時間かけてやっとみてもらい、家に着くのが6:30分頃でした。紹介する町立病院はその現状を知って日赤へ行くように紹介したのでしょうか？私は4年通いある事で釧路の個人病院へ転院しました。今は、通わなくても良くて誤診でした！今は精神的にも安心です。結果論ですが考える余地はあると思います。
			医療機関は、特に、待ち時間が多く、医師の診察、待応、年が取る程、もう年からの言葉が多く、行く度の言葉いやになります。年寄りには、もう少しやさしく、納得のいく説明等を、願いたいと思います。
			病院をもっと充実してほしいです。それには、人がいないと言うだけでなく、若い人が集まる、学校など建てたらいいと思います。中標津は環境が良い所なので1番の町になってほしいです。
	無回答	40歳代	子育て世帯への補助などが不十分と感じるのでもっと考えてほしい。安全面についてももっと考えるべき。仕事上の都合で中標津町に来たが、ずっと住みたいとは思わない。役場職員の意識の低さや態度は改善すべきである。
			中学までは医療費は無料に！
			高齢者ドライバーが多いので免許を返したあと車がなくても住みよい町にしたいといけなと思う。子どもを預けて働きやすい町にするために、保育所を充実させてほしい。
		60歳代	私共高齢者が今後多くなることを町政が気にしすぎて、過剰な福祉サービスを増やすことよりも今後2万人を切っても接続可能な町にするためには、やはり若い人に住み続けてもらわなければなりませんから、そのための施策づくりに最大の行政パワーを使うべきです。年寄りの言うことはあまり聴かなくて良いから、若い人が生活の基盤を持ってこの町で明るく生き生きと暮らしていけるよう知恵を絞ってください。お金も若い人のためにかけてあげてください。年寄りも自助努力で残りの人生暮らしていければ良い。

図表95 自由意見一覧

健康・福祉・医療分野	無回答	60歳代	医療、福祉の充実・高齢者が元気で働ける場所と収入を確保し、少しでも長期間納税者でいられる環境がある町であってほしい。子育てがしやすい環境の町であってほしい(夜間の病院受診しやすい環境や医療費が主)。
		70歳以上	高齢者のドライバーのことが最近すごく重要視されてますが、路線バス特に市街地以外の不便なところへのバスは、大切だと思います。あとは介護用の車も、もっと町で考えてほしい。所得の多い老人と所得の少ない老人、どちらも利用しなければなりません。介護タクシーとかありますが、もっと安く、そして、台数も多くなってもらわないと、年よりは増える一方ですから。現実的な問題ですよね。もう明日からでも必要です。
経済・産業分野	男性	20歳代	中標津空港の改善は必要(LCCも乗り入れ可能に)
			転入してきて日が浅いので返答に困るところもありました。以前住んでいた所と比べると商業施設、医療機関等不便を感じる部分はありますが、自然豊かで良い町だと思います。
			10年前に大都市から引っ越してきましたが、ここ中標津は不便な事が多いです(当たり前かもしれないですが)自然環境に感じては満足できる事は沢山ありますが、商業施設・介護施設等は全てに置いて不十分と感じます。一度に全て一挙して欲しいと思わないですが、町が努力していると感じられるところを町民に見せて欲しいです。結婚を前提に付き合っている人がいますが、ここでは子どもを育てていく自信がありません。教育施設の選択肢の少なさ、育児者の支援等、不満に思える事が多いです。個人的考えですが、中標津を「好き」と答える若者は一割も満たないと思います。高校を出れば、中標津で働くか町外へ出るか2択になり、今の若者は大多数が町外へ出ていると思います。町の魅力は町外の魅力に圧されていると非常に感じる。全てを改善するとは、不可能だと思いますが、10年で変わった事は手で数えられる程しか感じません。町民の意見をより沢山取り込み、順動に且つ迅速に進めていけばいいと思います。
		30歳代	丸亀製麺がほしい。温水プールにマタニティスイミングとベビースイミングがほしい。町コンのイベントを頻繁にやるべき。
		40歳代	時々、町営球場を利用したいと思うが利用人数が10人以上でないと使用できないのが不満です。気軽に野球できる場所がない。この町は空港はあるが観光地として魅力が弱いので、旅行者はすぐに他地域に行ってしまう。道の駅は今や絶対必要だし、遅すぎる。名物となる食もないし、観光に関して本気で考えているのかギモンです。
			林業の仕事してますが、春～秋にかけて、忙しいですが、冬は仕事がないので、冬の仕事増やして下さい。昨年は、12月いっぱいです仕事なくなりました。
			家族で入れる娯楽施設を充実してほしい。
		50歳代	町有財産の有効活用・閉校した校舎の活用・専門学校等の誘致・企業へ誘致(生産工場等)・遊休地の企業誘致・町の特産品生産工場等雇用の場、選択しを増やし男女、高齢者、障がい者が共に働ける場所を作る。全国に無く中標津町にしかない物を作りPRする。開陽台を牛と自然のテーマパーク化。農機具の完全自動化を全国に先駆けて実施する。先行投資が必要でも、世界一住みやすい地区の創造ととにかく他に無い物を作り中標津町をPR、観光、産業を活性化させ、住みやすい町に投資する。
			「道の駅」の必要性を感じます。
			市街地に温泉が豊富にある。(マルエー2カ所北ホテル・トーヨーグランドホテル・保養所温泉)『中標津温泉』として宣伝し、各施設の充実補助として、一大観光化に努めるべき。ゆめの森公園で、特色あるイベントを開催し収益を上げる。参加して良かったと感じるものはそれなりの有料化。
		60歳代	若者が多く住み続け、活躍できる場を置き、住民へのサービスへも町税を使ってほしいです
		70歳以上	魅力ある町には人が集まると思います。その仕事は行政にあると思います。
			計根別の畜産加工センターの経営現状が良く知り得ない今後も続けるのか。昔から何らかの設備(体育館、文化会館)の管理費も増加すると思うがよろしく願いたい。
			飛行機の東京便を午前と午後の2便にする。四年制大学短期大学等の誘致(酪農学園大学の一部学部など)。工業団地の造成企業の誘致。「道の駅」の新設。
	女性	20歳代	酪農生産現場重視形政策に片寄りすぎている。気候は温暖化傾向にあり、誰もが口にするが、その産業の方向は全く従来と同じです。農業の生産性で言えば10a当り粗収入は畑作10万円、園芸ではビニルハウス400万、カラス室1000万と云れている。酪農100haでも満足しないほど大形化している。土壌資源は有限であり有効に使う必要があります。酪農産業栄えて地域崩壊ということにならないうちに集約的な農業の育成に力をそぐべきと考える。農業形態の10%程度は目指すことにより地域雇用は増ると共に野菜等の自給率も向上すると考えられます。現在、野菜類はどの程度流入しているのか、小生は知りませんが大部分と考えられます。農業構造の方向性の変更が必要です。
			閉塞感、先行き不安。バイクイベント→道東唯一の出店廃校舎グラウンドキャンピングBBQ ex)西竹などじゃがバター牛乳豆腐ごまドレ厚いよ～。
		30歳代	商業施設の発展。
			若者の挑戦を応援するプロジェクトを作ってほしい。行政は平等、公平を原則とする建前から一歩前進して、街を元氣しようと思っている人はたくさんいるのだから、その者を応援する仕組みを作り、良い意味でエコひいきする。それにより、街全体が盛り上がり、町民全体の利益になると思います。
		40歳代	大型商業施設や全国チェーン店(飲食)を増やして欲しい。空港→千歳行、東京行共に便を増して欲しい。料金安くコンサートやイベントを増して欲しい。開陽台→花をたくさん植えたり売店飲食(露店でも)を増やしたり、とにかく活気。
			せっかく空港があるのに活用されていないように思う。LCC希望釧路から大阪へ行くのに空港への交通が不便。バス直通があったらいいなと思った。大阪へ月に一度抗がん剤治療に行っています。帰ってくると、改めて中標津の良さ、食べ物のおいしさ、景色の美しさが素晴らしいと感じています。たくさんの観光客に来て頂きたいと思います。地元企業への就職のサポート。
		50歳代	高校卒業後、子どもたちが進学にともない中標津から出ていってしまい、戻ってこない方が多いのでは?戻ってきても仕事があり、安定した生活が送れる様な町であってほしい。若者に未来のある町になってほしい。

図表95 自由意見一覧

経済・産業分野	女性	50歳代	標津は漁業、秋アジ、別海は酪農、牛で町をアピールしていますが、当町は何をアピールしているのが不明です。養老牛温泉、結構町外の方に人気です。しかし宿泊施設が1件閉じると聞きました。町として温泉をもっと活用する事は出来ないのでしょうか。
		60歳代	この町に移住した時に、町全体を悪臭が覆い、「これは何の臭い？」と驚き、移住したことを後悔したほどです。吐き気がするほどの臭いは行政がなんとかしなければ、ならないと思います。町づくりの第一歩だと思います。移住者も、観光客も、この町にと留まることに迷いを感じるでしょう。町づくりとは建物を立てることより住民が気持ちよく暮らせることが先だと考えます。若い子だってこんな臭い町でデートして楽しいですか？医者だって臭いのきついこの町で住み続けたいと思うのでしょうか？お弁当を持って公園に行き食べている時に臭ってきたら残念ですよネ。この町の一番天気の良い季節、春、秋が一番きつい臭いがするというのは観光の面でも残念ですよネ。基幹産業だから仕方ない…そういう人もいますが、住みよい町づくりに反してますよね。初めてこの町を訪れた人が臭いで去っていくのを防ぐ…まちづくりの第一歩です。人口増の第一歩です。元農家の人さえも臭いと言ってます。洗たく物を外に干せないのです。飛行機の増便と料金が常に安いといいなあと思います。
			夏まつりについて、家族がお盆に帰省する8／13～8／16にしていただけたら、盛り上がりがあった、楽しいと思いますが、ぜひお願いしたいです。花火大会について、場所を昔、花火を上げていた所に、もどしていただいて、ゆっくり腰をおろして、見たいですね。
			毎年、地方から中標津の身内が帰ってきますが、中標津は臭いが(ふん尿)きついですねって、言われます。普段生活していて、私自身も、いつも感じます。何か対策を、していただきたいです。
		70歳以上	高齢者の対策に不満。障がい者をもっと活用すべきであります。海保、消防、警察、自衛隊の一元化すべきである。もっと雇用の創出をすべきである。
			町内には観光する場所が少なく見所がないのが残念。地方から客が来ても案内する場所が開陽台くらいしかない。
			標津町はサケ、ホタテ、別海町は牛乳 温泉ケン、中標津は何もないのはどうしてですか。
			イヌのフンを持ち帰ってほしいです。
			農業の盛んな町なのに牛乳等地元産の糧としてもう少し安く売れないのはいつも残念に思っている。
			街中に数ヶ所の温泉施設がある事を生かし、観光の休閑時に町民の利点として、入浴券の配布の検討はどうでしょうか。町民の健康維持。住み良い街の意識を高める。再度利用の効果と付属の営利。身近な自然を大切に若い世代に中標津の開拓の歴史を引き継がれゆくことを期待する。
	無回答	30歳代	中標津町スタンブライリー→飲食店や公共施設(図書館やゆめの森公園)などの開催やカラオケ大会など子どもから大人まで楽しめるもの。
		50歳代	他の空港同様にラウンジやフリーWifiのサービスがあると良い。大型機が着陸できるよう滑走路の長さの検討もしてほしい。
			町の活性化対策としては「道の駅」を作るべきだと思います。町職員の意識改革が必要ではないですか？
		60歳代	小動物園みたいなのがあれば人もあつまるかも。
			観光客が一番に、行く所なのに、開陽台の建物がひどい。中の売店も、何もなく、なんなのっていう感じです。お客様を、連れて行ってがっかりした。シーズン中だけでも、どうにかありませんか。魅力ゼロです。
			標津町を見習ってほしい。人口が奪われている。中標津町は一言で言って、ぱっとしない町。これで有名という物を作り出してほしい。中標津空港はくさい飛行場で有名だと聞いてショックを受けました。
生活基盤分野	男性	70歳以上	カラフルな町作りを考えてはどうか。たとえば町の中にある5橋の欄干を各赤青黄の様に塗ったり又神社の鳥居を赤く塗ったり、マンホールの蓋をカラーにしたり、他町にないような町作り。中標津には町中の旅館、ホテルの多数に温泉があるので、パイパス(仮)中標津温泉郷のようなロードマップで町内に温泉がたくさんある事をPRし観光客の誘致を図ってはどうか。又商店のシャッター等に中標津の風景を画たとえば牧草畑で牛が草を飯べる所とか開陽台の展望台とか中標津の緑の絵を画くのも良いのではないかな。全て町だけで行うのではなく町全体で力を合せた町作り。
		20歳代	バスは利用者が少ないのでそのままでも良い。
		30歳代	町内会に入るメリットがない。神社祭の寄付とか無くしたほうがいい。
			根室市みたいに運転免許返納者にメリットがある政策がほしい。(バスのフリーパスもしくは割引券、タクシーの割引券等)このままだと町内の交通事故が増加すると思う。東小学校周辺の教員住宅はどうするのか、更地にして売却したらいかがでしょうか？空家対策も必要です。民間でも動いている会社はありますが、行政も対策しないとどんどん増えて10年後には社会問題になると思います。(解体費用の補助や仲介してほしい)
			以前は札幌圏に住んでいましたが、ガス代の高さに驚きました。ライフラインのガス代でこうも違うのかと。同じように生活しているのに倍します。自分だけかと思いましたが、職場の人も同じように言っています。具体的には、7000円台→1万5千円台になりました。立地条件で輸送コストが高いのか、田舎で競争力が無いせいなのか知りませんが、文化、教育、福祉とかの前に最低限の生活にかかわる面の保障をまず行ってほしい。家賃も高い。都市の方がむしろ安い。そろ人口減るさ。
			冬季の除雪において速めに住宅街の除雪をしてもらいたい。児童が通る道(住宅街の近く)で歩道がない所もあるので整備を実施してもらいたい。
			住宅地の除雪が午後から入るという状態では困る。もっと早い時間に除雪を終わらせて欲しい。集中豪雨の時に川の水があふれそうになっていた中標津橋周辺の護岸整備をして欲しい。安心して暮らせない。
			ソーラーパネルは何とかしてほしい。
			バスの本数は増やした方がよい→高齢者運転が本当にあぶない、車がなくても、住める町・仕事があふれているのに、働き手少ないので、何とかしてほしい(スーパー、コンビニは減らしても良いと思う)・町が何をしたいのか、情報源がとほしい
		40歳代	根中線の中標津側の整備をお願いします。
			公園の遊具は人の目につく場所にあったほうが良いと思います。変な人がもし来ても人通りのある場所まで出るのに遠い。遊具が古くてこわい。

図表95 自由意見一覧

生活基盤分野	男性	40歳代	街路灯が少なく、事故事件がありましたら困る(高校生の帰宅の時間は国道、道(町)明るく)。 今の時点で望むことは「路線バスの見直し」。個人的にはこの1点だけです。鉄道廃止の代替として走るようになってからほとんど大きく改正されない路線図やダイヤ。病院や買い物の足として使いたいお年寄りはたくさんいるのに、無駄に巨大なバスがほとんど空に近い状態で毎日走っている。少しずつでも、お年寄のニーズにあった交通機関になっていかないものかな、と期待しています。80を過ぎた両親にもそろそろ運転をやめてほしいと思っているので。
		50歳代	町道の一部が地震による損傷のまま(損傷部分だけ毎年整備している)道路全体が整備が必要だと考える。又、整備、未整備の道路段差がひどい(特に冬場)。スポーツ施設はたくさん作っているものの、文化施設に対してはどうか？特に郷土館を博物館に建設する必要があります。何故？スポーツ施設を充実させ、文化施設は充実させないのか？説明していただきたいと思う。町内会参加減少していますが、「町内会の必要性」ではなく「何故？町内会参加しないのか？理由を追及すべきだと思います。 洗練された街づくり(歩道の花、植え込みなどをしっかりと維持管理)。とにかく汚い感じがする。来た人が美しいと思うような景観づくりに力を入れる。街中に桜を植え(統一制をもたせる)その下にリンドウを植えて春と秋にイベントを出来る基盤を作る。多くの人を呼び込む。手入れにボランティアを集め美化の意識向上につなげていく。 町内会は一度解散して新しい組織に生まれ変わった方がよい。役割を果たしていない。つまり機能していない。 ごみ袋の料金を上げれば上げる程不法投棄が増える。税金の投入をすべきである。町の中が汚れるばかりであるから。生活道路の整備について東中川沿い通りの道路、役場前のカーブ、共に早急に整備すべきです。 車社会なので役場の人は街中を歩いたことが無いのでしょうか？役場から消防ローソーンセブンイレブンの方向へ歩いてみて下さい。歩道の路面は凹凸だらけ、しかも、夜は街灯が樹木にさえぎられて暗く、屋間でさえつまづく事があるのに夜なら尚更です。更に冬になれば除雪の雪が邪魔をして狭くなり、すれ違うのが大変です。歩道に設けられた緑地帯からはカンボクが大きくハミ出し(春先に整えている様に見えましたが…？あれでは仕事になってません！ハミ出している枝まで整えてこそ対価が支払われるのでは？工事検収の人は何をやっているのか！？我々の税金をムダに使わないで下さい！)一般人はともかく、児童・生徒が毎日通るのにあれで「整備します！」とはあきれられるばかり、高齢化社会なのに、老人は大変です。交通が不便だから車を使うしかない。けれども昨今は免許返戻せよとの風当たりが強い。やむなく歩けばしょっちゅうつまづき…年寄りには暮らしにくい町になっていくようです。 近隣の町と比べ、町内会の加入率が低すぎて町民として負担度合が不公平です。例えば、町内会を通じて「社協」「消防後援会」ほか会費の支払い、一斉清掃や防犯活動町内会加入者に頼ることが多い中、災害時も町内会の協力は必要です。年々、加入率は低下しており、町内会だけでも加入推進には、限界が来ています。町内会の衰退や無くなることは、町にとって損失です。町として加入推進に力を入れ、不公平をなくすべきです。
		60歳代	自動車学校ゆめの森公園の間横断歩道がありません。ゆっくり渡りたいと思います。町民は少ないけれど。 標津川が氾濫した場合、町役場・消防署330・丸山小・N中などは、指令機能や非難機能が完全マヒすることが想定されるので早期対応が望まれる。避難地区の代表(町内会長等)と避難場所の代表(学校長等)の事前受け入れ対策などを全町的に連携を取っていただければ、いざという時大混乱する。町内会会員増を促進するため、役場職員の全員加入を義務化、アパート大家にも入居者の加入を条件に入れるなどの工夫が必要。 高齢者の免許返納に伴い、交通機関を利用する際。例えば、タクシーの回数券を発行してくれるとか、金銭面で協力してもらいたい。 冬場の除雪に不満がある。近所のお年寄りも困っている。手伝ってもらえるが、こちらも仕事に出るのが遅くなるので、いつまでもやってる訳にもいかない。せめて広い道路が開かなければ身動きできない。免許返納してから足に付いてどうなっているのかわかりたい。 中標津町にとって標津川、タクラマップ川は命の川です。この2つの清流により町の豊かな自然が保たれています。標津川沿いに人が川に接する場所を作ってはどうか？欠してコンクリートの河岸工事を勤めているわけではありません。木材を使用した大げさでないものが良いと思います。タクラマップ川の並美ヶ丘1条30、33丁目の川側に土砂が運ばれ、川の方に土砂をブルドーザーで運んでいます。宅地化を目論んでいるのかもしれませんが、一旦、大雨になり、土砂がタクラマップ川に流れると川は混濁し、下流のサケ・マスふ化場が打撃をうけ稚魚が死んでしまうかもしれません。水草も死んでしまうかもしれません。この工事は止めさせた方が良くと思います。今後、川周辺の自然環境を守る、法整備が必要と考えます。住宅地の木立が打探されています。住宅地に潤いがなくなっています。鳥もとんで来なくなりました。町有地だけでも木立の保存に努めて欲しいものです。
		70歳以上	子どもから大人、そして高齢者に至るまで毎日が安心安全に生活できる環境造りが必要。 計根別の正美公園のトイレをボットンではなく、水洗トイレにしてほしい。パークゴルフに行くとお金が取られるのに、衛生状態が悪い。冬期の歩道の除雪ができてなく、すべりやすく危険、人通りの多い道路には塩カリを撒いてほしい。 免許返納を考えるが町内のバスの利便性が悪く返納出来ない。 共同永代供養墓の新設。 町内会の会員が少ない。時々会員増やす努力をしてほしい。 最近老人の交通事故が多いとニュース等でできますが、それと同時に高齢者の免許の返納しなさいとの事です。市街地にお住まいの方は、交通手段があると思います。タクシー利用しても市内なら郊外より安く利用出来ます。問題は郡部に住む方です。同居又は近くに親族身内がいる場合別ですが、一人暮らしの方とか夫婦でも免許返納した場合町ではどうお考えでしょうか？タクシーで病院、買物に行くと5〜7千円かかります。年金暮らしでは大変です。町では路線バスを利用して下さい。と言うかもしれませんが、バスの停留所まで、2kmから3km有る所は沢山あります。そこで、今走っている郡部の町営バスは、見ているところ、お客はほとんど乗っていません。空気を運んでいる状態です。今すぐとは言いませんが、町営バスを、廃止すべきと思います。免許を返納した方、独居老人の方を対象にし、せめて町の中で乗れるタクシー代ぐらいで行ける料金になるよう、補助をお願いしたいと思います。どうかご検討をお願いします。よろしく願いいたします。
		70歳以上	中標津町(環境整備)例えば、花いっぱい運動と組織化。 一般的に弱者や高齢者の健康維持、熱中症予防のために、森林浴散歩コースを造って頂きたい(例えば土地の所有者は解りませんが、国道272号東40条付近から以東の南側小川沿等は最高と思いますがご検討して下さい)。 中標津地名大事に。役場花畑、りんどうの花いっぱい何年も雑草畑(看板かえても中身が)。

図表95 自由意見一覧

生活基盤分野	男性	70歳以上	街の中心から人は去り、空地が目立つ。春と共に郊外に次々と家が建ち、急速な人々の減少はないと思うが若い人、高齢者共に集める、街になって欲しい。
	女性	20歳代	体を動かす機会が少なくなったので、スポーツ施設等を増やしてほしい。子育てをするうえでもっと安心して暮らせるまちを望みます。 公共交通の便を良くしてほしいと思っているのですが、町内で買い物等しように思った時に自転車があればいいなあと思うことがありました。レンタカーはありますが、自転車のレンタルやってほしいです。
		30歳代	公住で、ペットを飼っている人がいます。一人ではありません。注意してほしいです。 町にタクシーが5台しかないのは、不安(以前、妊娠中に全てのタクシーが出払っていたのか、長時間待ったことがある。バスも不便なので、冬場はとても不便) 家の前の道路が砂利で、砂ぼこりがすごく気になってしまいます。子どもとお散歩する時も、車が通るとすごく舞うし、家の窓を開けるのも気になってしまいます。荒い目のアスファルトでもいいので舗装してもらえたら、と願っています。 子連れでご飯を食べる所が少ない。ファミレスがあるとうれしい。道立公園はきれいで良いが、他の地域公園など古い遊具など危ないと感じることがある。大きなスーパーなどがあって充実しているが、観光などを考えると道の駅を作ってほしい(特産物、温泉などもあるのに、もったいない)。
		40歳代	道営住宅、町営住宅、公務員(教員)住宅の空き家他の町の様に一般の方に貸し出し(安く)維持したらいいと思う。沢山あってもったいない。 バス税をとって、無料にして下さい。 釧路、中標津間のバスにトイレが無いのは不便なため、子どもや年配の方を連れて乗る事が出来ないで、途中でトイレに行けるような、バスがあれば良いと思う。 街灯が少なすぎだと思います。仕事帰りも暗くてこわいです。だから、ボイすても多いのでは!! 宜しくお願いします。 家賃が高いと思う。土地も。家を建てるサポートがあつたらいいと思う。ファミリーレストランなど子どもと一緒に利用できる店があつたらいい。
		50歳代	道路の悪さ、住宅の少なさにびっくりしました。40年ぶりの中標津は、自分が思っていたより活気がなかった。スポーツ関係はきれいになったのに学校は古いままでガッカリでした。地域の交流も見えてこないし美術も本物に触れる機会もない。オケとか美術にもっと小学校にふれてほしい。 お年寄りの車の運転事故が、問題視されてるなか、生活に不便を感じない、交通機関を充実させて欲しい。ごみの処理には、不便を感じている。同じ税金を払って、定期的に、集収車が来る地域とこない地域があるのは、不公平差を感じる。 大人が遊べる(ボウリング場、映画館)などの再生を目指してもらいたい。(釧路まで行かないと行けないので) ごみ収集について、ある町内では個別ではなく数件単位でごみ箱を設置して収集をしているそうですが、どうしてこの町内だけそのような収集方法なのでしょう。
			住宅街の道路を舗装する時歩道をわざわざ作って狭くしたり段差を作るのをやめてほしい。もっと、ベビーカーや車いすや自転車のことを考えてほしいと思います。弱者に思いやりのある優しい町になってほしいと思います。丸山公園は好きな公園ですが、最近は木がうっそうとして、暗いイメージです。南三丁目にナナカマド並木も木が大きくなりすぎと思います。そういうことに目を向けられる余裕をもってほしいと思います。いずれにしても行政にたずさわる方々は一生懸命やってくださっていると感じています。これからもよろしくお願いします。
		60歳代	冬の除雪ですが、どの地区を見ても中標津の除雪が、雑で、とても、走れないです。ずっと何年も前からですが、どうにかありませんか、予算の問題もあると思うのですが、他の町も同じだと思います。しっかりした除雪人を選んで下さい。 何事にも車中心・車優先的なやり方で、以前冬の雪が積もった時、車道は除雪されているが役場前の歩道は除雪されておらず歩くのがたいへんだった。歩いて出掛ける人もいる事を忘れないでほしい。とにかく歩道がどこもデコボコなので歩きにくい。いつも車ばかり利用している人にはわからない事なのかもしれないけど…中標津に住んで12年ですがバスの地名表示に「中標津市内(街?)」とあるのはおかしくないですか? ずっと中標津町なのに何故?? と思っています。 水道管が老朽化していると聞きます。いっこくもはや新しい管にかえたほうがよいのではないかと思います。安全な水を供給するための対策が必要かと思ひます。 ここ数年、高齢者運転の事故が多く、たくさんの犠牲者が出ている。地方は公共交通に不便で、車は必要となる。自分も将来的には免許返納を考えてはいるがそれに伴う町の援助がほしい。年間のタクシー券など、コミュニティーバス(予約制)を走らせたらどうか。 高齢者が多くなり、自分の車の運転も出来なくなるので、交通の足の確保を。皆が利用できる様考えてほしい。 ゴミ袋代金がまた値上がりすると聞いた。なぜなのか理由を知りたい 今は、自分で運転しているが、もっと高齢になった時に、通院バスなどが地域ごとにあると便利かと思う。もちろん、個人負担は、必要かとも思う。 生まれ、育った町ですから住みやすい余生をおくる町であってほしいと思います。細かい事はいっぱいあったとしてもやはり人が多いと幸せです。又、この町は家賃が高いと思います。気候的に悪い地なので物価の変動は仕方ないですが、固定的なものが高い、公共施設が不親切である。老若男女が遊べる所が少ない。 今の寺では、永代供養の費用は一人50万円から70万円位と言われる為、早急に合葬墓を造ってほしいです。 墓地の施設について、墓じまいなど、残された家族に迷惑をかける事がないよう、墓石として、型を残す事がない様したいですね。樹木葬を町営で、ぜひ、していただきたいと、願っています。 冬期、除雪の件毎年両側に雪がつみ上げられて、大変両側が見にくいので、危険です。 まちが広がると環境整備が大変。将来人口が減り税収が減るのでなるべくまちをコンパクトにすることで充実した住民サービスができるのではと思います。活気あるまちなかづくり。 住宅近くの町道を整備。舗装してほしいこと。冬道の除雪。排雪の充実。 中標津は、自転車は、歩道でしたよね。今は、子どもも年寄りも車道に乗っている。逆走、車でおちおち走れない。事故が、起きてもおかしくない。自転車を通れるか、すみずみ迄、確認してほしい。

図表95 自由意見一覧

生活基盤分野	女性	60歳代	現在70才になろうとして75才代の車における自己が多発しているのであと5年したら車で動き回れるか心配。バス、車の利用の仕方など多格的に(70才以降人々の動きやすい体制を考えてほしい)。
		70歳以上	生活道路の維持管理の充実(定期的な点検)。除排雪の充実。市街地の緑地の不足。
			ゴミ収集の時の分別ですが、高齢者にとっては説明されても、手が不自由で出来ないことも多く、こんな時の対策は自分で解決が出来ず困ってしまうことです。スプレー缶のガス抜きは怖い。牛乳パックはハサミで切り開き出来ない。自分の出来る限り迷惑をかけないでは大変なことです。
			子どもが近くにいない等、様々な事情でお墓を待つことが出来ない町民のために宗教関係なく共同墓等公共の埋葬場所を早期に造ってほしい。このことが私の今の最大の希望です
			予算の関係もありますが、外灯が少なく暗いので、将来的に、もっと明るくしておけば、悪いこともおきないと思いますので考えて下さい！
			当町の住人になって約60年、町は大きくなって都会的になり、市内バスも通って、近くにコンビニ、パン屋、買い物は今のところ自家用車、それでもこのごろ感じる事。人々の繋がりが希薄になっている。町内会離れが多く、当地区も50%くらい。空家が目立ち、ゴミや物置がそのまま放置されている。。野良ネコやキツネにね餌をあげている方を見かける。一日も早い排水溝の整備。冬になる前に、除雪の仕方をしっかり考えてほしい。
			冬の除雪、雑だと感じる、もう少ししていねいに。
			町内会活動に町議員の顔が少く(顔なじみ)役場に行きづらい(知っている人が居れば向こうから話が聞き易いね)。
			長い間、この町に住んでいますが、住めば都、どの町より好きです。でも、年を重ねて来ますと、不便さを感じる事も、多くなって来ます。今は友達も、誘って町に連れて行ってくれます。月に二度程、バスにも乗って買物にも行く様にもなりましたが、あまり便利ではありません。
			ここは高齢者のサービスがない様にも思います。私の住んで居る所は町から離れています。今は運転が出来るから病院に行ったり買物に、用事も出来ます。今後わかりませんが、高齢者の気持を考えて交通の便利のサービスに力を入れてほしいです。交通の便利なサービス。
			公共施設の利用について、趣味や健康のための活動をしているが、地域の方では(市街地と比べて)利用が少ないので実績に合わせた料金等の配慮も考えて欲しい(小さいサークルなので会議室を使っているが人数が少ないので料金は免除届を出しても高くなる)(卓球などは虹別の酪農センターは無料なので友達もいることからそちらを使わせてもらっている)。
			標津川沿いの土手の整備。散歩出来る道を延長してほしい。草刈り等を充分にしてほしい。老人が良く利用するバスの本数を増やしてほしい。補助券を出してほしい。
	無回答	40歳代	東小や広陵中から小中学生が帰宅する時、日没が早いと暗くなるのが早くて、外灯がないので、ウエスタンあたりまで帰る学生は足元も見えないほどです。どなたか担当の方、1度日が沈んでからトーヨーホテルから歩道を歩いて標津方向に行ってみて下さい。懐中電灯がいりますよ。
		60歳代	ずーっと晴れ間がないのに、散水車が、道路の水まきを、している。何なの、水道代は、中標津は高いのに、無駄である。
			一番気になっていること。公営住宅のこと、私達が、入っている住宅が、不満がある。換気、水まわり、戸の立てつけ、ベランダ活用が出来ない。駐車場の作り方、下見せずに入ったので、住んでから、気がつきだした。何度か役場の方に来てもらったが、大部分、なおせず今後も公営住宅の建設あると思うが、住民の方のアンケートをとったらいいかと思う(住む方の要望を聞くなど)。色々問題あります。道路わきの植え込みも気になります。剪定されてないので、のびすぎて見通しわるい。
		70歳以上	私は現在公住に住まわせていただいております。建替が何年か後にあるかと思われるのですが、年ですので、今のまま住み続けたいです。周りの友達も同じですがよろしく願い致します。
			コミュニティバス走らせる。老人クラブへも行けない(足問題)。在宅の介護の充実(老々介護)。
		無回答	今墓仕舞をする人が増えています。町で将来樹木葬を造る考えはないのでしょうか。高齢者の免許返納が話題になっています。返納した後の交通面を考えてほしいです。
生活環境分野	男性	20歳代	ゴミの分別が雑すぎると思う。自然を保護したいならもう少し考えるべき。
		40歳代	農協とお話し合いをして牛フンの臭いをどうにかしてほしいせめて土、日祝日を休みにするか。
		70歳以上	自然環境をなるべく維持していける方向で整備してほしい。
	女性	30歳代	町内会のごみ拾いなど、他の人がやってくれるから、やらなくていいみたいの人が多く、このような方が、やらなくなったら、(できなくなったら)だれがやるのでしょうか。一部の人しかやらない。
		70歳以上	明生地区に住んでから24年になります。それなのに横道に入る道路も側溝も出来ていません。家のまわりの道路のふち側溝の生えてくる草は自分で刈ってます。これは自分達でやらないといけないのでしょうか。自分は高齢者になって来ているので、それは大変です。道路も側溝も整備がされていれば草も生えないと思います。それをしてほしいと思います。よろしく願い致します。私の思った事を書きました。
	無回答	40歳代	健康面以外は90%住みやすい生活を送っていますが、どうしようもない鹿の被害が多くて、多い日は20頭も来るし、町の方でも対策をしている様子がうかがわれますが、このままですと生活権も鹿のためになんらかの影響が多いのではないのでしょうか。
			早朝から、重機やトラックのエンジンをかけて動かすのはやめてもらいたい。町の方から、しっかりと「朝は8:00から」の様に指導してもらいたい。騒音問題は、取り組んでいないのか。
		50歳代	中標津町の町は、満足しています

図表95 自由意見一覧

教育・文化分野	男性	30歳代	スクールバスについて教育委員会の対応があいまいで、後手に回っている気がする。子どもが不便を感じており、安心できないので、しっかり対応してほしい。対応についての情報をしっかりと発信してほしい。
		40歳代	町の将来を担う子ども達が、健やかに成長し、次の世代を育て一緒に成長していける様に特に、学校教育の充実と青少年の健全育成が大切だと思っています。可能な限り自分もお手伝いしたいと思っており色々な活動へ参加し何が出来るのか探していきたいと思います。
		50歳代	町立中標津農業高等学校の活性化・校舎、体育館、グラウンドが新しくなっています。町外からもっと生徒を集め、農業教育の他にスポーツにも力を入れてはどうでしょう？野球やバレーは全国放送も有り認知度、人気も有り町のPRにもなります。国際化も良いと思います。
	女性	50歳代	役場職員や教員の意識の向上が必要と思われる。今回は教育に対しての項目であり、他の部署の事は、解りません。町内の中学校は現状良くないので計根別もしくは、別海などに転校、移転を考える人が多くなると中標津にとって良いと思えません。
		30歳代	子どもが安心、安全に楽しめる施設を増やしてほしい。
		40歳代	中標津の資料館を新設し、中標津の歴史に触れる機会を町、内外の人が持つことができるようにしてほしいです。 街の中で暗いところが多いのが気になります。子どもの教育に対する親の意識がとても低いことが教育困難や低学力、低モラルにつながっていると感じています。子どもがとても小さく、親がこの養育に対して大きく責任感を持って幼少期に「親学」を身につける必要があると感じています。地域ぐるみでの子育て環境の充実はとても大切ですがその中心にいる親の自覚を促すこと、その親を地域がサポートする取り組みをしないとこの町の未来は明るいものにならないと考えます。(優秀な人材は外へ流出するばかりです)
		40歳代	障がいのある子を育てています。永く相談できる窓口をつくってほしい。成長したら、中標津に住ませたいと思っていますが、環境が悪すぎると、他の土地へ移動を考るざるを得ません。学校の悪い噂をよく聞きます。そういう子を安心して育てていける町だとこのまま住みたいと思いますので、是非とも考えてほしいものです。
		40歳代	子育て支援の充実。進学支援。不登校の子ども達のフォローが、あまりされていないと聞く。スクールカウンセラーの利用も少ないよう。安心して通える学校作りをしてほしい。心のケア。先生方の負担が大きいなら、親の協力があっても良いと思う。
		70歳以上	スポーツの大会など全道規模の大会の誘致(立派な体育館等あるのに330マラソンだけでは寂しい。)。文化会館、体育館ができました。次は、この町に博物館がほしいと思っています。町民の学びの場として、郷土愛を育てる場として、歴史を知り、より良い町づくりを考える拠点になると思います。
	無回答	30歳代	地域全体で子ども達を守り、楽しく、安全に過ごせる様にしたい。いじめや、悩みを抱えている子や不登校の子が気軽に足を運べて相談できる施設などあればよい。障がいのある方達が楽しめる施設や、スポーツの交流など。
		70歳以上	文化的なことですが、日本の古典、伝統、たとえば日本舞踊などを、中学生、高校生の授業の中で取り組んだらどうでしょうか。たしかに、派手ではなく、今のヒップホップみたいなカッコ良さはないかもしれませんが、日本人ですから、学ぶことも大切なのではないのでしょうか。浴衣一枚があれば、練習できますし、間という待つ、という時間がとてもよくわかると思うですそれとも部活の中にあれば…。とてもステキなお師匠さんもおりますよ、とか、どなたかボランティアで教えてくれる人がいるかもしれません。

IV【別添】第7期総合計画策定に向けてのアンケート調査結果

【別添】第7期総合計画策定に向けて

調査の目的

まちづくりを進めるための新しい指針となる第7期中標津町総合計画（仮称）策定に向けて、町の取り組みに対する町民の皆様のご意見をお聞かせいただき反映させていくことを目的とします。

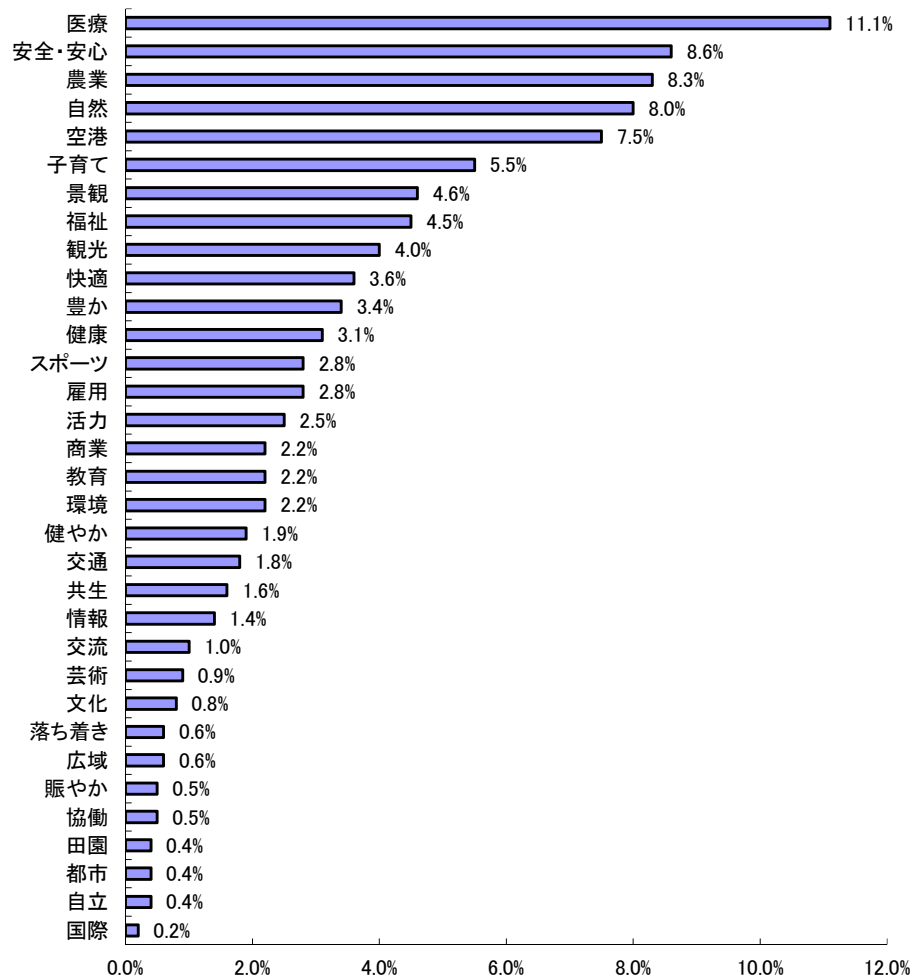
問68 これからの中標津町のまちづくりをイメージする言葉について、あなたのイメージにあった言葉は次のうちどれがあてはまりますか。【複数回答】

●「医療」が第1位。次いで「安全・安心」、「農業」の順。

これからの中標津町のまちづくりをイメージする言葉をたずねたところ、「医療」（11.1%）が第1位に挙げられ、次いで「安全・安心」（8.6%）、「農業」（8.3%）、「自然」（8.0%）、「空港」（7.5%）、「子育て」（5.5%）などの順となっています。

【図表Ⅰ参照】

図表Ⅰ これからの中標津町のまちづくりをイメージする言葉（全体／複数回答）



回答数=1,700

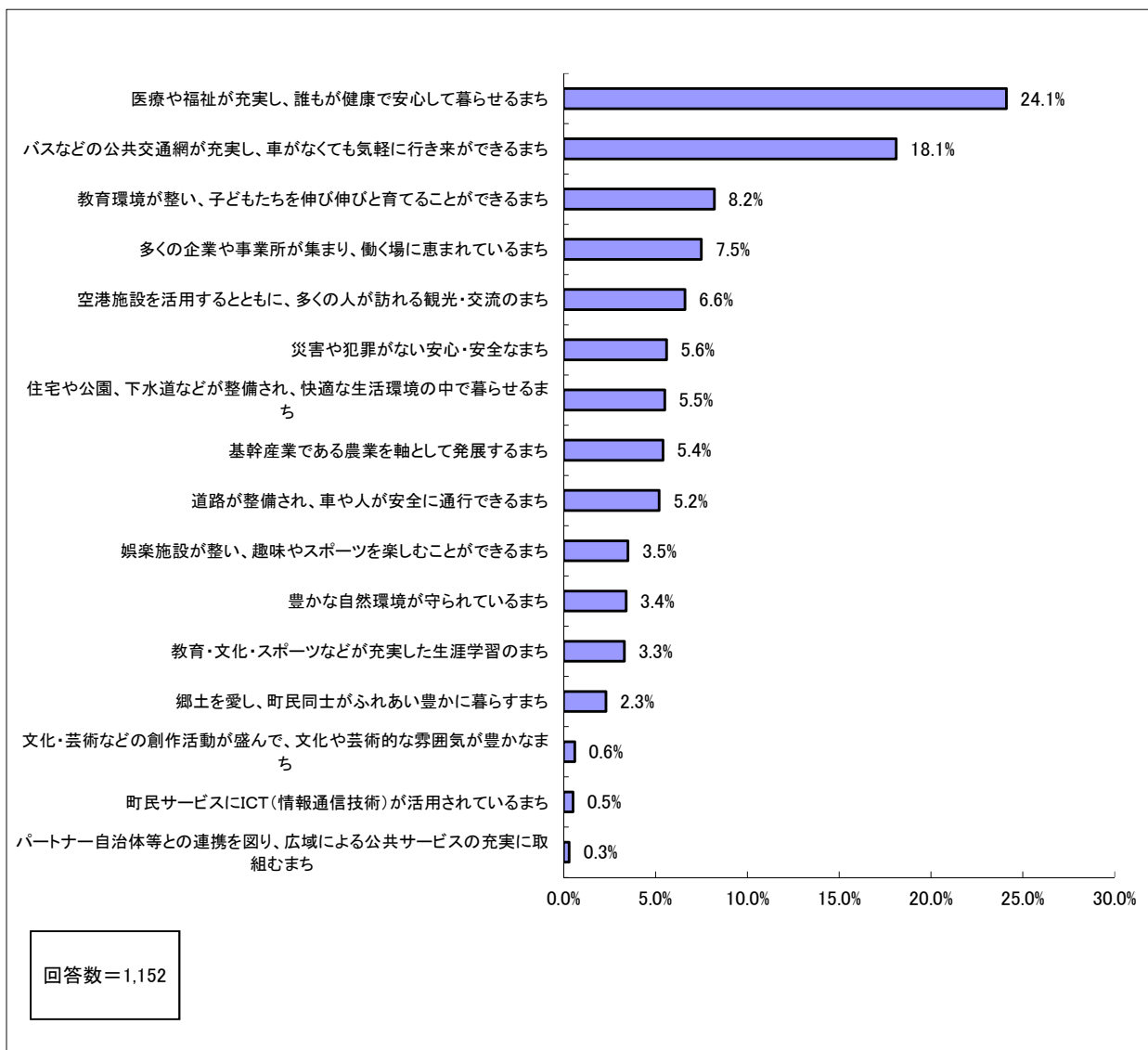
問69 これから目指すべき中標津町の姿について、次の中からあなたの考えに近いものはどれですか。【複数回答】



- 「医療や福祉が充実し、誰もが健康で安心して暮らせるまち」が第1位。次いで「バスなどの公共交通網が充実し、車がなくても気軽に行き来ができるまち」、「教育環境が整い、子どもたちを伸び伸びと育てることができるまち」の順。

これから目指すべき中標津町の姿についてたずねたところ、「医療や福祉が充実し、誰もが健康で安心して暮らせるまち」（24.1%）が第1位に挙げられ、次いで「バスなどの公共交通網が充実し、車がなくても気軽に行き来ができるまち」（18.1%）、「教育環境が整い、子どもたちを伸び伸びと育てることができるまち」（8.2%）、「多くの企業や事業所が集まり、働く場に恵まれているまち」（7.5%）などの順となっています。[図表Ⅱ 参照]

図表Ⅱ これから目指すべき中標津町の姿（全体／複数回答）



問70 中標津町では、これまで第6期中標津町総合発展計画（2011年度～2020年度）に基づき、以下のように、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。これらについての現状の満足度と、今後の重要度をあわせておたずねします。

①あなたは、以下の6つの分野の各項目について、現在どの程度満足していますか。それぞれについてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

②あなたは、以下の6つの分野の各項目について、今後どの程度重視していますか。それぞれについてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

	①満足度						②重要度					
	満足している	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	不満である	無回答	重視している	どちらかといえば	どちらともいえない	どちらかといえば	重視していない	無回答
1 参画と協働で未来を築くまちづくり 町民参画・交流・コミュニティ・行財政分野												
協働のまちづくりの推進 （町民参画機会の提供、広報・広聴活動の充実、情報公開の推進など）	36 5.5%	174 26.4%	275 41.7%	42 6.4%	13 2.0%	120 18.2%	⇒ 82 12.4%	220 33.3%	177 26.8%	18 2.7%	15 2.3%	148 22.4%
コミュニティの育成 （まちづくり活動団体や町内会活動の活性化など）	23 3.5%	146 22.1%	281 42.6%	67 10.2%	17 2.6%	126 19.1%	⇒ 67 10.2%	196 29.7%	187 28.3%	29 4.4%	26 3.9%	155 23.5%
国際化、地域間交流の促進 （友好都市川崎市など他地域との交流、国際交流体制の充実など）	14 2.1%	76 11.5%	343 52.0%	83 12.6%	24 3.6%	120 18.2%	⇒ 57 8.6%	146 22.1%	230 34.8%	43 6.5%	35 5.3%	149 22.6%
北方領土対策の推進 （北方領土問題の啓発、返還運動・交流事業の推進など）	25 3.8%	95 14.4%	308 46.7%	78 11.8%	37 5.6%	117 17.7%	⇒ 84 12.7%	131 19.8%	193 29.2%	57 8.6%	51 7.7%	144 21.8%
人権の尊重 （人権教育、意識啓発の推進など）	24 3.6%	95 14.4%	338 51.2%	54 8.2%	20 3.0%	129 19.5%	⇒ 99 15.0%	167 25.3%	208 31.5%	21 3.2%	16 2.4%	149 22.6%
男女共同参画社会の形成 （男女共同参画に関する啓発、女性の社会参加の促進など）	18 2.7%	98 14.8%	328 49.7%	75 11.4%	19 2.9%	122 18.5%	⇒ 87 13.2%	164 24.8%	204 30.9%	38 5.8%	19 2.9%	148 22.4%
計画的な行政経営の推進 （行政改革、職員の意識改革と能力向上、健全な財政運営の推進など）	17 2.6%	98 14.8%	290 43.9%	87 13.2%	49 7.4%	119 18.0%	⇒ 143 21.7%	170 25.8%	173 26.2%	11 1.7%	18 2.7%	145 22.0%
広域行政の推進 （ごみ処理、消防など周辺自治体との広域事務の推進など）	63 9.5%	213 32.3%	212 32.1%	33 5.0%	23 3.5%	116 17.6%	⇒ 145 22.0%	211 32.0%	145 22.0%	7 1.1%	8 1.2%	144 21.8%

	①満足度						②重要度					
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	不満である	重視している	どちらかといえば重視している	どちらともいえない	どちらかといえば重視していない	重視していない	重視していない
2 健やかでやさしいまちづくり 子育て・福祉・介護保険・社会保障・保健・医療分野												
子育て支援の充実 (子育て支援サービス・相談体制の充実など)	26 3.9%	158 23.9%	259 39.2%	59 8.9%	27 4.1%	131 19.8%	⇒ 200 30.3%	165 25.0%	126 19.1%	8 1.2%	8 1.2%	153 23.2%
高齢者施策の充実 (介護保険サービス・支援体制の充実、介護予防の推進など)	21 3.2%	106 16.1%	285 43.2%	89 13.5%	35 5.3%	124 18.8%	⇒ 195 29.5%	176 26.7%	122 18.5%	8 1.2%	10 1.5%	149 22.6%
障がい者施策の充実 (障がい福祉サービス・支援体制の充実、社会参加促進など)	20 3.0%	87 13.2%	323 48.9%	70 10.6%	28 4.2%	132 20.0%	⇒ 146 22.1%	177 26.8%	161 24.4%	11 1.7%	10 1.5%	155 23.5%
地域福祉の充実 (民生委員や福祉団体の育成、支え合いの地域づくりなど)	18 2.7%	98 14.8%	332 50.3%	64 9.7%	24 3.6%	124 18.8%	⇒ 112 17.0%	183 27.7%	188 28.5%	16 2.4%	12 1.8%	149 22.6%
健康づくりの推進 (町民の健康づくり・心の健康づくりの推進、母子保健の充実など)	31 4.7%	176 26.7%	265 40.2%	43 6.5%	22 3.3%	123 18.6%	⇒ 155 23.5%	185 28.0%	155 23.5%	7 1.1%	10 1.5%	148 22.4%
地域医療・医療体制の充実 (地域医療体制の確立、町立病院の機能充実など)	13 2.0%	82 12.4%	164 24.8%	157 23.8%	134 20.3%	110 16.7%	⇒ 306 46.4%	135 20.5%	52 7.9%	11 1.7%	13 2.0%	143 21.7%
社会保障の充実 (国民健康保険、後期高齢者医療制度、年金制度など)	19 2.9%	84 12.7%	275 41.7%	99 15.0%	64 9.7%	119 18.0%	⇒ 220 33.3%	154 23.3%	115 17.4%	13 2.0%	10 1.5%	148 22.4%

	①満足度						②重要度					
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	不満である	重視している	どちらかといえば重視している	どちらともいえない	どちらかといえば重視していない	重視していない	重視していない
3 カみなぎる産業のまちづくり 農業・林業・商工業・観光分野												
農業の振興 (農業生産基盤整備、担い手育成確保、農畜産物の付加価値向上など)	32 4.8%	111 16.8%	326 49.4%	45 6.8%	19 2.9%	127 19.2%	⇒ 143 21.7%	190 28.8%	164 24.8%	6 0.9%	7 1.1%	150 22.7%
林業の振興 (森林資源の育成保全、林業・林産業の活性化など)	23 3.5%	71 10.8%	379 57.4%	38 5.8%	17 2.6%	132 20.0%	⇒ 94 14.2%	142 21.5%	242 36.7%	18 2.7%	11 1.7%	153 23.2%
商工業の振興 (中小企業への支援、まちなか賑わい創出、特産品開発など)	23 3.5%	110 16.7%	303 45.9%	75 11.4%	22 3.3%	127 19.2%	⇒ 121 18.3%	213 32.3%	155 23.5%	14 2.1%	9 1.4%	148 22.4%
観光の振興 (広域観光・交流機能の充実、観光推進体制の充実など)	16 2.4%	102 15.5%	291 44.1%	84 12.7%	35 5.3%	132 20.0%	⇒ 128 19.4%	194 29.4%	161 24.4%	15 2.3%	12 1.8%	150 22.7%
6次産業化の推進 (農畜産物加工・流通の支援など)	21 3.2%	73 11.1%	360 54.5%	53 8.0%	24 3.6%	129 19.5%	⇒ 120 18.2%	174 26.4%	196 29.7%	12 1.8%	12 1.8%	146 22.1%
雇用対策の推進 (通年雇用化対策の推進、雇用の確保に向けた取組など)	19 2.9%	72 10.9%	308 46.7%	94 14.2%	43 6.5%	124 18.8%	⇒ 156 23.6%	179 27.1%	161 24.4%	9 1.4%	9 1.4%	146 22.1%

	①満足度						②重要度					
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	不満である	重視している	どちらかといえば重視している	どちらともいえない	どちらかといえば重視していない	重視していない	重視していない
4 利便性のある調和のとれたまちづくり 都市基盤分野												
計画的な土地利用と市街地整備の推進 (計画的な土地利用、市街地整備の推進など)	16 2.4%	93 14.1%	277 42.0%	96 14.5%	39 5.9%	139 21.1%	⇒ 97 14.7%	191 28.9%	182 27.6%	20 3.0%	6 0.9%	164 24.8%
景観形成の推進 (市街地景観の質の向上、自然的景観の保全、歴史的景観の活用など)	24 3.6%	114 17.3%	300 45.5%	55 8.3%	23 3.5%	144 21.8%	⇒ 94 14.2%	182 27.6%	192 29.1%	20 3.0%	5 0.8%	167 25.3%
高規格道路などの整備促進 (国道272号や道道8号などの国道・道道の整備促進など)	30 4.5%	153 23.2%	221 33.5%	73 11.1%	43 6.5%	140 21.2%	⇒ 127 19.2%	191 28.9%	158 23.9%	16 2.4%	5 0.8%	163 24.7%
生活道路・道路環境の整備 (町道整備、安全な道路環境の維持、安定した除雪体制の確立など)	27 4.1%	118 17.9%	169 25.6%	128 19.4%	82 12.4%	136 20.6%	⇒ 204 30.9%	183 27.7%	95 14.4%	11 1.7%	6 0.9%	161 24.4%
公共交通(バス)機能の強化 (路線バスの利便性向上など)	16 2.4%	48 7.3%	248 37.6%	133 20.2%	87 13.2%	128 19.4%	⇒ 147 22.3%	174 26.4%	146 22.1%	24 3.6%	11 1.7%	158 23.9%
空路アクセスの向上 (安定した航空路線の維持・活用、新規路線就航など)	34 5.2%	143 21.7%	204 30.9%	96 14.5%	46 7.0%	137 20.8%	⇒ 166 25.2%	189 28.6%	122 18.5%	15 2.3%	6 0.9%	162 24.5%
情報化の推進 (情報通信基盤の整備、情報セキュリティ対策の強化など)	18 2.7%	89 13.5%	336 50.9%	50 7.6%	24 3.6%	143 21.7%	⇒ 99 15.0%	165 25.0%	216 32.7%	9 1.4%	7 1.1%	164 24.8%
住宅施策の推進 (公営住宅の整備・維持管理の推進など)	22 3.3%	104 15.8%	306 46.4%	56 8.5%	29 4.4%	143 21.7%	⇒ 80 12.1%	150 22.7%	233 35.3%	18 2.7%	14 2.1%	165 25.0%
住環境・住宅地の形成 (良好な住環境・住宅地の形成など)	23 3.5%	123 18.6%	294 44.5%	55 8.3%	23 3.5%	142 21.5%	⇒ 92 13.9%	179 27.1%	206 31.2%	10 1.5%	11 1.7%	162 24.5%
公園・緑地の充実 (公園施設整備、市街地緑地の適切な維持管理など)	45 6.8%	155 23.5%	226 34.2%	66 10.0%	31 4.7%	137 20.8%	⇒ 110 16.7%	185 28.0%	179 27.1%	17 2.6%	9 1.4%	160 24.2%

	①満足度						②重要度					
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	不満である	重視している	どちらかといえば重視している	どちらともいえない	どちらかといえば重視していない	重視していない	重視していない
5 安全・安心で快適なまちづくり 生活基盤分野												
消防の充実 (消防・救急体制の充実、防火体制の強化など)	79 12.0%	219 33.2%	206 31.2%	13 2.0%	6 0.9%	137 20.8%	⇒ 158 23.9%	190 28.8%	138 20.9%	8 1.2%	8 1.2%	158 23.9%
防災の充実 (防災体制強化、町と町民が一体となった地域防災力の向上など)	46 7.0%	141 21.4%	290 43.9%	44 6.7%	4 0.6%	135 20.5%	⇒ 151 22.9%	176 26.7%	161 24.4%	9 1.4%	6 0.9%	157 23.8%
防犯の充実 (防犯活動の推進、防犯灯の整備拡充など)	35 5.3%	131 19.8%	267 40.5%	74 11.2%	19 2.9%	134 20.3%	⇒ 162 24.5%	185 28.0%	146 22.1%	6 0.9%	7 1.1%	154 23.3%
交通安全の充実 (交通安全施設の設置要請強化、交通安全教育の推進など)	32 4.8%	136 20.6%	303 45.9%	38 5.8%	13 2.0%	138 20.9%	⇒ 138 20.9%	190 28.8%	164 24.8%	5 0.8%	7 1.1%	156 23.6%
消費者対策の推進 (町消費生活センターの充実、町消費者協会の活動強化など)	21 3.2%	95 14.4%	364 55.2%	28 4.2%	9 1.4%	143 21.7%	⇒ 63 9.5%	157 23.8%	250 37.9%	17 2.6%	11 1.7%	162 24.5%
環境保全の推進 (環境保全推進体制の確立、野生動植物の保全、省エネルギー対策など)	23 3.5%	98 14.8%	351 53.2%	37 5.6%	10 1.5%	141 21.4%	⇒ 79 12.0%	172 26.1%	228 34.5%	18 2.7%	5 0.8%	158 23.9%
循環型社会の形成 (ごみ適正処理、リサイクル体制の充実、不法投棄対策など)	38 5.8%	160 24.2%	241 36.5%	58 8.8%	23 3.5%	140 21.2%	⇒ 146 22.1%	192 29.1%	153 23.2%	5 0.8%	7 1.1%	157 23.8%
上・下水道の再整備 (安全・安心な水道水の供給、水道・下水道施設の維持管理・再整備など)	92 13.9%	179 27.1%	205 31.1%	27 4.1%	22 3.3%	135 20.5%	⇒ 171 25.9%	182 27.6%	139 21.1%	10 1.5%	5 0.8%	153 23.2%
衛生施設の充実 (火葬場、墓地の維持管理など)	78 11.8%	158 23.9%	259 39.2%	20 3.0%	11 1.7%	134 20.3%	⇒ 101 15.3%	157 23.8%	216 32.7%	22 3.3%	10 1.5%	154 23.3%

	①満足度						②重要度					
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	不満である	重視している	どちらかといえば重視している	どちらともいえない	どちらかといえば重視していない	重視していない	重視していない
6 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり 教育・生涯学習・文化・スポーツ分野												
学校教育の充実 (教育環境の整備、学校施設の整備充実など)	39 5.9%	155 23.5%	260 39.4%	51 7.7%	26 3.9%	129 19.5%	⇒ 193 29.2%	156 23.6%	150 22.7%	5 0.8%	7 1.1%	149 22.6%
青少年の健全育成 (青少年健全育成体制・環境の整備、体験・交流活動の促進など)	25 3.8%	116 17.6%	331 50.2%	34 5.2%	20 3.0%	134 20.3%	⇒ 142 21.5%	177 26.8%	176 26.7%	5 0.8%	9 1.4%	151 22.9%
生涯学習の推進 (生涯学習団体への支援、郷土館など生涯学習関連施設の充実など)	23 3.5%	110 16.7%	350 53.0%	30 4.5%	14 2.1%	133 20.2%	⇒ 90 13.6%	164 24.8%	226 34.2%	18 2.7%	11 1.7%	151 22.9%
スポーツの振興 (施設の整備・有効活用、団体への支援、指導者の養成・確保、活動普及など)	33 5.0%	152 23.0%	283 42.9%	44 6.7%	17 2.6%	131 19.8%	⇒ 114 17.3%	206 31.2%	163 24.7%	18 2.7%	9 1.4%	150 22.7%
文化・芸術の振興 (文化・芸術団体、指導者育成、鑑賞・発表機会の充実など)	34 5.2%	155 23.5%	285 43.2%	43 6.5%	13 2.0%	130 19.7%	⇒ 99 15.0%	199 30.2%	186 28.2%	16 2.4%	9 1.4%	151 22.9%
文化財の保護と活用 (文化財保護の推進・啓発、教育・交流活動での活用など)	22 3.3%	105 15.9%	368 55.8%	26 3.9%	9 1.4%	130 19.7%	⇒ 77 11.7%	166 25.2%	238 36.1%	16 2.4%	13 2.0%	150 22.7%

V 參考資料

《第6期中標津町総合発展計画の推進・第7期計画策定に係る》

まちづくり町民アンケート

ご協力をお願い

町民の皆様には、日頃から町政に対し格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

中標津町では、まちづくりを進めるうえでの指針となる第6期中標津町総合発展計画に基づいて各種取り組みを計画的に推進しております。

本調査は、町の取り組みに対する町民の皆様の声を調査し、今後の町政に反映していくとともに、まちづくりを進めるための新しい指針となる第7期の計画の策定に向けて、町民の皆様のご意見をお聞かせいただくことを目的として、町内にお住まいの20歳以上の方の中から2,500名を無作為に抽出してお願いしております。

このアンケートは統計的に処理し、本調査の目的以外に利用することとはなく、ご迷惑をおかけすることは絶対にありません。

まちの将来像「空とみどりの交流拠点・中標津」を目指し、今後のまちづくりを皆様とともに考えていきたいという趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

令和元年6月

中標津町長 西 村 穰

1. ご回答は宛名のご本人にお願いいたします。
2. お答えは、設問ごとに（1つに○印）、（2つまで○印）などそれぞれ指定していますので、おまちがえのないようお願いします。
○印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①）
3. ご記入いただいたアンケートは7月31日（水）までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。（切手は不要です。）
4. このアンケートについてのお問い合わせは、下記の連絡先までお願いします。

中標津町 総務部 企画課

電 話：0153-73-3111（内線327）

FAX：0153-73-5333

あなたご自身のことについてお伺いします。

問 1 それぞれの項目ごとにあてはまる番号1つに○印を付けてください。

(1) あなたの性別	1. 男性 2. 女性
(2) あなたの年齢	1. 20歳代 4. 50歳代 2. 30歳代 5. 60歳代 3. 40歳代 6. 70歳以上
(3) あなたの職業 (※主たるもの)	1. 農林業 5. パートタイム・アルバイト 2. 製造業・建設業 6. 主婦(夫) 3. 卸小売業・飲食業 7. 無職 4. その他サービス業等 (公務員を含む) 8. 学生・その他
(4) あなたの通勤・通学先	1. 町内 2. 町外 3. 該当なし・その他
(5) あなたの家族構成	1. 夫婦(子どもはいない) 4. 単身(あなた1人) 2. 親子(2世代) 5. その他 3. 親・子・孫(3世代)
(6) あなたの出身地	1. 中標津町 2. 根室管内 3. 道内 4. 道外 5. 国外
(7) あなたの居住地	1. 中標津市街 2. 中標津町農協区域 3. 計根別市街 4. 計根別農協区域
(8) あなたの居住年数	1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上20年未満 4. 20年以上

愛着度・定住意向についてお伺いします

問 2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 感じている
2. どちらかといえば感じている | 3. どちらかといえば感じていない
4. 感じていない |
|------------------------------|--------------------------------|

問 3 定住意向についてお伺いします。
①あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 住み続けたい
2. どちらかといえば住み続けたい | 3. どちらかといえば住みたくない
4. 住みたくない |
|--------------------------------|--------------------------------|

※①で「1.」または「2.」に○をつけた方は
②にお答えください。

↓

②住み続けたい主な理由は何ですか。
(3つまで○印を付けて下さい。)

1. 自然が豊かだから
 2. 教育環境がよいから
 3. 通勤や通学が便利だから
 4. 医療や福祉が充実しているから
 5. 日常の買い物が便利だから
 6. 生活する環境が便利だから
 7. 職場があるから
 8. 親や親戚がいる住み慣れた土地だから
 9. 友人など人間関係があるから
 10. 町の将来に希望がもてるから
 11. 特に理由はない
 12. その他

(具体的に：)

※①で「3.」または「4.」に○をつけた方は
③にお答えください。

↓

③住みたくない主な理由は何ですか。
(3つまで○印を付けて下さい。)

1. 日常の買い物が不便
 2. 道路事情や交通の便が悪い
 3. 地域の行事や近所づきあいが面倒
 4. 子どもの保育・教育のことが心配
 5. 町内に適当な職場が少ない
 6. 保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分
 7. 消防・防災・防犯体制に不安を感じる
 8. スポーツ施設や文化施設が不十分
 9. 生活基盤施設の整備が遅れている
 10. コミュニティ活動など住民の交流がない
 11. 情報通信基盤が整っていない
 12. その他

(具体的に：)

※ 質問には、あなたの尺度であなたの感じるままにお答えください。自分が関わっていない部分などでわからない場合は、あなたの周りの状況などを参考にお答えください。

まちの現状についてお伺いします。

問 4

全体的にみた中標津町のまちづくりに満足していますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している	3. どちらかといえば満足していない 4. 満足していない
<u>○満足している理由</u>	<u>○満足していない理由</u>

問 5

まちの計画や取り組みに関心を持っていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 関心を持っている | 3. どちらかといえば関心を持っていない |
| 2. どちらかといえば関心を持っている | 4. 関心を持っていない |

問 6

町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
<u>○そう感じる理由</u>	<u>○そう感じない理由</u>

問 7

今後のまちづくりにおいて、中標津町をどのような特色のあるまちにすべきだと思いますか。(2つまで○印を付けて下さい。)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 健康で安心して暮らせるまち | 6. 広域的な拠点都市機能が集積したまち |
| 2. 酪農や商工業など活力ある産業のまち | 7. 教育文化スポーツ等の水準の高いまち |
| 3. 自然と共生する美しいまち | 8. 多くの人が訪れる観光・交流のまち |
| 4. 便利で快適に暮らせるまち | 9. その他 |
| 5. 町民同士がふれあい豊かに暮らすまち | (具体的に：) |

生活環境についてお伺いします

問 8

中心市街地は便利で利用しやすいと感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 9

道路や河川などが適切に維持管理（側溝清掃、草刈りなど）されていると感じますか。(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 10

自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足していますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している

2. どちらかといえば満足している

○満足している理由

3. どちらかといえば満足していない

4. 満足していない

○満足していない理由

問 11

公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 12 中標津空港利用の利便性に満足していますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している	3. どちらかといえば満足していない 4. 満足していない
○満足している理由 	○満足していない理由

問 13 今後、町及びその周辺ではどのような道路、交通手段が必要と考えますか。
 (2つまで○印を付けて下さい。)

1. 広域幹線道路（国・道道）の整備充実 2. 町内幹線道路の整備充実 3. 地区内の身近な生活道路の整備充実	4. 中標津空港の航路の充実 5. 路線バスの利便性向上 6. その他（具体的に：
---	---

問 14 安定して水道水が利用できていると感じますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由 	○そう感じない理由

問 15 墓地の施設に満足していますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している	3. どちらかといえば満足していない 4. 満足していない
○満足している理由 	○満足していない理由

問 16 身近な生活環境のなかで、今後どのような施設の整備充実が必要だと思いますか。
 (2つまで○印を付けて下さい。)

1. 道路の改良、舗装 2. 道路側溝の整備 3. ガードレール等交通安全施設 4. 下水道・排水路 5. 駐車場 6. 公園、子どもの遊び場（ひろば）	7. 集会所 8. 高齢者福祉施設 9. 障がい者福祉施設 10. 商店・スーパー 11. 街路灯・防犯灯 12. その他（具体的に：
---	--

問 17

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○ <u>そう感じる理由</u>	○ <u>そう感じない理由</u>

問 18

1. 環境美化活動の支援 2. ごみ減量化・リサイクル活動の支援 3. 不法投棄など取り締まりの強化 4. 河川の水質浄化対策の推進 5. 省エネルギーや新エネルギーの導入	6. 緑あふれる景観づくりの支援 7. 自然保護運動の支援 8. 自然環境の調査・監視体制の強化 9. 環境保全意識の啓発 10. その他（具体的に：
--	---

問 19

1. 活用している	3. どちらかといえば活用していない
2. どちらかといえば活用している	4. 活用していない

問 20

1. 情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備 2. 町のホームページの充実 3. 申請・届出など手続の電子化 4. 各種行政情報など多様な分野での情報サービスの提供	5. 学校・生涯学習など情報教育の充実 6. 個人情報保護対策等セキュリティ強化 7. 情報弱者への対応 8. その他 （具体的に：
---	---

問 21

1. している	3. あまりしていない
2. どちらかといえばしている	4. していない

問 22

1. 参加している	3. あまり参加していない
2. たまに参加している	4. 参加していない

問 23 町の消防・防災対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 消防・救急体制（消防署）の充実 | 7. 防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実 |
| 2. 消防団の体制の充実 | 8. 災害時の情報連絡体制の充実 |
| 3. 防火・防災意識の啓発活動の充実 | 9. 河川など災害発生危険箇所の整備 |
| 4. 消火訓練・避難訓練の充実 | 10. その他 |
| 5. 地域における自主防災組織の育成 | (具体的に：) |
| 6. 防災ボランティアの育成 | |

問 24 消費生活に関する相談窓口が役場にあることを知っていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 25 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由	○そう感じない理由

環境問題への取り組みについてお伺いします

問 26 日頃から環境問題（温暖化、省エネルギー、ごみ減量など）について意識していますか。(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 意識している | 3. どちらかといえば意識していない |
| 2. どちらかといえば意識している | 4. 意識していない |

問 27 3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. している | 3. あまりしていない |
| 2. どちらかといえばしている | 4. していない |

産業振興についてお伺いします

問 28 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 29 森林づくり活動（植樹、下刈・枝打ち体験等）に参加していますか。
（1つに○印を付けて下さい。）

1. 参加している

2. どちらかといえば参加している

3. どちらかといえば参加していない

4. 参加していない

問 30 地元で買い物をすることを意識していますか。
（1つに○印を付けて下さい。）

1. 意識している

2. どちらかといえば意識している

3. どちらかといえば意識していない

4. 意識していない

問 31 町の商業振興について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
（2つまで○印を付けて下さい。）

1. 商店の専門店化や品揃えの充実

2. 歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備

3. 地元商業者主体の共同店舗等の整備

4. 休業日、営業時間の改善など

5. イベント、売出し等共同事業活発化

6. 駐車場や自転車置き場の整備

7. 後継者（若手経営者）の確保・育成

8. 核となる大型店の誘致

9. その他

（具体的に： ）

問 32 まちの観光資源（景観、場所、食、イベントなど）に満足していますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. 満足している

2. どちらかといえば満足している

○満足している理由

3. どちらかといえば満足していない

4. 満足していない

○満足していない理由

問 33 町の観光を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 美しい景観の保全・整備 | 7. 観光ルート設定や観光案内標識整備 |
| 2. 既存観光施設の充実 | 8. 町外への観光PRや情報提供の強化 |
| 3. 地域特色のある観光・体験施設整備 | 9. 地域性のある各種イベントの充実 |
| 4. 観光サービス施設の整備 | 10. 来訪者へのサービスの向上 |
| 5. 地域特色のある料理、土産品の開発 | 11. その他 |
| 6. リゾート施設やテーマパークの整備 | （具体的に： _____ ） |

問 34 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保など）に満足していますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している

○満足している理由

3. どちらかといえば満足していない
4. 満足していない

○満足していない理由

保健・医療・福祉についてお伺いします

問 35 地域医療、救急・災害時医療体制に満足していますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している

○満足している理由

3. どちらかといえば満足していない
4. 満足していない

○満足していない理由

問 36 町の保健・医療対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 医療機関の充実 | 7. 健康づくり活動の充実 |
| 2. 救急・休日・夜間医療の充実 | 8. 健康に関する知識の普及 |
| 3. 往診・訪問看護など在宅医療の充実 | 9. 保健師などの訪問活動の積極的推進 |
| 4. 各種検診の充実 | 10. 食育や食生活改善運動の推進 |
| 5. 感染症対策の充実 | 11. その他 |
| 6. 健康教育や健康相談の充実 | （具体的に： _____ ） |

問 37 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由	○そう感じない理由

問 38 町の子育て環境を充実させるため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
 (2つまで○印を付けて下さい。)

1. 保育所の充実 2. 子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 3. 子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化 4. 学童保育の充実	5. 子どもの遊び場など公園の整備 6. 児童館の整備 7. 児童虐待の予防・解消対策の推進 8. その他 (具体的に：)
---	--

問 39 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由	○そう感じない理由

問 40 町の高齢者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
 (2つまで○印を付けて下さい。)

1. 生きがいづくりや働く場の充実 2. 安心して利用できる道路づくりや施設づくり 3. 高齢者と若い世代の交流機会の充実 4. 学習機会や健康づくり・スポーツの場の充実	5. 介護保険サービスや施設の充実 6. 高齢者保健福祉サービスや施設の充実 7. 地域で見守るような住民の助け合い活動の育成 8. その他 (具体的に：)
--	---

問 41 障がい者サービスが整っていると感じますか。
 （1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. そう感じる
 2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない
 4. そう感じない

○そう感じない理由

問 42 町の障がい者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
 （2つまで○印を付けて下さい。）

1. 相談窓口や情報提供の充実	6. 就労に向けた支援や雇用環境の整備
2. 障がいの早期発見と教育・療育の充実	7. 障がいへの理解や交流
3. 在宅支援サービスの充実	8. 社会参加の促進
4. 入所施設やグループホーム等の整備	9. ボランティア活動などの地域福祉活動の促進
5. ユニバーサルデザインなどによるまちづくりの推進	10. その他 （具体的に： ）

問 43 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じますか。
 （1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. そう感じる
 2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない
 4. そう感じない

○そう感じない理由

問 44 健康診査やがん検診を毎年受けていますか。
 （1つに○印を付けて下さい。）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 毎年受けている | 3. 定期的ではないが受けたことがある |
| 2. 毎年ではないが定期的に受けている | 4. 受けたことがない |

教育・文化・スポーツについてお伺いします

問 45 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 46 青少年を見守る活動に参加していますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 参加しているし、今後も参加したい

2. 参加していないが、今後は参加したい

3. 参加しているが、今後は参加するつもりはない

4. 参加していないし、今後も参加するつもりはない

問 47 子どもの豊かな人間教育のために、どのようなことが必要だと思いますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

1. 家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成

2. 地域ぐるみでの子どもの育成活動

3. ボランティア活動に重点をおいた教育

4. 地域特性や地域の人材を活用した特色ある教育

5. スポーツに力を入れた教育

6. 音楽や美術に力を入れた教育

7. 情報化に対応できる教育

8. 基礎的な学力の向上を目指す教育

9. 食育に関する教育

10. いじめなどの心の問題への対応

11. 子どもの安全・安心対策の強化

12. その他

(具体的に：

)

問 48 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 取り組んでいる

3. あまり取り組んでいない

2. どちらかといえば取り組んでいる

4. 取り組んでない

問 49 生涯学習情報誌「らいふまっぷ」から知りたい情報は得られていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 得られている

3. どちらかといえば得られていない

2. どちらかといえば得られている

4. 得られていない

問 50 文化・芸術の鑑賞や発表機会が充実していると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 51 生涯学習活動・文化活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 各種講座などの情報提供の充実 | 6. 音楽・美術などの鑑賞機会の充実 |
| 2. 指導者や相談体制の充実 | 7. 学習・文化活動等の発表機会の充実 |
| 3. 各種講座や催し物の内容の充実 | 8. 学習・文化団体への支援 |
| 4. 文化施設など活動の場の整備充実 | 9. 文化イベントの企画・開催 |
| 5. 史跡・文化財の保存や伝統文化の後継者の育成 | 10. その他
(具体的に：) |

問 52 運動やスポーツに取り組んでいますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 取り組んでいる | 3. あまり取り組んでいない |
| 2. どちらかといえば取り組んでいる | 4. 取り組んでない |

問 53 スポーツ活動をより活発にしていくためには、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 指導者や相談体制の充実 | 5. スポーツ団体への支援 |
| 2. 各種講座などの情報提供の充実 | 6. スポーツイベントの企画・開催 |
| 3. 各種講座や催し物の内容の充実 | 7. その他 |
| 4. スポーツ施設など活動の場の整備充実 | (具体的に：) |

人権・男女共同参画についてお伺いします

問 54 男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
}  ○そう感じる理由 	}  ○そう感じない理由

問 55 男女が平等に参加できる社会を形成するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1. 女性の働く場所の充実 | 6. 男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発 |
| 2. 保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 | 7. 町の審議会や委員会などへの女性の登用 |
| 3. 育児・介護休業制度の一層の普及 | 8. 男女共同参画についての学習の充実 |
| 4. 女性の就労条件など企業に対する啓発 | 9. その他（具体的に：) |
| 5. 女性のための職業訓練の機会の提供 | |

問 56 女性が抱える様々な悩みに対応する相談窓口があることを知っていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 知っている

2. 知らない

地域間交流についてお伺いします

問 57 国際交流や他地域との交流に参加したいと思っていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. そう思う

3. どちらかといえばそう思わない

2. どちらかといえばそう思う

4. そう思わない

問 58 国内外との交流活動について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

1. 国内外の姉妹・友好都市交流

6. 案内板や刊行物等の外国語併記

2. スポーツ、文化を通じた人的交流

7. 地域の歴史等を通じた交流

3. 文化などを紹介するイベント

8. その他

4. 町内や隣接圏域の外国人との交流会

(具体的に：

5. 学校教育・生涯学習などでの外国語教育

)

北方領土問題についてお伺いします

問 59 北方領土問題を身近な問題として感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

3. どちらかといえばそう感じない

2. どちらかといえばそう感じる

4. そう感じない

○そう感じる理由

○そう感じない理由

取り組みに対する費用負担についてお伺いします

問 60 これまでの設問4から設問59において、今後必要と思われる取り組みなどについて、おたずねしてきましたが、選択された取り組みなどの実施・実現のためには、町民の費用負担が必要となる場合がありますが、どのように考えますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 賛成である

4. どちらかといえば反対である

2. どちらかといえば賛成である

5. 反対である

3. どちらともいえない

6. その他 (

)

住民活動等についてお伺いします

問 61

地域活動・ボランティア活動についてお伺いします。

① あなたの地域活動・ボランティア活動への、現在の参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。（1つに○印を付けて下さい。）

1. 現在、参加しているし、今後も参加したい

2. 現在、参加していないが、今後は参加したい

3. 現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない

4. 現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない

【①で「1.」または「2.」に○をつけた方にお伺いします。】

② あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。（3つまで○印を付けて下さい。）

1. 町内会や自治会などの活動
2. 公園・道路の清掃や花壇の世話
3. 自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動
4. 農協や商工会などの活動
5. 老人クラブや女性団体、子ども会などの活動
6. 子育て支援に関する活動
7. P T A、青少年の健全育成に関する活動
8. 教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動
9. 伝統芸能の保存に関する活動
10. 高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動
11. 通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動
12. 募金や寄付、バザー等に関する活動
13. 地域づくりやまちおこしに関する活動
14. 自主防災や災害援助に関する活動
15. 交通安全に関する活動
16. パトロールなど防犯に関する活動
17. 国際交流、国際協力に関する活動
18. その他（具体的に： _____）

中標津町役場についてお伺いします

問 62

町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由	○そう感じない理由

問 63 役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

3. どちらかといえばそう感じない
4. そう感じない

○そう感じない理由

将来人口目標について伺います

問 64 第6期中標津町総合発展計画【計画期間：平成23年度～令和2年度（2011年度～2020年度）】では、令和2年度の将来人口を25,000人（令和元年5月末現在23,373人）と設定していますが、目標達成には今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

行政との関わりについてお伺いします

問 65 これからのまちづくりは、より多くの住民の皆さんが町政に参画して、課題解決や地域づくりを行う「町民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「町民参画・協働のまちづくり」を進めるためには、行政に何が必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

1. 的確迅速な行政情報の提供・公開のための、広報活動の充実
2. できるだけ多くの住民の意見や要望を聞くための、広聴活動の充実
3. 講座や教室の開催等を通じた、まちづくりに関する学習機会の提供
4. 地域活動・ボランティア活動を活性化するための仕組みづくり
5. 町民参画・協働のまちづくりの方向性や基本的な役割分担等を定めた自治基本条例の適切な進行管理
6. 各種行政計画策定の際の審議委員の一般公募、パブリックコメント（ホームページ等を通じた住民意見の募集）の充実
7. 公共施設の整備・管理や公共サービスの提供への町民及び民間の参画・協働を促進する仕組みづくり
8. 新たなまちづくりの担い手としてのNPO（民間非営利組織）等の育成・支援
9. その他（具体的に：

防災対策（情報収集）についてお伺いします

問 66 あなたは、防災のための情報をどこから得ていますか。
(あてはまるもの全てに○印を付けて下さい。)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 「広報中標津」 | 4. コミュニティFMラジオを活用した防災放送 |
| 2. 中標津町緊急情報メール「キキボウ」 | 5. テレビ |
| 3. インターネットやスマートフォン | 6. その他（ ） |

問 67 コミュニティFMラジオを活用した防災放送についてお伺いします。
あなたは、コミュニティFMラジオを活用した防災放送を聞いたことがありますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|-------------|---------------------------------|
| 1. よく聴いている | 3. 放送していることは知っているが、
聴いたことはない |
| 2. たまに聴いている | 4. 放送していることを知らず、
聴いたことがない |

次ページからは、「第7期計画策定に向けての追加アンケートの項目」になります。

引き続き、ご協力をお願いします。



中標津町の今後のまちづくりの方向についてお伺いします

問 68 これからの中標津町のまちづくりをイメージする言葉について、あなたのイメージにあった言葉は次のうちどれがあてはまりますか。（3つまで○印を付けて下さい。）

- | | | | |
|---------|--------|-----------|--------|
| 1. 芸術 | 10. 医療 | 19. 景観 | 28. 豊か |
| 2. 文化 | 11. 福祉 | 20. 健やか | 29. 交通 |
| 3. 情報 | 12. 観光 | 21. 活力 | 30. 空港 |
| 4. 健康 | 13. 教育 | 22. 落ち着き | 31. 都市 |
| 5. 子育て | 14. 快適 | 23. 賑やか | 32. 自立 |
| 6. スポーツ | 15. 環境 | 24. 安全・安心 | 33. 共生 |
| 7. 農業 | 16. 国際 | 25. 広域 | |
| 8. 商業 | 17. 田園 | 26. 交流 | |
| 9. 雇用 | 18. 自然 | 27. 協働 | |

問 69 これから目指すべき中標津町の姿について、次の中からあなたの考えに近いものはどれですか。（2つまで○印を付けて下さい。）

1. 住宅や公園、下水道などが整備され、快適な生活環境の中で暮らせるまち
 2. 道路が整備され、車や人が安全に通行できるまち
 3. バスなどの公共交通網が充実し、車がなくても気軽に行き来ができるまち
 4. 多くの企業や事業所が集まり、働く場に恵まれているまち
 5. 医療や福祉が充実し、誰もが健康で安心して暮らせるまち
 6. 基幹産業である農業を軸として発展するまち
 7. 災害や犯罪がない安心・安全なまち
 8. 豊かな自然環境が守られているまち
 9. 教育環境が整い、子どもたちを伸び伸びと育てることができるまち
 10. 文化・芸術などの創作活動が盛んで、文化や芸術的な雰囲気が豊かなまち
 11. 娯楽施設が整い、趣味やスポーツを楽しむことができるまち
 12. 空港施設を活用するとともに、多くの人が訪れる観光・交流のまち
 13. 町民サービスにICT（情報通信技術）が活用されているまち
 14. パートナー自治体等との連携を図り、広域による公共サービスの充実に取り組むまち
 15. 教育・文化・スポーツなどが充実した生涯学習のまち
 16. 郷土を愛し、町民同士がふれあい豊かに暮らすまち

問 70 中標津町では、これまで第6期中標津町総合発展計画（2011年度～2020年度）に基づき、以下のように、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。これらについての現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。

① あなたは、以下の6つの分野の各項目について、現在どの程度満足していますか。それぞれについてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

② あなたは、以下の6つの分野の各項目について、今後どの程度重視していますか。それぞれについてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

評 価 項 目	①満足度						②重要度				
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	どちらかといえば不満である	不満である		重視している	どちらかといえば重視している	どちらかといえば重視していない	重視していない	
1 参画と協働で未来を築くまちづくり											
町民参画・交流・コミュニティ・行財政分野											
協働のまちづくりの推進 （町民参画機会の提供、広報・広聴活動の充実、情報公開の推進など）	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
コミュニティの育成 （まちづくり活動団体や町内会活動の活性化など）	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
国際化、地域間交流の促進 （友好都市川崎市など他地域との交流、国際交流体制の充実など）	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
北方領土対策の推進 （北方領土問題の啓発、返還運動・交流事業の推進など）	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
人権の尊重 （人権教育、意識啓発の推進など）	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
男女共同参画社会の形成 （男女共同参画に関する啓発、女性の社会参加の促進など）	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
計画的な行政経営の推進 （行政改革、職員の意識改革と能力向上、健全な財政運営の推進など）	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
広域行政の推進 （ごみ処理、消防など周辺自治体との広域事務の推進など）	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5

項目	①満足度						②重要度				
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である		重視している	どちらかといえば重視している	どちらともいえない	どちらかといえば重視していない	重視していない
2 健やかでやさしいまちづくり 子育て・福祉・介護保険・社会保障・保健・医療分野											
子育て支援の充実 (子育て支援サービス・相談体制の充実など)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
高齢者施策の充実 (介護保険サービス・支援体制の充実、介護予防の推進など)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
障がい者施策の充実 (障がい福祉サービス・支援体制の充実、社会参加促進など)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
地域福祉の充実 (民生委員や福祉団体の育成、支え合いの地域づくりなど)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
健康づくりの推進 (町民の健康づくり・心の健康づくりの推進、母子保健の充実など)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
地域医療・医療体制の充実 (地域医療体制の確立、町立病院の機能充実など)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
社会保障の充実 (国民健康保険、後期高齢者医療制度、年金制度など)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
3 カみなぎる産業のまちづくり 農業・林業・商工業・観光分野											
農業の振興 (農業生産基盤整備、担い手育成確保、農畜産物の付加価値向上など)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
林業の振興 (森林資源の育成保全、林業・林産業の活性化など)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
商工業の振興 (中小企業への支援、まちなか賑わい創出、特産品開発など)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
観光の振興 (広域観光・交流機能の充実、観光推進体制の充実など)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
6次産業化の推進 (農畜産物加工・流通の支援など)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
雇用対策の推進 (通年雇用化対策の推進、雇用の確保に向けた取組など)	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5

項 目	①満足度						②重要度				
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である		重視している	どちらかといえば重視している	どちらともいえない	どちらかといえば重視していない	重視していない
4 利便性のある調和のとれたまちづくり 都市基盤分野											
計画的な土地利用と市街地整備の推進 （計画的な土地利用、市街地整備の推進など）	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
景観形成の推進 （市街地景観の質の向上、自然的景観の保全、歴史的景観の活用など）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
高規格道路などの整備促進 （国道272号や道道8号などの国道・道道の整備促進など）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
生活道路・道路環境の整備 （町道整備、安全な道路環境の維持、安定した除雪体制の確立など）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
公共交通（バス）機能の強化 （路線バスの利便性向上など）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
空路アクセスの向上 （安定した航空路線の維持・活用、新規路線就航など）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
情報化の推進 （情報通信基盤の整備、情報セキュリティ対策の強化など）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
住宅施策の推進 （公営住宅の整備・維持管理の推進など）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
住環境・住宅地の形成 （良好な住環境・住宅地の形成など）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
公園・緑地の充実 （公園施設整備、市街地緑地の適切な維持管理など）	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5

項 目	①満足度						②重要度				
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である		重視している	どちらかといえば重視している	どちらともいえない	どちらかといえば重視していない	重視していない
5 安全・安心で快適なまちづくり 生活基盤分野											
消防の充実 （消防・救急体制の充実、防火体制の強化など）	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5
防災の充実 （防災体制強化、町と町民が一体となった地域防災力の向上など）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
防犯の充実 （防犯活動の推進、防犯灯の整備拡充など）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
交通安全の充実 （交通安全施設の設置要請強化、交通安全教育の推進など）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
消費者対策の推進 （町消費生活センターの充実、町消費者協会の活動強化など）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
環境保全の推進 （環境保全推進体制の確立、野生動植物の保全、省エネルギー対策など）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
循環型社会の形成 （ごみ適正処理、リサイクル体制の充実、不法投棄対策など）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
上・下水道の再整備 （安全・安心な水道水の供給、水道・下水道施設の維持管理・再整備など）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
衛生施設の充実 （火葬場、墓地の維持管理など）	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5

項 目	①満足度						②重要度					
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である		重視している	どちらかといえば重視している	どちらともいえない	どちらかといえば重視していない	重視していない	
6 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり 教育・生涯学習・文化・スポーツ分野												
学校教育の充実 （教育環境の整備、学校施設の整備充実など）	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5	
青少年の健全育成 （青少年健全育成体制・環境の整備、体験・交流活動の促進など）	1	2	3	4	5		⇒	1	2	3	4	5
生涯学習の推進 （生涯学習団体への支援、郷土館など生涯学習関連施設の充実など）	1	2	3	4	5		⇒	1	2	3	4	5
スポーツの振興 （施設の整備・有効活用、団体への支援、指導者の養成・確保、活動普及など）	1	2	3	4	5		⇒	1	2	3	4	5
文化・芸術の振興 （文化・芸術団体、指導者育成、鑑賞・発表機会の充実など）	1	2	3	4	5		⇒	1	2	3	4	5
文化財の保護と活用 （文化財保護の推進・啓発、教育・交流活動での活用など）	1	2	3	4	5	⇒	1	2	3	4	5	

自由意見について

◎ あなたの生活で現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがございましたらご自由にお書きください。

< 自由意見欄 >

[illegible]

ご協力ありがとうございました。

※ ご記入いただいた調査票は7月31日（水）までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。（切手は不要です。）



町 民 憲 章

(昭和 40 年 7 月 1 日制定)

わたしたちは、朝夕気高い武佐岳を仰ぎ、標津川の流れとともにひらけゆく
中標津の町民です。

はてしない緑の原に、先人のきびしい開拓のあとをしのび、その心をうけて、
みんなの力で明るい豊かなまちをつくるために、この憲章をさだめます。

- 1 からだをきたえ、しあわせな家庭にしましょう
- 1 誇りをもって働き、豊かなまちにしましょう
- 1 きまりを守り、明るいまちにしましょう
- 1 自然を愛し、美しいまちにしましょう
- 1 教養を高め、よりよい文化を育てましょう



【町の木】 シラカバ



【町の花】 エゾリンドウ

発 行 中標津町 総務部 企画課

〒086-1197 標津郡中標津町丸山 2 丁目 22 番地

TEL (0153) 73-3111 FAX (0153) 73-5333

ホームページ <http://www.nakashibetsu.jp/>

e-mail nakasi-t@arens.or.jp